

赤十字概論

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年・編入 3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」連携 「2」関係 「3」探求 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBRC100

○角田 敦彦

■ 授業の目的

国際赤十字・赤新月運動の歴史、活動、理念の学びを通して人間として、また人道を実現する医療人に相応しい人間的資質を養う。

■ 到達目標

1. 国際赤十字・赤新月運動(日本赤十字社を含む)の歴史、理念、活動について理解し、説明できる。
2. 赤十字と国際人道法の基本的な内容や赤十字標章の正しい使い方について自分の言葉で説明できる。
3. 人道と人権の概念の理解を深め、人間尊重の文化について自分なりの意見を持つことができる。
4. 学習した内容を元に他者に赤十字の概要を説明できる。

■ 学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、意見交換(ディスカッション)を交えて展開する。科目担当者の実務経験から、人道支援に関する具体的な事例を取り上げ、映像等も交えて紹介する。

特に授業参加者は自らの問題意識を高め、積極的な質疑、発言を行うことが期待される。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス：授業の進め方について 国際赤十字・赤新月運動の起源とアンリ・デュナン 事前学修：[30 分] 国際赤十字運動に関する記事等を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
2	国際赤十字のしくみと活動 事前学修：[30 分] 国際赤十字に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	日本赤十字社のしくみと活動 事前学修：[30 分] 日本赤十字社の組織・活動に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
4	赤十字運動の基本原則:人道 公平 中立 独立 奉仕 単一 世界性 事前学修：[30 分] 赤十字運動の基本原則について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
5	戦争の歴史と国際人道法 事前学修：[30 分] 国際人道法に関する参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
6	現代の武力紛争と赤十字及び国際人道法 事前学修：[30 分] 現代の武力紛争の特徴について資料を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
7	赤十字標章の意味と適正な使用 事前学修：[30 分] 赤十字標章について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
8	国際社会における赤十字の役割 事前学修：[30 分] 現代の人道危機に関する報道記事などを検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

■教科書

授業の中で、適宜資料を提示する。

■参考書、参考資料等

デュナン, H (1959). ソルフェリーノの思い出. 日本赤十字社.

井上忠男(2015). 戦争と国際人道法. 東信堂.

枅居孝・森正尚(2014). 新版 世界と日本の赤十字. 東信堂.

ピクテ, J (1979/2006)解説 赤十字基本原則. 東信堂

その他、日本赤十字社、ICRC の刊行物、ウェブサイトなど。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、実施後 7 日目を降 Glexa 上にて、正答及び解説の掲示により行う。

■他の授業科目との関連

後期の赤十字国際活動論、3・4 年次の赤十字国際活動論(演習)は、赤十字概論を基礎に、より発展的な内容を取り扱う。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20 % 2. 試験 80 %

■オフィスアワー・研究室等

授業日(火)の 12 : 30~13 : 00 (角田 410 研究室)

赤十字国際活動論

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」連携 「2」国際貢献 「3」探求 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBRC300

○角田 敦彦

■ 授業の目的

グローバル化が進む現代の国際社会が抱える多様な問題を理解するとともに、これらの解決に取り組む赤十字や国際機関、その他 NGO 等の活動の現状と課題について、赤十字の国際活動の歴史とその特色などを中心に考察し理解を深めることを目的とする。

■ 到達目標

1. 地球規模の諸問題、特に戦争、自然災害、健康に関する諸問題の概要を理解し、説明できる。
2. 1 の諸問題の犠牲者救済のため赤十字がどのように活動してきたのか理解し、説明することができる。
3. 人道支援の現場が抱える問題について、自分なりの意見を持ち説明できる。

■ 学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、意見交換(ディスカッション)を交えて展開する。授業は、科目担当者の実務経験から、紛争・災害救援活動の体験や映像を紹介する。また、日本赤十字社等の職員を招き、人道支援の政策決定や直近の人道支援の実践についての講話等も行う予定である。授業参加者は世界が抱える問題に関心を持ち、自らの問題意識を深め、授業においても積極的に発言参加することが期待される。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス：授業の進め方について 赤十字の人道支援とは：救援と開発 事前学修：[30 分] 最近の人道危機や赤十字の国際活動について一般的な情報を検索しノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
2	頻発する人道危機と人道支援機関 事前学修：[30 分] ニュースなどに関心のある人道危機について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	赤十字の国際活動：政策決定と課題 事前学修：[30 分] 赤十字や国際機関の政策決定プロセスについて検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田・外部講師
4	赤十字と人道思想の系譜：歴史的概観 事前学修：[30 分] 紛争、災害時の赤十字活動について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[20 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
5	トルコ軍艦遭難～日清戦争時の赤十字の活動 事前学修：[30 分] トルコ軍艦の遭難、日清戦争の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
6	ポーランド孤児救済～日露戦争時の赤十字の活動 事前学修：[30 分] ポーランド孤児、日露戦争の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
7	二つの大戦時の赤十字の活動 事前学修：[30 分] 第一次世界大戦、第二次世界大戦の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田

No	内容	形式	教員
8	第二次世界大戦後の国際社会：国際人道法と赤十字の基本原則 事前学修：[30 分] 国際人道法と赤十字の基本原則について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
9	冷戦後の紛争と国際問題 事前学修：[30 分] 冷戦後の様々な紛争について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
10	国際赤十字・赤新月運動の実際 事前学修：[30 分] アジア太平洋地域の紛争や自然災害について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
11	国際救援と開発協力の実際：フィールド経験者から聞く 事前学修：[30 分] 救援、開発の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
12	その他人道上の諸問題と赤十字の活動 事前学修：[30 分] 人道危機における「弱者」について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
13	核兵器と赤十字 事前学修：[30 分] 核兵器の特徴と人道的な問題について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田・外部講師
14	人道支援に関する様々な行動規範 事前学修：[30 分] 人道支援に関連するルールについて調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
15	グローバル社会の諸課題 事前学修：[30 分] 世界で注目を集めている紛争、災害について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田

■ 教科書

適宜、資料を提示する。

■ 参考書、参考資料等

井上忠男(2015). 戦争と国際人道法. 東信堂.

黒沢文貴・河合利修(2009). 日本赤十字社と人道援助. 東京大学出版会

枅居孝・森正尚(2014). 新版 世界と日本の赤十字―世界最大の人道支援機関の活動. 東信堂.

その他 日本赤十字社HPなど

■ フィードバックの仕方

試験またはレポートのフィードバックは、後期ガイダンス時またはガイダンス以降 21 日以内に 410 研究室で返却する。

■ 他の授業科目との関連

本授業は、赤十字概論ならびに国際関係論を基礎に発展的な内容を取り扱う。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取組み 20 % 2. 課題レポート 80 %

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①火曜日 ② 12:30～13:00 ③角田 410 研究室

■ 受講上の注意事項

外部講師による講演は、講師の都合により実施コマを変更することがある。

赤十字国際活動論演習

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3・4 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」関係 実務経験
がある教員：○ 科目ナンバー：HBRC301

○角田 敦彦

■ 授業の目的

赤十字の起源、歴史とその広範な世界的な事業を体験するためのイタリア・ソルフェリーノ、スイス・ジュネーブ等への海外研修により、赤十字運動のダイナミズムを体験的に理解し、将来、国内外において人道事業を牽引する人材としての国際的素養を養うことを目指す。

■ 到達目標

1. 赤十字の起源、歴史とその広範な世界的な事業を説明できる。
2. アンリ・デュナンの業績を理解し、説明することができる。
3. 主要な国際機関の活動を理解し、説明することができる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：

赤十字概論、赤十字国際活動論で習得した内容を基礎に赤十字発祥の地を訪ね、体験的に学ぶ演習である。8 月下旬に概ね 8 泊 9 日の日程でソルフェリーノ(北イタリア)、ジュネーブ(スイス)を中心とする赤十字ゆかりの地において赤十字機関のほか WHO や UNHCR など(予定)の研修を実施する。本研修には教員が同行する。

2. 参考資料の提示：

事前に関連する資料等を提示するので熟読し、実りある演習となるよう事前準備を行う。

3. 求められる姿勢：

学生各自の主体的な参加による研修とするために本演習期間中は担当役割を担い、互いに研修成果を上げるためにチームスピリットを持って行動することが期待される。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. オリエンテーション(適宜)
2. 実施時期は、8 月中旬に 9 日間の予定である。
3. 学習内容：研修での訪問先は、赤十字思想誕生の地であるイタリア・ソルフェリーノの古戦場跡、赤十字国際博物館(カスティリオーネ)、ミラノ、ジュネーブ(赤十字の創始者アンリ・デュナン生家、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際博物館、WHO、UNHCR、ジュネーブ大学博物館その他)、ローザンヌ(本学提携校 訪問、その他)などを予定。現地での移動は公共交通機関やバスを予定。
4. 新型コロナ感染拡大の状況により開催しないことがある。

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

事前学習において、適宜赤十字の誕生・歴史に関する書籍を提示する。

■ フィードバックの仕方

演習中、各日の終わりにミーティングを実施し、プログラムの振り返りを行い、教員から適宜フィードバックを行う。

■ 他の授業科目との関連

- 1 年次前期の赤十字概論の内容を基礎に実施する。本演習の参加者は赤十字国際活動論の受講がのぞましい。

■ 成績評価の仕方

1. 研修への取り組み 50 %
2. 報告書(レポート)提出 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

月曜 12:30~13:00 角田(410 研究室)

■ 受講上の注意事項

演習期間中の訪問先では英語による説明が多くなるため、参加までに英語力の自己研鑽に努めること。

哲学と倫理

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBHU400

○榊原 哲也

■授業の目的

看護師になるための学びの最終年度にあたり、「看護」がどのような人間の営みであるのかを、哲学と倫理の思想を手がかりにして見つめ直す。近年、看護研究や看護実践において注目されている「現象学」という哲学について学び、看護の営みとその倫理について考える。

■到達目標

1. 看護の営みを考えるための哲学と倫理の思想について、その基本的な論点を説明できる。
2. 現象学的看護理論および「ケアの倫理」について、その基本的な論点を説明できる。
3. 患者を全人的に理解し尊重する「看護」について、自ら考える基礎的能力を身につける。

■学習の進め方

- ・授業は対面講義またはオンライン双方向型講義で行い、どちらの場合も適宜、学生同士でディスカッションできる時間を可能な限り設ける。
- ・毎回、授業終了後に、授業に関する感想や質問をリアクションペーパーまたはメールで提出してもらうことで、授業内容の振り返りができるようにし、次の授業では感想を紹介したり、質問に回答したりすることで、学生同士が学びを深められるようにする。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション：看護のための哲学と倫理——「どのような看護師になりたいのか」「そのためには何が必要か」 事前学修：[30分] 講義概要およびテキストに目を通しておく 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
2	「疾患」と「病い」：人はどのように病気を経験するのか 事前学修：[30分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
3	医学はどのように人間を見るのか 事前学修：[30分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
4	医学の見方では見えないもの：自然科学的思考の問題点 事前学修：[30分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
5	患者の「病い」体験を理解するために：現象学という哲学の導入 事前学修：[30分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
6	フッサールの現象学：人は意味の世界に生きている 事前学修：[30分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
7	ハイデガーの現象学：人間の本質はケアすることにある 事前学修：[30分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
8	ハイデガーの現象学：この世に生まれ、生き、そして死ぬということ 事前学修：[30分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
9	メルロ＝ポンティの現象学：普段の生活において私たちの身体はどのような働きをしているのか 事前学修：[30分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
10	ベナーの現象学的人間観：身体化した知性／背景の意味 事前学修：[30分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原

No	内容	形式	教員
11	ベナーの現象学的人間観：気遣い・関心 事前学修：[30 分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
12	ベナーの現象学的人間観：状況／時間性 事前学修：[30 分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
13	ベナーの現象学的看護理論：well-being を目指す 事前学修：[30 分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
14	ケアの倫理と正義の倫理 事前学修：[30 分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
15	まとめ：看護ケアのための哲学と倫理 事前学修：[30 分] 前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／振り返り ／ディスカッション	榊原

■ 教科書

榊原哲也 (2018). 医療ケアを問いなおす一患者をトータルにみることの現象学. ちくま新書.

■ 参考書、参考資料等

西村ユミ・榊原哲也編著 (2017). ケアの実践とは何か：現象学からの質的研究アプローチ. ナカニシヤ出版.

Benner, P. & Wrubel, J. (1989) / 難波卓志訳 (1999). 現象学的人間論と看護. 医学書院.

その他は授業中に指示する。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

2 年次開講の「生命倫理」と密接な関係にあり、「生命倫理」が看護ケアにおいてどのように位置づけられるのかが、本講義で明らかになります。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 30 % 2. 期末レポート 70 %

■ オフィスアワー・研究室等

対面授業の場合は授業終了後に対面で、オンライン双方向型授業の場合は終了後に Zoom またはメールで、質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

履修前に必要な予備知識は特にありませんが、2 回目以降の授業では、教科書をよく読むとともに、前回の授業内容をよく復習して臨んでください。

生命倫理

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年・編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」擁護 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：HBHU350

○神原 哲也

■ 授業の目的

医療技術の進歩に伴い、現代の医療現場はさまざまな生命倫理上の諸問題に直面しているが、本講義では、生命倫理をその歴史的・思想的背景から学び、生殖補助医療、人工妊娠中絶、臓器移植という3つの問題にテーマを絞り、具体的に考察を深める

■ 到達目標

1. 生命倫理の歴史的・思想的背景について説明できる。
2. 生殖補助医療、人工妊娠中絶、臓器移植というテーマについて、現状がどうであり、そこにどのような生命倫理上の問題があるのかを説明することができる。
3. 生命倫理上の諸問題に対して、看護がどうあるべきかを学生が自ら考える基礎的能力を身につける

■ 学習の進め方

1. 授業の展開： 対面またはオンライン双方向型で、主として講義形式で授業は進められるが、テーマごとに、学生同士でディスカッションしたり意見交換ができる時間を授業時間内に設ける。また毎回、リアクションペーパーまたは Glexa を通じて、学生が感想や質問を記入して提出することで、学習内容を振り返ることができるようにし、さらに次の授業では質問に回答して学生が学びを深められるようにするとともに、主な感想を紹介することによって、学生相互の学びができるように配慮する。
2. 参考資料の提示： 授業中に配布される資料や、指示される参考文献、インターネット情報を通じて、事前や事後に学生が自主的に学習を進められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	生命倫理とは何か——その歴史的・思想的背景 事前学修：[30 分] シラバスをよく読んで授業に臨む 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	神原
2	生殖補助医療をめぐる諸問題——人工授精と体外受精 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	神原
3	生殖補助医療をめぐる諸問題——代理出産 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	神原
4	人工妊娠中絶をめぐる諸問題 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	神原
5	出生前診断をめぐる諸問題 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	神原
6	脳死と臓器移植をめぐる諸問題——歴史的経緯 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	神原
7	脳死と臓器移植をめぐる諸問題——臓器移植法の改正をめぐって 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	神原
8	まとめ——ケアの倫理と正義の倫理 事前学修：[30 分] 指示された参考文献を読んで、要点をノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	神原

■教科書

特に用いない。そのつど、資料を配布する。

■参考書、参考資料等

赤林朗編 (2017). 入門・医療倫理 I〔改訂版〕. 勁草書房.
その他は、授業中に指示する。

■フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■他の授業科目との関連

この授業の学習内容のうち、「生殖補助医療をめぐる諸問題」と「人工妊娠中絶をめぐる諸問題」は、「発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護①)」と関係している。また「出生前診断をめぐる諸問題」は、「遺伝と遺伝カウンセリング」と関係している。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 25 % 2. 期末の筆記試験 75 % (オンライン双方向型授業の場合は変更の可能性あり。その場合は事前に告知する。)

■オフィスアワー・研究室等

対面授業の場合、授業終了後に教室またはラウンジで質問を受け付ける。オンライン双方向型授業の場合は、Glexa を通じて質問を受け付ける。

■受講上の注意事項

自ら積極的に考える主体的な学習態度を望みます。

生命倫理

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」擁護 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBHU350

○神原 哲也

■ 授業の目的

医療技術の進歩に伴い、現代の医療現場はさまざまな生命倫理上の諸問題に直面しているが、本講義では、生命倫理をその歴史的・思想的背景から学び、生殖補助医療、人工妊娠中絶、臓器移植という3つの問題にテーマを絞り、具体的に考察を深める

■ 到達目標

1. 生命倫理の歴史的・思想的背景について説明できる。
2. 生殖補助医療、人工妊娠中絶、臓器移植というテーマについて、現状がどうであり、そこにどのような生命倫理上の問題があるのかを説明することができる。
3. 生命倫理上の諸問題に対して、看護がどうあるべきかを学生が自ら考える基礎的能力を身につける

■ 学習の進め方

1. 授業の展開： 対面またはオンライン双方向型で、主として講義形式で授業は進められるが、テーマごとに、学生同士でディスカッションしたり意見交換ができる時間を授業時間内に設ける。また毎回、リアクションペーパーまたは Glexa を通じて、学生が感想や質問を記入して提出することで、学習内容を振り返ることができるようにし、さらに次の授業では質問に回答して学生が学びを深められるようにするとともに、主な感想を紹介することによって、学生相互の学びができるように配慮する。
2. 参考資料の提示： 授業中に配布される資料や、指示される参考文献、インターネット情報を通じて、事前や事後に学生が自主的に学習を進められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	生命倫理とは何か——その歴史的・思想的背景 事前学修：[30 分] シラバスをよく読んで授業に臨む 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	神原
2	生殖補助医療をめぐる諸問題——人工授精と体外受精 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	神原
3	生殖補助医療をめぐる諸問題——代理出産 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	神原
4	人工妊娠中絶をめぐる諸問題 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	神原
5	出生前診断をめぐる諸問題 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	神原
6	脳死と臓器移植をめぐる諸問題——歴史的経緯 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	神原
7	脳死と臓器移植をめぐる諸問題——臓器移植法の改正をめぐる 事前学修：[30 分] 配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	神原
8	まとめ——ケアの倫理と正義の倫理 事前学修：[30 分] 指示された参考文献を読んで、要点をノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	神原

■教科書

特に用いない。そのつど、資料を配布する。

■参考書、参考資料等

赤林朗編 (2017). 入門・医療倫理 I〔改訂版〕. 勁草書房.
その他は、授業中に指示する。

■フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■他の授業科目との関連

この授業の学習内容のうち、「生殖補助医療をめぐる諸問題」と「人工妊娠中絶をめぐる諸問題」は、「発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護①)」と関係している。また「出生前診断をめぐる諸問題」は、「遺伝と遺伝カウンセリング」と関係している。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 25 % 2. 期末の筆記試験 75 % (オンライン双方向型授業の場合は変更の可能性あり。その場合は事前に告知する。)

■オフィスアワー・研究室等

対面授業の場合、授業終了後に教室またはラウンジで質問を受け付ける。オンライン双方向型授業の場合は、Glexa を通じて質問を受け付ける。

■受講上の注意事項

自ら積極的に考える主体的な学習態度を望みます。

心理学Ⅱ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBHU250

○遠藤 公久

■ 授業の目的

本授業では、自己について学び、適応との関連について理解する。また、心の健康を理解するうえで重要な個人差の側面(性格や知能)そしてストレスの心理学について理解する。さらに、医療心理学の側面から、カウンセリングの基礎と医療コミュニケーションの基礎について学ぶ。

■ 到達目標

1. 自己の認知的、情緒的側面、そして行動的側面について説明できる。
2. 人格や知能と心の健康について理解し、ストレスと適応行動との関連について説明できる。
3. 医療場面における心理的支援として、コミュニケーションやカウンセリングの基本的考えについて理解し説明できる。

■ 学習の進め方

基本的に講義形式と課題への取り組みから構成される。授業と関連する課題に取り組むことで、授業理解を深めると共に、自己理解につなげる。また、その課題をもとに、レポートにまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	I-1 自己の心理学1：自己概念と適応 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[15分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
2	I-2 自己の心理学2：自己意識と適応(抑うつと自己注目) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
3	I-3 自己の心理学3：自己評価と自尊感情 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
4	I-4 自己の心理学4：社交不安と自己呈示 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
5	I-5 自己の心理学5：心身の健康(トラウマ)と自己開示 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
6	II-1 心の健康の心理学1：性格とは何か 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
7	II-2 心の健康の心理学2：性格のアセスメント (YG 性格検査と Big Five Inventory と GHQ) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
8	II-3 心の健康の心理学3：性格の形成とその人らしさ 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
9	II-4 心の健康の心理学4：ストレスと心の健康(ストレスを力に変えるためには) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
10	II-5 心の健康の心理学5：心の回復力(レジリエンスについて) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
11	III-1 医療場面の心理学1：医療コミュニケーションの概要 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤

No	内容	形式	教員
12	Ⅲ-2 医療場面の心理学2：医療コミュニケーションの基礎1（コミュニケーションとは何か） 事前学修：[10 分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30 分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
13	Ⅲ-3 医療場面の心理学3：医療コミュニケーションの基礎2（傾聴と敬聴－カウンセリングの基本的考えと技法1） 事前学修：[10 分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30 分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
14	Ⅲ-4 医療場面の心理学4：医療コミュニケーションの基礎3（傾聴と敬聴－カウンセリングの基本的考えと技法2） 事前学修：[10 分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30 分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
15	Ⅲ-5 医療場面の心理学5：医療コミュニケーションの基礎4（アサーションの上手な使い方） 事前学修：[10 分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30 分] 15 回全体を見直し、レポートに備える	講義・討論	遠藤

■ 教科書

適宜配布する。

■ 参考書、参考資料等

遠藤公久 (2019). 看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する. 弘文堂.

■ フィードバックの仕方

レポート結果は、3 月中にいつでも返却しますので、希望者は研究室まで来てください。

■ 他の授業科目との関連

この授業履修希望者は、心理学Ⅰを履修していることが望ましい。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(10 %) 2. 毎回のコメント(30 %) 3. レポート(60 %)によって行なう。

■ オフィスアワー・研究室等

木曜日 12：30～13：00 遠藤公久(さいたま共同研究室：470) メール：k-endo@redcross.ac.jp

■ 受講上の注意事項

遠隔授業に切り替わる可能性あり。その際は事前に告知する。

心理学Ⅱ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 実務経験がある教員：－
科目ナンバー：HBHU250

○遠藤 公久

■授業の目的

本授業では、自己について学び、適応との関連について理解する。また、心の健康を理解するうえで重要な個人差の側面(性格や知能)そしてストレスの心理学について理解する。さらに、医療心理学の側面から、カウンセリングの基礎と医療コミュニケーションの基礎について学ぶ。

■到達目標

1. 自己の認知的、情緒的側面、そして行動的側面について説明できる。
2. 人格や知能と心の健康について理解し、ストレスと適応行動との関連について説明できる。
3. 医療場面における心理的支援として、コミュニケーションやカウンセリングの基本的考えについて理解し説明できる。

■学習の進め方

基本的に講義形式と課題への取り組みから構成される。授業と関連する課題に取り組むことで、授業理解を深めると共に、自己理解につなげる。また、その課題をもとに、レポートにまとめる。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	I-1 自己の心理学1：自己概念と適応 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
2	I-2 自己の心理学2：自己意識と適応(抑うつと自己注目) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
3	I-3 自己の心理学3：自己評価と自尊感情 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
4	I-4 自己の心理学4：社交不安と自己呈示 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
5	I-5 自己の心理学5：心身の健康(トラウマ)と自己開示 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
6	II-1 心の健康の心理学1：性格とは何か 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
7	II-2 心の健康の心理学2：性格のアセスメント (YG 性格検査と Big Five Inventory と GHQ) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
8	II-3 心の健康の心理学3：性格の形成とその人らしさ 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
9	II-4 心の健康の心理学4：ストレスと心の健康 (ストレスを力に変える) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
10	II-5 心の健康の心理学5：心の回復力(レジリエンスについて) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤

No	内容	形式	教員
11	Ⅲ-1 医療場面の心理学1：医療コミュニケーションの概要 事前学修：[10 分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30 分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
12	Ⅲ-2 医療場面の心理学2：医療コミュニケーションの基礎1（コミュニケーションとは何か） 事前学修：[10 分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30 分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
13	Ⅲ-3 医療場面の心理学3：医療コミュニケーションの基礎2（傾聴と敬聴－カウンセリングの基本的考えと技法1） 事前学修：[10 分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30 分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
14	Ⅲ-4 医療場面の心理学4：医療コミュニケーションの基礎3（傾聴と敬聴－カウンセリングの基本的考えと技法2） 事前学修：[10 分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30 分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
15	Ⅲ-5 医療場面の心理学5：医療コミュニケーションの基礎4（アサーションの上手な使い方） 事前学修：[10 分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30 分] 15 回全体を見直し、レポートに備える	講義・討論	遠藤

■教科書

適宜配布する。

■参考書、参考資料等

『看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する』（弘文堂）（遠藤公久編著）2019 年

■フィードバックの仕方

レポート結果は、3 月中にいつでも返却しますので、希望者は研究室まで来てください。

■他の授業科目との関連

この授業履修希望者は、心理学Ⅰを履修していることが望ましい。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(10%) 2. 毎回のコメント(30%) 3. レポート(60%)によって行なう。

■オフィスアワー・研究室等

木曜日 12：30～13：00 遠藤公久（さいたま共同研究室：470） メール：k-endo@redcross.ac.jp

■受講上の注意事項

遠隔授業に切り替わる可能性あり。その際は事前に告知する。

生活環境論

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」連携 「3」変化 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBHU251

○石田 千絵、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地、吉川 悦子

■授業の目的

環境と人の生活、その相互作用について広く考え、環境が健康や暮らしに与える影響とそのアセスメント方法について学習を深める。また、実際に特設の地域を歩き、地域のアセスメントを通じて、公衆衛生的視点から地域の強みと弱み、課題を探究する。

■到達目標

1. 人間の生活と環境の関係、環境が健康にもたらす影響を説明できる。
2. 特定地域の生活環境をアセスメントし、人びとの健康に影響を与える具体的な視点について説明できる。

■学習の進め方

AL

講義・演習・GW・発表

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	健康な暮らしと環境/オリエンテーション 事前学修：[15分] 健康な暮らしとは何かを考え、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 配布資料を読み返し学びを深める	講義	石田、未定
2	健康と環境のアセスメント① 演習の説明 事前学修：[15分] 健康な暮らしを支える環境について考え、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 配布資料を読み返し、演習の計画を立てる	講義・演習	全員
3	健康と環境のアセスメント② 地区踏査 事前学修：[15分] 地区踏査の方法について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 地区踏査の結果を要約しまとめる	演習.GW	全員
4	健康と環境のアセスメント③ 地区踏査 事前学修：[15分] 地区踏査の結果と地区の特徴について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 地域の特徴としての強みと弱みを抽出する	演習.GW	全員
5	健康と環境のアセスメント④ 地区踏査、まとめ 事前学修：[15分] 地区踏査の結果と地域の特徴(強み・弱み)を要約する 事後学修：[30分] 地区踏査の結果と地域の特徴(強み・弱み)を見直す	演習.GW	全員
6	健康と環境のアセスメント⑤ 地区踏査、発表準備 事前学修：[15分] 地区踏査の結果と地域の特徴(強み・弱み)の発表資料原稿を作成する 事後学修：[30分] 発表の配布資料を作成する	演習.GW	全員
7	健康と環境のアセスメント⑥ 発表 事前学修：[20分] パワーポイントでの発表の準備を行う 事後学修：[20分] 発表資料を見直し、学びを深める	演習.GW	全員
8	健康と環境のアセスメント⑦ まとめ 事前学修：[30分] 健康な暮らしと環境について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 演習で得た学びを考察する	講義	全員

■教科書

佐伯和子編著、地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版、医歯薬出版株式会社(最新版)

■参考書、参考資料等

厚生労働統計協会：国民衛生の動向(最新版)

環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書(最新版)

■フィードバックの仕方

グループ発表については、担当の教員がその場で講評をする。

■他の授業科目との関連

看護全般の基本となる科目である。特に、公衆衛生看護、在宅看護、災害看護の基盤となる。

■ 成績評価の仕方

演習への取り組みと発表(80 %)、提出資料(20 %)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00

石田(432 研究室) 井口(424 研究室) 吉川(425 研究室) 西田(452 研究室) 佐藤(445 研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻・欠席は演習の取り組み不十分とみなし、「評価：演習の取り組みと発表(80 %)」の減点対象となります。なお、遠隔授業に切り替わる可能性があります、その際は事前に告知します。

障がい論

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年・編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」連携 「2」擁護 「3」実践 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBHU351

○坂口 千鶴、山内 朋子、鈴木 健太、堀井 湖浪、鷹野 朋実、西田 志穂、佐藤 太地、池田 良輔子

■ 授業の目的

国内外の様々な学問領域の視点から障がいを捉え、その基本的内容や枠組みの概要を理解し、わが国における今日的な障がい児・者問題の課題を各自が主体的に考える。

■ 到達目標

1. 国内外の様々な学問領域の視点をもとに障がいを説明することができる。
2. 障がいのある人の尊厳と権利を倫理的な視点から説明することができる。
3. 障がいのある人のもつ能力について理解でき、その能力を活かした看護実践について説明できる。
4. 共生する社会の実現に向けて、新たな看護の役割を説明することができる。

■ 学習の進め方

AL 各看護領域の教員がオムニバスで講義を担当するが、その中でグループ討議や個別の問いかけを随時入れていく。グループ討議等では積極的に学生同士で意見交換をしながら理解を深めていく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション / 障がいて何？ 障がいの喜びと苦悩 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業までに提出)	講義・討論	坂口
2	障がいをもちながら成長発達すること / 「自立と共生」 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業までに提出)	講義・討論	山内
3	地域における障がい者 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業までに提出)	講義・討論	未定
4	リハビリテーションの概念と ICF (国際生活機能分類) 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業までに提出)	講義・討論	鷹野
5	発達障がいのある子どもと家族 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業までに提出)	講義・討論	鈴木
6	障がいを抱える人の自立支援～セルフヘルプグループの視点から～ 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業までに提出)	講義・討論	堀井
7	障がいと雇用 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業までに提出)	講義・討論	未定
8	高齢者と障がい 事前学修：[30 分] 事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを作成する(次回授業までに提出)	講義・討論	池田

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

授業中に適宜参考文献を紹介する。

■ フィードバックの仕方

事前学習の内容とリフレクションペーパーのフィードバックは、各担当教員が最終授業終了後 1 ヶ月以内に Glexa 上にてコメントとともに返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

母性、小児、精神保健、成人、老年、地域等各看護学領域と関連づけながら、障がいに関心をもち、焦点を当てた学習内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20 % 2. 事前学習の内容・リフレクションペーパー 80 % (Glexa 上に提出)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日当日 12:30～13:00 坂口(414 研究室)・鷹野(428 研究室)・堀井(428 研究室)・山内(443 研究室)・未定(研究室)・未定(研究室)・池田(450 研究室)・鈴木(453 研究室)

社会学Ⅱ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」関係 「3」変化 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBSS250

○鷹田 佳典

■授業の目的

私たちは日常で起こる出来事を、しばしば「個人的な事柄」と考えがちです。しかし、一見何気ない日常の一コマも、実は大きな歴史の流れやマクロな社会構造と深く関わっています。したがって、私たちの生きるこの現実を理解するためには、こうした個人と社会の相互規定関係を捉える姿勢が求められます。このように、個人的な事象を社会全体と結びつけて考える能力を、社会学では「社会学的想像力」(ミルズ)と言います。社会学的想像力は、将来、医療専門職者として働く際にも役に立つはずで、そこで本講義では、さまざまなテーマを取り上げながら、社会学的想像力の涵養を目指します。

■到達目標

1. さまざまな社会領域で起きている事柄についての関心を深める。
2. 社会学の基礎概念を理解する。
3. 個人と社会を結び付けて考える「社会学的想像力」を身につける。

■学習の進め方

授業は講義形式を中心に、一部受講者同士のディスカッションを取り入れた形で行います。授業終了後にリアクションペーパーを提出してもらいます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション：社会学的想像力とは何か 事前学修：[30分] 最近の気になるニュース記事を二つ切り抜いておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
2	ガラスの天井：女性の社会進出を阻む見えない壁 事前学修：[30分] 女性の大統領や首相がどれくらいいるか調べ、ノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
3	男らしさという檻：男はつらいよ？ 事前学修：[30分] どんな行為が男らしいとされているかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
4	やりがい搾取：やりがいに潜む罠 事前学修：[30分] 個人事業主という働き方について調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
5	ブルシットジョブ：どうでもいい仕事／不可欠な仕事 事前学修：[30分] エッセンシャルワーカーと呼ばれる人たちの仕事の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
6	ダウンシフト：頑張らない生き方の広がり 事前学修：[30分] 普段どんなものを他者とシェアしているのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
7	ベーシックインカム：お金がただでもらえる？ 事前学修：[30分] ベーシックインカムのメリットとデメリットについて調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
8	健康至上主義：健康という義務 事前学修：[30分] 健康に気をつけていることをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
9	健康格差：不健康は自己責任か？ 事前学修：[30分] 人々の健康状態に影響を与える要因をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田

No	内容	形式	教員
10	スティグマ：なぜ感染者はバッシングを受けるのか 事前学修：[30 分] コロナ患者に対する誹謗中傷がなぜ起きるのか、考えをノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
11	バイオグラフィーの混乱：寛解者の社会を生きる 事前学修：[120 分] 闘病記を 1 冊読んで、感想をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
12	継続する絆：SNS 上で生き続ける死者 事前学修：[30 分] 自分が亡くなった後の SNS の管理について考えをまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
13	曖昧な喪失：行方不明者遺族の苦しみ 事前学修：[30 分] 悲嘆についてどのようなモデルがあるのかを調べ、特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
14	孤独死：孤独死は自己決定として尊重されるのか 事前学修：[30 分] 日本における孤独死の発生状況を調べ、ノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田
15	終活：自分らしい死？ 事前学修：[30 分] 終活がなぜこれほど関心を集めているのか、その理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義・演習	鷹田

■ 教科書

特定の教科書は試用しません。

■ 参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、レポート提出から 1 か月以内に、コメントをつけて Glexa で返却します。

■ 他の授業科目との関連

社会学 I、家族社会学と関連します。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(40%)、レポート(60%)

■ オフィスアワー・研究室等

Glexa で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

遠隔授業に切り替わる可能性があります。その際は事前に告知します。

社会保障論

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」関係 「2」連携 「3」擁護 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBSS300

○奥貫 妃文

■授業の目的

「社会保障」は、「個人」という枠を超えて「社会連帯」に皆が参加することで、社会全体の安定性を保つという考えが共有されることで成り立っています。つまり、「社会保障論」を学ぶことは、単なる制度の理解に留まらず、私たちの社会のあり方そのものを考えることでもあります。したがって、まずは社会への幅広い視野と問題意識をもつことが、この授業における最大の目的となります。さらに、看護大学の学生として、将来、医療・福祉現場で働く際に、最低限身につけておくべき社会保障制度を正確に理解したうえで、ケアや当事者の生活の質を高め、社会復帰をより円滑に進められるようになることをめざします。

■到達目標

まずは社会保障制度の全体像を把握することが第1の目標となります。第2に、法律用語に慣れ、頻繁に変わる法改正の動向をフォローすること、最後に、現在の社会保障制度に対する自らの見解を持ち、それを客観的、論理的に第三者に伝えられる文章作成能力を身につけることとなります。

■学習の進め方

この授業は講義形式で進めていきます。現在進行形で動いている日本の社会保障制度の全体像を学びながら、とりわけ今日的でかつ重要と思われるテーマをピックアップして話をします。

具体的には、学説や裁判例、社会保障に関わる新聞記事やトピックを素材に、問題の所在を明らかにしたうえで、いかに制度の改善を図るべきか、共に考えます。なお、複雑な制度をなるべくシンプルに理解できるように、原則として人の誕生から高齢期に至るまでの「人間のライフステージ」に沿いながら授業を進めます。

※原則、対面授業形態を前提としますが、同時に遠隔授業形態(Glexaでのオンデマンド型、TeamsやZoomを使用した同時双方向型またはその併用)も確保します。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション：社会保障論を学ぶ意義・看護師がもつべき社会保障制度の知識とは 事前学修：[30分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	講義	奥貫
2	総論：社会保障制度の全体像とその理念、目的、意義・社会保障関連法の立法の歴史 事前学修：[30分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	講義	奥貫
3	児童に関わる法制度：児童手当・児童扶養手当・児童虐待防止法・親権停止制度 事前学修：[30分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	講義	奥貫
4	年金制度：国民年金・厚生年金 事前学修：[30分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	講義	奥貫
5	健康保険制度：国民健康保険・健康保険 事前学修：[30分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	講義	奥貫

No	内容	形式	教員
6	高齢者福祉制度：介護保険・介護予防・老老介護の現状・介護労働者の労働問題 事前学修：[30 分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30 分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	講義	奥貫
7	障害のある人に関わる法制度：障害年金、障害者総合支援法、障害者雇用 事前学修：[30 分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30 分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	講義	奥貫
8	貧困政策：貧困の現状(子どもの貧困、若者の貧困、女性の貧困、高齢者の貧困)・生活保護制度 事前学修：[30 分] 該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：[30 分] 配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	講義	奥貫

■教科書

使用しません。適宜レジュメを配付します。

■参考書、参考資料等

- ・健康保険組合連合会編『社会保障年鑑』(東洋経済新報社、各年発行)
- ・独立行政法人福祉医療機構ウェブサイト「WAM NET(ワムネット)」<http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/>

■フィードバックの仕方

ポータルにて一定期間解説資料を公開する。

■他の授業科目との関連

障がい論、看護関係法規、母性・小児・老年・精神保健看護学とも関連があります。

■成績評価の仕方

学期末に、筆記試験実施。筆記試験未受験者は単位取得できません。

平常の授業態度(55 %)、筆記試験(45 %)

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後、質問を受け付けます。

■受講上の注意事項

疑問点は、早い内に解消するように心がけてください。分からないことを分からないまま放置しないよう留意してください。

「社会保障」制度は、社会の成員全体の生活の安定を図るためにあります。社会保障を学ぶということは、私たち一人一人が将来どんな社会を望むのか、常に考え続けることでもあります。ぜひ、幅広い視野と柔軟な心をもって授業に臨んでください。

家族社会学

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」変化 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBSS251

○宮下 阿子

■ 授業の目的

「家族」は、身近な存在だからこそ、客観的に捉えることが難しいものです。この授業では、現代社会における「家族」を把握するために、家族社会学の基本的な概念や理論を学ぶとともに、データや事例を通して、家族に関連する現象や問題を社会的な視点から考察することを目的とします。授業を通じて、家族社会学の基礎的な知識を得るだけでなく、広い視野から「家族」を捉える／考える契機にしてほしいです。

■ 到達目標

- 1) 家族社会学における基本的な概念を理解し、それを説明することができる。
- 2) 家族に関連するデータを読み取り、それを説明することができる。
- 3) 家族に関連する現象や問題を社会的に捉えること／考えることができる。

■ 学習の進め方

AL：授業は「講義」を中心に進めますが、授業の進行状況を見ながら、適宜「GW」(グループディスカッションなど)を取り入れます。また、授業終了後にコメントペーパーを提出してもらいます。コメントペーパーは、感想や質問のほか、こちらで内容を指示して何か書いてもらうこともあります。授業の中で、必要に応じて、感想の紹介や質問への応答を行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	家族社会学の基礎を学ぼう(1):「家族」をどう捉えるか 事前学修：[30分]「自分にとって家族とは誰か? その理由は?」自分の考えを A4 用紙(400字程度)にまとめる。 事後学修：[30分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義	宮下
2	家族社会学の基礎を学ぼう(2):「生活」をどう捉えるか 事前学修：[30分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修：[30分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義	宮下
3	近代家族の成立と変容(1): 近代家族とは何か 事前学修：[30分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修：[30分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義	宮下
4	近代家族の成立と変容(2): 人口構造や家族構造の変化を読み取る 事前学修：[30分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修：[30分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義(オンデマンド)	宮下
5	家族とジェンダー(1): ジェンダーとは何か 事前学修：[30分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修：[30分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義	宮下
6	家族とジェンダー(2): 身近なもの／ことを題材として 事前学修：[30分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修：[30分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義・GW	宮下
7	家族の形成(1): 結婚と配偶者選択、パートナーシップの多様化 事前学修：[30分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修：[30分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義・GW	宮下
8	家族の形成(2): 離婚・再婚、貧困問題 事前学修：[30分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修：[30分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義	宮下
9	家族とケア(1): 少子高齢社会の現状と課題(育児) 事前学修：[30分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修：[30分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義	宮下
10	家族とケア(2): 少子高齢社会の現状と課題(介護) 事前学修：[30分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修：[30分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義	宮下

No	内容	形式	教員
11	家族とケア(3): 育児・介護を考える 事前学修: [30 分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修: [30 分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義・GW	宮下
12	家族の形成(3): 性と生殖の関係性はどうか変化しているか 事前学修: [30 分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修: [30 分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義(オンデマンド)	宮下
13	家族とケア(4): 病い・障がいを生きる当事者とその家族 事前学修: [30 分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修: [30 分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義	宮下
14	家族とケア(5): 病い・障がいを生きる当事者とその家族 事前学修: [30 分] 前回指定された課題に取り組む。 事後学修: [30 分] 資料を読み返し、自分なりに内容を整理し説明できるようにしておく。	講義・GW	宮下
15	まとめ: 授業を振り返る 事前学修: [30 分] 前回までの授業を振り返り、ひととおり理解できているかを確認する。 事後学修: [30 分] 試験に向けて、授業内容を復習しておく。	講義	宮下

■ 教科書

教科書は使用しません。毎回資料を配布します。

■ 参考書、参考資料等

授業中に適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説を行います。

■ 他の授業科目との関連

社会学Ⅰ・Ⅱと関連しています。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(50%)と定期試験(50%)により総合的に評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室、もしくは電子メールで質問を受け付けます。教員の連絡先は「初回」にお知らせします。

世界の文化と宗教

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」擁護 「3」国際貢献 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBSS200

○佐藤 眞

■ 授業の目的

ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教など世界の宗教について学ぶ。それぞれの宗教の信仰、価値観、人間観などを理解する。それぞれの宗教によって成立した文化や社会の過去と現在について理解する。

■ 到達目標

1. さまざまな宗教的背景、文化的背景を持つ人々を理解することができる。
2. 宗教を持つ人々の価値観、人間観、人生観、社会観などを尊重する態度を持つことができる。
3. 日本人、日本、日本の文化や宗教について考えを深める。

■ 学習の進め方

1. 授業展開：
開講時に配布される冊子に挙げられている世界の文化や宗教に関する項目を学生が調べ、「発表」する。
発表に関する「討論」によって理解を深める。
学生の発表後教員によるその宗教の全体像や特徴などの「講義」を聞く。
毎週授業後に配布される「課題」にその授業に関する内容を記述し、提出する（「宿題」）。
2. 見学：
いくつかの宗教については、その宗教施設を訪問する（「フィールドワーク」）
※基本は対面授業だが、課題提出や場合によっては授業内容を Glexa を使ったのオンデマンド型とすることもある。Zoom を使用した同時双方向型または対面との併用ですすめる可能性も考えられる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	宗教と文化の関係を考える 事前学修：[15 分] 現在までの自分と宗教の関わりについて考える。 事後学修：[15 分] 課題 1：配布される「自分自身と宗教文化」に記述、提出。	講義	佐藤
2	ユダヤ教とその文化(1)「ユダヤ教の聖典」「ユダヤ教の祭儀」「ユダヤ教徒の教え」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「ユダヤ教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[15 分] 課題 2：配布される「ユダヤ教 1」に記述、提出。	講義	佐藤
3	ユダヤ教とその文化(2)「ユダヤ教徒の生活」「シナゴグ」「ユダヤ人と学問・芸術」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「ユダヤ教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[15 分] 課題 3：配布される「ユダヤ教 2」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
4	キリスト教とその文化(1)「キリスト教の聖典」「キリスト教の祭儀」「イエス・キリスト」「キリスト教の教え」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「キリスト教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[15 分] 課題 4：配布される「キリスト教 1」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
5	キリスト教とその文化(2)「パウロ」「キリスト教の諸派」「建築としての教会」「キリスト教芸術」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「キリスト教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[15 分] 課題 5：配布される「キリスト教 2」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
6	ユダヤ教のシナゴグ訪問 事前学修：[30 分] 授業で学んだことを振り返り、見学時に質問する内容を考え、記録しておく。 事後学修：[15 分] 配布される「見学レポート 1」に記述、提出。	フィールドワーク	佐藤
7	イスラム教とその文化(1)「イスラム教の聖典」「イスラム教の祭儀」「ムハンマド」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「イスラム教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[15 分] 課題 6：配布される「イスラム教 1」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤

No	内容	形式	教員
8	イスラム教と文化(2)「イスラム教徒の生活」「イスラム教の広がり」「イスラム教の諸派」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「イスラム教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[15 分] 課題 7：配布される「イスラム教 2」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
9	イスラム教のモスク訪問 事前学修：[30 分] 見学時に質問する内容を考え、記録しておく。 事後学修：[15 分] 配布される「見学レポート 2」に記述、提出。	フィールドワーク	佐藤
10	インドの宗教と文化(1)「仏教の教え」「ゴータマ・シッダルダ」「仏教の広がり」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「インドの宗教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[15 分] 課題 8：配布される「インドの宗教 1」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
11	インドの宗教と文化(2)「ヒンドゥー教」「シーク教」「インドの宗教対立」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「インドの宗教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[15 分] 課題 9：配布される「インドの宗教 2」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
12	アジアの宗教と文化 「中国仏教」「道教」「フィリピンの宗教」「インドネシアの宗教」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「アジアの宗教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[15 分] 課題 10：配布される「アジアの宗教」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
13	日本の宗教と文化(1)「神道の祭儀」「神道の神・神社」「日本の神話」「国家神道」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「日本の宗教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[15 分] 課題 11：配布される「日本の宗教 1」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
14	日本の宗教と文化(2)「仏教の日本伝来」「遣唐使と仏教」「仏教の諸派とその教え」「檀家制度」「神仏習合」「廃仏毀釈」 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「日本の宗教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題 12：配布される「日本の宗教 2」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
15	日本の宗教と文化 (3)「天理教」「創価学会」「大本教」「PL 教団」「幸福の科学」「立正佼成会」「世界基督教統一神霊協会」 事前学修：[30 分] この授業で学んだことを振り返る。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[15 分] 課題 13：配布される「日本の宗教 3」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤

■ 教科書

使いません。必要な参考図書、辞典等は配布する冊子に記載されています。

■ 参考書、参考資料等

必要な図書、資料は配布する冊子に記載されています。

■ フィードバックの仕方

「課題」について次週に振り返りを行います。

「期末レポート」の題材は配布冊子の「レポートタイトル例」を参考に学生が選び、参考図書、レポートの内容について助言します。またレポートはコメントをつけて Glexa を利用して返却します。

■ 他の授業科目との関連

「基礎ゼミ I」、「社会学 I」、「国際看護学 I」、「国際看護学 II」等の科目と関連があります。

■ 成績評価の仕方

課題：20%、見学レポート：20%、発表：20%、期末レポート：40% を総合して評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

木曜日：2限、昼休み、4限、5限(4月14日から7月28日の間)は5階、557研究室において。または随時メールで質問を受け付けます。メールアドレス：m.sato@redcross.ac.jp

■ 受講上の注意事項

学外の宗教施設の訪問日時は先方との相談になりますので、授業の曜日、時間帯とは異なる場合があります。

医療と文化

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」変化 「2」国際貢献 「3」関係 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBSS252

○鈴木 勝己

■ 授業の目的

この授業はおもに医療人類学(medical anthropology)という学問領域を扱います。医療人類学は、人間の生老病死や健康に関する文化について学ぶ学問です。皆さんは恋人や友人、世代が異なる親や祖父母、外国人とのコミュニケーションに悩んだことはありませんか？ 性別・世代が違えば、外国語がしゃべれないから、うまくコミュニケーションがとれないのでしょうか？ おそらくそれだけではありません。これらはすべて文化の問題でもあるのです。文化とは食べものや衣服など具体的なモノだけではなく、私たちの考え方の癖、傾向でもあるのです。

この授業では、異文化コミュニケーションをひとつのテーマにしなが、私たちの生老病死や健康に関わる文化について考えていく授業を展開します。具体的に扱うテーマは、貧困、婚姻と出産、身体変工、家族、健康生成論、伝統医療、安楽死と尊厳死、仏教看護、エイズ、ALS（筋萎縮性側索硬化症）、介護と虐待などです。これらの課題を通して、私たちの健康に関する文化を考えていきます。どのトピックを掘り下げていくかは、皆さんの反応によって決めていきます。したがって、ただ授業を聞くだけではなく、関心のある話題については積極的に自分の考えや意見を述べてみてください。

医療人類学は、これまで私たちが慣れ親しんできた常識とは異なる視点を体得し、異文化コミュニケーションに役立つ社会的知性を養っていくことができます。医療・看護における円滑なコミュニケーション能力を向上させたい方、異文化を理解し国際医療援助に貢献することを目指す方を歓迎します。

■ 到達目標

この授業の具体的な目標は、以下の4項目です。

- 1) 異文化の理解：自分たちと異なる文化に生きる人びとを理解し、尊重する想像力を養う
- 2) コミュニケーション能力の向上：相互にわかりあうことは、言葉だけではないこと理解する
- 3) ケアマインドの育成：苦しみを抱える人びとに寄り添い、支援していく感性を養う
- 4) 総合的な人間理解：文系・理系の垣根を越えて総合的な人間理解を深めていく

■ 学習の進め方

授業は一方通行で知識を伝える講義形式ではありません。授業内容の感想を求める場合がありますので、その都度、考えることが求められます。また、皆さん同士の討論や意見交換を行いますので、ともに学ぶ意識が大切です。授業の順番は皆さんの興味関心によって変更する場合があります。授業内で映像資料を用いる場合、ドキュメンタリー映像や映画作品から「医療と文化」を考える内容になります。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション 事前学修：[15 分] 看護師を目指す理由を整理しておく。 事後学修：[15 分] 授業の注意事項と内容を確認しておく。	講義＋討論	鈴木勝己
2	医療人類学総論：医療人類学はどのような学問か？ 事前学修：[15 分] 「医療」、「健康」とはどのようなものか自分の考えを整理しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義＋討論	鈴木勝己
3	欧米の文化が一番いい？：文化相対主義の可能性 事前学修：[15 分] 「文化相対主義」の意味について調べておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
4	伝統医療と医療の歴史 事前学修：[15 分] 伝統医療のイメージを報告できるように整理しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
5	全人的医療モデル：心身症の理解 事前学修：[15 分] 「全人的医療モデル」について調べておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
6	社会的苦悩への着目 事前学修：[15 分] 自分の「社会的苦悩」について報告できるように用意しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
7	貧困と病気 事前学修：[15 分] 日本社会の最新の「貧困線」に関するデータを確認しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己

No	内容	形式	教員
8	妊娠・出産と家族 事前学修：[15 分] 妊娠・出産の適齢がいつであるか自分の考えを整理しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
9	映像資料その 1 事前学修：[15 分] 情報伝達において映像を用いることの長所と短所を整理しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義＋討論	鈴木勝己
10	映像資料その 2 事前学修：[15 分] 映像資料の「論点」が何であるかを読み取り、整理しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義＋討論	鈴木勝己
11	痛みと身体変工 事前学修：[15 分] 入れ墨・タトゥーの是非について自分の考えを整理しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
12	超高齢社会と介護 事前学修：[15 分] 介護経験や身近な介護事例について報告できるように整理しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
13	臨床死生学・デススタディーズの挑戦 事前学修：[15 分] 人間の「生老病死」について考えを整理しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
14	仏教看護：タイ・エイズホスピス寺院の事例から 事前学修：[15 分] エイズの感染経路およびスティグマの意味について調べておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
15	まとめ：看護と医療人類学 事前学修：[60 分] 最も関心が高い授業内容を説明できるように総復習し、整理しておく。 事後学修：[60 分] 各自で期末試験対策に取り組んでおく。	講義	鈴木勝己

■ 教科書

学生の興味や関心によって横断的に文献・参考資料を利用するため、特定の教科書は指定しない。参考文献については下記を参照。必要に応じてコピーを配布する。

■ 参考書、参考資料等

- ・『ヘルマン医療人類学：文化・健康・病い』C. ヘルマン著、金剛出版、2018
- ・『苦悩とケアの人類学』浮ヶ谷幸代(編)、世界思想社、2015
- ・『現代日本の「看取り文化」を構想する』浮ヶ谷幸代・山田慎也・田代志門(編)、東京大学出版会、2022
- ・「ALS を生きる者の尊厳」若林保子、早稲田大学人間科学部卒業論文、2021

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に口頭および解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

社会学Ⅰ、社会学Ⅱ、家族社会学と関連する。

■ 成績評価の仕方

授業への参加態度(30 %)、ミニレポート(30 %)、期末試験(40 %)の三項目を点数化して総合評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業の前後に個別の質問や相談、その他の連絡を受け付ける。また、電子メール (educcoach646@kurenai.waseda.jp) による質問・連絡も受け付ける。

■ 受講上の注意事項

この授業では、単に知識を習得するだけではなく、自分の頭と身体を使って考え、主体的に学ぼうとする意欲が求められる。

情報科学

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBIS250

○川崎 洋平

■ 授業の目的

保健統計学の授業で学んだ統計手法を実際のデータに適用できるように、コンピュータを用いたデータ解析を学ぶ。

■ 到達目標

1. 統計ソフトや EXCEL を用いて、グラフを描いたり、データを要約して、データの特性を把握できる。
2. 解析目的とデータの特性に適する統計手法を選択して、母数に関する推定および検定を行える。
3. 統計ソフトや EXCEL の出力から分析結果を読みとり、解釈できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：講義と演習を適宜行って、理解を着実にする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	EXCEL 操作の基本：データベースの作成 事前学修：[30 分] 保健統計学の復習、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
2	EXCEL 操作の基本：データの検索・データの操作 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
3	1 変数のグラフ表現：棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
4	1 変数の統計量：平均・分散・標準偏差 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
5	2 変数のグラフ表現と統計量：散布図と相関係数 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
6	回帰直線とその予測 事前学修：[20 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
7	度数分布表とヒストグラム 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
8	いろいろな確率分布とその数表 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
9	平均の区間推定と比率の区間推定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
10	平均の差の検定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
11	対応のある平均の差の検定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
12	クロス集計表と独立性の検定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
13	1 元配置の分散分析 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	演習	川崎 洋平
14	アンケート調査の統計処理(データ入力、クリーニング) 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	演習	川崎 洋平
15	アンケート調査の統計処理(散布図、相関係数) 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	演習	川崎 洋平

■ 教科書

授業で使用する資料は Glexa にアップロードをするので、各自ダウンロード・印刷すること

■ 参考書、参考資料等

1. 石村貞夫・劉晨・石村友二郎(2019). Excel でやさしく学ぶ統計解析2019. 東京図書
2. 石村友二郎・加藤千恵子・劉晨・石村貞夫(2020). Excel でやさしく学ぶ アンケート調査の統計処理2019. 東京図書

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、レポート提出後2カ月以内を目途に Glexa で行う。

■ 他の授業科目との関連

「情報科学」は「保健統計学」の学習内容の理解に基づき、より実際的なデータ解析を扱う。
4年開講科目「研究方法論Ⅲ(量的研究方法論)」では「情報科学」より進んだ統計手法を扱う。

■ 成績評価の仕方

レポート70%、課題への取り組み30%

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の金曜日(2限・18時以降)に407研究室又はオンラインで質問を受け付ける

情報科学

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBIS250

○川崎 洋平

■ 授業の目的

保健統計学の授業で学んだ統計手法を実際のデータに適用できるように、コンピュータを用いたデータ解析を学ぶ。

■ 到達目標

1. 統計ソフトや EXCEL を用いて、グラフを描いたり、データを要約して、データの特性を把握できる。
2. 解析目的とデータの特性に適する統計手法を選択して、母数に関する推定および検定を行える。
3. 統計ソフトや EXCEL の出力から分析結果を読みとり、解釈できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：講義と演習を適宜行って、理解を着実にする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	EXCEL 操作の基本：データベースの作成 事前学修：[30 分] 保健統計学の復習、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
2	EXCEL 操作の基本：データの検索・データの操作 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
3	1 変数のグラフ表現：棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
4	1 変数の統計量：平均・分散・標準偏差 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
5	2 変数のグラフ表現と統計量：散布図と相関係数 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
6	回帰直線とその予測 事前学修：[20 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
7	度数分布表とヒストグラム 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
8	いろいろな確率分布とその数表 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
9	平均の区間推定と比率の区間推定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
10	平均の差の検定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
11	対応のある平均の差の検定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平
12	クロス集計表と独立性の検定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の書き直し)	演習	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
13	1 元配置の分散分析 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	演習	川崎 洋平
14	アンケート調査の統計処理(データ入力、クリーニング) 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	演習	川崎 洋平
15	アンケート調査の統計処理(散布図、相関係数) 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	演習	川崎 洋平

■ 教科書

授業で使用する資料は Glexa にアップロードをするので、各自ダウンロード・印刷すること

■ 参考書、参考資料等

1. 石村貞夫・劉晨・石村友二郎(2019). Excel でやさしく学ぶ統計解析2019. 東京図書
2. 石村友二郎・加藤千恵子・劉晨・石村貞夫(2020). Excel でやさしく学ぶ アンケート調査の統計処理2019. 東京図書

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、レポート提出後2カ月以内を目途に Glexa で行う。

■ 他の授業科目との関連

「情報科学」は「保健統計学」の学習内容の理解に基づき、より実際的なデータ解析を扱う。
4年開講科目「研究方法論Ⅲ(量的研究方法論)」では「情報科学」より進んだ統計手法を扱う。

■ 成績評価の仕方

レポート70%、課題への取り組み30%

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の金曜日(2限・18時以降)に407研究室又はオンラインで質問を受け付ける

保健統計学

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBIS200

○川崎 洋平

■ 授業の目的

根拠にもとづく医療・看護・保健活動および看護研究において必要な統計学のうち、初等的な統計手法について学ぶ。

■ 到達目標

1. 要約統計量および表やグラフから情報を読み取れる。
2. データの性質に応じて、初等的な統計手法の中から正しい手法を選択できる。
3. 推定と検定の基本概念を説明できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を適宜行って、理解を着実にする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	データの種類と代表値 事前学修：[30分] 高校数学の復習(高校の数学A「場合の数・確率」の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
2	代表値 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
3	図と表の利用 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
4	代表的な確率分布 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
5	相関 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
6	回帰 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
7	推定と検定1(基礎) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
8	推定と検定2(応用) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
9	t検定1(基礎) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
10	t検定2(応用) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
11	分散分析 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
12	順序があるデータの検定 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
13	分類されたデータの検定 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
14	人口統計1：人口静態統計 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
15	人口統計2：人口動態統計 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平

■ 教科書

授業で使用する資料は Glexa にアップロードをするので、各自ダウンロード・印刷すること

■ 参考書、参考資料等

1. 白戸 亮吉、鈴木 研太(2008年). ていねいな保健統計学. 羊土社.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後2カ月以内を目途に Glexa で行う。

■ 他の授業科目との関連

2年次後期開講科目「疫学」では「保健統計学」の内容を理解しておく必要がある。

2年次後期開講科目「情報科学」において EXCEL を利用したデータ解析を学ぶことができる。

■ 成績評価の仕方

定期試験70%、授業への取り組み30%

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の金曜日(2限・18時以降)に407研究室又はオンラインで質問を受け付ける

保健統計学

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBIS200

○川崎 洋平

■ 授業の目的

根拠にもとづく医療・看護・保健活動および看護研究において必要な統計学のうち、初等的な統計手法について学ぶ。

■ 到達目標

1. 要約統計量および表やグラフから情報を読み取れる。
2. データの性質に応じて、初等的な統計手法の中から正しい手法を選択できる。
3. 推定と検定の基本概念を説明できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を適宜行って、理解を着実にする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	データの種類と代表値 事前学修：[30分] 高校数学の復習(高校の数学A「場合の数・確率」の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
2	代表値 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
3	図と表の利用 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
4	代表的な確率分布 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
5	相関 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
6	回帰 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
7	推定と検定1(基礎) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
8	推定と検定2(応用) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
9	t検定1(基礎) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
10	t検定2(応用) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
11	分散分析 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
12	順序があるデータの検定 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
13	分類されたデータの検定 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
14	人口統計1：人口静態統計 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
15	人口統計2：人口動態統計 事前学修：〔30分〕 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：〔30分〕 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平

■教科書

授業で使用する資料は Glexa にアップロードをするので、各自ダウンロード・印刷すること

■参考書、参考資料等

1. 白戸 亮吉、鈴木 研太(2008年). ていねいな保健統計学. 羊土社.

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後2カ月以内を目途に Glexa で行う。

■他の授業科目との関連

2年次後期開講科目「疫学」では「保健統計学」の内容を理解しておく必要がある。

2年次後期開講科目「情報科学」において EXCEL を利用したデータ解析を学ぶことができる。

■成績評価の仕方

定期試験70%、授業への取り組み30%

■オフィスアワー・研究室等

開講期間中の金曜日(2限・18時以降)に407研究室又はオンラインで質問を受け付ける

英語 R2-1

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS200

○皆川 健次郎

■ 授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。看護専門の内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

■ 到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

■ 学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

なし

No	内容	形式	教員
1	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [1] 事前学修：[30 分] テキストの確認をする 事後学修：[30 分] 授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
2	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
3	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
4	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
5	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
6	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
7	Reading and Critiquing Research Articles 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
8	Ethics in Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久

No	内容	形式	教員
9	Ethics in Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
10	Research Problems and Research Questions [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
11	Research Problems and Research Questions [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
12	Research Problems and Research Questions [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
13	Finding and Reviewing Research Evidence in the Literature [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
14	Finding and Reviewing Research Evidence in the Literature [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
15	Review 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久

■ 教科書

プリントを配付します。

■ 参考書、参考資料等

その都度指示します。

■ フィードバックの仕方

小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

「英 R2-2」は続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-1

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS200

○武久 智一

■ 授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。看護専門の内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

■ 到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

■ 学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

なし

No	内容	形式	教員
1	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [1] 事前学修：[30 分] テキストの確認をする 事後学修：[30 分] 授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
2	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
3	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
4	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
5	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
6	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
7	Reading and Critiquing Research Articles 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
8	Ethics in Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久

No	内容	形式	教員
9	Ethics in Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
10	Research Problems and Research Questions [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
11	Research Problems and Research Questions [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
12	Research Problems and Research Questions [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
13	Finding and Reviewing Research Evidence in the Literature [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
14	Finding and Reviewing Research Evidence in the Literature [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
15	Review 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久

■ 教科書

プリントを配付します。

■ 参考書、参考資料等

その都度指示します。

■ フィードバックの仕方

小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

「英 R2-2」は続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-1

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年・編入 3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」実践
実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS200

○皆川 健次郎

■ 授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。看護専門の内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

■ 到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

■ 学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

なし

No	内容	形式	教員
1	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [1] 事前学修：[30 分] テキストの確認をする 事後学修：[30 分] 授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
2	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
3	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
4	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
5	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
6	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
7	Reading and Critiquing Research Articles 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
8	Ethics in Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久

No	内容	形式	教員
9	Ethics in Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
10	Research Problems and Research Questions [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
11	Research Problems and Research Questions [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
12	Research Problems and Research Questions [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
13	Finding and Reviewing Research Evidence in the Literature [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
14	Finding and Reviewing Research Evidence in the Literature [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
15	Review 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久

■ 教科書

プリントを配付します。

■ 参考書、参考資料等

その都度指示します。

■ フィードバックの仕方

小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

「英 R2-2」は続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-1

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年・編入 3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」実践
実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5200

○武久 智一

■ 授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。看護専門の内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

■ 到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

■ 学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

なし

No	内容	形式	教員
1	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [1] 事前学修：[30 分] テキストの確認をする 事後学修：[30 分] 授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
2	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
3	Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
4	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
5	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
6	Key Concepts and Steps in Qualitative Research [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
7	Reading and Critiquing Research Articles 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
8	Ethics in Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久

No	内容	形式	教員
9	Ethics in Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
10	Research Problems and Research Questions [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
11	Research Problems and Research Questions [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
12	Research Problems and Research Questions [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
13	Finding and Reviewing Research Evidence in the Literature [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
14	Finding and Reviewing Research Evidence in the Literature [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
15	Review 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久

■ 教科書

プリントを配付します。

■ 参考書、参考資料等

その都度指示します。

■ フィードバックの仕方

小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

「英 R2-2」は続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-2

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年・編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」実践
実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS250

○武久 智一

■ 授業の目的

英 R2-1 で受講したことを前提に授業を進めます。看護専門の内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

■ 到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

■ 学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

なし

No	内容	形式	教員
1	Theoretical and Conceptual Frameworks [1] 事前学修：[30 分] テキストの確認をする 事後学修：[30 分] 授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
2	Theoretical and Conceptual Frameworks [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
3	Qualitative Designs Approaches [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
4	Qualitative Designs Approaches [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
5	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
6	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
7	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
8	Analysis of Qualitative Data [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川

No	内容	形式	教員
9	Analysis of Qualitative Data [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
10	Analysis of Qualitative Data [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
11	Trustworthiness and Integrity in Qualitative Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
12	Trustworthiness and Integrity in Qualitative Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
13	Systematic Reviews: Meta-Analysis and Metasynthesis [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
14	Systematic Reviews: Meta-Analysis and Metasynthesis [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
15	Review 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川

■ 教科書

プリントを配付します。

■ 参考書、参考資料等

その都度指示します。

■ フィードバックの仕方

小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

「R2-1」の続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-2

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年・編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」実践
実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS250

○皆川 健次郎

■ 授業の目的

英 R2-1 で受講したことを前提に授業を進めます。看護専門の内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

■ 到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

■ 学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

なし

No	内容	形式	教員
1	Theoretical and Conceptual Frameworks [1] 事前学修：[30 分] テキストの確認をする 事後学修：[30 分] 授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
2	Theoretical and Conceptual Frameworks [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
3	Qualitative Designs Approaches [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
4	Qualitative Designs Approaches [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
5	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
6	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
7	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
8	Analysis of Qualitative Data [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川

No	内容	形式	教員
9	Analysis of Qualitative Data [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
10	Analysis of Qualitative Data [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
11	Trustworthiness and Integrity in Qualitative Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
12	Trustworthiness and Integrity in Qualitative Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
13	Systematic Reviews: Meta-Analysis and Metasynthesis [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
14	Systematic Reviews: Meta-Analysis and Metasynthesis [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
15	Review 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川

■ 教科書

プリントを配付します。

■ 参考書、参考資料等

その都度指示します。

■ フィードバックの仕方

小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

「R2-1」の続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-2

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS250

○武久 智一

■ 授業の目的

英 R2-1 で受講したことを前提に授業を進めます。看護専門の内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

■ 到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

■ 学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

なし

No	内容	形式	教員
1	Theoretical and Conceptual Frameworks [1] 事前学修：[30 分] テキストの確認をする 事後学修：[30 分] 授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
2	Theoretical and Conceptual Frameworks [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
3	Qualitative Designs Approaches [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
4	Qualitative Designs Approaches [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
5	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
6	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
7	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
8	Analysis of Qualitative Data [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川

No	内容	形式	教員
9	Analysis of Qualitative Data [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
10	Analysis of Qualitative Data [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
11	Trustworthiness and Integrity in Qualitative Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
12	Trustworthiness and Integrity in Qualitative Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
13	Systematic Reviews: Meta-Analysis and Metasynthesis [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
14	Systematic Reviews: Meta-Analysis and Metasynthesis [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
15	Review 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川

■ 教科書

プリントを配付します。

■ 参考書、参考資料等

その都度指示します。

■ フィードバックの仕方

小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

「R2-1」の続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-2

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS250

○皆川 健次郎

■ 授業の目的

英 R2-1 で受講したことを前提に授業を進めます。看護専門の内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

■ 到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

■ 学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

なし

No	内容	形式	教員
1	Theoretical and Conceptual Frameworks [1] 事前学修：[30 分] テキストの確認をする 事後学修：[30 分] 授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
2	Theoretical and Conceptual Frameworks [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
3	Qualitative Designs Approaches [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
4	Qualitative Designs Approaches [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
5	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
6	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
7	Sampling and Data Collection in Qualitative Studies [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は武久
8	Analysis of Qualitative Data [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川

No	内容	形式	教員
9	Analysis of Qualitative Data [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
10	Analysis of Qualitative Data [3] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
11	Trustworthiness and Integrity in Qualitative Research [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
12	Trustworthiness and Integrity in Qualitative Research [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
13	Systematic Reviews: Meta-Analysis and Metasynthesis [1] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
14	Systematic Reviews: Meta-Analysis and Metasynthesis [2] 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川
15	Review 事前学修：[60 分] 当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0901、 1F0903 は武久 1F0902、 1F0904 は皆川

■ 教科書

プリントを配付します。

■ 参考書、参考資料等

その都度指示します。

■ フィードバックの仕方

小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

■ 他の授業科目との関連

「R2-1」の続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

英語 W2-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS201

○遠藤 花子

■ 授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

■ 到達目標

1. 正しい英文を書くことができる。
2. 異なるタイプのパラグラフを書くことができる。
3. 論理的に物事を考え、書くことができる。
4. ディスカッションから自分の考えを引き出すことができる。

■ 学習の進め方

様々なタイプのパラグラフについて学び、実際にそれぞれのトピックに対応した英文パラグラフを書く。提出した課題は添削をし、返却する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction The structure of a paragraph Brainstorming 事前学修：[20 分] W1 で学んだことの復習をする 事後学修：[50 分] Paragraph の構成について復習する	演習・講義	遠藤
2	Reasoning 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
3	Reasoning 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
4	Reasoning 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
5	Time order 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
6	Time order 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
7	Time order 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
8	Resume and Cover Letter 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
9	Resume and Cover Letter 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
10	Definition 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
11	Definition 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	Definition 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
13	Comparison 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
14	Comparison 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
15	Comparison 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤

■ 教科書

随時プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

各課題は授業時間中にフィードバックを行います。

■ 他の授業科目との関連

履修にあたり、事前に「W1-1」「W1-2」を履修しておくことが望ましい。

■ 成績評価の仕方

授業内で提出された課題で評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室(401)

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

英語 W2-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS201

○遠藤 花子

■ 授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

■ 到達目標

1. 正しい英文を書くことができる。
2. 異なるタイプのパラグラフを書くことができる。
3. 論理的に物事を考え、書くことができる。
4. ディスカッションから自分の考えを引き出すことができる。

■ 学習の進め方

様々なタイプのパラグラフについて学び、実際にそれぞれのトピックに対応した英文パラグラフを書く。提出した課題は添削をし、返却する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction The structure of a paragraph Brainstorming 事前学修：[20 分] W1 で学んだことの復習をする 事後学修：[50 分] Paragraph の構成について復習する	演習・講義	遠藤
2	Reasoning 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
3	Reasoning 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
4	Reasoning 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
5	Time order 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
6	Time order 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
7	Time order 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
8	Resume and Cover Letter 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
9	Resume and Cover Letter 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
10	Definition 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
11	Definition 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	Definition 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
13	Comparison 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
14	Comparison 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
15	Comparison 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤

■ 教科書

随時プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

各課題は授業時間中にフィードバックを行います。

■ 他の授業科目との関連

履修にあたり、事前に「W1-1」「W1-2」を履修しておくことが望ましい。

■ 成績評価の仕方

授業内で提出された課題で評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室(401)

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

英語 W2-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：編入 3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS201

○川崎 修一

■ 授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

■ 到達目標

様々な種類の英文パラグラフが書けるようになる。

■ 学習の進め方

AL

パラグラフについて学び、実際にさまざまな英文パラグラフを書く。同時に、文法的正確さは言うまでもなく、自然で実践的な英文の書き方を学びます。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	What is paragraph? 事前学修：[30 分] 英語の paragraph に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
2	Topic Sentence 事前学修：[30 分] Topic sentence についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
3	Conclusion 事前学修：[30 分] Concluding sentence についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
4	Description 事前学修：[30 分] Descriptive paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
5	Enumeration (1) 事前学修：[30 分] Enumeration についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
6	Enumeration (2) 事前学修：[30 分] Enumeration paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
7	Comparison and Contrast (1) 事前学修：[30 分] Comparison and Contrast paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
8	Comparison and Contrast (2) 事前学修：[30 分] Comparison and Contrast paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
9	Illustration (1) 事前学修：[30 分] Illustration paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
10	Illustration (2) 事前学修：[30 分] Illustration paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
11	Classification 事前学修：[30 分] Classification paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一

No	内容	形式	教員
12	Cause and Effect (1) 事前学修：[30 分] Cause and Effect paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
13	Cause and Effect (2) 事前学修：[30 分] Cause and Effect paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
14	Definition 事前学修：[30 分] Definition paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	[講義・演習]	川崎修一
15	Review 事前学修：[30 分] 1～14回の課題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60 分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。		川崎修一

■ 教科書

プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

随時配布します。

■ フィードバックの仕方

レポート課題のフィードバックは提出翌週に行います。最終課題のフィードバックは授業最終日に行います。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

レポート課題 60%＋最終提出課題 40 %

■ オフィスアワー・研究室等

402 研究室 水曜日 10：40－12：10、13：10－14：40

■ 受講上の注意事項

なし

英語 W2-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS251

○遠藤 花子

■ 授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

■ 到達目標

1. 正しい英文を書くことができる。
2. 異なるタイプのパラグラフを書くことができる。
3. 論理的に物事を考え、書くことができる。
4. ディスカッションから自分の考えを引き出すことができる。
5. 1000 words の Research Essays を書くことができる。

■ 学習の進め方

様々なタイプのパラグラフについて学び、実際にそれぞれのトピックに対応した英文パラグラフを書く。提出した課題は添削をし、返却する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction 事前学修：[20 分] W2-1 で学んだことの復習をする 事後学修：[50 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	遠藤
2	Process and Direction 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
3	Process and Direction 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
4	Process and Direction 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
5	Cause and Effect 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
6	Cause and Effect 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
7	Cause and Effect 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
8	Argumentative Essays 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
9	Argumentative Essays 2 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
10	Argumentative Essays 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
11	Research Essays 1 テーマの選び方、エッセイの書き方 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	Research Essays 2 APA 方式のエッセイの書き方 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
13	Research Essays 3 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
14	Research Essays 4 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題の調査(文献検索、フィールドワークなど)を行う	演習・講義	遠藤
15	Research Essays 5 事前学修：[30 分] 課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：[30 分] 課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤

■ 教科書

随時プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度、紹介します。

■ フィードバックの仕方

各課題は授業中にフィードバックを行います。

■ 他の授業科目との関連

履修にあたり、事前に「W2-1」を履修しておくことが望ましい。

■ 成績評価の仕方

授業内で提出された課題で評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

英語 W2-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS251

○遠藤 花子

■ 授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

■ 到達目標

1. 正しい英文を書くことができる。
2. 異なるタイプのパラグラフを書くことができる。
3. 論理的に物事を考え、書くことができる。
4. ディスカッションから自分の考えを引き出すことができる。

■ 学習の進め方

様々なタイプのパラグラフについて学び、実際にそれぞれのトピックに対応した英文パラグラフを書く。提出した課題は添削をし、返却する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction The structure of a paragraph Brainstorming 事前学修：[20 分] W1 で学んだことの復習をする 事後学修：[50 分] 課題を見つける, 授業で行った Brainstorming を完成させる	演習・講義	遠藤
2	Reasoning 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[30 分] 課題のテーマを考える	演習・講義	遠藤
3	Reasoning 2 事前学修：[60 分] 課題の構成を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤
4	Reasoning 3 事前学修：[60 分] 課題の構成を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤
5	Narrative Essays 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[60 分] 課題のテーマを考える	演習・講義	遠藤
6	Narrative Essays 2 事前学修：[30 分] 課題の構成を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤
7	Narrative Essays 3 事前学修：[60 分] 課題の内容を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤
8	Resume and Cover Letter 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[60 分] 課題のテーマを考える	演習・講義	遠藤
9	Resume and Cover Letter 2 事前学修：[60 分] 課題の構成を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤
10	Definition 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[60 分] 課題のテーマを考える	演習・講義	遠藤
11	Definition 2 事前学修：[60 分] 課題の構成を考える 事後学修：[60 分] 課題の内容を考える	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	Definition 3 事前学修：[60 分] 課題の内容を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤
13	Opinion Essays 1 事前学修：[30 分] 配布プリントに目を通す 事後学修：[60 分] 課題のテーマを考える	演習・講義	遠藤
14	Opinion Essays 2 事前学修：[60 分] 課題の構成を考える 事後学修：[60 分] 課題の内容を考える	演習・講義	遠藤
15	Opinion Essays 3 事前学修：[60 分] 課題の内容を考える 事後学修：[60 分] 課題を仕上げる	演習・講義	遠藤

■ 教科書

随時プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

各課題は授業中にその都度フィードバックを行います。

■ 他の授業科目との関連

履修にあたり、事前に「W2-1」を履修しておくことが望ましい。

■ 成績評価の仕方

授業内で提出された課題で評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室(401)

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

英語 LS2-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS202

○川崎 修一

■ 授業の目的

- (1) 英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解する技術を習得する。
- (2) 英語でプレゼンテーションする技術を習得する。

■ 到達目標

- (1) 英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解できるようになる。
- (2) 英語で学術的内容のプレゼンテーションができるようになる。

■ 学習の進め方

AL

この授業では英語でのプレゼンテーション・講義を聞き、通常の授業同様にメモを取りながら自分の理解度を確認していきます。講義終了後に、内容に関する質疑応答を行い更に理解を深めていきます。またプレゼンテーションでは、講義内容に関して自分でトピックを選択し発表してもらいます。英語での発表の仕方は授業中に詳しく説明します。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	What is science? 事前学修：[30 分] Science についての課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
2	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する	講義・演習	川崎
3	What is psychology? 事前学修：[30 分] Psychology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
4	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
5	What is sociology? 事前学修：[30 分] Sociology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
6	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
7	What is linguistics? 事前学修：[30 分] Linguistics に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
8	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
9	What is physiology? 事前学修：[30 分] Physiology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
10	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
11	What is anthropology? 事前学修：[30 分] Anthoropology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
12	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
13	What is literature? 事前学修：[30 分] Literature に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
14	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
15	Review 事前学修：[30 分] 課題を仕上げる。 事後学修：[60 分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

■ 教科書

プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

プレゼン毎にフィードバックします。リスニングのフィードバックは授業最終日に行います。

■ 他の授業科目との関連

LS1-1、LS1-2 を履修していることが望ましい。

■ 成績評価の仕方

リスニング試験 50 % + プレゼンテーション 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

402 研究室 月曜日 13 : 10 - 14 : 40

■ 受講上の注意事項

授業での会話は全て「英語」です (日本語は一切使用しません)。また、次週の授業のための課題が出ますので、しっかりと準備してきて下さい。

* 受講者が AB 合同で 10 名以下の場合、遠藤(花)クラスは開講せず、川崎合同クラスで実施します。

英語 LS2-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS252

○川崎 修一

■ 授業の目的

- (1)英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解する技術を身につける。
- (2)英語でプレゼンテーションを行う技術を習得する。

■ 到達目標

- (1)英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解できるようになる。
- (2)英語で学術的内容のプレゼンテーションができるようになる。

■ 学習の進め方

AL

授業形態は基本的に LS2-1 と同じですが、授業内容のレベルは少し高度なものになります。授業では英語で講義を行い、通常の授業同様にメモを取りながら自分の理解度を確認していきます。講義終了後に、内容に関する質疑応答を行い更に理解を深めていきます。またプレゼンテーションでは、講義内容に関して自分でトピックを選択し発表してもらいます。英語での発表の仕方は授業中に詳しく説明します。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	What is science? 事前学修：[30 分] Science に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
2	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
3	What is psychology? 事前学修：[30 分] Psychology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
4	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
5	What is sociology? 事前学修：[30 分] Sociology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
6	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
7	What is linguistics? 事前学修：[30 分] Linguistics に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
8	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
9	What is physiology? 事前学修：[30 分] Physiology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
10	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
11	What is anthropology? 事前学修：[30 分] Anthropology に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
12	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
13	What is literature? 事前学修：[30 分] Literature に関する課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
14	Presentation 事前学修：[30 分] Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川崎
15	Review 事前学修：[30 分] 1～14回の課題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60 分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

■ 教科書

プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

プレゼン毎にフィードバックします。リスニングのフィードバックは授業最終日に行います。

■ 他の授業科目との関連

LS1-1、LS1-2、LS2-1 を履修していることが望ましい。

■ 成績評価の仕方

リスニング試験 50 % + プレゼンテーション 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

401 研究室(遠藤)月曜、火曜、水曜、金曜の昼休み(12:30-13:00)

402 研究室(川崎)月曜、水曜、木曜の昼休み(12:30-13:00)

■ 受講上の注意事項

授業での会話は全て「英語」です(日本語は一切使用しません)。次週の授業の為に課題が出るので、しっかりと準備してきて下さい。

英語文献を読む I

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」成長 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS300

○遠藤 花子

■ 授業の目的

英語で書かれた、看護・医療に関連する良質な論文や書物を読むことによって、高度な内容の英文を正確かつ迅速に理解する能力を養成することを目的とします。英語論文の基本的な構造や使われている言葉などに注目しながら読むことで、論文に対する苦手意識をなくし、論文を読む習慣を身に付け、専門性の高い文献の理解ができるようになることを目指します。

■ 到達目標

1. 看護学に関する英語文献を精読し正確に理解することができる。
2. 英語の論文構造を理解し、読解力を向上することができる。
3. 論文に書かれていることについて議論することができる。
4. レイニンガーのサンライズ・モデルを理解することができる。

■ 学習の進め方

1. テキストを読みながら英語の訳読をする。
2. 書かれている内容を理解する。
3. 考えをまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction 事前学修：[20 分] Ethnonursing とは何かを考える 事後学修：[20 分] テキストの興味のある箇所を調べる	講義・演習	遠藤
2	Culture Care Diversity and Universality Theory (1) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
3	Culture Care Diversity and Universality Theory (2) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
4	Culture Care Diversity and Universality Theory (3) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
5	Culture Care Diversity and Universality Theory (4) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
6	Culture Care Diversity and Universality Theory (5) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
7	Culture Care Diversity and Universality Theory (6) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
8	Culture Care Diversity and Universality Theory (7) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
9	Ethnonursing Research Studies (1) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
10	Ethnonursing Research Studies (2) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
11	Ethnonursing Research Studies (3) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
12	Ethnonursing Research Studies (4) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
13	Ethnonursing Research Studies (5) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
14	Ethnonursing Research Studies (6) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
15	Ethnonursing Research Studies (7) まとめ 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤

■ 教科書

Leininger の Culture Care Diversity and Universality: A Theory of Nursing に関するプリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、試験期間後 3 週間以内に 401 研究室にて、採点後の答案用紙の返却と解説資料の配布を通じて行います。

■ 他の授業科目との関連

R2-1、R2-2 を履修すること。英語文献を読むⅡは続きを読みます。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 50%

学期末レポート 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室(401)

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

英語文献を読むⅡ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」成長 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBLS350

○遠藤 花子

■ 授業の目的

英語で書かれた、看護・医療に関連する良質な論文や書物を読むことによって、高度な内容の英文を正確かつ迅速に理解する能力を養成することを目的とします。英語論文の基本的な構造や使われている言葉などに注目しながら読むことで、論文に対する苦手意識をなくし、論文を読む習慣を身に付け、専門性の高い文献の理解ができるようになることを目指します。

■ 到達目標

1. 看護学に関する英語文献を精読し正確に理解することができる。
2. 英語の論文構造を理解し、読解力を向上することができる。
3. 論文に書かれていることについて議論することができる。
4. レイニンガーのサンライズ・モデルを理解することができる。

■ 学習の進め方

1. テキストを読みながら英語の訳読をする。
2. 書かれている内容を理解する。
3. 読んだ内容から、自身の経験などをもとに、何をどのように理解したかまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction 事前学修：[20 分] Ethnonursing とは何かを考える 事後学修：[20 分] テキストの興味のある箇所を調べる	講義・演習	遠藤
2	Ethnonursing Research Studies 1 (1) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
3	Ethnonursing Research Studies 1 (2) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
4	Ethnonursing Research Studies 1 (3) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
5	Ethnonursing Research Studies 1 (4) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
6	Ethnonursing Research Studies 1 (5) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
7	Ethnonursing Research Studies 1 (6) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
8	Ethnonursing Research Studies 1 (7) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
9	Ethnonursing Research Studies 2 (1) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
10	Ethnonursing Research Studies 2 (2) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
11	Ethnonursing Research Studies 2 (3) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
12	Ethnonursing Research Studies 2 (4) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
13	Ethnonursing Research Studies 2 (5) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
14	Ethnonursing Research Studies 2 (6) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
15	Ethnonursing Research Studies 2 (7) 事前学修：[60 分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 内容全体の見直しをする	演習・講義	遠藤

■教科書

Leininger の Culture Care Diversity and Universality: A Theory of Nursing に関するプリントを配布します。

■参考書、参考資料等

その都度紹介します。

■フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、試験期間後 3 週間以内に 401 研究室にて、採点後の答案用紙の返却と解説資料の配布を通じて行います。

■他の授業科目との関連

「英語文献を読むⅠ」の学習内容の理解に基づき、より発展的な内容となります。

■成績評価の仕方

授業への取り組み 50%

学期末レポート 50%

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室(401)

■受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

■その他

HBLS350

基礎ゼミⅠ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」関係 実務経験がある教員：－
科目ナンバー：HBFS100

○渋谷 真樹

■ 授業の目的

大学での学びの意味や意義について理解する。

学問や研究に必要な「聴く力」「読む力」「話す力」「書く力」「調べる力」の基本を身につける。

情報を倫理的に扱い、探索・処理・発信するリテラシーの基本を身につける。

■ 到達目標

1. 基本的な研究論文を読んで、その内容を理解できる。
2. 自ら設定したテーマについて、図書館やデータベースを利用して文献を検索し、信頼できる情報を探索できる。
3. 根拠に基づいた意見を発表できる。
4. 他者の意見を理解し、批判的に検討した上で、建設的な議論ができる。
5. 学術的で論理的なレポートを書くための基礎的事項を実践できる。

■ 学習の進め方

「AL」

個人やグループで課題に取り組む。発表や討論を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	大学での学び(大学で学びたいこと、本授業で議論したいことなど) 事前学修：[60分] 大学での学習目標や関心のある研究テーマについて箇条書きにまとめ、発表準備をする。 事後学修：[60分] 授業で発言したことや話し合われたことを振り返る。	発表、討論	渋谷
2	MS Word の基本操作 APA 方式の学習 事前学修：[60分] 情報機器の操作について、知っているやできることをまとめる。 事後学修：[90分] 授業で学んだことを振り返り、演習問題に取り組む。	演習	渋谷
3	文献検索の演習(情報モラルを含む) 図書館での演習(図書・雑誌・辞書類・AV 資料の配置など) 事前学修：[60分] 関心のある研究テーマについて、文献を検索する。 事後学修：[60分] 多様な情報検索方法を振り返る。	演習	渋谷
4	討論テーマの設定 討論テーマに関する図書・雑誌論文等の検索テーマに関する発表および討論 事前学修：[60分] クラスで討論したいテーマとその理由を列挙する。 事後学修：[60分] クラスでの討論を振り返る。	発表、討論	渋谷
5	テーマに関する発表・討論 事前学修：[90分] 決定したテーマについて、発表や討論の準備をする。 事後学修：[60分] 授業での発表や討論を振り返る。	発表、討論	渋谷
6	根拠に基づいた発表・討論 事前学修：[90分] 前回の授業で疑問をもった点について、文献を検索し、その概要をまとめる。 事後学修：[60分] 授業内容を振り返る。	発表、討論	渋谷
7	研究論文の読解・討論(1回目) 事前学修：[90分] 指定の研究論文を読み、疑問点や自分の意見をまとめる。 事後学修：[60分] 授業で学んだことを練習する。	発表、討論	渋谷
8	APA 方式の復習・演習 事前学修：[60分] テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく。 事後学修：[60分] 授業内容を振り返る。	演習	渋谷
9	研究論文の読解、討論(2回目) 事前学修：[90分] 指定の研究論文を読み、疑問点や自分の意見をまとめる。 事後学修：[60分] 授業で学んだことを練習する。	発表、討論	渋谷

No	内容	形式	教員
10	レポート作成要領の説明 事前学修：[60 分] テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく。レポートのテーマを考えノートに記す。 事後学修：[60 分] 授業内容を振り返る。	講義、演習	渋谷
11	レポート作成のための個別指導 事前学修：[60 分] レポートのテーマに関して必要な資料や情報を整理しノートに記す。 事後学修：[60 分] 個別指導の内容を踏まえ、不足している資料の収集を行う。	演習	渋谷
12	レポート中間発表会① 事前学修：[90 分] レポート中間発表の準備(レジュメやスライドの作成)をする。 事後学修：[60 分] 他者の発表を聞き、自分の発表内容の課題を明確にする。	発表	渋谷
13	レポート中間発表会② 事前学修：[90 分] レポート中間発表の準備(レジュメやスライドの作成)をする。 事後学修：[60 分] 他者の発表を聞き、自分の発表内容の課題を明確にする。	発表	渋谷
14	最終レポート作成 事前学修：[90 分] レポートテーマについて、文献検索を進め、執筆を進める。 事後学修：[60 分] 作成中のレポートを再検討し、論理的な表現など指導された内容を確認する。	演習	渋谷
15	まとめとふりかえり 事前学修：[90 分] これまでの授業を振り返り、疑問点や未習熟な点を列挙する。 事後学修：[90 分] 授業全体を振り返り、大学での学びの意味や意義を整理する。	演習	渋谷

■ 教科書

なし。授業でプリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介します。

■ フィードバックの仕方

課題やレポートには、学期中に Glexa でフィードバックします。

■ 他の授業科目との関連

この科目の発展的応用的科目として「研究方法論Ⅰ」や「基礎ゼミⅡ」(必修科目)があります。特に、同学期に履修する「研究方法論Ⅰ」を随時参照しつつ、両科目での学習効果が高まるように配慮します。

■ 成績評価の仕方

授業期間中の課題 50 点

レポート評価 50 点(レポート中間発表会でのプレゼンテーション評価 10 点を含む)

■ オフィスアワー・研究室等

時間：月曜日の 12:10～13:00

場所：404 研究室

■ 受講上の注意事項

編入生のこれまでの学習や就業の経験を踏まえつつ、授業をすすめていきます。

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBFS150

○川崎 修一

■ 授業の目的

テーマ：日本語の「ふしぎ」に焦点を当て、その背後にある仕組みを探る

(1)先行研究を理解する (2)自分の意見をわかりやすく発表する。

■ 到達目標

先行研究を分析し、自分の意見をわかりやすく発表できるようになる。

■ 学習の進め方

AL

日本語の表現には、いまだ規則らしきものが発見されず「ふしぎ」のままの現象が数多く存在しています。この授業では、これらの様々な「ふしぎ」に焦点を当て、分析し、疑問に感じたことなどを議論していきたいと思っています。といっても、なにも小難しいことをやるわけではありません。ごく身近な表現を取り上げ、言語研究者がどのように分析しているかをわかり易く解説した上で、代替案の可能性を探っていきます。

履修のために必要な事前学修：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学修：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「全然＋肯定」－「全然大丈夫！」は全然大丈夫か？ 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
2	「～かけの～」－「立ちかけのキリンを写真に撮った」は自然な日本語か？ 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
3	「～ている」－「桜の花が散っている」はなぜ曖昧か？ 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
4	「ろくな～しない」－「ろくなタレントがふざけなかった」はなぜヘン？ 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
5	最近の気になる日本語 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
6	日本語に対する「直感」 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
7	これはゴミ箱なので、それ以外のものはすてちゃダメ！－“それ”＝“ごみ”の解釈は可能か？ 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
8	なぜ音楽は「甘い」？－共感覚表現 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
9	「た」の意味 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
10	「モノ」と「場所」の交替 事前学修：[30分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎

No	内容	形式	教員
11	「子供がいっぱい走った」はなぜ曖昧か？ 事前学修：[30 分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
12	「川で泳いだ」と「川を泳いだ」の違いは？ 事前学修：[30 分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
13	「降りさえ雨がした」はなぜ変？ 事前学修：[30 分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
14	「公久は真に自分の部屋で殴られた」はどっちの部屋で殴られた？ 事前学修：[30 分] 課題を仕上げる。 事後学修：[30 分] 授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川崎
15	総括 事前学修：[30 分] 1～14回の課題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[30 分] 全てのポイントを復習する。		川崎

■教科書

下記の参考書を基にしたプリントを配布しますので、購入の必要はありません。

■参考書、参考資料等

「日本語機能的構文研究」久野暲・高見健一(著)大修館書店

「ケジメのない日本語」景山太郎(著)岩波書店

「ふしぎなことば ことばのふしぎ」池上嘉彦(著)筑摩書房

■フィードバックの仕方

課題の評価は授業最終日にフィードバックします。

■他の授業科目との関連

基礎ゼミ 1 の内容を復習しておくこと。

■成績評価の仕方

毎回の課題のポートフォリオに基づくプレゼン 80%

授業参加度 20%

■オフィスアワー・研究室等

402 研究室 水曜日 10:40 - 12:10、13:10 - 14:40

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ(内科学、外科学、検査学)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS250

○井上 明宏、石田 禎夫、石川 晃、高屋 和彦、石橋 由孝、山田 学、増田 亮、永岡 栄、尾花 和子、今井 庸子、壹岐 聖子、山田 哲久

■ 授業の目的

看護においては、病気およびそれに対処するためのさまざまな医療行為に対する人間の反応を取り扱うことになる。「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ～Ⅴ」では、解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実際を系統的に学び、実践にも役立てるようにする。

■ 到達目標

- ・内科、外科、小児科、産婦人科の疾病の病態生理、診療の流れについて理解し、自ら考えて判断できる。
- ・放射線医学、臨床検査の概要について理解する。

■ 学習の進め方

- ・授業は基本的に講義形式で行うが、一部受講生が自ら考える形式をとる。
- ・授業後は内容を振り返り、リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Learning Management System・Glexa) に提出する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30 分] 関係する解剖生理学の内容を復習し A4 用紙 2 枚程度にまとめる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
2	内科学(1)血液内科疾患 事前学修：[30 分] 第 5 章を A4 用紙 4 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石田
3	内科学(2)内分泌疾患の臨床 事前学修：[30 分] 内分泌器官の構造、機能、疾病の復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	高屋
4	内科学(3)腎不全の治療 事前学修：[30 分] 腎不全と腎代替療法についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石橋
5	外科学(1)乳腺疾患 事前学修：[30 分] 乳房の構造、機能についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	増田
6	外科学(2)女性生殖器疾患 事前学修：[30 分] 女性生殖器の構造、機能についての復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	山田(学)
7	外科学(3)泌尿器疾患 事前学修：[30 分] 男女の泌尿器の構造、機能についての復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石川
8	外科学(4)消化器外科の臨床 事前学修：[30 分] 消化器疾患についての復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	永岡
9	小児科概論(1) 事前学修：[30 分] 小児の解剖生理学的特徴についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	今井
10	小児科概論(2) 事前学修：[30 分] 小児の解剖生理学的特徴についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	今井
11	外科学(5)小児外科疾患 事前学修：[30 分] 先天性疾患についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	尾花

No	内容	形式	教員
12	放射線医学概論 事前学修：[60 分] 教科書第 1～3 部を A4 用紙 6 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	山田(哲)
13	臨床検査(1)「総論」「血液検査」「生体検査」 事前学修：[60 分] 教科書第 1、2、4、10 章を A4 用紙 4 枚で予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	壹岐
14	臨床検査(2)「尿・便検査」 事前学修：[30 分] 教科書第 3 章を A4 用紙 2 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	壹岐
15	臨床検査(3)「微生物学検査」 事前学修：[30 分] 教科書第 8 章を A4 用紙 2 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	壹岐

■ 教科書

- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「血液・造血器」成人看護学④ 第 15 版、医学書院(2019 改訂)
- ・系統看護学講座・別巻「臨床検査」第 8 版、医学書院(2019 改訂)
- ・系統看護学講座・別巻「臨床放射線医学」第 10 版、医学書院(2021 改訂)

■ 参考書、参考資料等

- ・各回の担当教員が用意した資料を配布する。
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学② 第 15 版、医学書院(2019 改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③ 第 15 版、医学書院(2019 改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」成人看護学⑤ 第 15 版、医学書院(2019 改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「内分泌・代謝」成人看護学⑥ 第 15 版、医学書院(2019 改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「脳・神経」成人看護学⑦ 第 15 版、医学書院(2019 改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「腎・泌尿器」成人看護学⑧ 第 15 版、医学書院(2019 改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「女性生殖器」成人看護学⑨ 第 15 版、医学書院(2019 改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「運動器」成人看護学⑩ 第 15 版、医学書院(2019 改訂)
- ・系統看護学講座・別巻「臨床外科看護総論・各論」第 11 版、第 9 版、医学書院(2017 改訂)

■ フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば、試験の前後 2～3 週間の間に、ポータルサイト、LMS(Glexa) 等で伝達する。

■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ」、「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」で履修した内容を基盤とし、かつ「薬理学」、「栄養学」などの科目と有機的に関連している。また、「精神保健看護学実習 [レベルⅢ]」、「発達看護学実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ [レベルⅢ]」、および「健康レベル別看護学実習 [レベルⅢ]」の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

リフレクションペーパー(25%)、および定期試験(75%)を総合して評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 (井上研究室 409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室(またはオンライン)で質問を受ける。

■ 受講上の注意事項

予定した回が休講になった場合は、原則として補講が設定される。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ(内科学、外科学)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS450

○井上 明宏、石田 禎夫、鈴木 毅、壹岐 聖子、石川 晃、小林 城太郎、永岡 栄、安藤 常浩、國頭 英夫

■ 授業の目的

看護においては、病気およびそれに対処するためのさまざまな医療行為に対する人間の反応を取り扱うことになる。「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ～Ⅴ」では、解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実践を系統的に学び、実践にも役立てるようにする。

■ 到達目標

- ・看護の実践に向けて、成人疾患の病態とケアを展開するために必要な概念や理論を理解する。
- ・各診療科の臨床における代表的疾患の診断と治療について、患者および家族にもわかりやすく説明できる。
- ・保険制度や地域で支える医療についても理解できる。
- ・国家試験対策として必要な事項を復習し、学力を定着させる。

■ 学習の進め方

各診療科における典型的な疾患の病態および治療例を中心に講義し、臨床現場でのトピックや国家試験対策を意識したサンプル問題の演習および解説なども盛り込む。授業後は内容を振り返り、リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Learning Management System・Glexa)に提出する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	血液腫瘍の治療 事前学修：[30 分] IVの内容や実習での知識、経験、疑問点などを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石田
2	輸血の実践 事前学修：[30 分] 過去の授業、実習、自習などで得た関連事項の復習について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	壹岐
3	アレルギー・膠原病の概要と治療 事前学修：[30 分] 過去の授業、実習、自習などで得た関連事項の復習について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	鈴木
4	画像診断(消化器外科) 事前学修：[30 分] 過去の授業、実習、自習などで得た関連事項の復習について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	永岡
5	移植医療(泌尿器科) 事前学修：[30 分] 過去の授業、実習、自習などで得た関連事項の復習について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石川
6	人工心臓(心臓・血管外科) 事前学修：[30 分] 過去の授業、実習、自習などで得た関連事項の復習について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	小林
7	感染管理 事前学修：[30 分] 過去の授業、実習、自習などで得た関連事項の復習について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	安藤
8	臨床腫瘍学 事前学修：[30 分] 過去の授業、実習、自習などで得た関連事項の復習について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	國頭

■教科書

各回の担当教員が必要に応じて用意した資料を配付する。

■参考書、参考資料等

- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学② 第15版、医学書院(2019改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③ 第15版、医学書院(2019改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「血液・造血器」成人看護学④ 第15版、医学書院(2019改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」成人看護学⑤ 第15版、医学書院(2019改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「腎・泌尿器」成人看護学⑧ 第15版、医学書院(2019改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「アレルギー・膠原病感染症」成人看護学⑪ 第15版、医学書院(2020改訂)
- ・系統看護学講座・別巻「臨床外科看護総論・各論」第11版、第9版、医学書院(2017改訂)

■フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば、試験の前後2～3週間の間に、ポータルサイト、LMS(Glexa)等で伝達する。

■他の授業科目との関連

これまで学んだ内容を発展させ、臨床の現場における治療と看護の統合とその実践について理解し、医療安全、他職種との連携協調ができるよう、他の講義・演習・実習との隙間も埋めていく。

■成績評価の仕方

リフレクションペーパー(15%)、および定期試験(85%)を総合して評価する。

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の18:00～18:30(井上研究室 409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受ける。

■受講上の注意事項

看護師国家試験受験資格のみ取得する者の選択必修科目である。

予定した回が休講になった場合は、原則として補講が設定される。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS300

○梅野 充

■ 授業の目的

精神看護の実践に必要な精神医学の方法と精神疾患に関する基本知識を学ぶとともに、当事者にとって「精神を病む」こととはどのようなことかを理解する。

■ 到達目標

1. 精神疾患の病態を理解し、症状や状態を把握し記載できるようになる。
2. 各精神疾患の病態、治療についての理論を理解する。
3. 生物学的・心理的・社会的な存在としての人間を理解し、当事者をめぐる関係性を把握できるようになる。
4. 精神疾患を抱えるひとに対する、倫理的で治療的な関わりを理解する。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：主に教科書に沿って講義し、適宜、参考書で補いながら進める。適宜ワークを取り入れて行う。
2. 参考資料の提示：学生個々で学びを深められるように、配布資料に授業テーマに関連した参考図書や資料を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No.1, 4, 8 が総論的事項、No.2, 3, 5, 6, 7 が各論的事項である。

No	内容	形式	教員
1	導入：精神医学の観点 事前学修：[30 分] 教科書 5 章 A, B, C①を読んで、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく。	講義	梅野
2	統合失調症の成り立ちと回復の促進 事前学修：[30 分] 教科書 5 章 C②を読んで、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく。	講義	梅野
3	気分障害の成り立ちと回復の促進 事前学修：[30 分] 教科書 5 章 C③を読んで、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく。	講義	梅野
4	精神科薬物療法 事前学修：[30 分] 教科書 6 章 C を読んで、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく。	講義	梅野
5	精神作用物質使用による精神・行動の障害および成人の人格・行動の障害 事前学修：[30 分] 教科書 5 章 C⑤、⑦を読んで、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく。	講義	梅野
6	小児・青年期の精神・心身医学的疾患 事前学修：[30 分] 教科書 5 章 C⑥を読んで、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく。	講義	梅野
7	身体的要因に関連した精神障害および神経症性障害・ストレス関連障害 事前学修：[30 分] 教科書 5 章 C④を読んで、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく。	講義	梅野
8	まとめ：精神科治療の実際 事前学修：[30 分] 教科書 6 章 A, B, D, E を読んで、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[120 分] 本科目全般について、配布資料を読み返して復習しておく	講義	梅野

■ 教科書

武井麻子(2021). 精神看護の基礎 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1]. 第 6 版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

中井久夫、山口直彦(2004). 看護のための精神医学. 第 2 版. 医学書院.

落合慈之、秋山剛ほか(2015). 精神神経疾患ビジュアルブック. 学研メディカル秀潤社.

■ フィードバックの仕方

定期試験終了 1 日後に、試験の正解と解説を Glexa にて公開する。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、精神保健看護学実習(レベルⅢ)の履修要件となっている。また、精神保健看護学Ⅰ・Ⅱと深くかかわっている。

■ 成績評価の仕方

授業への取組み 20 %，定期試験 80 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受けつける。

薬理学

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS350

○吉見 猛

■ 授業の目的

臨床現場で使われている薬物の意義や役割を正しく理解する。

■ 到達目標

1. 薬理作用の基礎知識の基づき、薬物の特徴・作用機序・人体への影響について理解できる。
2. 主な薬物の特徴について理解できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義形式
2. 参考資料の提示：教科書を使用するが、補足でスライド、プリントも使用予定。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	薬理学の概要、体内情報伝達機構、薬の作用機序、薬物体内動態、薬理作用 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
2	末梢神経系に作用する薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
3	中枢神経系に作用する薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
4	心臓・血管系に作用する薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
5	呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
6	免疫・抗アレルギー・抗炎症薬、代謝物質に作用する薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
7	感染症に作用する薬、皮膚外用薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
8	抗がん薬 事前学修：[80 分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[10 分] 授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見

■ 教科書

吉岡 充弘／泉 剛／井関 健／横式 尚司／菅原 満(2018 年)系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学 第 14 版. 医学書院

■ 参考書、参考資料等

田中千賀子／加藤隆一／成宮 周(2017 年) NEW 薬理学 改訂第 7 版. 南江堂

■ フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭にて解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、栄養学等と関連する内容があると思います。

■ 成績評価の仕方

定期試験(80 %)、授業参加度(20 %)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受ける。

■ 受講上の注意事項

授業への主体的な参加を期待します。

*この科目は看護師国家試験受験資格のみ取得者の選択必修科目です。

リハビリテーション医学

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年・編入3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」連携 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBHS301

○田中 清和、長 晶子、安藤 慧二、樋口 晶

■授業の目的

疾患や外傷によって生じた障害を持つ人がその人らしく生きることを支援するためのアプローチについて学ぶ。機能・形態の障害、生活活動の制限、社会参加の制約という障害の構造を理解し、様々な障害に対して多職種の連携と協働によって対処する方策について学ぶ。

■到達目標

1. 障害の構造について理解し、障害の全体像をとらえることができる。
2. 障害を生じる疾患や外傷について理解する。
3. 障害の各レベルに対応したアプローチについて理解する。
4. 各患者の持つ問題点を把握し、到達すべきゴールを設定し、多職種が連携してゴールの達成を目指すというチーム医療について理解する。

■学習の進め方

医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による講義を中心に授業を行う。

授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう適宜参考資料を提示する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	リハビリテーション総論 事前学修：[30分] 解剖生理学に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	田中
2	脳血管疾患のリハビリテーション 事前学修：[30分] 脳神経疾患に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	田中
3	骨関節疾患のリハビリテーション 事前学修：[30分] 運動器疾患に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	田中
4	内部障害のリハビリテーション 事前学修：[30分] 呼吸器、循環器、腎・泌尿器の疾患に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	田中
5	癌のリハビリテーション 事前学修：[30分] 緩和・終末期ケアに関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	田中
6	理学療法 事前学修：[30分] 前回までの授業資料、ノートを読み返し、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	安藤
7	作業療法 事前学修：[30分] 前回までの授業資料、ノートを読み返し要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	長
8	言語聴覚療法 事前学修：[30分] 脳神経疾患と「看護援助論Ⅳ(嚥下機能の障害と看護)」の授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：[30分] 授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	樋口

■教科書

使用しない。講義内容に合わせて適宜資料を配布する。

■参考書、参考資料等

なし。

■フィードバックの仕方

授業のプレゼンテーション、提出物のフィードバックは授業時あるいは授業終了後に行う。

■ 他の授業科目との関連

リハビリテーションが対象とする疾患は多岐にわたるが、脳血管疾患、骨関節疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、腎・泌尿器疾患などが中心になるので、「疾病の成り立ちと回復の促進」(特に脳神経、筋骨格、呼吸器、循環器、腎・泌尿器)の授業内容について復習しておくことが望ましい。

■ 成績評価の仕方

筆記試験 80%、授業への取り組み 20%

■ オフィスアワー・研究室等

平日の 13:00～17:00、医療センター 2 階リハビリテーション室。各自アポイントメントを取って下さい。

■ 受講上の注意事項

講義の順序は変更される場合があります。

遺伝と遺伝カウンセリング

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：4 年・編入 4 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」擁護 「3」探求 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBHS400

○守田 美奈子、笠井 靖代、納富 理絵

■ 授業の目的

はじめにヒトの遺伝子の構造、機能、機能発現、等の遺伝学の基本を学ぶ。一方ヒトゲノムの一次構造決定に伴い、病気とその原因遺伝子の同定、遺伝子の機能と病因との関連が明らかになりつつある。この最新の遺伝学情報と遺伝子の発現や伝達様式を学び、増加している遺伝カウンセリングなど遺伝医療の進展に伴って求められるチーム医療の在り方と看護の役割を理解する。

■ 到達目標

- 1) 遺伝子の発現や遺伝形式を理解できる。
- 2) 遺伝子疾患を理解できる。
- 3) 遺伝子の技術進歩がもたらす倫理社会的問題を理解できる。
- 4) 遺伝性疾患をもつ人々、あるいはその可能性のある人々への看護援助を考えることができる。

■ 学習の進め方

生物のもつ形質は遺伝子を介して親から子に伝えられる。遺伝の仕方にある一定の規則性があることを発見したのは Mendel で、Mendel の「遺伝の法則」は今日の分子生物学の源流である。また Watson&Crick が明らかにしたように、酵素は蛋白質であり、蛋白質は遺伝子により規定され、遺伝子は染色体上の一定の位置に存在する DNA 分子そのものである。現在、ヒトの染色体の全 DNA (30 億文字) の一次構造が明らかにされ、DNA 配列の意味づけ(解読、annotation)も進んできた。さらに蛋白質をコードしない RNA 分子が多量に転写(合成)され、生物活動に重要な働きをする事も明らかになった。ヒトゲノム解読に伴い生命現象についての考え方、研究方法も変化し、生命科学、医学、遺伝学が飛躍的に進展している。以上をふまえて、下記のように授業を進めていく予定である。

- 1) 遺伝子の構造と機能などの遺伝学の基礎を理解できるよう講義を行う。
- 2) 遺伝子と病気、癌との関連、遺伝子診断、遺伝子治療、遺伝医療における倫理的・法的・社会的問題を理解できるようになるために、講義とグループワークを行う。
- 3) ビデオを用いて遺伝カウンセリングの実際を分かりやすく紹介することで、遺伝カウンセリングへの理解を深める。
- 4) 看護の役割についてグループメンバーと意見交換を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	遺伝医学の歴史。ヒト全ゲノムの一次構造決定の成果。遺伝性疾患の概要。 事前学修：[30 分] 遺伝に関する基礎知識の復習〔高校の内容〕 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義	笠井
2	遺伝子の構造と機能と発現様式。DNA の変異による遺伝(子)病。 事前学修：[30 分] 遺伝子の構造、染色体に関する予習 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義	笠井
3	代謝異常による先天性代謝異常症。 事前学修：[30 分] 代謝異常、遺伝子治療に関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 資料資料を読み返す	講義	笠井
4	癌と遺伝子(癌遺伝子と癌抑制遺伝子の異常による発癌)。 事前学修：[30 分] 癌と遺伝に関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義	笠井
5	集団スクリーニング・遺伝子診断・遺伝子治療・再生医療。 事前学修：[30 分] 遺伝子診断に関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義	笠井
6	遺伝医療と看護の役割 遺伝に伴う倫理的・法的・社会的問題と看護の役割 事前学修：[30 分] 遺伝看護に関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義	守田
7	遺伝看護の役割と遺伝カウンセリング 事前学修：[30 分] 遺伝カウンセリングに関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義	納富
8	遺伝看護の実際 事前学修：[30 分] 遺伝看護に関する情報を検索し読む 事後学修：[30 分] 授業資料を読み返す	講義	納富

■教科書

渡邊淳／著(2017 年発行). 診療・研究にダイレクトにつながる「遺伝医学」. 羊土社
そのほかに、プリントを作成します。授業はスライドまたは OHP を使用します。

■参考書、参考資料等

遺伝医学 渡邊淳 羊土社

遺伝／ゲノム看護. 有森直子. 溝口満子編. 医歯薬出版

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは, 試験終了後,3 週間以内にポータルサイトにて、総評および特に注意が必要な点について説明します。

■他の授業科目との関連

科目区分「健康」及び「人間」とくに生命倫理の基礎知識が必要となります。

■成績評価の仕方

授業中の課題レポート 10 %、定期試験 90 %で評価する。ノート等の持ち込みなし。

■オフィスアワー・研究室等

講義終了後に質問をうけます。授業開講日の 12:30 から 13:00. 守田研究室 413

■受講上の注意事項

*この科目は、看護師国家試験受験資格のみ取得者の選択必修科目です。

ラボラトリー・プラクティス

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
 教員：－ 科目ナンバー：HBHS200

○壹岐 聖子、裴 有安、石橋 雪乃、青木 由美子、積田 雅央、網野 彩、富田 健一郎、松尾 梢恵、用具 恭子、昆 雅士、
 今井 一仁、菅野 恵子、桑原 麻樹、平石 直己、藤井 幸太郎

■ 授業の目的

臨床検査に関する知識を習得する。

■ 到達目標

医学的基礎知識を基盤に臨床検査の意義、役割が理解できる。

■ 学習の進め方

病院検査部・病理部(日本赤十字社医療センター)で見学実習する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

少人数に分かれて、下記7部署を見学実習する。

- ・病理
- ・生理
- ・生化学
- ・輸血
- ・微生物
- ・血液尿一般
- ・染色体

具体的なスケジュールはガイダンスで説明する。

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス 事前学修：[15 分] 本科目のシラバスを読み、疑問点があれば抽出しておくこと 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	講義	壹岐聖子
2	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
3	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
4	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
5	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
6	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
7	班に分けてローテーション 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
8	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
9	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他

No	内容	形式	教員
10	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
11	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
12	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
13	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
14	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他
15	班に分かれて各部署を見学実習 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴有安、他

■ 教科書

プリントを配付する場合もある。

■ 参考書、参考資料等

系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院

■ フィードバックの仕方

試験は実施しない。全実習終了後 2 週間以内に「実習で学んだこと」についてレポートを提出してもらう。レポートのフィードバックはしない。

■ 他の授業科目との関連

疾病の成り立ちと回復の促進 IV（内科学、外科学、検査学）

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 80 %、レポート 20 %

■ オフィスアワー・研究室等

講義終了時に質問を受け付ける。

■ 受講上の注意事項

第 2 回目以降は日赤医療センター検査部で講義と実習を行うので、実習服とナースシューズを着用して出席すること。

看護学概論Ⅱ（看護倫理含）

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：4年・編入4年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」擁護 「3」成長 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBIN450

○吉田 みつ子、樋口 佳栄、細野 知子、川原 由佳里、吉良 理恵、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉田 里奈

■授業の目的

これまでの実習等による看護実践体験について振り返り、考察することで、自己の看護観を探究するための基礎的能力を育成する。

■到達目標

1. 学生一人一人が体験した看護実践を自分の言葉で語り、互いに問い直すことができる。
2. 一人ひとりの発言の仕方や考え方に耳を傾け、価値観の相違等を尊重しあいながら話し合うことができる。
3. 自らの看護実践を振り返ることができる。
4. 看護に関する理論や研究成果と照らしあわせて、看護実践の特徴(倫理問題含む)を考察することができる。
5. 看護とは何かについて自己の看護観を整理し表現することができる。

■学習の進め方

1. 事前課題レポートを提出する。
テーマ「実習での体験」
内容：これまでの実習等の中で、心に残る実践や出来事、看護を深く考えさせられた事例、患者の権利について考えさせられた事例とその体験について記述する。A4用紙1枚1000字程度
2. 講義
看護理論と看護現象との関連に関する講義を行う。
3. グループワーク・発表
・事前課題レポートで記述した体験について、グループメンバーで話し合う。
・文献を活用して体験事例の特徴を考察する。
・まとめた内容をプレゼンテーションし、クラス全体で意見交換を行う。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護実践の中にある倫理を問うこと 事前学修：[120分] 事前レポートを作成する。 事後学修：[60分] 事前レポートで記載した内容について、講義内容と照らし、考察する。	講義	吉田みつ子
2	グループワーク：看護実践の振り返り・ディスカッション 事前学修：[60分] 事前レポートで記載した内容について、考察する。 事後学修：[60分] グループメンバーの経験と自分の経験を照らし、考察する。	グループワーク	全教員
3	グループワーク：ディスカッション・発表資料作成 事前学修：[60分] グループワークで取り上げる現象に関連する文献を検索、選択しておく。 事後学修：[60分] グループワークを踏まえ、さらに文献を検討し、自分の考えをまとめる。	グループワーク	全教員
4	グループワーク：ディスカッション・発表資料作成 事前学修：[60分] 焦点を当てた現象について、文献検索・検討をする。 事後学修：[60分] グループワークを踏まえ、さらに文献を検討し、自分の考えをまとめる。	グループワーク	全教員
5	グループワークの発表および全体ディスカッション 事前学修：[60分] 発表のための準備(発表方法、内容の整理、司会進行等)を行う。 事後学修：[60分] 発表・ディスカッションを踏まえ、自身の考えをまとめる。	発表・ディスカッション	全教員
6	グループワークの発表および全体ディスカッション 事前学修：[60分] 他のグループの発表資料を読み、疑問点などを整理する。 事後学修：[60分] 発表・ディスカッションを踏まえ、自身の考えをまとめる。	発表・ディスカッション	全教員
7	グループワークの発表およびディスカッション 事前学修：[60分] 他のグループの発表資料を読み、疑問点などを整理する。 事後学修：[60分] 発表・ディスカッションを踏まえ、自身の考えをまとめる。	発表・ディスカッション	全教員
8	まとめ 事前学修：[30分] 他のグループの発表資料を読み、疑問点などを整理する。 事後学修：[60分] グループワーク、発表、講義を踏まえ、自分の考えをまとめ、レポートを作成する。	講義	全教員

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

発表内容のフィードバックは授業時に行う。

■ 他の授業科目との関連

看護学概論Ⅱは、看護学概論Ⅰおよびこれまでのすべての看護系科目に関連します。

■ 成績評価の仕方

事前レポート 15 %、グループワークの取り組み 35 %、最終レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業日の昼休み 吉田研究室(448)。

看護関係法規

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：4年次 開講期：前期 対応 DP：「1」連携 「2」成長 「3」変化 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBIN400

○安部 陽子、佐藤 明子

■ 授業の目的

看護実践に必要な基礎知識として、保健師助産師看護師法ならびに関係する領域の法令について理念・目的・主要な行政施策を理解する。

■ 到達目標

- ・法の種類と厚生行政のしくみについて説明できる。
- ・保健師助産師看護師法の構造、目的、看護職の定義、名称独占・業務独占、看護職の業務範囲、看護職の義務について説明できる。
- ・保健師助産師看護師法で規定されている免許の取得要件、籍の登録、免許の申請、籍の訂正、免許の書換交付・再交付、免許の取消・業務停止・再免許、登録の抹消、試験の受験資格と試験科目、看護職の養成所、保助看法の制定と改正の経緯について説明できる。
- ・保健師助産師看護師法で規定されている看護事故の法的責任について説明できる。
- ・看護師等の人材確保の促進に関する法律の目的、および同法で規定されている基本指針、看護師等の責務等、ナースセンターについて説明できる。
- ・医療法に規定されている目的、医療提供の理念、医療施設の種類、医療施設の開設・管理、医療計画、医療法人等について説明できる。
- ・さまざまな医療関係職種に関する法律とそれらに規定されている業務範囲について説明できる。
- ・薬事法の目的、および同法に規定されている医薬品等の定義、医薬品等に関する規制、薬害被害者の救済等に関する法律の概要、麻薬及び向精神薬取締法の目的および同法に規定されている麻薬・毒物等の取扱いについて説明できる。
- ・労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法、男女雇用機会均等法で規定されている内容について説明できる。

■ 学習の進め方

- ・看護に携わる者にとって最も重要な法である保健師助産師看護師法を中心に、周辺の医事や衛生、社会保障、労働などの関係法令を理解するために、講義と演習を用いる。
- ・法令を単に知識として学ぶだけでなく、なぜこのような内容になっているのか、看護との関係はどうか、他の科目で学んだこと、日常生活や実習での経験と関連づけた学習を目指す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	法の概念と厚生行政のしくみ/保健師助産師看護師法 1:①保健師助産師看護師法の構造と付属法令, ②目的, ③保健師, 助産師, 看護師, 准看護師の定義, ④看護職の業務独占・名称独占, ⑤看護職の義務 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・佐藤
2	保健師助産師看護師法 2:①免許の取得要件、②籍の登録、③免許の申請、④籍の訂正、⑤免許の書換交付・交付、⑥免許の取消・業務停止・再免許、⑦登録の抹消、⑧試験の受験資格と試験科目、⑨看護職の養成所、⑩保助看法の制定と改正の経緯 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・佐藤
3	看護事故の法的責任：①医療過誤とは、②看護事故の法的責任とは、③民事上の責任、④刑事上の責任、⑤行政上の責任／看護師等の人材確保の促進に関する法律①目的、基本指針、看護師等の責務等、ナースセンター 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・佐藤
4	医療法 1: 医療法 1:①目的、医療提供の理念、②医療施設の種類、③医療に関する情報の提供、④医療の安全の確保 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・佐藤

No	内容	形式	教員
5	医療法 2: ①医療施設の開設・管理、②医療計画、③医療法人 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・佐藤
6	医師法等医療関係職種に関する法律 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・佐藤
7	薬務法と看護:医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、麻薬及び向精神薬取締法等 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・佐藤
8	労働法と看護／社会基盤整備と看護 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・佐藤

■教科書

森山幹夫「系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令」 最新版 (医学書院)

■参考書、参考資料等

なし

■フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glexa 上でコメントの返却、解説資料や動画の提示などのフィードバックを行う。

■他の授業科目との関連

「看護管理学Ⅰ」で触れた制度に関する内容は「看護関係法規」で学びを深める。「看護管理学Ⅰ」で触れたマネジメントの理論等は「看護管理学Ⅱ」で学びを深める。

■成績評価の仕方

事前課題(16%)、授業中の課題(28%)、事後課題(16%)、定期試験(40%)により評価する。

■オフィスアワー・研究室等

開講期間中の金曜日、12:20-12:50、415 研究室

■受講上の注意事項

なし

看護の歴史

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：後期 対応 DP：「1」変化 「2」成長 「3」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBIN350

○川原 由佳里

■ 授業の目的

近代以降の日本の看護の歴史を学ぶ。過去に看護がたどった道のりを学ぶことを通じて、今日の看護が拠って立つ基盤を理解し、広い視野から将来の看護を展望することを目的とする。

■ 到達目標

- ・さまざまな時代や社会における人々の健康ニーズや看護のありように関心を持つことができる。
- ・より良い社会の実現にむけて、新たな看護を創り出そうとする姿勢を持つことができる。

■ 学習の進め方

教科書の抄読に基づく発表と討論、解説により進める。教科書の内容に応じて適宜、資料を紹介し、歴史的事実の解釈と理解の深まりをめざす。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション ナイチンゲールと看護 ・産業革命時代の人々の健康と衛生思想 ・ヴィクトリア朝時代の女性：カサンドラ ・カイゼルスヴェルト学園での学び ・クリミア戦争での体験 ・ナイチンゲールの宗教と科学：真理の探究 ・看護覚え書とセントトマス病院での看護婦養成 事前学修：[15 分] シラバスを読んでくる 事後学修：[15 分] 課題を確認する	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
2	明治期における看護教育の始まり ・明治維新と医制 ・府県立病院と従看護婦 ・明治期の女性の職業 ・看護婦養成の実際：日本赤十字社病院の場合 ・卒業看護婦による派出看護 事前学修：[30 分] 参考資料を読み、初期の看護婦養成所を一つ選び、調べてまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
3	日米における看護専門職の歴史 ・ナイチンゲールスクールと病院付属専門学校 ・第一次世界大戦と世界恐慌 ・資格試験、免許制度、職能団体、倫理綱領、高等教育化 ・研究 ・高度実践看護：CNS、NP、NA、CNM 事前学修：[30 分] 参考資料を読み、日本の看護資格制度について調べ、まとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
4	災害看護の歴史 ・明治期の災害対策と人々の災害のとりえ方 ・交通・通信・メディアの発達による災害対応の迅速化 ・外科学の発展と医療資源の増大 ・磐梯山噴火、トルコ軍艦沈没事故、濃尾震災、三陸海嘯における災害救護 ・災害時の健康問題と救護の実際に基づく経験知 事前学修：[30 分] 参考資料を読み、日本の災害を一つ選び、調べまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原

No	内容	形式	教員
5	戦争と看護 1：日本 ・ジュネーブ条約と赤十字 ・日清戦争と日露戦争における救護 ・陸軍における戦時衛生勤務 ・軍属としての日赤看護婦 ・ビルマにおける日本赤十字社救護班 事前学修：[30 分] 参考資料を読み、日赤救護看護婦の体験をまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
6	戦争と看護 2：英国 ・ナイチンゲールと英国陸軍衛生制度 ・英国赤十字社 VAD ・アレクサンドリア女王陸軍看護サービス ・第2次世界大戦アジアでの英国看護婦の体験 ・香港シンガポール・ビルマでの看護 事前学修：[30 分] 参考資料を読み、イギリスの陸軍看護婦について興味関心をもった点についてあげる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
7	母子保健に見る助産師・保健師の歴史 ・大正期の乳幼児死亡率の国際比較 ・巡回助産婦・小児保健婦の活躍 ・戦後の母子対策と児童福祉法 ・母子保健センターと妊産婦への支援 ・地域保健法：サービスの一般財源化と保健師への期待 事前学修：[30 分] 参考資料を読み、乳児死亡率の変遷とそれに影響した要因を考える。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
8	看護の役割拡大と高度実践 ・米国における NP ・コロラド大学看護学部ロレッタフォードの取り組み ・法的地位、評価と報酬、裁量権、統一規定モデル ・日本における NP への取り組み ・特定行為と2つの NP ・看護の役割拡大をどのように考えるか 事前学修：[30 分] 参考資料を読み、アメリカの NP について調べ、まとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション	川原

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

亀山美智子、新版看護学全書別巻 7 看護史、メヂカルフレンド社 2004 年

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、翌年度 4 月中に川原研究室にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

発表・討論 50 % 課題レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30 - 13:00 川原研究室(447)

■ 受講上の注意事項

なし

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN200

○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理恵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈

■授業の目的

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)で学んだことも踏まえつつ、対象者の生を支える看護実践に必要な身体診察技法の知識と技術について、系統的に学び、それらを統合して実践する力を養う。

■到達目標

この科目の目標は、人々を擁護し援助するための実践的な方法を学ぶこと、およびそのプロセス全体を通して関係を築きながら人々への理解を深める方法を学ぶことである。それを通して、自らの身体感覚を活用しながら人間の“からだ”の在りようを探索する手掛かりを得る。具体的には以下の通りである。

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。
5. 学んだ知識・技術を活用し実践に即した態度で総合的にフィジカルアセスメントを行うことができる。

■学習の進め方

AL

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：リフレクションペーパーを記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。
5. 総合演習では、グループメンバーでケースについてのフィジカルアセスメントを行ない、プロセスも含めてプレゼンテーションする。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	フィジカルアセスメント①振り返り フィジカルイグザムの復習 事前学修：[30 分] 事前に掲示板などで提示した課題に取り組む 事後学修：[30 分] 提示された事後課題に取り組む	講義・演習	樋口・全員
2	フィジカルアセスメント①振り返り フィジカルイグザムの復習 事前学修：[30 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	講義・演習	樋口・全員
3	見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話す 事前学修：[30 分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	遠山/樋口
4	見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話すことに関するフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	身体を守る・加齢による変化 事前学修：[30 分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口
6	身体を守ることに関するフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	生命を維持する① 呼吸器系 事前学修：[30 分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[60 分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	鬼頭/樋口

No	内容	形式	教員
8	呼吸器系のフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
9	生命を維持する② 循環器系 事前学修：[30 分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	吉良/樋口
10	循環器系のフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	生命の危機 事前学修：[45 分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[45 分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	吉田里奈/樋口
12	生命の危機におけるフィジカルイグザム 事前学修：[45 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[45 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	総合演習 グループワークによる事例検討 事前学修：[45 分] プレゼンテーションの準備に取り組む 事後学修：[45 分] プレゼンテーションの準備に取り組む	演習	全員
14	総合演習 事例検討発表 事前学修：[45 分] プレゼンテーションの準備に取り組む 事後学修：[45 分] 最終レポートに取り組む	演習	全員
15	まとめ 事前学修：[30 分] 全体振り返りシートに取り組む 事後学修：[60 分] 最終レポート課題に取り組む	講義	樋口

■教科書

- 守田美奈子監修 (2021). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス (初版第 2 刷). インターメディカ.

■参考書、参考資料等

- 藤崎郁 (2017). フィジカルアセスメント完全ガイド第 3 版. 学習研究社.
- Steve parker(2009). みえる人体ー構造・機能・病態. 南江堂.
- 医療情報科学研究所 (2019). 看護がみえる Vol.3. フィジカルアセスメント. メディックメディア.

* 資料は適宜配布します

■フィードバックの仕方

- 事前課題は授業中に活用します。
- 事後課題は提出された課題用紙に必要時コメントを記載し次回授業時に全体で共有します。
- 最終課題レポートにはコメントを記載し返却します。
- 筆記試験終了後の問題解説は書面でグレクサなどを活用して行います。

■他の授業科目との関連

- この科目は看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件になっています。
- 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)で一連のフィジカルアセスメントを学びます。

■成績評価の仕方

事前事後課題の取り組み 30 % 総合演習の取り組み(最終レポート) 20 % 筆記試験 50 %

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10～12：40 (第 2 実習室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設けます(技術の練習や質問など自由に行うことができます)。具体的な日程は 1 回目の授業時間内に提示します。

研究室：広尾キャンパス 樋口(411 研究室)、吉良(439 研究室)、鬼頭・吉田里奈(438 研究室)、遠山(453 研究室)

■受講上の注意事項

- ◆基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行います
- ◆30 分以上の遅刻・早退は欠席とみなします

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN200

○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理恵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈

■授業の目的

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)で学んだことも踏まえつつ、対象者の生を支える看護実践に必要な身体診察技法の知識と技術について、系統的に学び、それらを統合して実践する力を養う。

■到達目標

この科目の目標は、人々を擁護し援助するための実践的な方法を学ぶこと、およびそのプロセス全体を通して関係を築きながら人々への理解を深める方法を学ぶことである。それを通して、自らの身体感覚を活用しながら人間の“からだ”の在りようを探索する手掛かりを得る。具体的には以下の通りである。

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。
5. 学んだ知識・技術を活用し実践に即した態度で総合的にフィジカルアセスメントを行うことができる。

■学習の進め方

AL

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：リフレクションペーパーを記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。
5. 総合演習では、グループメンバーでケースについてのフィジカルアセスメントを行ない、プロセスも含めてプレゼンテーションする。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	フィジカルアセスメント①振り返り フィジカルイグザムの復習 事前学修：[30 分] 事前に掲示板などで提示した課題に取り組む 事後学修：[30 分] 提示された事後課題に取り組む	講義・演習	樋口・全員
2	フィジカルアセスメント①振り返り フィジカルイグザムの復習 事前学修：[30 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	講義・演習	樋口・全員
3	見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話す 事前学修：[30 分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	遠山/樋口
4	見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話すことに関するフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	身体を守る・加齢による変化 事前学修：[30 分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口
6	身体を守ることに関するフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	生命を維持する① 呼吸器系 事前学修：[30 分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[60 分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	鬼頭/樋口

No	内容	形式	教員
8	呼吸器系のフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
9	生命を維持する② 循環器系 事前学修：[30 分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30 分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	吉良/樋口
10	循環器系のフィジカルイグザム 事前学修：[30 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	生命の危機 事前学修：[45 分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[45 分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	吉田里奈/樋口
12	生命の危機におけるフィジカルイグザム 事前学修：[45 分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[45 分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	総合演習 グループワークによる事例検討 事前学修：[45 分] プレゼンテーションの準備に取り組む 事後学修：[45 分] プレゼンテーションの準備に取り組む	演習	全員
14	総合演習 事例検討発表 事前学修：[45 分] プレゼンテーションの準備に取り組む 事後学修：[45 分] 最終レポートに取り組む	演習	全員
15	まとめ 事前学修：[30 分] 全体振り返りシートに取り組む 事後学修：[60 分] 最終レポート課題に取り組む	講義	樋口

■教科書

- 守田美奈子監修 (2021). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス (初版第 2 刷). インターメディカ.

■参考書、参考資料等

- 藤崎郁 (2017). フィジカルアセスメント完全ガイド第 3 版. 学習研究社.
- Steve parker(2009). みえる人体ー構造・機能・病態. 南江堂.
- 医療情報科学研究所 (2019). 看護がみえる Vol.3. フィジカルアセスメント. メディックメディア.

* 資料は適宜配布します

■フィードバックの仕方

- 事前課題は授業中に活用します。
- 事後課題は提出された課題用紙に必要時コメントを記載し次回授業時に全体で共有します。
- 最終課題レポートにはコメントを記載し返却します。
- 筆記試験終了後の問題解説は書面でグレクサなどを活用して行います。

■他の授業科目との関連

- この科目は看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件になっています。
- 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)で一連のフィジカルアセスメントを学びます。

■成績評価の仕方

事前事後課題の取り組み 30 % 総合演習の取り組み(最終レポート) 20 % 筆記試験 50 %

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10～12：40 (第 2 実習室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設けます(技術の練習や質問など自由に行うことができます)。具体的な日程は 1 回目の授業時間内に提示します。

研究室：広尾キャンパス 樋口(411 研究室)、吉良(439 研究室)、鬼頭・吉田里奈(438 研究室)、遠山(453 研究室)

■受講上の注意事項

- ◆基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行います
- ◆30 分以上の遅刻・早退は欠席とみなします

看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN201

○吉田 みつ子、細野 知子、樋口 佳栄、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈

■授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を学ぶことができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら、学ぶことができる。
3. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義で伝えたあと、技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進める。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについてはショートディスカッションを何度か行うことで理解を深められるようにする。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを設けて、交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設けて体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	薬物療法・検査時の援助技術 事前学修：[30 分] 事前に配布する課題について調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉田みつ子
2	薬物療法・検査時の援助技術<演習内容：注射器の取り扱い、バイアルの吸い上げ> 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
3	静脈血採血の援助技術 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	鬼頭
4	静脈血採血の援助技術<演習内容：静脈血採血> 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
5	注射法の援助技術 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉良・吉田みつ子
6	注射法の援助技術<演習内容：アンプルの吸い上げ・皮下注射・筋肉注射> 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
7	排泄に関する援助技術(グリセリン浣腸・摘便) 事前学修：[60 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[60 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉田みつ子
8	排泄に関する援助技術<演習内容：グリセリン浣腸> 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
9	呼吸に関する援助技術(酸素療法・気道加湿法) 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義および演習	遠山

No	内容	形式	教員
10	呼吸に関する援助技術＜演習内容：酸素ポンベの取り扱い、酸素吸入法、ネブライザー＞ 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
11	呼吸に関する援助技術(口腔内・鼻腔内吸引) 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	鬼頭
12	呼吸に関する援助技術＜演習内容：口腔内・鼻腔内吸引＞ 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
13	実技チェック(静脈血採血法) 事前学修：[60 分] 実技試験のポイントを見直す。 事後学修：[60 分] 実技試験結果を振り返り改善点を見出す。	その他	全員
14	技術チェック(静脈血採血法) 事前学修：[60 分] 実技試験のポイントを見直す。 事後学修：[60 分] 実技試験結果を振り返り改善点を見出す。	その他	全員
15	まとめ(実技チェックのフィードバック、授業のまとめ) 事前学修：[60 分] 知識の確認問題に取り組む。 事後学修：[60 分] 実技チェックのフィードバックおよび知識の確認問題の解答を見直す。	その他	吉田みつ子

■教科書

①本庄恵子・吉田みつ子監修(2020)新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1. アドバンス [Web 動画付] インターメディカ. ②本庄恵子・吉田みつ子監修(2020)新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2. アドバンス [Web 動画付]. インターメディカ. ③吉田みつ子・本庄恵子監修(2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術. アドバンス [Web 動画付]. インターメディカ(③は 1 年次に購入済です)

■参考書、参考資料等

なし

■フィードバックの仕方

実技チェックの返却はまとめの講義で行います。筆記試験のフィードバックは、8 月下旬レベルⅡ実習前までに解説資料の配布、答案用紙の返却を行います。返却日時、方法はポータルにて連絡します。

■他の授業科目との関連

1 年次「看護技術論Ⅲ①②」で学んだ技術のステップアップです。本科目はレベルⅡ実習履修の履修要件です。

■成績評価の仕方

演習記録物・事前事後学習 30 %・実技チェック 10 %・筆記試験 60 %

■オフィスアワー・研究室等

授業日の 12:10～12:30 実習室あるいは研究室：吉田(448 室)

■受講上の注意事項

講義・演習時は実習ユニホームを着用して行います。30 分以上の遅刻は欠席となります。

看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN201

○吉田 みつ子、細野 知子、樋口 佳栄、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈

■授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を学ぶことができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら、学ぶことができる。
3. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義で伝えたあと、技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進める。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについてはショートディスカッションを何度か行うことで理解を深められるようにする。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを設けて、交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	薬物療法・検査時の援助技術 事前学修：[30 分] 事前に配布する課題について調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉田みつ子
2	薬物療法・検査時の援助技術<演習内容：注射器の取り扱い、バイアルの吸い上げ> 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
3	静脈血採血の援助技術 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	鬼頭
4	静脈血採血の援助技術<演習内容：静脈血採血> 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
5	注射法の援助技術 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉良・吉田みつ子
6	注射法の援助技術<演習内容：アンプルの吸い上げ・皮下注射・筋肉注射> 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
7	排泄に関する援助技術(グリセリン浣腸・摘便) 事前学修：[60 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[60 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉田みつ子
8	排泄に関する援助技術<演習内容：グリセリン浣腸> 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
9	呼吸に関する援助技術(酸素療法・気道加湿法) 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義および演習	遠山

No	内容	形式	教員
10	呼吸に関する援助技術＜演習内容：酸素ポンベの取り扱い、酸素吸入法、ネブライザー＞ 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
11	呼吸に関する援助技術(口腔内・鼻腔内吸引) 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	鬼頭
12	呼吸に関する援助技術＜演習内容：口腔内・鼻腔内吸引＞ 事前学修：[30 分] 1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：[30 分] 演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
13	実技チェック(静脈血採血法) 事前学修：[60 分] 実技試験のポイントを見直す。 事後学修：[60 分] 実技試験結果を振り返り改善点を見出す。	その他	全員
14	技術チェック(静脈血採血法) 事前学修：[60 分] 実技試験のポイントを見直す。 事後学修：[60 分] 実技試験結果を振り返り改善点を見出す。	その他	全員
15	まとめ(実技チェックのフィードバック、授業のまとめ) 事前学修：[60 分] 知識の確認問題に取り組む。 事後学修：[60 分] 実技チェックのフィードバックおよび知識の確認問題の解答を見直す。	その他	吉田みつ子

■教科書

①本庄恵子・吉田みつ子監修(2020)新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1. アドバンス [Web 動画付] インターメディカ. ②本庄恵子・吉田みつ子監修(2020)新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2. アドバンス [Web 動画付]. インターメディカ. ③吉田みつ子・本庄恵子監修(2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術. アドバンス [Web 動画付]. インターメディカ(③は 1 年次に購入済です)

■参考書、参考資料等

なし

■フィードバックの仕方

実技チェックの返却はまとめの講義で行います。筆記試験のフィードバックは、8 月下旬レベルⅡ実習前までに解説資料の配布、答案用紙の返却を行います。返却日時、方法はポータルにて連絡します。

■他の授業科目との関連

1 年次「看護技術論Ⅲ①②」で学んだ技術のステップアップです。本科目はレベルⅡ実習履修の履修要件です。

■成績評価の仕方

演習記録物・事前事後学習 30 %・実技チェック 10 %・筆記試験 60 %

■オフィスアワー・研究室等

授業日の 12:10～12:30 実習室あるいは研究室：吉田(448 室)

■受講上の注意事項

講義・演習時は実習ユニホームを着用して行います。30 分以上の遅刻は欠席となります。

看護援助論Ⅰ（看護過程）

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN200

○細野 知子、樋口 佳栄、西田 朋子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、富澤 真紀、田代 幸子、佐藤 明子、河田 照絵、吉田 里奈、山中 源治

■授業の目的

健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや諸課題を明らかにし、その解決に向けた的確な援助を提供するための問題解決のプロセスを学びます。これを通じて、看護が蓄えてきた知識や技術を包括的に再編成し、方向性を明示しながらケアを実践する力を養います。

■到達目標

- ・看護の対象者の健康に関する情報を既習の知識に基づいて解釈、理解することができる。
- ・看護の対象者の健康について全体論的な視点から捉えることができる。
- ・看護の対象者の健康に資するための看護援助を計画することができる。

■学習の進め方

AL

Ⅰ．看護過程についての講義とⅡ．事例を用いた演習（グループワーク：GW、発表・討論）を通じて学びます。

演習ではグループ別担当教員が学びをサポートします。

セルラーニングに向け、事後課題で Glexa のクイズ機能を活用した復習サポート環境を整えています。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Ⅰ．看護過程の講義 1. 看護過程とは何か(4月12日2限) ■実習の経験と看護理論から考える ■事例1の紹介 事前学修：[15分] レベルⅠ実習のレポートを読んで課題に取り組む 事後学修：[15分] 事後課題に取り組む	講義	細野
2	2. 医学情報の整理(4月19日2限) ■看護に必要な医学情報を読み解き整理する 事前学修：[30分] 事例1を読み、事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 事後課題に取り組む	講義	細野
3	3. アセスメントと関連図(4月19日3限) ■11のアセスメント項目に基づき分析する 事前学修：[30分] 配付資料を読み、課題に取り組む 事後学修：[30分] 事後課題に取り組む	講義	細野
4	4. 全体像の描写(4月26日2限) ■全体像を記述し望まれる姿を考える 事前学修：[30分] 配付資料を読み、事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 事後課題に取り組む	講義	細野
5	5. ケア計画の立案(4月26日3限) ■優先順位を決めケアプランを立案する ■望まれる姿を実現するための具体的援助を考える 6. ケアの実施と評価 ■実施・評価・修正の循環 ■患者さんと共に実現していくための方法 事前学修：[30分] 配付資料を読み、事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 事後課題に取り組む	講義	細野
6	Ⅱ．事例2を用いた演習 1-(1). 医学情報の整理(5月10日2限) ■講義：演習オリエンテーション、医学情報の整理 ■個人ワーク：図書館資料等を用いて事例2の医学情報を様式2-2をまとめる 事前学修：[30分] 1,2回講義資料を読み返し事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 事例2についての医学情報を様式2-2にまとめる準備をする(資料を集める)	講義	細野

No	内容	形式	教員
7	1-(2). 医学情報の整理(5月10日3限) ■グループワーク：個人ワークの結果を持ち寄り討議を経て様式 2-2 をまとめる。 事前学修：[30 分] グループワークに向けて、医学情報を様式 2-2 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経て、医学情報を様式 2-2 にまとめる	演習：GW	全員
8	2-(1). アセスメント(糖代謝に関する項目：栄養・水分バランス、体位姿勢/活動休息、健康増進)(5月17日2限) ■全体発表・討議：医学情報の整理 ■講義：上記(糖代謝に関する項目)アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経て医学情報を補足する	発表・討議 講義	細野
9	2-(2). アセスメント(糖代謝に関する項目：栄養・水分バランス、体位姿勢/活動休息、健康増進)(5月17日3限) ■個人ワーク：上記アセスメント ■グループワーク：上記アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習：GW	全員
10	3-(1). アセスメント(糖尿病合併症に関する項目：排泄、呼吸・循環、安楽)(5月24日2限) ■全体発表・討議：アセスメント(糖代謝に関する項目：栄養・水分バランス、体位姿勢/活動休息、健康増進) ■講義：上記(糖尿病合併症に関する項目)アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議 講義	細野
11	3-(2). アセスメント(糖尿病合併症に関する項目：排泄、呼吸・循環、安楽)(5月24日3限) ■個人ワーク：上記アセスメント ■グループワーク：上記アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例 2-3 のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習：GW	全員
12	4-(1). アセスメント(糖尿病合併症に関する項目・その他：安全・感染防御、清潔、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)(5月31日2限) ■全体発表・討議：アセスメント(糖尿病合併症に関する項目：排泄、呼吸・循環、安楽) ■講義：上記(糖尿病合併症に関する項目)アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議 講義	細野
13	4-(2). アセスメント(糖尿病合併症に関する項目・その他：安全・感染防御、清潔、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)(5月31日3限) ■個人ワーク：上記アセスメント ■グループワーク：上記アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習：GW	全員
14	5-(1). 関連図の作成、全体像の描写(6月7日2限) ■全体発表・討議：アセスメント(糖尿病合併症に関する項目・その他：安全・感染防御、清潔、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達) ■講義：関連図、全体像の記述 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の関連図、全体像を様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議 講義	細野

No	内容	形式	教員
15	5-(2). 関連図の作成、全体像の描写(6月8日3限) ■個人ワーク：関連図の作成、全体像の記述 ■グループワーク：関連図の作成、全体像の記述 事前学修：[30分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の関連図と全体像を様式2-4にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30分] グループワークを経て関連図と全体像を様式2-3にまとめる	演習：GW	全員
16	6-(1). 看護問題リスト・ケアプランの立案(6月14日2限) ■全体発表・討議：関連図、全体像の記述 ■講義：看護問題リスト・ケアプランの立案 事前学修：[30分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の看護問題リストを作成し様式2-5にまとめる。リストの内2つの看護問題に対してケアプランを立案し様式2-5にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30分] 発表・討議を経て関連図と全体像の記述について補足する	発表・討議 講義	細野
17	6-(2). 看護問題リスト・ケアプランの立案(6月14日3限) ■個人ワーク：看護問題リスト・ケアプランの立案 ■グループワーク：看護問題リスト・ケアプランの立案 事前学修：[30分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の看護問題リストを作成し様式2-5にまとめる。リストの内2つの看護問題に対してケアプランを立案し様式2-5にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30分] グループワークを経て関連図と全体像の記述について補足する	演習：GW	全員
18	7-(1) 全体のリフレクションとピアレビュー(6月21日2限) ■講義：ピアレビューについて ■全体討議：難しく感じるところについて理解を深める 事前学修：[30分] これまでの演習ノートを読み理解を深めたいところを確認する 事後学修：[30分] 全体討議を経て、演習ノートをまとめる	講義 全体討論	細野
19	7-(2) 全体のリフレクションとピアレビュー(6月21日3限) ■個人ワーク：ケアプランをまとめる ■グループワーク：看護問題リスト・ケアプランのピアレビューまとめ 事前学修：[15分] ケアプランに作成に取り組む 事後学修：[15分] 看護問題リスト・ケアプランのピアレビューをまとめる	演習：GW	細野他
20	8-(1) 看護問題リスト・ケアプラン発表(6月28日2限) 事前学修：[15分] 発表資料を準備する 事後学修：[15分] 発表・討議を経て、演習記録を洗練させる	発表・討論	細野
21	8-(2) 看護問題リスト・ケアプラン発表(6月28日3限) 事前学修：[30分] 発表資料を準備する 事後学修：[15分] 発表・討議を経て、演習記録を洗練させる	発表・討議	細野
22	9. 筆記試験(7月5日2限) 事前学修：[30分] 演習記録を完成させる。これまでの資料を見直す 事後学修：[15分] 理解が不足していたところの資料を見直す	試験	細野
23	10. 試験の振り返り(7月26日2限) 事前学修：[15分] 事前課題に取り組む 事後学修：[15分] 事後課題に取り組む	講義	細野
24	Ⅲ. 看護記録(7月26日3限) 事前学修：[15分] 事前課題に取り組む 事後学修：[15分] 事後課題に取り組む、期限までに提出する	講義	細野

■教科書

授業は配付資料を用いて行います。教科書は使用しません。

■参考書、参考資料等

ありません。文献などはその都度で紹介します。

■フィードバックの仕方

毎回の講義・演習については、次回講義時にリフレクションコメントへのリプライを、資料を通じて行います。

試験のフィードバックは、第23回の授業で行います。採点後の答案用紙の返却ならびに試験問題と採点基準の解説を通じて行います。

■ 他の授業科目との関連

看護援助論Ⅰ(看護過程)は看護援助論実習〔レベルⅡ実習〕の履修要件科目となっています。

■ 成績評価の仕方

事例を用いた演習記録 40 %、グループワークの取り組み 10%、筆記試験 50 %、合計 100 %で評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00 に 細野研究室(437)ないし遠隔で細野が対応します。

看護援助論Ⅰ（看護過程）

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN200

○細野 知子、樋口 佳栄、西田 朋子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、富澤 真紀、田代 幸子、佐藤 明子、河田 照絵、吉田 里奈、山中 源治

■授業の目的

健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや諸課題を明らかにし、その解決に向けた的確な援助を提供するための問題解決のプロセスを学びます。これを通じて、看護が蓄えてきた知識や技術を包括的に再編成し、方向性を明示しながらケアを実践する力を養います。

■到達目標

- ・看護の対象者の健康に関する情報を既習の知識に基づいて解釈、理解することができる。
- ・看護の対象者の健康について全体論的な視点から捉えることができる。
- ・看護の対象者の健康に資するための看護援助を計画することができる。

■学習の進め方

AL

Ⅰ．看護過程についての講義とⅡ．事例を用いた演習（グループワーク：GW、発表・討論）を通じて学びます。

演習ではグループ別担当教員が学びをサポートします。

セルラーニングに向け、事後課題で Glexa のクイズ機能を活用した復習サポート環境を整えています。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Ⅰ．看護過程の講義 1. 看護過程とは何か(4月12日2限) ■実習の経験と看護理論から考える ■事例1の紹介 事前学修：[15分] レベルⅠ実習のレポートを読んで課題に取り組む 事後学修：[15分] 事後課題に取り組む	講義	細野
2	2. 医学情報の整理(4月19日2限) ■看護に必要な医学情報を読み解き整理する 事前学修：[30分] 事例1を読み、事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 事後課題に取り組む	講義	細野
3	3. アセスメントと関連図(4月19日3限) ■11のアセスメント項目に基づき分析する 事前学修：[30分] 配付資料を読み、課題に取り組む 事後学修：[30分] 事後課題に取り組む	講義	細野
4	4. 全体像の描写(4月26日2限) ■全体像を記述し望まれる姿を考える 事前学修：[30分] 配付資料を読み、事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 事後課題に取り組む	講義	細野
5	5. ケア計画の立案(4月26日3限) ■優先順位を決めケアプランを立案する ■望まれる姿を実現するための具体的援助を考える 6. ケアの実施と評価 ■実施・評価・修正の循環 ■患者さんと共に実現していくための方法 事前学修：[30分] 配付資料を読み、事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 事後課題に取り組む	講義	細野
6	Ⅱ．事例2を用いた演習 1-(1). 医学情報の整理(5月10日2限) ■講義：演習オリエンテーション、医学情報の整理 ■個人ワーク：図書館資料等を用いて事例2の医学情報を様式2-2をまとめる 事前学修：[30分] 1,2回講義資料を読み返し事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 事例2についての医学情報を様式2-2にまとめる準備をする(資料を集める)	講義	細野

No	内容	形式	教員
7	1-(2). 医学情報の整理(5月10日3限) ■グループワーク：個人ワークの結果を持ち寄り討議を経て様式 2-2 をまとめる。 事前学修：[30 分] グループワークに向けて、医学情報を様式 2-2 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経て、医学情報を様式 2-2 にまとめる	演習：GW	全員
8	2-(1). アセスメント(糖代謝に関する項目：栄養・水分バランス、体位姿勢/活動休息、健康増進)(5月17日2限) ■全体発表・討議：医学情報の整理 ■講義：上記(糖代謝に関する項目)アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経て医学情報を補足する	発表・討議 講義	細野
9	2-(2). アセスメント(糖代謝に関する項目：栄養・水分バランス、体位姿勢/活動休息、健康増進)(5月17日3限) ■個人ワーク：上記アセスメント ■グループワーク：上記アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習：GW	全員
10	3-(1). アセスメント(糖尿病合併症に関する項目：排泄、呼吸・循環、安楽)(5月24日2限) ■全体発表・討議：アセスメント(糖代謝に関する項目：栄養・水分バランス、体位姿勢/活動休息、健康増進) ■講義：上記(糖尿病合併症に関する項目)アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議 講義	細野
11	3-(2). アセスメント(糖尿病合併症に関する項目：排泄、呼吸・循環、安楽)(5月24日3限) ■個人ワーク：上記アセスメント ■グループワーク：上記アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例 2-3 のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習：GW	全員
12	4-(1). アセスメント(糖尿病合併症に関する項目・その他：安全・感染防御、清潔、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)(5月31日2限) ■全体発表・討議：アセスメント(糖尿病合併症に関する項目：排泄、呼吸・循環、安楽) ■講義：上記(糖尿病合併症に関する項目)アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議 講義	細野
13	4-(2). アセスメント(糖尿病合併症に関する項目・その他：安全・感染防御、清潔、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)(5月31日3限) ■個人ワーク：上記アセスメント ■グループワーク：上記アセスメント 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習：GW	全員
14	5-(1). 関連図の作成、全体像の描写(6月7日2限) ■全体発表・討議：アセスメント(糖尿病合併症に関する項目・その他：安全・感染防御、清潔、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達) ■講義：関連図、全体像の記述 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の関連図、全体像を様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議 講義	細野

No	内容	形式	教員
15	5-(2). 関連図の作成、全体像の描写(6月8日3限) ■個人ワーク：関連図の作成、全体像の記述 ■グループワーク：関連図の作成、全体像の記述 事前学修：[30分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の関連図と全体像を様式2-4にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30分] グループワークを経て関連図と全体像を様式2-3にまとめる	演習：GW	全員
16	6-(1). 看護問題リスト・ケアプランの立案(6月14日2限) ■全体発表・討議：関連図、全体像の記述 ■講義：看護問題リスト・ケアプランの立案 事前学修：[30分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の看護問題リストを作成し様式2-5にまとめる。リストの内2つの看護問題に対してケアプランを立案し様式2-5にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30分] 発表・討議を経て関連図と全体像の記述について補足する	発表・討議 講義	細野
17	6-(2). 看護問題リスト・ケアプランの立案(6月14日3限) ■個人ワーク：看護問題リスト・ケアプランの立案 ■グループワーク：看護問題リスト・ケアプランの立案 事前学修：[30分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の看護問題リストを作成し様式2-5にまとめる。リストの内2つの看護問題に対してケアプランを立案し様式2-5にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30分] グループワークを経て関連図と全体像の記述について補足する	演習：GW	全員
18	7-(1) 全体のリフレクションとピアレビュー(6月21日2限) ■講義：ピアレビューについて ■全体討議：難しく感じるところについて理解を深める 事前学修：[30分] これまでの演習ノートを読み理解を深めたいところを確認する 事後学修：[30分] 全体討議を経て、演習ノートをまとめる	講義 全体討論	細野
19	7-(2) 全体のリフレクションとピアレビュー(6月21日3限) ■個人ワーク：ケアプランをまとめる ■グループワーク：看護問題リスト・ケアプランのピアレビューまとめ 事前学修：[15分] ケアプランに作成に取り組む 事後学修：[15分] 看護問題リスト・ケアプランのピアレビューをまとめる	演習：GW	細野他
20	8-(1) 看護問題リスト・ケアプラン発表(6月28日2限) 事前学修：[15分] 発表資料を準備する 事後学修：[15分] 発表・討議を経て、演習記録を洗練させる	発表・討論	細野
21	8-(2) 看護問題リスト・ケアプラン発表(6月28日3限) 事前学修：[30分] 発表資料を準備する 事後学修：[15分] 発表・討議を経て、演習記録を洗練させる	発表・討議	細野
22	9. 筆記試験(7月5日2限) 事前学修：[30分] 演習記録を完成させる。これまでの資料を見直す 事後学修：[15分] 理解が不足していたところの資料を見直す	試験	細野
23	10. 試験の振り返り(7月26日2限) 事前学修：[15分] 事前課題に取り組む 事後学修：[15分] 事後課題に取り組む	講義	細野
24	Ⅲ. 看護記録(7月26日3限) 事前学修：[15分] 事前課題に取り組む 事後学修：[15分] 事後課題に取り組む、期限までに提出する	講義	細野

■教科書

授業は配付資料を用いて行います。教科書は使用しません。

■参考書、参考資料等

ありません。文献などはその都度で紹介します。

■フィードバックの仕方

毎回の講義・演習については、次回講義時にリフレクションコメントへのリプライを、資料を通じて行います。

試験のフィードバックは、第23回の授業で行います。採点後の答案用紙の返却ならびに試験問題と採点基準の解説を通じて行います。

■ 他の授業科目との関連

看護援助論Ⅰ(看護過程)は看護援助論実習〔レベルⅡ実習〕の履修要件科目となっています。

■ 成績評価の仕方

事例を用いた演習記録 40 %、グループワークの取り組み 10%、筆記試験 50 %、合計 100 %で評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00 に 細野研究室(437)ないし遠隔で細野が対応します。

看護援助論Ⅱ(生命の維持)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBCN201

○千葉 京子

■ 授業の目的

呼吸機能障害および循環機能障害が生活に与える影響をアセスメントし、影響を低減あるいは解消するために必要な基本的な看護援助を学ぶ。

■ 到達目標

1. 呼吸機能障害が生活に与える影響を低減あるいは解消するための知識を述べることができる。
2. 循環機能障害が生活に与える影響を低減あるいは解消するための知識を述べることができる。
3. 生命を維持するために必要な基本的な看護援助の方法を述べることができる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義形式の授業に加え、グループワークを行うことがある。
2. 参考資料の提示：授業内容に応じた資料を作成し、配布する。
3. リアクションペーパーの内容を授業で説明する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	呼吸機能障害による症状とその看護 事前学修：[90 分] 教科書(呼吸器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
2	呼吸機能障害による検査と治療・処置を受ける患者の看護 事前学修：[90 分] 教科書(呼吸器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
3	呼吸機能障害をもつ患者の看護(肺炎・肺血栓塞栓症・慢性閉塞性肺疾患) 事前学修：[90 分] 教科書(呼吸器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
4	呼吸機能障害をもつ患者の看護(慢性閉塞性肺疾患患者の事例) 事前学修：[90 分] 教科書(呼吸器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義・GW・発表	千葉
5	循環機能障害による症状とその看護 事前学修：[90 分] 教科書(循環器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
6	循環機能障害による検査と治療・処置を受ける患者の看護 事前学修：[90 分] 教科書(循環器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
7	循環機能障害をもつ患者の看護(虚血性心疾患・心不全) 事前学修：[90 分] 教科書(循環器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
8	呼吸機能障害をもつ患者の看護および循環機能障害をもつ患者の看護 事前学修：[90 分] 7 回目までの学修内容を整理してノートにまとめる。 事後学修：[90 分] 不明瞭な点や疑問点を調べてノートにまとめる。	講義・筆記試験	千葉

■ 教科書

浅野浩一郎他 (2019). 系統看護学講座 成人看護学〔2〕呼吸器. 第 15 版. 医学書院.
松田直樹他 (2019). 系統看護学講座 成人看護学〔3〕循環器. 第 15 版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

毎回、作成した資料を配布する。

■ フィードバックの仕方

1. 各回のリアクションペーパーへのフィードバックは、次の授業回で説明を行う。
2. 定期試験のフィードバックは、前期中に解説資料の配布あるいは Glexa 上にアップロードする。

■ 他の授業科目との関連

本授業は 2 年次の看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。
2 年次前期開講の「看護援助論Ⅰ」と関連する。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(各回のリアクションペーパーの記述内容) 20% 2. 小テストの成績(10%× 2 回) 20% 3. 定期試験(記述式)の成績 60%とし、総合して評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30、千葉(429 研究室)で質問を受ける。

■ 受講上の注意事項

講義形式および定期試験の方法は、感染症等の状況により変更の可能性がある。

看護援助論Ⅱ(生命の維持)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBCN201

○千葉 京子

■ 授業の目的

呼吸機能障害および循環機能障害が生活に与える影響をアセスメントし、影響を低減あるいは解消するために必要な基本的な看護援助を学ぶ。

■ 到達目標

1. 呼吸機能障害が生活に与える影響を低減あるいは解消するための知識を述べることができる。
2. 循環機能障害が生活に与える影響を低減あるいは解消するための知識を述べることができる。
3. 生命を維持するために必要な基本的な看護援助の方法を述べることができる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義形式の授業に加え、グループワークを行うことがある。
2. 参考資料の提示：授業内容に応じた資料を作成し、配布する。
3. リアクションペーパーの内容を授業で説明する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	呼吸機能障害による症状とその看護 事前学修：[90 分] 教科書(呼吸器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
2	呼吸機能障害による検査と治療・処置を受ける患者の看護 事前学修：[90 分] 教科書(呼吸器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
3	呼吸機能障害をもつ患者の看護(肺炎・肺血栓塞栓症・慢性閉塞性肺疾患) 事前学修：[90 分] 教科書(呼吸器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
4	呼吸機能障害をもつ患者の看護(慢性閉塞性肺疾患患者の事例) 事前学修：[90 分] 教科書(呼吸器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義・GW・発表	千葉
5	循環機能障害による症状とその看護 事前学修：[90 分] 教科書(循環器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
6	循環機能障害による検査と治療・処置を受ける患者の看護 事前学修：[90 分] 教科書(循環器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
7	循環機能障害をもつ患者の看護(虚血性心疾患・心不全) 事前学修：[90 分] 教科書(循環器)の関連ページを読み、ノートにまとめる。 事後学修：[90 分] リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
8	呼吸機能障害をもつ患者の看護および循環機能障害をもつ患者の看護 事前学修：[90 分] 7 回目までの学修内容を整理してノートにまとめる。 事後学修：[90 分] 不明瞭な点や疑問点を調べてノートにまとめる。	講義・筆記試験	千葉

■ 教科書

浅野浩一郎他 (2019). 系統看護学講座 成人看護学〔2〕呼吸器. 第 15 版. 医学書院.
松田直樹他 (2019). 系統看護学講座 成人看護学〔3〕循環器. 第 15 版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

毎回、作成した資料を配布する。

■ フィードバックの仕方

1. 各回のリアクションペーパーへのフィードバックは、次の授業回で説明を行う。
2. 定期試験のフィードバックは、前期中に解説資料の配布あるいは Glexa 上にアップロードする。

■ 他の授業科目との関連

本授業は 2 年次の看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。
2 年次前期開講の「看護援助論Ⅰ」と関連する。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(各回のリアクションペーパーの記述内容) 20% 2. 小テストの成績(10%× 2 回) 20% 3. 定期試験(記述式)の成績 60%とし、総合して評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30、千葉(429 研究室)で質問を受ける。

■ 受講上の注意事項

講義形式および定期試験の方法は、感染症等の状況により変更の可能性がある。

看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN202

○清田 明美

■授業の目的

人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の性質、及びそれらが障害されたときの影響を理解し、看護援助の目標と方法を導き出すための看護援助の基礎知識を養う。

■到達目標

1. 人間にとっての食と栄養の意味、生命・活動維持に必要な栄養について説明できる。
2. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の正常な諸機能の性質を説明できる。
3. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能が障害されたときの生活への影響を説明できる。
4. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の障害により治療を受ける、あるいは受けたことへの生活への影響を説明できる。
5. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる看護援助の目標と方法を考案することができる。

■学習の進め方

1. 講義の中での体験学習や課題について、グループディスカッションを行い、これらを通して学生同士で意見交換しながら課題の知識と理解を深める。また、意見を共有する中で、考えの多様性についても学ぶ。
2. 提示する講義資料を参考に、本授業に関連した関心あるテーマについて個々で更に学びを深める。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	栄養摂取・代謝機能と看護 事前学修：[60分] 人体の構造と機能Ⅰ(栄養の消化と吸収)を復習し、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す	「講義」「ディスカッション」	清田
2	摂食調節機能の障害と看護 事前学修：[60分] 講義で示した課題学習を行う。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	「講義」「ディスカッション」	清田
3	嚥下機能の障害と看護 事前学修：[60分] 講義で示した課題学習を行う。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	「講義」「ディスカッション」	清田
4	消化・吸収機能の障害と看護 事前学修：[60分] 人体の構造と機能Ⅰ(栄養の消化と吸収)を復習してまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	「講義」「ディスカッション」	清田
5	排便・排尿機能の障害と看護 栄養代謝機能の障害と看護 グループ課題学習 事前学修：[60分] 人体の構造と機能Ⅰ(内臓機能の調節)を復習し、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	「講義」[GW]	清田
6	栄養代謝機能の障害と看護 グループワーク 事前学修：[60分] 講義で示した課題学習を行う。 事後学修：[60分] 提示した課題を行う。	[GW]	清田
7	栄養代謝機能の障害と看護:グループワーク内容の発表 事前学修：[60分] GW発表の資料準備を行う。 事後学修：[60分] リフレクションペーパーを作成する。	[発表][ディスカッション][GW]	清田
8	まとめ 事前学修：[90分] 第1回から7回までの資料を読み返し、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義全体を通して理解が不十分であった内容について復習する。	[振り返り][その他]	清田

■教科書

特に指定しない。授業中に資料を配布する。

■参考書、参考資料等

前原澄子/野口美和子監修 図説 新臨床看護学全書 第8巻 栄養機能の障害と看護 同朋舎

前原澄子/野口美和子監修 図説 新臨床看護学全書 第13巻 身体運動機能の障害と看護/排尿機能の障害と看護 同朋舎

明石恵子編 ナーシンググラフィカ 健康の回復と看護② 栄養代謝機能障害 メディカ出版

その他、参考文献等は随時提示します。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの理解に基づいた看護援助についての内容を扱う。また、2年生前期に行われる看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

授業内での課題・事前課題：30％、筆記試験：70％

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講翌日の 12：20～12：50 清田研究室 431 研究室あるいは Glexa 内で行う。

看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN202

○清田 明美

■授業の目的

人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の性質、及びそれらが障害されたときの影響を理解し、看護援助の目標と方法を導き出すための看護援助の基礎知識を養う。

■到達目標

1. 人間にとっての食と栄養の意味、生命・活動維持に必要な栄養について説明できる。
2. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の正常な諸機能の性質を説明できる。
3. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能が障害されたときの生活への影響を説明できる。
4. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の障害により治療を受ける、あるいは受けたことへの生活への影響を説明できる。
5. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる看護援助の目標と方法を考案することができる。

■学習の進め方

1. 講義の中での体験学習や課題について、グループディスカッションを行い、これらを通して学生同士で意見交換しながら課題の知識と理解を深める。また、意見を共有する中で、考えの多様性についても学ぶ。
2. 提示する講義資料を参考に、本授業に関連した関心あるテーマについて個々で更に学びを深める。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	栄養摂取・代謝機能と看護 事前学修：[60分] 人体の構造と機能Ⅰ(栄養の消化と吸収)を復習し、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す	「講義」「ディスカッション」	清田
2	摂食調節機能の障害と看護 事前学修：[60分] 講義で示した課題学習を行う。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	「講義」「ディスカッション」	清田
3	嚥下機能の障害と看護 事前学修：[60分] 講義で示した課題学習を行う。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	「講義」「ディスカッション」	清田
4	消化・吸収機能の障害と看護 事前学修：[60分] 人体の構造と機能Ⅰ(栄養の消化と吸収)を復習してまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	「講義」「ディスカッション」	清田
5	排便・排尿機能の障害と看護 栄養代謝機能の障害と看護 グループ課題学習 事前学修：[60分] 人体の構造と機能Ⅰ(内臓機能の調節)を復習し、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	「講義」[GW]	清田
6	栄養代謝機能の障害と看護 グループワーク 事前学修：[60分] 講義で示した課題学習を行う。 事後学修：[60分] 提示した課題を行う。	[GW]	清田
7	栄養代謝機能の障害と看護:グループワーク内容の発表 事前学修：[60分] GW発表の資料準備を行う。 事後学修：[60分] リフレクションペーパーを作成する。	[発表][ディスカッション][GW]	清田
8	まとめ 事前学修：[90分] 第1回から7回までの資料を読み返し、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義全体を通して理解が不十分であった内容について復習する。	[振り返り][その他]	清田

■教科書

特に指定しない。授業中に資料を配布する。

■参考書、参考資料等

前原澄子/野口美和子監修 図説 新臨床看護学全書 第8巻 栄養機能の障害と看護 同朋舎

前原澄子/野口美和子監修 図説 新臨床看護学全書 第13巻 身体運動機能の障害と看護/排尿機能の障害と看護 同朋舎

明石恵子編 ナーシンググラフィカ 健康の回復と看護② 栄養代謝機能障害 メディカ出版

その他、参考文献等は随時提示します。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの理解に基づいた看護援助についての内容を扱う。また、2年生前期に行われる看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

授業内での課題・事前課題：30％、筆記試験：70％

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講翌日の 12：20～12：50 清田研究室 431 研究室あるいは Glexa 内で行う。

看護援助論Ⅴ(活動と休息)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN203

○江本 リナ

■ 授業の目的

人が生活の中で動くために必要な身体の仕組みと働きを理解し、運動機能が維持されるとき、および脅かされる状況を多角的にアセスメントし、援助を考えるための基礎知識を養う。

■ 到達目標

1. さまざまな年齢や異なる状況において活動と休息とは何かを説明できる。
2. 生活行動に関連する身体の成り立ちを説明できる。
3. 生活行動に関連する身体の仕組みや働きを説明できる。
4. 活動と休息が脅かされるとき生活への影響と援助について説明できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 授業の形式
 - ・ 時間割で指定された授業形式(対面ないし遠隔)で行う。
 - ・ 大学の方針に則って、授業形式が変更になる場合がある。
 - ・ 授業時に指定される課題や Glexa に指定されている課題に取り組む。
2. 授業の展開
 - ・ 講義や演習を行うとともに、討論を通して学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
 - ・ 遠隔授業で利用するオンライン会議システム(Zoom または Teams)は、授業開始前に授業概要等で示す。
 - ・ 出欠席の確認方法は、授業概要にて示す。
 - ・ 対面授業における授業資料の配布は、授業時に紙面にて行う。遠隔授業にける授業資料の配布は、大学の方針(紙媒体の配布や Glexa での配信など)に則る。
3. 参考資料の提示
 - ・ 授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、授業概要または講義資料に参考資料等を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／「動くこと(活動)」と「休むこと(休息)」とは 事前学修：[90 分] 1 日の自分の活動と休息のスケジュールについてノートにまとめる 事後学修：[120 分] 学修内容についてノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
2	生活の中で動くということの意味 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業時に提示される成果物をまとめて提出する	演習・GW・発表・ディスカッション(討議)・ディベート	江本
3	活動の成り立ち 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 学修内容についてノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
4	日常生活における配慮や工夫 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業時に提示される成果物をまとめて提出する	演習・GW・発表・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
5	活動と休息に必要な身体のしくみ・感覚器系 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 学修内容についてノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
6	活動を脅かす疾患／生活への理解と援助の視点① 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 学修内容についてノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

No	内容	形式	教員
7	活動を脅かす疾患／生活への理解と援助の視点② 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 学修内容についてノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
8	その人にとっての動くことの意味 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 課題レポートを作成して提出する	講義・GW・発表・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

■ 教科書

1.1 年次後期の「看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)」および「看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)」で用いた以下の教科書を使用する。

守田美奈子監修(2020). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.

志自岐康子他編(2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

2.2 年次前期の「発達看護学概論」で用いる教科書を使用する。

筒井真優美監修(2018). 小児看護学 第8版. 日総研出版.

■ 参考書、参考資料等

1. 西須孝(2018). これが私の小児整形外科診療ー適切な診療への道しるべー. 南山堂.

2. 石川ふみよ・遠藤健司・山本恵子編(2018). 運動機能障害 第3版. メディカ出版.

その他、随時授業で資料を提示する。

■ フィードバックの仕方

1. 提出された成果物のフィードバックは、授業期間内にコメントを付した成果物の返却を通じて行う。

2. 提出された課題レポートのフィードバックは、コメントを付した課題レポートの返却を通じて行う。

3. 小テストのフィードバックは、授業終了後に問題と解答の解説を通じて行う。

上記 2.3. の日程は、授業内で知らせる。

■ 他の授業科目との関連

この科目は看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(討議・演習への参加) 25%、課題(成果物 5%、課題レポート 10%) 15%、小テスト 60%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後 30 分、江本(419 研究室)

■ 受講上の注意事項

・既習知識の確認をしながら進めるため、予習・復習をして主体的に参加すること。

・インターネット環境などの問題で、オンラインでの受講ができない、オンラインでの課題提出ができない、受講時に音声や画像にトラブルがあるといった不都合がある場合は、受講前や課題提出締切前に担当教員へ相談すること。遠隔受講時にトラブルがあった場合には、受講後当日のうちに担当教員へ相談すること。

看護援助論Ⅴ(活動と休息)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN203

○江本 リナ

■ 授業の目的

人が生活の中で動くために必要な身体の仕組みと働きを理解し、運動機能が維持されるとき、および脅かされる状況を多角的にアセスメントし、援助を考えるための基礎知識を養う。

■ 到達目標

1. さまざまな年齢や異なる状況において活動と休息とは何かを説明できる。
2. 生活行動に関連する身体の成り立ちを説明できる。
3. 生活行動に関連する身体の仕組みや働きを説明できる。
4. 活動と休息が脅かされるとき生活への影響と援助について説明できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 授業の形式
 - ・ 時間割で指定された授業形式(対面ないし遠隔)で行う。
 - ・ 大学の方針に則って、授業形式が変更になる場合がある。
 - ・ 授業時に指定される課題や Glexa に指定されている課題に取り組む。
2. 授業の展開
 - ・ 講義や演習を行うとともに、討論を通して学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
 - ・ 遠隔授業で利用するオンライン会議システム(Zoom または Teams)は、授業開始前に授業概要等で示す。
 - ・ 出欠席の確認方法は、授業概要にて示す。
 - ・ 対面授業における授業資料の配布は、授業時に紙面にて行う。遠隔授業にける授業資料の配布は、大学の方針(紙媒体の配布や Glexa での配信など)に則る。
3. 参考資料の提示
 - ・ 授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、授業概要または講義資料に参考資料等を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／「動くこと(活動)」と「休むこと(休息)」とは 事前学修：[90 分] 1 日の自分の活動と休息のスケジュールについてノートにまとめる 事後学修：[120 分] 学修内容についてノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
2	生活の中で動くということの意味 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業時に提示される成果物をまとめて提出する	演習・GW・発表・ディスカッション(討議)・ディベート	江本
3	活動の成り立ち 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 学修内容についてノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
4	日常生活における配慮や工夫 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業時に提示される成果物をまとめて提出する	演習・GW・発表・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
5	活動と休息に必要な身体のしくみ・感覚器系 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 学修内容についてノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
6	活動を脅かす疾患／生活への理解と援助の視点① 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 学修内容についてノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

No	内容	形式	教員
7	活動を脅かす疾患／生活への理解と援助の視点② 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 学修内容についてノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
8	その人にとっての動くことの意味 事前学修：[90 分] 前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：[120 分] 課題レポートを作成して提出する	講義・GW・発表・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

■ 教科書

1.1 年次後期の「看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)」および「看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)」で用いた以下の教科書を使用する。

守田美奈子監修(2020). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.

志自岐康子他編(2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

2.2 年次前期の「発達看護学概論」で用いる教科書を使用する。

筒井真優美監修(2018). 小児看護学 第8版. 日総研出版.

■ 参考書、参考資料等

1. 西須孝(2018). これが私の小児整形外科診療ー適切な診療への道しるべー. 南山堂.

2. 石川ふみよ・遠藤健司・山本恵子編(2018). 運動機能障害 第3版. メディカ出版.

その他、随時授業で資料を提示する。

■ フィードバックの仕方

1. 提出された成果物のフィードバックは、授業期間内にコメントを付した成果物の返却を通じて行う。

2. 提出された課題レポートのフィードバックは、コメントを付した課題レポートの返却を通じて行う。

3. 小テストのフィードバックは、授業終了後に問題と解答の解説を通じて行う。

上記 2.3. の日程は、授業内で知らせる。

■ 他の授業科目との関連

この科目は看護援助論実習 [レベルⅡ] の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(討議・演習への参加) 25%、課題(成果物 5%、課題レポート 10%) 15%、小テスト 60%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後 30 分、江本(419 研究室)

■ 受講上の注意事項

・既習知識の確認をしながら進めるため、予習・復習をして主体的に参加すること。

・インターネット環境などの問題で、オンラインでの受講ができない、オンラインでの課題提出ができない、受講時に音声や画像にトラブルがあるといった不都合がある場合は、受講前や課題提出締切前に担当教員へ相談すること。遠隔受講時にトラブルがあった場合には、受講後当日のうちに担当教員へ相談すること。

看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」擁護 「3」変化 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN300

○新田 真弓

■授業の目的

人間のセクシュアリティについて、身体的・心理的・発達の・社会文化的な観点から理解を深め、性的存在としての人間への援助について学ぶ。また、疾患や障害をもつ人々のセクシュアリティとその援助について学ぶ。自己の概念についても学び、人それぞれのセクシュアリティを尊重した看護のあり方を省察する。

■到達目標

1. セクシュアリティに関連する基本的な概念について説明できる。
2. セクシュアリティについて、身体的・心理的・発達の・社会文化的な観点から説明できる。
3. 人間の生活行動に影響するセクシュアリティの多様な機能と役割について説明できる。
4. 性と生殖に関連する健康問題と看護について説明できる。
5. 自己の概念を理解し、セクシュアリティを尊重した看護について自分の考えを述べることができる。

■学習の進め方

1. 基本的には講義形式である。
2. 手記や新聞記事、当事者の語りなど活用して、学生がディスカッションする時間を設ける。学生が意見交換をしながら具体的に理解を深められるようにする。
3. 配布資料には教授内容に関連する参考資料を記し、興味関心のある分野について学生個々で学びを深められるようにする。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ヒューマンセクシュアリティの概念 事前学修：[30分] 発達看護学Ⅰ①の第3回講義資料(女性のライフサイクル各期の健康問題と援助)について復習し、性の発達についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み、ヒューマンセクシュアリティの概念について整理する。	講義	新田
2	性的健康の概念、男女の性差と連続性 事前学修：[30分] 授業内で配布する予習資料をに沿って、男女の性差についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み、男女の性差やジェンダーについて考えをまとめる。	講義	新田
3	性の多様性、性同一性障害という体験 事前学修：[30分] 授業内で配布する予習資料をに沿って、性の多様性についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 性同一性障害について復習し、医療場面での課題をまとめる。	講義および演習	新田
4	性の発達と性教育 事前学修：[30分] 高校生までに受けた性教育について体験した内容と感想、感じた課題などをノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を参考に、これからの性教育の在り方について自分の考えをまとめる。	講義および演習	新田
5	疾患を持つ人のセクシュアリティ 事前学修：[30分] 授業内で配布する予習資料をに沿って、疾患(とくにがん)の方の妊娠について、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 疾患を持つ人の将来の妊娠・出産への支援の在り方について、自分の考えをまとめる。	講義	新田
6	妊孕性とセクシュアリティ 事前学修：[30分] 発達看護学Ⅰ①第7回講義資料を参考に、妊娠の成立と機序についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を振り返り、不妊症や不育症の看護について考えをまとめる。	講義	新田
7	性暴力と援助 事前学修：[30分] 授業内で配布する予習資料に沿って、性暴力により生じる諸問題をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 性暴力によって生じる健康問題と看護の在り方について考えをまとめる。	講義	新田

No	内容	形式	教員
8	性と生殖に関わる健康問題と看護 事前学修：[30 分] 授業内で配布する予習資料に沿って、性と生殖に関わる健康問題についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 性と生殖に関わる健康問題を持つ人への看護について考えをまとめる。	講義	新田

■ 教科書

授業資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で紹介する。

■ フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは、終了直後に試験場にて回答・解説集を配布し、自己採点、振り返りをできるようにします。定期試験に対する疑問は、定期試験期間中に担当教員まで連絡してください。

■ 他の授業科目との関連

生殖に関わる学習内容を扱うため、2 年次後期の発達看護学Ⅰ（リプロダクティブヘルスと看護①）と関連の強い科目となります。発達看護学Ⅰ実習（レベルⅢ）の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み（小テスト・リアクションシート含む） 40%、定期試験 60%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00。新田研究室（451 研究室）。

■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回で 1 回の欠席とみなします。

看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」擁護 「3」変化 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN300

○新田 真弓

■授業の目的

人間のセクシュアリティについて、身体的・心理的・発達の・社会文化的な観点から理解を深め、性的存在としての人間への援助について学ぶ。また、疾患や障害をもつ人々のセクシュアリティとその援助について学ぶ。自己の概念についても学び、人それぞれのセクシュアリティを尊重した看護のあり方を省察する。

■到達目標

1. セクシュアリティに関連する基本的な概念について説明できる。
2. セクシュアリティについて、身体的・心理的・発達の・社会文化的な観点から説明できる。
3. 人間の生活行動に影響するセクシュアリティの多様な機能と役割について説明できる。
4. 性と生殖に関連する健康問題と看護について説明できる。
5. 自己の概念を理解し、セクシュアリティを尊重した看護について自分の考えを述べることができる。

■学習の進め方

1. 基本的には講義形式である。
2. 手記や新聞記事、当事者の語りなど活用して、学生がディスカッションする時間を設ける。学生が意見交換をしながら具体的に理解を深められるようにする。
3. 配布資料には教授内容に関連する参考資料を記し、興味関心のある分野について学生個々で学びを深められるようにする。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ヒューマンセクシュアリティの概念 事前学修：[30分] 発達看護学Ⅰ①の第3回講義資料(女性のライフサイクル各期の健康問題と援助)について復習し、性の発達についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み、ヒューマンセクシュアリティの概念について整理する。	講義	新田
2	性的健康の概念、男女の性差と連続性 事前学修：[30分] 授業内で配布する予習資料をに沿って、男女の性差についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み、男女の性差やジェンダーについて考えをまとめる。	講義	新田
3	性の多様性、性同一性障害という体験 事前学修：[30分] 授業内で配布する予習資料をに沿って、性の多様性についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 性同一性障害について復習し、医療場面での課題をまとめる。	講義および演習	新田
4	性の発達と性教育 事前学修：[30分] 高校生までに受けた性教育について体験した内容と感想、感じた課題などをノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を参考に、これからの性教育の在り方について自分の考えをまとめる。	講義および演習	新田
5	疾患を持つ人のセクシュアリティ 事前学修：[30分] 授業内で配布する予習資料をに沿って、疾患(とくにがん)の方の妊娠について、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 疾患を持つ人の将来の妊娠・出産への支援の在り方について、自分の考えをまとめる。	講義	新田
6	妊孕性とセクシュアリティ 事前学修：[30分] 発達看護学Ⅰ①第7回講義資料を参考に、妊娠の成立と機序についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を振り返り、不妊症や不育症の看護について考えをまとめる。	講義	新田
7	性暴力と援助 事前学修：[30分] 授業内で配布する予習資料に沿って、性暴力により生じる諸問題をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 性暴力によって生じる健康問題と看護の在り方について考えをまとめる。	講義	新田

No	内容	形式	教員
8	性と生殖に関わる健康問題と看護 事前学修：[30 分] 授業内で配布する予習資料に沿って、性と生殖に関わる健康問題についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 性と生殖に関わる健康問題を持つ人への看護について考えをまとめる。	講義	新田

■ 教科書

授業資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で紹介する。

■ フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは、終了直後に試験場にて回答・解説集を配布し、自己採点、振り返りをできるようにします。定期試験に対する疑問は、定期試験期間中に担当教員まで連絡してください。

■ 他の授業科目との関連

生殖に関わる学習内容を扱うため、2 年次後期の発達看護学Ⅰ（リプロダクティブヘルスと看護①）と関連の強い科目となります。発達看護学Ⅰ実習（レベルⅢ）の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み（小テスト・リアクションシート含む） 40%、定期試験 60%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00。新田研究室（451 研究室）。

■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回で 1 回の欠席とみなします。

看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN204

○堀川 英起

■授業の目的

人間を、心理社会的、生理的な側面から総合的に理解できる。

■到達目標

1. 人間の行動と感情との関連について理解し、説明することができる。
2. ストレスや危機への対処の仕方について、説明できる。

■学習の進め方

1. 講義とディスカッション：基本的に講義を中心とするが、事例や実習での体験などを踏まえて学生がディスカッションする時間を、随時授業時間内に設ける。
2. ワークシート：授業終了時、ワークシートを配布し授業内容の振り返りを行う。なお、ワークシートに「感想・意見」の欄を設けているので、次回以降の授業において必要時補足説明を行い、理解を深められるようにする。
3. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を授業で紹介する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ストレスとその対処 事前学修：[20 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
2	こころと身体 事前学修：[20 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
3	ライフサイクルとこころの危機 事前学修：[20 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
4	意識 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
5	不安と防衛機制 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
6	人間の怒りと攻撃心 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
7	家族とダイナミクス 事前学修：[15 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
8	まとめ 事前学修：[15 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] これまでの授業内容を振り返り、提示した課題について、レポートとしてまとめる。	講義とディスカッション	古城門・堀川

■教科書

武井麻子ほか著：系統看護学講座精神看護学 [1] 精神看護の基礎、精神看護学 [2] 精神看護の展開(医学書院)、最新版。

■参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介します。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後から 1 ヶ月以内に 412 研究室(古城門靖子)あるいは 426 研究室(堀川英起)にて、採点後の答案用紙ならびに試験問題の返却と解説資料の配布を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■ 他の授業科目との関連

看護援助論実習〔レベルⅡ〕を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み:25%、筆記試験:75 %に基づいて評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：30～12：50、412 研究室(古城門靖子)あるいは 426 研究室(堀川英起)で質問や相談に応じます。

■ 受講上の注意事項

講義形式および、内容は変更する可能性があります。

看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN204

○古城門 靖子

■授業の目的

人間を、心理社会的、生理的な側面から総合的に理解できる。

■到達目標

1. 人間の行動と感情との関連について理解し、説明することができる。
2. ストレスや危機への対処の仕方について、説明できる。

■学習の進め方

1. 講義とディスカッション：基本的に講義を中心とするが、事例や実習での体験などを踏まえて学生がディスカッションする時間を、随時授業時間内に設ける。
2. ワークシート：授業終了時、ワークシートを配布し授業内容の振り返りを行う。なお、ワークシートに「感想・意見」の欄を設けているので、次回以降の授業において必要時補足説明を行い、理解を深められるようにする。
3. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を授業で紹介する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ストレスとその対処 事前学修：[20 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
2	こころと身体 事前学修：[20 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
3	ライフサイクルとこころの危機 事前学修：[20 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
4	意識 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
5	不安と防衛機制 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[20 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
6	人間の怒りと攻撃心 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
7	家族とダイナミクス 事前学修：[15 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
8	まとめ 事前学修：[15 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] これまでの授業内容を振り返り、提示した課題について、レポートとしてまとめる。	講義とディスカッション	古城門・堀川

■教科書

武井麻子ほか著：系統看護学講座精神看護学 [1] 精神看護の基礎、精神看護学 [2] 精神看護の展開(医学書院)、最新版。

■参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介します。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後から 1 ヶ月以内に 412 研究室(古城門靖子)あるいは 426 研究室(堀川英起)にて、採点後の答案用紙ならびに試験問題の返却と解説資料の配布を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■ 他の授業科目との関連

看護援助論実習〔レベルⅡ〕を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み:25%、筆記試験:75 %に基づいて評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：30～12：50、412 研究室(古城門靖子)あるいは 426 研究室(堀川英起)で質問や相談に応じます。

■ 受講上の注意事項

講義形式および、内容は変更する可能性があります。

精神保健看護学Ⅰ（理論）

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」関係 「3」実践 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBMN250

○鷹野 朋実、堀井 湖浪、堀川 英起、古城門 靖子

■授業の目的

人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて、さらに看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から探求し、精神の健康のあらゆる面から、看護の基礎となる人間理解を深める。

■到達目標

1. 人格の発達と病理について理解し、看護が取り組むべき課題を見出すことができる。
2. 精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて理解できる。
3. 看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から理解できる。
4. 関係のなかの人間という概念が理解できる。
5. 精神の健康のあらゆる面から看護の基礎となる人間理解を深め、人間理解の観点から自らの看護実践を振り返り、評価することができる。

■学習の進め方

講義を中心とするが、適宜、学生が討論する時間を設ける。リフレクションペーパー、次回授業の予習シートは授業終了時に教室にて配布する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	精神看護の現状と課題1：精神保健看護学で学ぶこと 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第1章」を読み、要旨をA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
2	精神看護の現状と課題2：精神保健の考え方 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第2章」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
3	人間の心は何をしているのか 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第3章A」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義	鷹野
4	人格の成熟① 人格、気質、アイデンティティ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第3章B①②」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
5	人格の成熟② 対象関係論としてとらえ方 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第3章B④」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
6	人格の成熟③ 甘えと自己 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第3章B⑤⑥⑦」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
7	心的外傷と回復への支援 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第2章DE」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	堀井

No	内容	形式	教員
8	不安の防衛としての症状 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 3 章 B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義	鷹野
9	うつの心情と行動 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 5 章 C ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義	鷹野
10	アディクションという病い 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 5 章 C ⑥」を読んでおくこと 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	堀井
11	集団のダイナミクス 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 4 章 B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義	鷹野
12	医療の場におけるメンタルヘルスと看護 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 第 10 章 B」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	古城門
13	社会の中の精神障害① スティグマと精神障害者の人権 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 7 章 A・B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	堀井
14	社会の中の精神障害② 精神保健福祉にかかわる法制度 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 7 章 E ③」を読み、A41 枚にまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	堀川
15	感情と看護 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 終章」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	鷹野

■ 教科書

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学 [1] 精神看護の基礎」、医学書院。

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学 [2] 精神看護の展開」、医学書院。

使用する教科書の版、発行年については改めて提示する。

■ 参考書、参考資料等

武井麻子著、精神看護学ノート、第 2 版、医学書院、2005。

その他の参考書については、講義の中で提示する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施から 2 週間以内に鷹野朋実研究室(428)にて、答案用紙と解説資料の返却を通して行う。返却可能な時間はポータルにて連絡するので、受け取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、精神保健看護学実習(レベルⅢ)実習の履修要件となっています。また、3 年次前期に開講される、「精神保健看護学Ⅱ(技法)」、「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)の基盤となります。

■ 成績評価の仕方

1. 定期試験…70 %、2. 授業への取り組み…30 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業の開講日の 12：20～12：50、18：00～18：30。鷹野朋実研究室(428)、堀井湖浪研究室(427)、古城門靖子研究室(412)、堀川英起研究室(426)。

■ 受講上の注意事項

精神の健康を、生活の中の人間関係の視点から捉え、人間が生きていく過程の中で精神障害の意味について考えてもらいたいです。

精神保健看護学Ⅰ（理論）

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」関係 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBMN250

○鷹野 朋実、堀井 湖浪、堀川 英起、古城門 靖子

■授業の目的

人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて、さらに看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から探求し、精神の健康のあらゆる面から、看護の基礎となる人間理解を深める。

■到達目標

1. 人格の発達と病理について理解し、看護が取り組むべき課題を見出すことができる。
2. 精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて理解できる。
3. 看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から理解できる。
4. 関係のなかの人間という概念が理解できる。
5. 精神の健康のあらゆる面から看護の基礎となる人間理解を深め、人間理解の観点から自らの看護実践を振り返り、評価することができる。

■学習の進め方

講義を中心とするが、適宜、学生が討論する時間を設ける。リフレクションペーパー、次回授業の予習シートは授業終了時に教室にて配布する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	精神看護の現状と課題1：精神保健看護学で学ぶこと 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第1章」を読み、要旨をA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
2	精神看護の現状と課題2：精神保健の考え方 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第2章」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
3	人間の心は何をしているのか 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第3章A」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義	鷹野
4	人格の成熟① 人格、気質、アイデンティティ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第3章B①②」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
5	人格の成熟② 対象関係論としてとらえ方 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第3章B④」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
6	人格の成熟③ 甘えと自己 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第3章B⑤⑥⑦」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
7	心的外傷と回復への支援 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第2章DE」を読んでおくこと 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後2日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	堀井

No	内容	形式	教員
8	不安の防衛としての症状 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 3 章 B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義	鷹野
9	うつの心情と行動 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 5 章 C ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義	鷹野
10	アディクションという病い 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 5 章 C ⑥」を読んでおくこと 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	堀井
11	集団のダイナミクス 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 4 章 B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義	鷹野
12	医療の場におけるメンタルヘルスと看護 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 第 10 章 B」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	古城門
13	社会の中の精神障害① スティグマと精神障害者の人権 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 7 章 A・B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	堀井
14	社会の中の精神障害② 精神保健福祉にかかわる法制度 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [1] 第 7 章 E ③」を読み、A41 枚にまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	堀川
15	感情と看護 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 終章」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する(講義後 2 日以内にレポートボックスに提出)	講義・討論	鷹野

■ 教科書

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学 [1] 精神看護の基礎」、医学書院。

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学 [2] 精神看護の展開」、医学書院。

使用する教科書の版、発行年については改めて提示する。

■ 参考書、参考資料等

武井麻子著、精神看護学ノート、第 2 版、医学書院、2005。

その他の参考書については、講義の中で提示する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施から 2 週間以内に鷹野朋実研究室(428)にて、答案用紙と解説資料の返却を通して行う。返却可能な時間はポータルにて連絡するので、受け取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、精神保健看護学実習(レベルⅢ)実習の履修要件となっています。また、3 年次前期に開講される、「精神保健看護学Ⅱ(技法)」、「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)の基盤となります。

■ 成績評価の仕方

1. 定期試験…70 %、2. 授業への取り組み…30 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業の開講日の 12：20～12：50、18：00～18：30。鷹野朋実研究室(428)、堀井湖浪研究室(427)、古城門靖子研究室(412)、堀川英起研究室(426)。

■ 受講上の注意事項

精神の健康を、生活の中の人間関係の視点から捉え、人間が生きていく過程の中で精神障害の意味について考えてもらいたいです。

精神保健看護学Ⅱ(技法)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBMN300

○堀井 湖浪、古城門 靖子、堀川 英起、内藤 なづな

■授業の目的

精神看護を実践するための考え方や実践方法について学び、精神保健領域において看護援助を行うための基礎的な知識と技法を習得する。

■到達目標

1. 精神医療の現状や課題について理解し、説明できる。
2. 精神保健領域において看護援助を展開するために必要な考え方や方法を説明できる。
3. 精神的健康について援助を必要としている人々の個人の尊厳や権利擁護について理解できる。

■学習の進め方

1. 講義と討論：基本的に講義を中心とするが、事例などを提示して学生が討論する時間を、随時授業時間内に設けて、具体的理解を深められるようにする。
2. 授業レポート：授業で考えたこと、感じたことをA4用紙1枚程度のレポートにまとめてもらう。初回の授業で提示される授業について、このレポートを作成し、授業内容や自らの考えについてまとめる。
3. ワークシート：授業終了時、ワークシートを配布し、授業内容の振り返りを行う。なお、ワークシートに「疑問に思ったこと、感想」を記載する欄を設けているので、次回以降の授業において必要時には補足説明を行い、学習をより深められるようにする。
4. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を、授業で紹介する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	日本の精神医療の現状 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第1章」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	堀井
2	回復を支援する 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第9章」を読んで、予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	堀井
3	患者とのかかわり：そばにいること、遊ぶこと 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第8章」を読んで、予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	内藤
4	安全を守る 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第13章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	堀井
5	身体をケアする 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第12章A・B」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	古城門
6	薬物療法と看護 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第12章C」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	内藤
7	精神科におけるアセスメント 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第11章C」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートをまとめて提出する	講義	古城門
8	地域における精神保健と精神看護① ー長期入院患者の地域移行への支援ー 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第10章A・B」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	堀川
9	地域における精神保健と精神看護② ー地域生活を支える諸制度と地域での看護の実際ー 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第10章C」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	堀川

No	内容	形式	教員
10	精神科訪問看護 事前学修：[30 分] 講義「地域における精神保健と精神看護」の内容を振り返り、疑問を整理しておく。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	内藤
11	地域で暮らすということ 事前学修：[30 分] 講義「地域における精神保健と精神看護」の内容を振り返り、疑問を整理しておく。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、レポートを作成する	講義・討論	堀井
12	アルコール関連問題 事前学修：[30 分] 2 年次「アディクションという病」の授業資料を読み返し、予習用シートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義・演習	堀井
13	関係をアセスメントする：プロセスレコード 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 第 8 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義・演習	古城門
14	リエゾン精神看護 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 第 14 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	古城門
15	精神科看護における記録 事前学修：[30 分] これまでの実習における看護記録を想起し、目的や注意点を予習用ノートに書きだす。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義・演習	堀井

■ 教科書

武井麻子ほか、系統看護学講座 精神看護学 [1] 精神看護の基礎(医学書院)最新版.

武井麻子ほか、系統看護学講座 精神看護学 [2] 精神看護の展開(医学書院)最新版.

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、成績返却後 1 か月以内に 427 研究室にて試験に関する質問に応じる。対応可能な日程はポータルで連絡するので、該当部分の授業資料や教科書をよく読み、質問をまとめておくこと。

■ 他の授業科目との関連

この科目は精神保健看護学実習 [レベルⅢ] 実習の履修要件です。授業内容は、2 年次開講の「看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)」、「精神保健看護学Ⅰ(理論)」で学んだ内容を基盤として、より発展的な精神保健看護学の内容を取扱います。

■ 成績評価の仕方

1. 定期試験 70 % 2. 授業への取り組み・授業レポート 30 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12 : 30 ~ 12 : 50

堀井湖浪(427 研究室)、古城門靖子(412 研究室)、堀川英起(426 研究室)、内藤なづな(423 研究室)

精神保健看護学Ⅱ(技法)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBMN300

○堀井 湖浪、古城門 靖子、堀川 英起、内藤 なづな

■授業の目的

精神看護を実践するための考え方や実践方法について学び、精神保健領域において看護援助を行うための基礎的な知識と技法を習得する。

■到達目標

1. 精神医療の現状や課題について理解し、説明できる。
2. 精神保健領域において看護援助を展開するために必要な考え方や方法を説明できる。
3. 精神的健康について援助を必要としている人々の個人の尊厳や権利擁護について理解できる。

■学習の進め方

1. 講義と討論：基本的に講義を中心とするが、事例などを提示して学生が討論する時間を、随時授業時間内に設けて、具体的理解を深められるようにする。
2. 授業レポート：授業で考えたこと、感じたことをA4用紙1枚程度のレポートにまとめてもらう。初回の授業で提示される授業について、このレポートを作成し、授業内容や自らの考えについてまとめる。
3. ワークシート：授業終了時、ワークシートを配布し、授業内容の振り返りを行う。なお、ワークシートに「疑問に思ったこと、感想」を記載する欄を設けているので、次回以降の授業において必要時には補足説明を行い、学習をより深められるようにする。
4. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を、授業で紹介する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	日本の精神医療の現状 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[1]第1章」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	堀井
2	回復を支援する 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第9章」を読んで、予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	堀井
3	患者とのかかわり：そばにいること、遊ぶこと 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第8章」を読んで、予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	内藤
4	安全を守る 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第13章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	堀井
5	身体をケアする 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第12章A・B」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	古城門
6	薬物療法と看護 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第12章C」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	内藤
7	精神科におけるアセスメント 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第11章C」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートをまとめ提出する	講義	古城門
8	地域における精神保健と精神看護① ー長期入院患者の地域移行への支援ー 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第10章A・B」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	堀川
9	地域における精神保健と精神看護② ー地域生活を支える諸制度と地域での看護の実際ー 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]第10章C」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	堀川

No	内容	形式	教員
10	精神科訪問看護 事前学修：[30 分] 講義「地域における精神保健と精神看護」の内容を振り返り、疑問を整理しておく。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	内藤
11	地域で暮らすということ 事前学修：[30 分] 講義「地域における精神保健と精神看護」の内容を振り返り、疑問を整理しておく。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、レポートを作成する	講義・討論	堀井
12	アルコール関連問題 事前学修：[30 分] 2 年次「アディクションという病」の授業資料を読み返し、予習用シートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義・演習	堀井
13	関係をアセスメントする：プロセスレコード 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 第 8 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義・演習	古城門
14	リエゾン精神看護 事前学修：[30 分] 教科書「精神看護学 [2] 第 14 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	古城門
15	精神科看護における記録 事前学修：[30 分] これまでの実習における看護記録を想起し、目的や注意点を予習用ノートに書きだす。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義・演習	堀井

■ 教科書

武井麻子ほか、系統看護学講座 精神看護学 [1] 精神看護の基礎(医学書院)最新版.

武井麻子ほか、系統看護学講座 精神看護学 [2] 精神看護の展開(医学書院)最新版.

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、成績返却後 1 か月以内に 427 研究室にて試験に関する質問に応じる。対応可能な日程はポータルで連絡するので、該当部分の授業資料や教科書をよく読み、質問をまとめておくこと。

■ 他の授業科目との関連

この科目は精神保健看護学実習 [レベルⅢ] 実習の履修要件です。授業内容は、2 年次開講の「看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)」、「精神保健看護学Ⅰ(理論)」で学んだ内容を基盤として、より発展的な精神保健看護学の内容を取扱います。

■ 成績評価の仕方

1. 定期試験 70 % 2. 授業への取り組み・授業レポート 30 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12 : 30 ~ 12 : 50

堀井湖浪(427 研究室)、古城門靖子(412 研究室)、堀川英起(426 研究室)、内藤なづな(423 研究室)

発達看護学概論

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBDN200

○江本 リナ、千葉 京子

■ 授業の目的

小児期から老年期にわたって子どもから大人へ成長・発達する過程を理解し、それぞれの発達段階に沿って家族も含めた援助を学ぶ。

■ 到達目標

1. 子どもの成長・発達の特徴を説明できる。
2. 子どもと家族の生活をふまえた援助を考案できる。
3. 成人期・老年期の発達の特徴を説明できる。
4. 生涯発達をふまえた援助のあり方を説明できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：
講義と討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
2. 参考資料の提示：
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配付資料に参考資料・参考 DVD を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／人の成長と発達 事前学修：[120 分] シラバスを読み、授業の目的・学習内容を把握する 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
2	子どもの成長と発達 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
3	乳児期の子どもと家族の生活 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
4	幼児期の子どもと家族の生活 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
5	学童・思春期の子どもと家族の生活 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
6	成人期の発達(生活と家族) 事前学修：[120 分] 成人期に関する関心あるテーマについてノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	千葉
7	老年期の発達(老年期と高齢者の特徴) 事前学修：[120 分] 老年期に関する関心あるテーマについてノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	千葉
8	老年期の発達(生活と家族) 事前学修：[120 分] 6 回目と 7 回目の授業内容を参考に成人期と老年期の特徴についてノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	千葉

■教科書

1～5 回の授業(小児期)：筒井真優美監修(2016). 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.

6～8 回の授業(成人期・老年期)：教科書は使用しない。各回に作成した資料を配布する。

■参考書、参考資料等

①ユニセフ協会著. 子どもの権利条約カードブック. 日本ユニセフ協会

②小児期に関連する参考文献の目録は、初回授業の時に配布する。

③成人期・老年期は、毎回資料を配付する。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは定期試験後に解説を通じて行う。

■他の授業科目との関連

この科目はレベルⅢ実習の履修要件となっている。また、2 年次後期以降に開講される「発達看護学(成人期の看護)」、「発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護)①②」、「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)①②」、「発達看護学Ⅲ(老年期の看護)①②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み：25% 2. 定期試験：75%

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。

江本(419 研究室)、山内(443 研究室)、千葉(429 研究室)

■受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。

感染拡大状況に応じて大学の方針に則り講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学概論

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBDN200

○江本 リナ、千葉 京子

■ 授業の目的

小児期から老年期にわたって子どもから大人へ成長・発達する過程を理解し、それぞれの発達段階に沿って家族も含めた援助を学ぶ。

■ 到達目標

1. 子どもの成長・発達の特徴を説明できる。
2. 子どもと家族の生活をふまえた援助を考案できる。
3. 成人期・老年期の発達の特徴を説明できる。
4. 生涯発達をふまえた援助のあり方を説明できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：
講義と討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
2. 参考資料の提示：
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配付資料に参考資料・参考 DVD を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／人の成長と発達 事前学修：[120 分] シラバスを読み、授業の目的・学習内容を把握する 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
2	子どもの成長と発達 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
3	乳児期の子どもと家族の生活 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
4	幼児期の子どもと家族の生活 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
5	学童・思春期の子どもと家族の生活 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
6	成人期の発達(生活と家族) 事前学修：[120 分] 成人期に関する関心あるテーマについてノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	千葉
7	老年期の発達(老年期と高齢者の特徴) 事前学修：[120 分] 老年期に関する関心あるテーマについてノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	千葉
8	老年期の発達(生活と家族) 事前学修：[120 分] 6 回目と 7 回目の授業内容を参考に成人期と老年期の特徴についてノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	千葉

■教科書

1～5 回の授業(小児期)：筒井真優美監修(2016). 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.

6～8 回の授業(成人期・老年期)：教科書は使用しない。各回に作成した資料を配布する。

■参考書、参考資料等

①ユニセフ協会著. 子どもの権利条約カードブック. 日本ユニセフ協会

②小児期に関連する参考文献の目録は、初回授業の時に配布する。

③成人期・老年期は、毎回資料を配付する。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは定期試験後に解説を通じて行う。

■他の授業科目との関連

この科目はレベルⅢ実習の履修要件となっている。また、2 年次後期以降に開講される「発達看護学(成人期の看護)」、「発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護)①②」、「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)①②」、「発達看護学Ⅲ(老年期の看護)①②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み：25% 2. 定期試験：75%

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。

江本(419 研究室)、山内(443 研究室)、千葉(429 研究室)

■受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。

感染拡大状況に応じて大学の方針に則り講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学(成人期の看護)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」変化 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBDN201

○本庄 恵子、三浦 英恵

■授業の目的

成人期にある人々の理解とケアを展開するために必要な概念や理論について学び、成人期にある人への看護支援方法を検討する。

■到達目標

1. 成人期にある人々の特性について説明できる。
2. 成人期にある人々の理解とケアを展開するために、必要な概念や理論を説明できる。
3. 成人期にある人々に合わせた看護支援を考案することができる。

■学習の進め方

AL

1. 授業の展開：講義、討議、小テストで、各自が学びを深められるようにする。
1)講義：教科書と配布資料にもとづく講義を行う。
2)討議：講義内容を踏まえて、学生間での討議を行う。
3)小テスト:Glexa で小テスト(Quiz)を行い、理解度を確認できるようにする。小テストの回答は、2週間以内に Glexa 内に提示する「感想・意見・小テストへのフィードバック」で提示する。
2. 「感想・意見」の記入：学生が Glexa 内に「感想・意見」をアップロードすることで、授業内容の振り返りができるようにする。2週間以内に、Glexa 内に提示する「感想・意見・小テストへのフィードバック」によって、学生同士の意見を知るとともに、補足説明を通して、学習を深められるようにする。
3. 参考資料の提示：興味関心のある分野について学生個々で学びを深められるように、配布資料に教授内容に関連する参考資料を記す。
*各回の学修は、時間割に基づき、対面授業、遠隔(同時双方向型)授業、Glexa を活用してすすめる。
*各授業における小テストや感想、意見等を期日までに提出することで「出席」とみなす。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：ライフサイクルからみた成人期の理解 事前学修：[30分] 教科書 2～13 頁を読み、成人期の特徴についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	本庄・三浦
2	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論①： 成人期に特徴的な健康問題、成人期にある人々への支援(アンドラゴジーの観点から) 事前学修：[30分] 教科書 14～24 頁、132 頁を読み、成人期に特徴的な健康問題と、成人期の学習(アンドラゴジー)について、ノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	本庄
3	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論②： セルフエフィカシー、ステージ変容理論 事前学修：[30分] 教科書 125 頁、126 頁を読み、セルフエフィカシーとステージ変容理論についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	本庄
4	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論③： ストレス・コーピング 事前学修：[30分] 教科書 94～95 頁を読み、ストレス・コーピングについてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	三浦
5	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論④： 危機理論 事前学修：[30分] 教科書 82～84 頁を読み、危機理論についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	三浦

No	内容	形式	教員
6	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論⑤: 意思決定、セルフケア、セルフケア能力 事前学修：[30 分] 教科書 123-125 頁を読み、意思決定やセルフケアの特徴をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	本庄
7	成人期にある人々への看護支援の検討: セルフケア能力を高める支援に焦点をあてて 事前学修：[30 分] 実習などの事例を思い起して、セルフケアを行う力を高める支援の例を考える 事後学修：[30 分] 授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・演習・小テスト	本庄
8	まとめ 事前学修：[30 分] 1～7 回までの授業資料を読み返し、成人期の看護の特徴をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料とフィードバックの資料を読み返し復習する	まとめ・定期試験	本庄・三浦

■教科書

- 黒田裕子編集(2011). 成人看護学 第2版. 医学書院.

■参考書、参考資料等

- 本庄恵子監修(2015). セルフケア看護. ライフサポート社.
 - 本庄恵子総監修(2018). セルフケア支援ガイド. ライフサポート社
- その他の参考資料については、随時、紹介する。

■フィードバックの仕方

各界の授業感想・意見や小テスト等のフィードバックは、2 週間以内に配布資料にてフィードバックする。定期試験のフィードバックは、試験終了後に、採点基準等について配布資料にて解説を行う。

■他の授業科目との関連

看護学概論Ⅰの授業を復習しておくこと。

2 年次の授業「慢性期ケア」「急性期ケア」と関連が深い科目です。

■成績評価の仕方

- 授業への取り組み (小テスト、感想・意見): 50 %
- 定期試験: 50 %

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20～12:50。授業開講期間中はメールでの問い合わせも受け付けます。 本庄(442 研究室 honjo@redcross.ac.jp)
 三浦(444 研究室 h-miura@redcross.ac.jp)

■受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。

- Web 環境などの事情で、指定された期日までに Glexa にアクセスできない場合には、事前に教員に連絡をしてください。
- COVID-19 感染症等の状況により、変更の可能性があります。変更がある場合には、Glexa メール等で全員にお知らせします。

発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護①）

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」擁護 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBDN250

○新田 真弓、加藤 千穂、林田 聖子、由利 紗織、北井 喜美恵

■授業の目的

概論

女性の健康問題を身体的・精神的・社会的な観点から幅広く学習する。現在の女性の状況を理解し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方をもとに今後の女性のヘルスサービスやエンパワーメントについて考える。具体的には、女性と子どもの健康状態の国際比較、女性の性と生殖にかかわる解剖・生理、女性のライフサイクル、母子保健に関する法制度、生殖医療をめぐる倫理的問題等を取り上げ、女性と家族の健康支援に関する看護の役割を考える。

各論：妊娠期・分娩期

女性のライフサイクルの中で、周産期の女性と子ども、そのパートナーを中心とした家族の健康に焦点をあて、対象の生理的・心理・社会的変化と生活への適応、健康逸脱時の援助を学習する。

■到達目標

概論

1. リプロダクティブ・ヘルスと看護における主な概念について説明できる。
2. 女性の性と生殖にかかわる解剖と生理について説明できる。
3. 女性のライフサイクルを通じての健康問題と援助について説明できる。
4. 世界と日本の母子保健の動向について説明できる。
5. 母子保健関連法規と母子保健政策について説明できる。
6. リプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる倫理的課題について考察できる。
7. 特別な配慮が必要な女性・子ども・家族への援助のポイントを説明できる。

妊娠期

1. 妊娠の概念、妊娠の成立と維持機構について説明できる。
2. 胎児の成長発達とその健康状態に影響を及ぼす要因について説明できる。
3. 妊娠に伴う女性の身体的変化、心理・社会的変化と生じやすい異常について説明できる。
4. 妊娠期にある女性・子ども・家族の看護について考察できる。

分娩期

1. 分娩の概念、分娩期の基本的用語、分娩機序について説明できる。
2. 分娩に伴う胎児、出生直後の新生児に及ぼす影響について説明できる。
3. 分娩に伴う女性の身体的変化、心理・社会的変化と生じやすい異常について説明できる。
4. 分娩期にある女性・子ども・家族の看護について考察できる。

■学習の進め方

1. 授業の展開：

講義や演習、討論を通じて、学生同士で意見交換しながら理解を深める。

授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、動画、手記、新聞記事、事例等を活用する。

また、リアクションシートを活用し、授業内の疑問や質問、感想などを記入、提出する。書かれた内容は次回授業時に紹介し、意見の共有や疑問の解決を図る能力を養う。

授業後半に実際の状況に基づいたアセスメントを行う演習で、妊娠期・分娩期にある対象を理解するために学習した知識や技術を応用する能力を養う。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コースオリエンテーション 概論： ・リプロダクティブ・ヘルスと看護における主な概念 ・世界と日本の母子保健の動向 事前学修：[40分] 2年前期の発達学概論の授業内容のうち、人の成長と発達、子ども(思春期まで)の成長と発達について、ノートにまとめる。 事後学修：[20分] 講義を振り返り、世界から見た日本の母子保健の動向の特徴を整理する。	講義	全員
2	概論：女性の性と生殖にかかわる解剖と生理 事前学修：[40分] 人体の構造と機能Ⅱ(解剖と生理②)の生殖と発生の内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] 性周期とその機序について復習する。	講義	新田

No	内容	形式	教員
3	概論：女性のライフサイクル各期の健康問題と援助 事前学修：[40 分] 発達看護学概論の授業内容(成人期・老年期の発達)についてノートにまとめる。 事後学修：[20 分] 授業資料を振り返り、ライフサイクル各期の特徴に応じた援助を考える。	講義	新田
4	概論：日本の母子保健に関連する法律と政策 事前学修：[40 分] 母子保健に関連する法律を挙げ、その特徴をノートにまとめる。 事後学修：[20 分] 授業資料を振り返り、日本の母子保健サービスの特徴を整理する。	講義	新田
5	概論：特別な配慮が必要な女性・子ども・パートナーや家族への援助 リプロダクティブ・ヘルスと看護をめぐる倫理 事前学修：[30 分] 事前配布した資料を読み、現状の課題と改善方法をノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業資料と討議内容を振り返る。	講義	新田
6	看護過程・事例 事前学修：[30 分] 事前配布する授業資料を読み、わからない点や質問をまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程の進め方と事前学習の方法について確認する。	講義	全員
7	妊娠期：妊娠の概念と妊娠の成立・維持機構、妊娠期の基本的用語 事前学修：[30 分] 第 6 回授業資料で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、妊娠経過に伴う胎児の変化について整理する。	講義	加藤
8	妊娠期：胎児の成長と発達過程 事前学修：[30 分] 第 7 回授業資料で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、妊娠に伴う女性の変化や妊娠週数に応じた援助について考える。	講義	加藤
9	妊娠期：妊娠に伴う女性の身体的変化、心理・社会的変化と生じやすい異常 事前学修：[30 分] 第 8 回授業資料で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[20 分] 授業内容を振り返り、妊娠に伴う心理・社会的変化への援助について考える。	講義	加藤
10	妊娠期のアセスメントとケア 事前学修：[30 分] 第 7～9 回授業で示した課題についてノートにまとめる 事後学修：[20 分] 講義内で間違った箇所を見直す。	演習	全員
11	分娩期： 分娩の概念と基本的用語、分娩の機序 事前学修：[30 分] 第 2 回授業資料から女性の骨盤および生殖器についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、分娩に関連する用語や機序を整理する。	講義	加藤
12	分娩期：分娩期の胎児・出生直後の新生児 事前学修：[30 分] 第 11 回授業資料で示した課題について、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、分娩による児への影響について整理する。	講義	加藤
13	分娩期：分娩位に伴う身体的変化、心理・社会的変化、生じやすい異常 事前学修：[30 分] 第 12 授業資料で示した課題について、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容を振り返り、分娩経過に応じた援助について考える。	講義	加藤
14	分娩期のアセスメントとケア 事前学修：[30 分] 第 11～13 回授業で配布した予習資料の課題についてノートにまとめる 事後学修：[20 分] 講義内で間違った問題を見直す。	演習	全員
15	看護過程・事例の妊娠期と分娩期のアセスメントとケア 事前学修：[60 分] 配布した看護過程ガイドを参照しながら、看護過程ノートの該当ページを記載する。 事後学修：[30 分] 授業内で取り組んだ看護過程ノート内の課題を見直し、追加・修正を行う。	演習	全員

■ 教科書

概論

授業資料を配付する。

妊娠期の看護・分娩期の看護

森恵美他(2021). 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論第 14 版 母性看護学 2. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で紹介する。

■ フィードバックの仕方

授業中のリアクションシートは、内容をまとめ、次回授業時に紹介し、疑問を解決します。

定期試験は終了直後に試験場にて回答・解説集を配布し、自己採点、振り返りをできるようにします。定期試験に対する疑問は、定期試験期間中に担当教員まで連絡してください。

■ 他の授業科目との関連

2 年前期の発達看護学概論で学んだ人の成長発達を理解しておくことが必要となります。

3 年次前期の発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)と合わせて周産期一連の過程を学ぶことになります。

また、性と生殖にかかわる学習内容を扱うため、3 年前期の看護援助学Ⅵで学ぶセクシュアリティは関連の強い科目となります。加えて発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(リアクションシート、小テストを含む) 50 %、筆記試験 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

概論・看護過程 授業開講日の 12:30～12:50。新田研究室(451 研究室)

妊娠期・分娩期の看護・授業開講日の 12:30～12:50。加藤研究室(434 研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回で 1 回の欠席とみなします。リアクションペーパーの提出をもって出席確認します。

発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護②）

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBDN300

○加藤 千穂、新田 真弓、林田 聖子、由利 紗織、北井 喜美恵

■授業の目的

女性のライフサイクルの中で、周産期の母親・子ども・父親/パートナーを中心とした家族の健康に焦点を当て、対象の生理的、心理社会的変化と生活への適応、健康逸脱時のケアなどについて学習する。リプロダクティブ・ヘルスと看護②では、産褥期・新生児期の対象理解とケアに焦点を当てる。

■到達目標

1. 産褥期・新生児期の看護の概念・意義について説明できる。
2. 産褥期・新生児期の生理的・心理社会的変化について説明できる。
3. 新生児の健康と生理的変化・適応状態の把握に必要な看護技術を理解できる。
4. 産褥期の健康と産褥経過の把握に必要な看護技術を理解できる。
5. 産褥早期の産婦と新生児の生活を理解し、産婦や新生児への健康支援について説明できる。
6. 地域における育児支援について考察できる。
7. 事例の看護過程を展開し、周産期における母親・子ども・父親/パートナーとその家族の特性や経時的な変化のアセスメントおよび全体像の把握、対象に合わせた看護計画の立案ができる。
8. 特別な支援を必要とする妊産婦と新生児への支援について考察できる。

■学習の進め方

1. 授業の展開

講義：産褥期・新生児期にある母子の対象特性を理解するための基本的な知識を得る。授業ごとにリアクションシートを活用し、授業内容に関連する疑問や質問、感想などを記入、提出する。書かれた内容は、次回授業時に紹介し、意見の共有や疑問の解決を図る能力を養う。

デモンストレーション：臨床の場面を見学することで、実際の母子の様子をイメージしながら学習に取り組む。

事例を用いた看護過程の演習：発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護①）の「アセスメントのガイドライン」を参照して、看護過程展開に取り組むことで、関連するデータの基礎的知識の理解、情報収集とアセスメント能力の向上、対象者の統合的理解、優先順位を考慮した看護目標と具体策を立案する能力を養う。

2. 参考資料の提示

授業では現代の母親・子ども・父親/パートナーとその家族を取り巻く状況を理解するための資料を適宜配布する。また、対象の深い理解につながるように、映像資料を活用できるよう紹介する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コースオリエンテーション 『ご安産一座』 事前学修：[30分] 発達看護学Ⅰ①の授業資料、看護過程ノートを読み返し、『ご安産一座』での情報収集項目を考える。 事後学修：[15分] 授業配布資料を読み直す。	講義・演習 デモンストレーション	全員
2	産褥期・新生児期の概念／産褥期・新生児期の看護と役割 新生児の正常経過 事前学修：[20分] 産褥期・新生児期の概念について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[25分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート p.4 の母子経過記録に必要な情報を記載する。	講義	加藤
3	新生児の正常経過 事前学修：[30分] 新生児の正常経過について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業配布資料を読み直す。	講義	加藤
4	新生児の健康逸脱と看護 事前学修：[30分] 新生児の健康逸脱について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート pp.5-8 のアセスメント用紙に必要な情報を記載する。	講義	加藤
5	新生児のアセスメントとケア 事前学修：[30分] 第1～4回までの授業内容を整理し、各授業での復習課題を行う。 事後学修：[30分] 授業内で間違った問題を振り返る。	講義・演習	全員

No	内容	形式	教員
6	母子の生活と健康支援：褥婦の正常経過と健康逸脱 事前学修：[20 分] 発達看護学Ⅰ①の妊娠期・分娩期の資料を振り返る。 事後学修：[20 分] 授業の配布資料を読み返す。	講義	加藤
7	母子の生活と健康支援：入院中の母子・子どもの誕生と家族 事前学修：[30 分] 入院中の母子の生活について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す。	講義	加藤
8	母子の生活と健康支援：退院後の母子・家族 事前学修：[30 分] 退院後の母子の生活について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート pp.5-8 のアセスメント用紙にアセスメントを記載する。	講義・演習	加藤
9	褥婦のアセスメントとケア 事前学修：[30 分] 第 6～8 回授業内容を整理し、各授業での復習課題を行う。 事後学修：[30 分] 授業内で間違った問題を振り返る。	講義・演習	全員
10	母子の生活と健康支援：地域での子育てと制度 事前学修：[30 分] 母子に関連する制度や法律についてノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す。	講義	加藤
11	母子のアセスメントとケア 事前学修：[30 分] 第 5 回、第 11 回の授業資料を振り返り、内容をまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内で間違った問題を振り返る。	演習	全員
12	看護過程の事例：全体像の把握 事前学修：[30 分] 看護過程ノート pp.9-10 の全体像を記載する上で、分からないことをノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ノート pp.9-10 の全体像の追加修正をし、看護過程ノート pp.10-11 のケアプランを記載する。	講義・演習	全員
13	特別講義『母乳育児』 事前学修：[30 分] 母乳育児について整理しノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業資料を読み直す。	講義	井村
14	特別な配慮を要する母子への支援 事前学修：[20 分] 特別な配慮を要するとは何を指しているのか、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ノート pp.9-10 の全体像の追加修正をし、看護過程ノート pp.10-11 のケアプランを記載する。	講義	加藤
15	事例の看護計画立案 事前学修：[30 分] 看護過程ノート pp.10-11 のケアプランを記載する上で、分からないことをノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 看護過程ノート pp.10-11 のケアプランの追加修正をする。	講義・演習	全員

■ 教科書

- ①森恵美他(2021). 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論第 14 版 母性看護学 [2]. 医学書院.
 ②平澤美恵子・村上睦子監修(2020). 新装版写真でわかる母性看護技術アドバンス. インターメディカ.

■ 参考書、参考資料等

参考資料・図書は随時紹介します。

■ フィードバックの仕方

事例の看護過程記録は、発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)の実習初日に担当教員から返却します。

■ 他の授業科目との関連

2 年次後期の発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)から引き続いている科目です。
 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期を一連の過程としてとらえることが重要となります。
 この科目は発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(リアクションシート、小テスト、看護過程の学習課題などを含む) 50 %、定期試験 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①金曜日、② 12：30～12：50、③加藤(434 研究室)・新田(451 研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBDN251

○江本 リナ、鈴木 健太、山内 朋子、柴田 純子、田代 祐子

■授業の目的

成長・発達過程にある子どもと家族の健康レベルを理解し、変化する社会の中で、子どもと家族が生き生きと生活できるような援助を学ぶ。さらに、子どもの安全、安楽、自立を考慮し、最善の利益を守るための私たちの役割を考える。

■到達目標

1. 急性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
2. 慢性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
3. 外来・入院における子どもと家族の健康増進、健康回復のための看護について考案できる。

■学習の進め方

1. 授業の展開

講義と討論を通して、学生同士で意見交換しながら理解を深める。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配布資料に参考資料・参考 DVD を記す。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／生活習慣の自立と健康 事前学修：[120 分] 「発達看護学概論」で学んだ内容を復習し、授業に臨む 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	全員/山内
2	子どもの急性期症状と看護(1)発熱 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
3	子どもの急性期症状と看護(2)嘔吐・下痢 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
4	子どもの急性期症状と看護(3)脱水 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
5	子どもの急性期症状と看護(4)呼吸困難 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
6	子どもの急性期と看護(5)けいれん/乳幼児突然死症候群 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
7	子どもの感染症 オンデマンド教材を視聴した上で、指定された課題に取り組み、所定の場所に提出する。 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義(オンデマンド)	鈴木
8	子どもの権利 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

No	内容	形式	教員
9	子どもの事故と救急 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	柴田
10	子どもの痛み 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
11	外来における看護 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
12	入院している子どもと家族 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
13	慢性状態にある子どもと家族 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	田代
14	隔離と活動制限 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
15	虐待と社会的養護 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

■教科書

①筒井真優美監修(2016). 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.

②筒井真優美監修(2017). パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第 2 版. 照林社.

■参考書、参考資料等

ユニセフ協会著. 子どもの権利条約カードブック. 日本ユニセフ協会.

その他、随時授業で資料を配付する。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施直後もしくは試験期間に解答の解説を行う。

■他の授業科目との関連

この科目は発達看護学実習Ⅱ(子どもと家族の看護)[レベルⅢ]の履修要件となっている。また、2 年次以降に開講される「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 15% 2. 定期試験 85%

■オフィスアワー・研究室等

各回の授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。

江本(419 研究室) 山内(443 研究室) 鈴木(453 研究室) 柴田(441 研究室) 田代(441 研究室)

■受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。

感染拡大状況に応じて大学の方針に則り、講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBDN251

○江本 リナ、鈴木 健太、山内 朋子、柴田 純子、田代 祐子

■授業の目的

成長・発達過程にある子どもと家族の健康レベルを理解し、変化する社会の中で、子どもと家族が生き生きと生活できるような援助を学ぶ。さらに、子どもの安全、安楽、自立を考慮し、最善の利益を守るための私たちの役割を考える。

■到達目標

1. 急性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
2. 慢性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
3. 外来・入院における子どもと家族の健康増進、健康回復のための看護について考案できる。

■学習の進め方

1. 授業の展開

講義と討論を通して、学生同士で意見交換しながら理解を深める。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配布資料に参考資料・参考 DVD を記す。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／生活習慣の自立と健康 事前学修：[120 分]「発達看護学概論」で学んだ内容を復習し、授業に臨む 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	全員/山内
2	子どもの急性期症状と看護(1)発熱 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
3	子どもの急性期症状と看護(2)嘔吐・下痢 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
4	子どもの急性期症状と看護(3)脱水 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
5	子どもの急性期症状と看護(4)呼吸困難 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
6	子どもの急性期と看護(5)けいれん/乳幼児突然死症候群 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
7	子どもの感染症 オンデマンド教材を視聴した上で、指定された課題に取り組み、所定の場所に提出する。 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義(オンデマンド)	鈴木
8	子どもの権利 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

No	内容	形式	教員
9	子どもの事故と救急 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	柴田
10	子どもの痛み 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
11	外来における看護 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
12	入院している子どもと家族 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
13	慢性状態にある子どもと家族 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	田代
14	隔離と活動制限 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
15	虐待と社会的養護 事前学修：[120 分] 教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

■教科書

①筒井真優美監修(2016). 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.

②筒井真優美監修(2017). パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第 2 版. 照林社.

■参考書、参考資料等

ユニセフ協会著. 子どもの権利条約カードブック. 日本ユニセフ協会.

その他、随時授業で資料を配付する。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施直後もしくは試験期間に解答の解説を行う。

■他の授業科目との関連

この科目は発達看護学実習Ⅱ(子どもと家族の看護)[レベルⅢ]の履修要件となっている。また、2 年次以降に開講される「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 15% 2. 定期試験 85%

■オフィスアワー・研究室等

各回の授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。

江本(419 研究室) 山内(443 研究室) 鈴木(453 研究室) 柴田(441 研究室) 田代(441 研究室)

■受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。

感染拡大状況に応じて大学の方針に則り、講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBDN301

○江本 リナ、鈴木 健太、山内 朋子、柴田 純子、田代 祐子

■ 授業の目的

疾患や障がいをもつ子どもの置かれている状況を理解し、子どもと家族が生き生きとその人らしく生活できるよう身体的・精神的・社会的援助について学ぶ。さらに、子どもと家族に対する私たちの役割を保健、医療、福祉、教育及び子どもの権利条約などの面から考える。

■ 到達目標

1. 疾患や障がいもち、さまざまな状況にある子どもと家族の援助を考案することができる。
2. 日本と世界の母子保健の動向を捉えることができる。

■ 学習の進め方

AL

1. 授業の展開

講義と討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。

事例を用いた演習(グループワーク・発表・討論)を通じて学ぶ。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事例をより深く学習できるよう、授業概要または配布資料に参考資料・参考 DVD を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／川崎病の子どもと家族 事前学修：[120 分] 「発達看護学概論」「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)」を復習し授業に臨む 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	全員／山内
2	先天性の疾患をもつ子どもと家族(1)ー先天性代謝異常・染色体異常ー 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	柴田
3	先天性の疾患をもつ子どもと家族(2)ー先天奇形ー 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	柴田
4	先天性の疾患をもつ子どもと家族(3)ー子どもの手術の特徴ー 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	柴田
5	手術を受ける子どもと家族 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	田代
6	子どもと家族のアセスメント(1) 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、アセスメントの視点についてノートにまとめる 事後学修：[120 分] 事例のアセスメント・全体像の作成を行う	講義・演習・GW・発表・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
7	子どもと家族のアセスメント(2) 事前学修：[120 分] 全体像の発表資料を整え、準備する 事後学修：[120 分] 発表を踏まえ、全体像の修正や追記を行う	講義・演習・GW・発表・ディスカッション(討論)・ディベート	全員

No	内容	形式	教員
8	障がいのある子どもと家族 事前学修：〔120 分〕 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：〔120 分〕 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	鈴木
9	在宅療養をする子どもと家族 事前学修：〔120 分〕 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：〔120 分〕 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	鈴木
10	小児がんの子どもと家族 事前学修：〔120 分〕 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：〔120 分〕 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
11	子どもの死 事前学修：〔120 分〕 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：〔120 分〕 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
12	災害における子どもと家族の看護 事前学修：〔120 分〕 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：〔120 分〕 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
13	子どものこころのケア 事前学修：〔120 分〕 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：〔120 分〕 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
14	予防接種 事前学修：〔120 分〕 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：〔120 分〕 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	鈴木
15	小児保健／子どもと家族の健康に関する私達の役割と課題 事前学修：〔120 分〕 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：〔120 分〕 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

■教科書

- ①筒井真優美監修(2016). 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.
 ②筒井真優美監修(2017). パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第 2 版. 照林社.

■参考書、参考資料等

ユニセフ協会著. 子どもの権利条約カードブック. 日本ユニセフ協会.
 その他、随時授業で資料を配布する。

■フィードバックの仕方

子どもと家族のアセスメントなど成果物のフィードバックは授業中の解説および、最終回までに返却を通じて行う。
 試験のフィードバックは試験実施後に試験会場にて解答と解説を行う。

■他の授業科目との関連

この科目は発達看護学実習Ⅱ(子どもと家族の看護)[レベルⅢ]の履修要件となっている。また、2 年次後期に開講された「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)①」に基づき、より発展的な内容を扱う。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 15% 2. 子どもと家族のアセスメント成果物(関連図・全体像) 5 % 3. 定期試験 80%

■オフィスアワー・研究室等

各回の授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。
 江本(419 研究室) 山内(443 研究室) 鈴木(453 研究室) 柴田(441 研究室) 田代(441 研究室)

■受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。
感染拡大状況に応じて大学の方針に則り、講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBDN301

○江本 リナ、鈴木 健太、山内 朋子、柴田 純子、田代 祐子

■ 授業の目的

疾患や障がいをもつ子どもの置かれている状況を理解し、子どもと家族が生き生きとその人らしく生活できるよう身体的・精神的・社会的援助について学ぶ。さらに、子どもと家族に対する私たちの役割を保健、医療、福祉、教育及び子どもの権利条約などの面から考える。

■ 到達目標

1. 疾患や障がいもち、さまざまな状況にある子どもと家族の援助を考案することができる。
2. 日本と世界の母子保健の動向を捉えることができる。

■ 学習の進め方

AL

1. 授業の展開

講義と討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。

事例を用いた演習(グループワーク・発表・討論)を通じて学ぶ。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事例をより深く学習できるよう、授業概要または配布資料に参考資料・参考 DVD を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／川崎病の子どもと家族 事前学修：[120 分] 「発達看護学概論」「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)」を復習し授業に臨む 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	全員／山内
2	先天性の疾患をもつ子どもと家族(1)ー先天性代謝異常・染色体異常ー 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	柴田
3	先天性の疾患をもつ子どもと家族(2)ー先天奇形ー 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	柴田
4	先天性の疾患をもつ子どもと家族(3)ー子どもの手術の特徴ー 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	柴田
5	手術を受ける子どもと家族 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	田代
6	子どもと家族のアセスメント(1) 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、アセスメントの視点についてノートにまとめる 事後学修：[120 分] 事例のアセスメント・全体像の作成を行う	講義・演習・GW・発表・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
7	子どもと家族のアセスメント(2) 事前学修：[120 分] 全体像の発表資料を整え、準備する 事後学修：[120 分] 発表を踏まえ、全体像の修正や追記を行う	講義・演習・GW・発表・ディスカッション(討論)・ディベート	全員

No	内容	形式	教員
8	障がいのある子どもと家族 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	鈴木
9	在宅療養をする子どもと家族 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	鈴木
10	小児がんの子どもと家族 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
11	子どもの死 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
12	災害における子どもと家族の看護 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
13	子どものこころのケア 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
14	予防接種 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	鈴木
15	小児保健／子どもと家族の健康に関する私達の役割と課題 事前学修：[120 分] 該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

■教科書

- ①筒井真優美監修(2016). 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.
 ②筒井真優美監修(2017). パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第 2 版. 照林社.

■参考書、参考資料等

ユニセフ協会著. 子どもの権利条約カードブック. 日本ユニセフ協会.
 その他、随時授業で資料を配布する。

■フィードバックの仕方

子どもと家族のアセスメントなど成果物のフィードバックは授業中の解説および、最終回までに返却を通じて行う。
 試験のフィードバックは試験実施後に試験会場にて解答と解説を行う。

■他の授業科目との関連

この科目は発達看護学実習Ⅱ(子どもと家族の看護)[レベルⅢ]の履修要件となっている。また、2 年次後期に開講された「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)①」に基づき、より発展的な内容を扱う。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 15% 2. 子どもと家族のアセスメント成果物(関連図・全体像) 5 % 3. 定期試験 80%

■オフィスアワー・研究室等

各回の授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。
 江本(419 研究室) 山内(443 研究室) 鈴木(453 研究室) 柴田(441 研究室) 田代(441 研究室)

■受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。
感染拡大状況に応じて大学の方針に則り、講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 「3」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBDN252

○坂口 千鶴、清田 明美、管野 心葉、池田 良輔子

■ 授業の目的

さまざまな健康レベルの老年期にある人とその家族を対象に、その人の生きてきた過程における顕在的・潜在的な能力が最大限に発揮されるよう看護のあり方について学ぶ。

■ 到達目標

1. 看護学における老い(Aging)の捉え方について説明できる。
2. 老年期にある人の健康と障害について説明できる。
3. 老年期にある人の価値観や信念を尊重する意味について説明できる。
4. 老年期にある人とその家族の関係性について説明できる。
5. 老年期にある人がおかれている日本の保健医療福祉システムについて説明できる。

■ 学習の進め方

AL 授業の前半は講義形式で行うが、後半は学生の疑問や意見を中心に学生間で討論できる時間を設定する。その際、高齢者が生きてきた過程、家族関係、社会的背景等についてリアルに学べる教材(映画、書籍、事例等)を用いる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション/老い(Aging)とは 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する。	講義・討論	坂口
2	老年看護学における老年期の捉え方 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する。	講義・討論	坂口
3	老年期の健康と生活援助(1)－老年期における健康と生きがい－ 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する。	講義・討論	坂口
4	老年期の健康と生活援助(2)－パターンとしての生活行動と健康維持・増進①－ 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・討論	坂口
5	老年期の健康と生活援助(3)－パターンとしての生活行動と健康維持・増進②－ 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・討論	坂口
6	老年期看護学における倫理的課題(1)－高齢者の尊厳と意思決定－ 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・討論	坂口

No	内容	形式	教員
7	老年看護学における倫理的課題(2)－高齢者の終末期ケア－ 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・討論	坂口
8	高齢者を取り巻く家族への看護(1)－高齢者の健康障害が家族に及ぼす影響と家族支援－ 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・討論	坂口
9	高齢者を取り巻く家族への看護(2)－高齢者を看取る家族への支援－ 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	坂口
10	高齢者を支える保健医療福祉制度(1)－医療保険制度と高齢者ケア－ 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	菅野・坂口
11	高齢者を支える保健医療福祉制度(2)－介護保険制度と高齢者ケア－ 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	池田
12	医療を受ける高齢者への看護(1)－受療形態に講じた高齢者の看護－ 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義：討論	清田
13	医療を受ける高齢者への看護(2)－医療機関における慢性期にある高齢者の看護－ 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	清田
14	介護保険施設に暮らす高齢者の看護 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	菅野・坂口
15	在宅高齢者の看護 事前学修：[30 分] テーマ内容に関連した資料を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で)	講義・討論	池田

■教科書

なし

■参考書、参考資料等

川島みどり監修(2015). 老年看護学. 看護の科学社.
その他、参考資料については随時授業内で配布する。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。レポートのフィードバックは、次年度前期科目の発達看護学Ⅱ②の第1回目の授業にて、コメントを付したレ

ポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、3 年次の発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習(レベルⅢ)の履修要件となっている。また、この科目をもとに、3 年次の発達看護学Ⅲ(老年期の看護)②の授業では、より具体的な看護実践について学ぶ。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 30 % 2. レポート 20 % 3. 筆記試験 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日当日 12:30～13:00 坂口(414 研究室)、清田(431 研究室)、池田・菅野(450 研究室)

発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 「3」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBDN302

○千葉 京子、坂口 千鶴、清田 明美、池田 良輔子、菅野 心葉

■授業の目的

老年期にある人の加齢や疾患により生じた健康障害について理解し、老年期にある人がそれぞれの価値・信念に基づいた生き方を選択でき、充実した生活がおくれるための看護のあり方について考える。

■到達目標

1. 老年期にある人の加齢や疾患の特徴について説明できる。
2. 老年期にある人の加齢や疾患による変化について説明できる。
3. 老年期にある人が自らの健康を目指すうえでの障害について説明できる。
4. 老年期にある人の価値・信念について理解でき、抱えている倫理的課題について説明できる。
5. 老年期にある人の意思決定に基づいた実現可能な目標を設定し、生活の維持・再構成が行われるよう看護のあり方を説明できる。

■学習の進め方

講義とグループ・ワークを行う。

1. 各回の授業と関連する事前配布資料の内容を読み、その内容に関する疑問や意見を3つ、用紙に記入して授業に臨む。授業により自らの疑問が解決したのか、あるいは考えが変化したのか、その他授業に関する感想などを記述し授業終了時に提出する。
2. 初回講義に提示されたペーパーベシメントに関して、各講義に沿って呈示されたアセスメント項目について分析し、解釈を行う。
3. 事例演習ではグループ・ワークを行う。1回目の事例演習はアセスメント項目間の関連図をもとにグループ・ディスカッションを行う。2回目の事例演習は高齢者の加齢や障害を理解し、価値・信念を尊重したうえで考えられる看護上の問題を発表する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：高齢者の生活と看護＜食べる・飲む＞ 事前学修：[40分] シラバスを読む。配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
2	高齢者の生活と看護＜活動する＞ 事前学修：[40分] 配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	池田
3	高齢者の生活と看護＜動く・休む＞ 事前学修：[40分] 配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	清田
4	高齢者の生活と看護＜排泄する＞ 事前学修：[40分] 配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
5	高齢者の生活と看護＜安全を維持する＞ 事前学修：[40分] 配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	清田
6	高齢者の生活と看護＜感じる＞ 事前学修：[40分] 配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
7	高齢者の生活と看護＜清潔を保持する＞ 事前学修：[40分] 配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	菅野
8	高齢者の生活と看護＜理解する＞ 事前学修：[40分] 配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
9	高齢者の生活と看護＜コミュニケーションする＞ 事前学修：[40分] 配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉

No	内容	形式	教員
10	高齢者の生活と看護＜セクシュアリティ＞ 事前学修：[40 分] 配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40 分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
11	事例演習 1（グループワーク） 事前学修：[40 分] アセスメントを作成する 事後学修：[40 分] グループワークで作成した資料を読み返す	GW	清田・池田・管野・千葉・坂口
12	医療を受ける高齢者への看護＜薬物療法＞ 事前学修：[40 分] 配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40 分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
13	医療を受ける高齢者への看護＜手術・リハビリテーション＞ 事前学修：[40 分] 配布資料を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[40 分] 授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	坂口
14	事例演習 2（グループワーク）発表 事前学修：[40 分] 事例の看護問題とケア計画を作成する 事後学修：[40 分] 発表時に得たアドバイスをもとに作成資料を検討する	発表・討論	清田・池田・管野・千葉・坂口
15	老年期の看護のまとめ 事前学修：[40 分] 授業の配布資料を読み返す 事後学修：[40 分] 授業の配布資料および演習資料を読み返す	振り返り・その他	千葉・坂口・清田・池田・管野

■ 教科書

なし。各回で作成した資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

川島みどり監修 (2015). 老年看護学 改訂版. 看護の科学社.
その他の参考図書や参考資料は適宜、紹介あるいは配布する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは前期中に解説資料を配布あるいは Glexa 上にアップロードする。

■ 他の授業科目との関連

本授業は 3 年次の発達看護学Ⅲ (老年期の看護) 実習 [レベルⅢ] の履修要件となっている。
2 年次前期開講の「発達看護学概論」および後期開講の「発達看護学Ⅲ (老年期の看護) ①」で学んだ内容に基づき展開する。
3 年次前期開講の「健康レベル別看護学演習Ⅱ」では、本授業で学んだ知識をもとに高齢者への看護技術を演習する。

■ 成績評価の仕方

1. 事前学習で記述した 3 つの疑問や意見 10 % 2. アセスメント記録・グループワークでの貢献度 20 % 3. 定期試験(記述式) 70 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業翌日の 12:20~13:00、担当教員の研究室で質問を受ける。
坂口(414 研究室)、千葉(429 研究室)、清田(431 研究室)、池田・管野(450 研究室)

■ 受講上の注意事項

事前学習により疑問や意見を明確化し、授業に積極的に参加すること。
講義形式および定期試験の方法は、感染症等の状況により変更の可能性がある。

プライマリーヘルスケア

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」関係 「2」擁護 「3」連携 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBHN250

○西田 志穂、石田 千絵

■ 授業の目的

看護専門職としてプライマリーヘルスケアの概念を学んだうえで、在宅療養者・家族の特性と看護ニーズを理解し、在宅療養者を支える看護や地域包括ケアシステムの基本を学ぶ。

■ 到達目標

1. プライマリーヘルスケアの概念を説明できる。
2. 在宅療養者・家族の特性と看護ニーズについて説明できる。
3. 在宅療養者を支える訪問看護師と多職種の役割を理解できる。
4. 在宅療養を支える地域包括ケアシステムについて説明できる。

■ 学習の進め方

基本的に講義形式とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	プライマリーヘルスケアと在宅看護の社会背景・概要 事前学修：[15分] プライマリーヘルスケアの概念について調べ、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	西田
2	在宅療養を支える看護① 脳血管障害・リハビリと地域包括ケアシステム 事前学修：[15分] 自宅改修と福祉用具について、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	西田
3	在宅療養を支える看護② 認知症 事前学修：[15分] 新オレンジプランについて、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田
4	在宅療養を支える看護③ 老衰・がんの終末期 事前学修：[15分] がんのトータルペインについて、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田
5	在宅療養を支える看護④ 訪問看護の魅力 事前学修：[15分] 訪問看護の成立要件について、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	西田
6	在宅療養を支える看護⑤ 精神疾患 事前学修：[15分] べてるの家の概要を調べて、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	西田
7	在宅療養を支える看護⑥ 小児、難病・障がい 事前学修：[15分] 家族看護の概要について、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田
8	在宅療養を支える看護⑦ 在宅における看護過程 事前学修：[15分] 「自分らしさ」について考え、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義・演習	石田

■ 教科書

1. 臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集：ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア、メディカ出版(最新版)
2. 臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集：ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 地域療養を支える技術、メディカ出版(最新版)

■ 参考書、参考資料等

鈴木和子 渡辺裕子：家族看護学 日本看護協会出版会(最新版)
その他、適宜、紹介する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験後に解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

3年次以降の在宅看護学では本科目の知識が基礎となる。保健師教育課程を選択した場合には、訪問看護師との地域連携において重要な

関連科目となる。

■ 成績評価の仕方

定期試験(80%)、授業への取り組み(20%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-13:00 西田(452 研究室)石田(432 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 欠席や遅刻は、減点の対象となる。また、歩く、関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。
3. 試験はマークシート方式とする。(変更の際は、事前に伝える)。

慢性期ケア

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBHN200

○田中 孝美、守谷 千明、本庄 恵子、桑原 雄三、田代 幸子、河田 照絵

■ 授業の目的

1. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴を理解するための概念について学ぶ。
2. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴を理解し、慢性の各期(局面)に応じて変化するケアについて学ぶ。
3. 慢性疾患の病態を踏まえ、病いとともに生活する人々が直面する困難を理解し、長期にわたり様々な療養法を行っていく人々への看護の実践について理解を深める。

■ 到達目標

1. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴について説明できる。
2. 慢性の各期(局面)に応じて変化するケアについて説明できる。
3. 慢性疾患をもつ人の病態を踏まえ、病いとともに生活する人々が直面する困難を説明できる。
4. 長期にわたり様々な療養法を行っていく慢性疾患をもつ人への看護支援について説明できる。
5. 慢性疾患をもちながら生きる人への看護支援を考察することができる。

■ 学習の進め方

AL

- ・教科書と配布資料に基づいた講義を通して、基礎的な知識を学修する。
- ・事例やディスカッションを通して、病いとともに生活する人々の立場に近づき、必要な看護ケアへの理解を深める。
- ・各回の学修は、時間割に基づき、対面授業、遠隔(同時双方向型)授業、Glexa を活用してすすめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	慢性疾患をもちながら生きるということ(病みの軌跡とケア) 事前学修：[45 分] 教科書 113-136 ページを読み、病みの軌跡についてノートにまとめる。 Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	田中
2	呼吸器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、呼吸器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 196-219 ページを読み、呼吸器系機能障害をもつ人への看護について予習してのぞむ。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	田中
3	循環器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、循環器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 220-257 ページを読み、循環器系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	守谷
4	内分泌・代謝系の慢性疾患をもつ人へのケア① 事前学修：[45 分] 1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、内分泌・代謝系の解剖生理や病態について復習する。教科書 306-345 ページを読み、代謝障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	河田
5	内分泌・代謝系の慢性疾患をもつ人へのケア② 事前学修：[45 分] 1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、内分泌・代謝系の解剖生理や病態について復習する。教科書 306-345 ページを読み、代謝障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	河田

No	内容	形式	教員
6	消化器系の慢性疾患をもつ人へのケア① 事前学修：[45 分] 1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、消化器系の解剖生理や病態を復習する。教科書 258-287 ページを読み、消化器系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	河田
7	消化器系の慢性疾患をもつ人へのケア② 事前学修：[45 分] 1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、消化器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 293-304 ページを読み、肝・膵機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	河田
8	運動器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、運動器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 410-446 ページを読み、運動機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	桑原
9	腎・泌尿器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、腎・泌尿器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 447-497 ページを読み、腎・尿路系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	〇〇・田中
10	脳・神経系の慢性疾患をもつ人へのケア① 事前学修：[45 分] 脳・神経系の解剖生理や病態について復習する。教科書 389-409 ページを読み、脳神経系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	田中
11	脳・神経系の慢性疾患をもつ人へのケア② 事前学修：[45 分] 脳・神経系の解剖生理や病態について復習する。教科書 389-409 ページを読み、脳神経系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	田中
12	造血器腫瘍をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、造血器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 346-351 ページを読み、防御機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	河田
13	慢性疾患と共に生きる人の療養法と特徴 事前学修：[45 分] 教科書 113-136 ページを読み、慢性疾患をもつ人の特徴や慢性期の捉え方についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	本庄
14	慢性疾患をもつ人のリハビリテーション・障害受容 事前学修：[45 分] 教科書 113-136 ページを読み、慢性疾患をもつ人のリハビリテーション・障害受容に関連する概念や理念について ノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	田中

No	内容	形式	教員
15	慢性期ケアとは 事前学修：[45 分] Glexa で提示される事前学修課題 (慢性期ケアに関連する内容) に取り組む 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	本庄

■ 教科書

黒田裕子編(2013). 成人看護学(第2版). 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

1 年次の人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ～Ⅳの教科書。他は、適宜、紹介・提示する。

■ フィードバックの仕方

- ・事前・事後課題に関しては、授業内での学修につなげるとともに、授業後に資料等を用いた解説を Glexa 上で個別もしくは全体にフィードバックする。※基本的に授業後 2 週間以内に行う。
- ・定期試験に関しては、試験終了後に資料等を用いて Glexa 上で解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。

発達看護学(成人期の看護)、急性期ケア、健康レベル別看護学演習Ⅰと関連している。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(事前事後課題：15 回×3 点) 45 %、定期試験 55 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20～12:50。授業開講期間内 Glexa メール等での問合せにも随時対応します。

田中(449 研究室)、河田(446 研究室)、本庄(442 研究室)、桑原(445 研究室)、守谷(423 研究室)、〇〇(4 ** 研究室)

■ 受講上の注意事項

- ・Web 環境などの事情で、指定された期日までに Glexa にアクセスできない場合には、事前に教員に連絡をしてください。
- ・COVID-19 感染症等の状況により、変更の可能性があります。変更がある場合には、Glexa メール等で全員にお知らせします。

急性期ケア

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：HBHN201

○三浦 英恵、河田 照絵、林 宗博、守谷 千明、田代 幸子、桑原 雄三、山中 源治

■ 授業の目的

様々な疾患により侵襲的治療や検査を受ける人とその家族を援助するために、生命の維持・回復に向けた看護の基礎的知識と看護援助方法について学ぶ。

■ 到達目標

1. 急激な身体侵襲を受けて急性期にある人とその家族の特徴について説明できる。
2. 急性期にある人と家族の生命の維持・回復の促進に必要な看護の基礎的知識について説明できる。
3. 急性期にある人とその家族の回復過程に応じた看護援助を考案できる。

■ 学習の進め方

AL

対面および同時双方向型の講義や Glaxa を用いたオンデマンド型の教材(事前・事後課題を含む)を活用して、主体的に学びを深める。

- ・授業の展開：教科書・配布する資料、Glaxa に掲載する教材等に基づき講義を行い、基礎的な知識を学修する。
- ・事例検討などの時間を設け、学生が意見交換をしながら講義内容の理解を深められるようにする。
- ・授業終了後に「感想・意見」を記入し、自己の学びを深める。
- ・看護学実習で活用できるように参考資料を提示し、興味関心のある分野について学生個々で学びを発展させる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：急性期ケアとは、周手術期ケア①(手術前のケア) 事前学修：[45 分] シラバスおよび教科書 p.92-101 の「手術前のケア」に関する内容を読みノートにまとめる。Glaxa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glaxa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	三浦・山中
2	周手術期ケア②(手術室のケア) 事前学修：[45 分] 教科書 p.87-91、101-105 の「手術室のケア」に関する内容を読みノートにまとめる。Glaxa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glaxa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	山中
3	周手術期ケア③(術後のケア) 事前学修：[45 分] 教科書 p.90-91、105-112 の「術後のケア」に関する内容を読みノートにまとめる。Glaxa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glaxa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	山中
4	化学療法を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] 教科書 p.152-158 の「化学療法」に関する内容を読みノートにまとめる。Glaxa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glaxa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	守谷
5	放射線療法を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] 教科書 p.158-162 の「放射線療法」に関する内容を読みノートにまとめる。Glaxa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glaxa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	桑原
6	生殖器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] 1 年次に学修した乳房および子宮の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.508-515、521-528 を読みノートにまとめる。Glaxa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glaxa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	河田

No	内容	形式	教員
7	消化器系の手術を受ける患者へのケア① 事前学修：[45 分] 1 年次に学修した食道、胃、小腸、大腸の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.275-282、289-291 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	桑原
8	消化器系の手術を受ける患者へのケア② 事前学修：[45 分] 1 年次に学修した肝臓、胆のう、膵臓の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.300-302、304-305 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	守谷
9	腎・泌尿器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] 1 年次に学修した腎臓および男性泌尿器の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.460-462、515-520 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	成人助教
10	呼吸器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] 1 年次に学修した呼吸器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.215-217 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glexa へ提出する。配布資料や教科書を読み返し復習する。	講義・討議	三浦
11	救急医療の現況と急性期医療から医療全体の流れ 事前学修：[45 分] 初期救急医療体制、第 2 次救急医療体制、第 3 次救急医療体制の違いについて、調べノートにまとめる。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glexa へ提出する。配布資料や教科書を読み返し復習する。	講義・討議	林
12	侵襲(外傷・感染等)やショックの病態・観察・治療管理、救急医療の実際 事前学修：[45 分] 教科書 p.46-82 の侵襲・意識レベル・ショックとその対応・多臓器障害・外傷に関する内容をよく読みノートにまとめる。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	林
13	循環器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] 1 年次に学修した循環器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.233-240、247-252 を読み、ノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	三浦
14	運動器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45 分] 1 年次に学修した運動器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.429-438 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	三浦
15	脳神経系の手術を受ける患者へのケア、まとめ 事前学修：[45 分] 1 年次に学修した脳神経系の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.398-405 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組む、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	三浦

■ 教科書

黒田裕子編(2013). 成人看護学. 第 2 版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

坂井建雄・岡田隆夫(2018). 系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学. 第 10 版. 医学書院.
 その他、適宜、紹介・提示します。

■ フィードバックの仕方

授業の感想・意見の紹介やフィードバック、授業内容、事前・事後課題についての補足説明や解説は、原則として 2 週間後に Glexa に提示します。定期試験の解説・フィードバックは、定期試験終了後、後期授業開始前までに Glexa 内で提示します。

■ 他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目となっています。

人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの理解に基づき、より発展的な内容を取り扱います。

また、発達看護学(成人期の看護)、慢性期ケア、健康レベル別看護学演習Ⅰと関連しています。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前・事後課題や授業の内容・感想の提出等：15 回×3 点)：45 % 2. 筆記試験：55 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：20～12：50。授業開講期間内は、Glexa メール等での質問、問い合わせにも随時対応します。

三浦(444 研究室)、河田(446 研究室)、山中(〇〇研究室)、桑原(445 研究室)、守谷(423 研究室)、成人助教(〇〇研究室)

■ 受講上の注意事項

- ・主体的な参加を期待します。
- ・Web 環境などの事情で、指定された期日までに受講が難しい場合は事前に教員に連絡をしてください。
- ・COVID-19 感染症等の状況により、変更の可能性があります。変更がある場合には、Glexa メール等で全員にお知らせいたします。

緩和・終末期ケア

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年・編入 3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBHN301

○吉田 みつ子、田中 孝美、遠山 義人

■ 授業の目的

緩和ケア(パリアティブ・ケア)、終末期(エンド・オブ・ライフ)ケアに関する諸概念・諸課題について学習し、緩和ケア、終末期ケアを必要とする人々への援助方法論を深める。

■ 到達目標

1. 緩和ケアに関わる諸概念等、援助の基本的な考え方などの知識を学び実践につなげることができる。
2. がん、慢性疾患等によって、患者や家族が抱える問題や苦痛について理解を深め、緩和ケア、終末期ケアの必要性を具体的な事例を通して、学ぶことができる。
3. 人間の尊厳と権利擁護、倫理的問題など、現代的な諸課題に対する看護実践のあり方や看護の役割などを考察することができる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義を行うとともに、ビデオ、事例等を提示し、学生がディスカッションする時間を設ける。
2. 「感想・意見」の記入：授業途中で、ディスカッション等を踏まえ、感想・意見・質問を記入する。
3. 意見交換・共有：記入された感想・意見・質問等について紹介しながら、全体討議を行う。
4. 参考資料の提示：授業内に使用した DVD、事例、参考文献等を紹介し、学生がさらに自己学習できるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	緩和ケア・終末期ケア概論 事前学修：[30 分] 教科書の該当ページを読み、緩和ケアの概念について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	吉田
2	がん疾患の緩和ケア・終末期ケアにおける身体症状・精神症状とその治療・看護 事前学修：[30 分] 実習で受け持った患者の身体的・精神的苦痛とその緩和について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論(遠隔)	吉田
3	心理社会的側面のケア、意思決定支援とコミュニケーション 事前学修：[30 分] 実習で受け持った患者の心理社会的苦痛とその緩和について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	遠山
4	家族ケア 事前学修：[30 分] 教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論(遠隔)	吉田
5	非がん疾患の緩和ケア・終末期ケア (1) 非がん疾患の緩和ケアとは (2) 神経疾患・慢性心不全の緩和ケア 事前学修：[30 分] 教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	田中
6	非がん疾患の緩和ケア・終末期ケア (3) 腎不全・慢性閉塞性肺疾患・認知症の緩和ケア 事前学修：[30 分] 教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	田中
7	在宅における緩和ケア・終末期ケア 事前学修：[30 分] 教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	田中
8	スピリチュアルケア、臨死期のケア、緩和ケアと倫理 事前学修：[30 分] 教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論(遠隔)	吉田

■教科書

宮下光令編 (2022). ナーシング・グラフィカ 成人看護学 (6) : 緩和ケア 第3版. メディカ出版.

■参考書、参考資料等

各回の授業時に紹介する

■フィードバックの仕方

適宜コメントを付け返却する(グレクサ)。試験のフィードバックは、試験実施 3 週間以内に答案および解説資料の配布により行う。返却期間、場所はグレクサルにて連絡する。

■他の授業科目との関連

4 年次総合実習において、緩和ケア領域の実習を希望する学生は必ず履修すること。

■成績評価の仕方

1. 感想の記入・提出、クイズの取り組み 40% 2. 定期試験 60 %

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20～12:50 : 吉田(448 室) 田中(449 室) 遠山(453 室)

健康レベル別看護学演習Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHN251

○河田 照絵、三浦 英恵、田中 孝美、守谷 千明、桑原 雄三、吉田 里奈、田代 幸子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、佐藤 明子、山中 源治

■授業の目的

健康レベル(急性期、慢性期)に合わせた適切な看護援助が提供できるよう、応用的な援助技術を習得する。

■到達目標

1. 輸液療法について理解し、管理できる。
2. 術後患者の身体観察、創部の観察、ドレッシング、ドレーンの観察と管理等、一連の術後ケアを理解し、実施できる。
3. 経管栄養法について理解し、管理できる。
4. 血糖管理法を理解し、血糖自己測定ができる。血糖管理を行うためのセルフケア支援の方法を検討できる。
5. モニター心電図測定、12誘導心電図測定等の循環器に関わるケアについて理解し、実施できる。
6. 気管吸引等の呼吸器ケアを理解し、実施できる。
7. 胸腔ドレナージ法の仕組みを理解し、管理と観察点を理解できる。

■学習の進め方

1. 対面での学内演習並びに Glexa を活用したオンデマンド型授業を組み合わせで行う。配布資料とともに Glexa の各回に保存されているコンテンツを必ず確認すること。
2. 事前学修をふまえた授業の展開：演習要項や各回の Glexa で提示する事前課題に取り組み、自己学修を行っていることを前提に授業をすすめる。重要なポイントを確認しながら理解を深めること。
3. 技術演習ではケアを提供する対象者の体験を想像しながらケアを実施する。演習時にはグループで意見交換し、互いにフィードバックすることで演習での学びを深め、今後のケアに活かせるよう理解を深める。
4. 事後課題への取り組み：各回に提示される事後課題に取り組み、学修内容を振り返り自らの修得状況を把握する。オフィスアワーを活用し、自己学修を行う。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 輸液療法① 事前学修：[60分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 67-106 ページ、140-148 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	講義等	担当者全員
2	輸液療法② 事前学修：[60分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 67-92 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
3	輸液療法③(中心静脈注射等) 事前学修：[60分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 93-106 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
4	術後ケア①(術後の観察等) 事前学修：[60分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 146-184 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

No	内容	形式	教員
5	術後ケア②(術後の観察等) 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 146-184 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
6	術後ケア③(ドレッシング、ドレーン管理等) 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 146-184 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
7	術後ケア④(早期離床等) 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 185-194 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
8	経管栄養法 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 175-188 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
9	血糖管理 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 165-174 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
10	心電図測定(モニター心電図・12 誘導心電図) 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 99-128 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
11	心電図測定(モニター心電図・12 誘導心電図) 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 99-128 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
12	呼吸器ケア：胸腔ドレーン 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 129-145 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
13	呼吸器ケア：気管吸引法 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 52-64 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

No	内容	形式	教員
14	事例を用いた技術の実践① 事前学修：[60 分] 各演習内容について配布資料、事前・事後学修したノートを読み返して臨む。 事後学修：[60 分] 実施した演習内容について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
15	事例を用いた技術の実践② 事前学修：[60 分] 各演習内容について配布資料、事前・事後学修したノートを読み返して臨む。 事後学修：[60 分] 実施した演習内容について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

■ 教科書

本庄恵子・吉田みつ子監修(2020)．新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 アドバンス．インターメディカ．

本庄恵子・吉田みつ子監修(2020)．新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 アドバンス．インターメディカ．

■ 参考書、参考資料等

吉田みつ子・本庄恵子監修(2020)．新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス．インターメディカ．

守田美奈子監修(2020)．新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス．インターメディカ．

その他、適宜授業で提示する。

■ フィードバックの仕方

各講義・演習後に講義内容、質問等をまとめた解説資料の配布を通じて行う。

実技試験のフィードバックは、試験終了後に実技内容を教員と共に振り返りながら行う。

筆記試験のフィードバックは、筆記試験終了後に試験問題と解答の解説を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。

■ 成績評価の仕方

1. 技術試験 30 % 2. 筆記試験 40 % 3. 授業への取り組み(事前/事後学修への取り組み、看護師役・患者役の体験の共有・ディスカッション・振り返り等) 30 %

注意：2/3 以上の出席がない場合、成績評価の対象とならない。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00 河田(446 研究室) 田中(449 研究室) 三浦(444 研究室) 山中(研究室) 桑原(445 研究室)

守谷(423 研究室) ○○(研究室)

適宜、技術の自主練習ができる時間を設けるので、是非活用してほしい。日時などの詳細は、授業で配布する資料を参照。

■ 受講上の注意事項

実習着とナースシューズを着用し、演習にふさわしい身だしなみで受講して下さい。演習時には秒針付時計と聴診器を持参すること。主体的な参加を期待します。

健康レベル別看護学演習Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHN251

○河田 照絵、三浦 英恵、田中 孝美、守谷 千明、桑原 雄三、吉田 里奈、田代 幸子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、佐藤 明子、山中 源治

■ 授業の目的

健康レベル(急性期、慢性期)に合わせた適切な看護援助が提供できるよう、応用的な援助技術を習得する。

■ 到達目標

1. 輸液療法について理解し、管理できる。
2. 術後患者の身体観察、創部の観察、ドレッシング、ドレーンの観察と管理等、一連の術後ケアを理解し、実施できる。
3. 経管栄養法について理解し、管理できる。
4. 血糖管理法を理解し、血糖自己測定ができる。血糖管理を行うためのセルフケア支援の方法を検討できる。
5. モニター心電図測定、12誘導心電図測定等の循環器に関わるケアについて理解し、実施できる。
6. 気管吸引等の呼吸器ケアを理解し、実施できる。
7. 胸腔ドレナージ法の仕組みを理解し、管理と観察点を理解できる。

■ 学習の進め方

1. 対面での学内演習並びに Glexa を活用したオンデマンド型授業を組み合わせで行う。配布資料とともに Glexa の各回に保存されているコンテンツを必ず確認すること。
2. 事前学修をふまえた授業の展開：演習要項や各回の Glexa で提示する事前課題に取り組み、自己学修を行っていることを前提に授業をすすめる。重要なポイントを確認しながら理解を深めること。
3. 技術演習ではケアを提供する対象者の体験を想像しながらケアを実施する。演習時にはグループで意見交換し、互いにフィードバックすることで演習での学びを深め、今後のケアに活かせるよう理解を深める。
4. 事後課題への取り組み：各回に提示される事後課題に取り組み、学修内容を振り返り自らの修得状況を把握する。オフィスアワーを活用し、自己学修を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 輸液療法① 事前学修：[60分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 67-106 ページ、140-148 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	講義等	担当者全員
2	輸液療法② 事前学修：[60分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 67-92 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
3	輸液療法③(中心静脈注射等) 事前学修：[60分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 93-106 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
4	術後ケア①(術後の観察等) 事前学修：[60分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 146-184 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

No	内容	形式	教員
5	術後ケア②(術後の観察等) 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 146-184 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
6	術後ケア③(ドレッシング、ドレーン管理等) 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 146-184 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
7	術後ケア④(早期離床等) 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 185-194 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
8	経管栄養法 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 175-188 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
9	血糖管理 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 165-174 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
10	心電図測定(モニター心電図・12 誘導心電図) 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 99-128 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
11	心電図測定(モニター心電図・12 誘導心電図) 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 99-128 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
12	呼吸器ケア：胸腔ドレーン 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 129-145 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
13	呼吸器ケア：気管吸引法 事前学修：[60 分] 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 52-64 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

No	内容	形式	教員
14	事例を用いた技術の実践① 事前学修：[60 分] 各演習内容について配布資料、事前・事後学修したノートを読み返して臨む。 事後学修：[60 分] 実施した演習内容について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
15	事例を用いた技術の実践② 事前学修：[60 分] 各演習内容について配布資料、事前・事後学修したノートを読み返して臨む。 事後学修：[60 分] 実施した演習内容について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

■ 教科書

本庄恵子・吉田みつ子監修(2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1 アドバンス. インターメディカ.
 本庄恵子・吉田みつ子監修(2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2 アドバンス. インターメディカ.

■ 参考書、参考資料等

吉田みつ子・本庄恵子監修(2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ.
 守田美奈子監修(2020). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.
 その他、適宜授業で提示する。

■ フィードバックの仕方

各講義・演習後に講義内容、質問等をまとめた解説資料の配布を通じて行う。
 実技試験のフィードバックは、試験終了後に実技内容を教員と共に振り返りながら行う。
 筆記試験のフィードバックは、筆記試験終了後に試験問題と解答の解説を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。

■ 成績評価の仕方

1. 技術試験 30 % 2. 筆記試験 40 % 3. 授業への取り組み(事前/事後学修への取り組み、看護師役・患者役の体験の共有・ディスカッション・振り返り等) 30 %
 注意：2/3 以上の出席がない場合、成績評価の対象とならない。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00 河田(446 研究室) 田中(449 研究室) 三浦(444 研究室) 山中(研究室) 桑原(445 研究室)
 守谷(423 研究室) ○○(研究室)
 適宜、技術の自主練習ができる時間を設けるので、是非活用してほしい。日時などの詳細は、授業で配布する資料を参照。

■ 受講上の注意事項

実習着とナースシューズを着用し、演習にふさわしい身だしなみで受講して下さい。演習時には秒針付時計と聴診器を持参すること。主体的な参加を期待します。

健康レベル別看護学演習Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
 教員：ー 科目ナンバー：HBHN300

○江本 リナ、千葉 京子、清田 明美、管野 心葉、池田 良輔子、鷹野 朋実、堀井 湖浪、古城門 靖子、内藤 なづな、堀川 英起、新田 真弓、林田 聖子、加藤 千穂、宮内 愛、由利 紗織、鈴木 健太、柴田 純子、山内 朋子、田代 祐子、北井 喜美恵

■ 授業の目的

精神保健上の問題や、それぞれの発達段階に伴う健康上の課題など、さまざまな健康問題やあらゆる発達段階にある人への看護援助を行うための具体的技術を習得する。

■ 到達目標

1. 精神保健看護学：他者との相互作用を通して、自分理解、他者理解を深めることができる。
2. 母性看護学：妊娠褥婦と新生児の特徴を考慮したうえで、健康診査と新生児の沐浴を実施できる。
3. 小児看護学：子どもの健康診査、バイタルサイン測定、薬物療法、点滴管理を実施できる。
4. 老年看護学：高齢者の特徴を考慮した摂食・嚥下ケア、移乗・移動動作と排泄ケアを実施できる。

■ 学習の進め方

AL

技術演習：授業の目的および到達目標を理解して演習に取り組む。実習状況を想定し取り組み、演習後は意見交換することで学習をさらに深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

原則は、対面授業とするが、場合によっては遠隔授業(同時双方向)や遠隔授業(オンデマンド型)を含む可能性がある。

No	内容	形式	教員
1	小児看護学演習① クラス A 老年看護学演習① クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
2	小児看護学演習① クラス B 老年看護学演習① クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
3	小児看護学演習② クラス A 老年看護学演習② クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
4	小児看護学演習② クラス B 老年看護学演習② クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
5	小児看護学演習③ クラス A 老年看護学演習③ クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員

No	内容	形式	教員
6	小児看護学演習③ クラス B 老年看護学演習③ クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
7	小児看護学演習④ クラス A 老年看護学演習④ クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
8	小児看護学演習④ クラス B 老年看護学演習④ クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
9	母性看護学演習① クラス A 精神保健看護学演習① クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
10	母性看護学演習② クラス A 精神保健看護学演習② クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
11	母性看護学演習① クラス B 精神保健看護学演習① クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
12	母性看護学演習② クラス B 精神保健看護学演習② クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
13	母性看護学演習③ クラス A 精神保健看護学演習③ クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
14	母性看護学演習④ クラス A 精神保健看護学演習④ クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
15	母性看護学演習③ クラス B 精神保健看護学演習③ クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員

No	内容	形式	教員
16	母性看護学演習④ クラス B 精神保健看護学演習④ クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当 教員全員 精神保健看護学 担当教員全員

■教科書

領域毎に随時提示する

精神保健看護学：武井麻子・小宮敬子他(2021). 系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護学②精神看護の展開 第5版. 医学書院.

母性看護学：平澤美恵子・村上睦子監修(2020). 新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス. インターメディカ.

小児看護学：①筒井真優美監修(2016). 小児看護学 第8版. 日総研出版. ②筒井真優美監修(2017). パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第2版. 照林社.

老年看護学：使用しない。資料を配布する。

■参考書、参考資料等

領域毎に随時提示する。

■フィードバックの仕方

領域毎に演習内容は随時フィードバックする。記録・レポートのフィードバックは、授業での解説あるいは解説資料、コメントを付した資料の返却を通じて行う。

■他の授業科目との関連

本科目は精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕と各発達看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

各領域 25 % (演習への取り組み 15 %、記録・レポート 10 %) × 4 領域 合計 100 %

■オフィスアワー・研究室等

演習終了後の 18:00～18:30。各演習担当者の研究室。

■受講上の注意事項

4 領域の演習で構成しているので、オリエンテーション内容を理解して取り組むことを望む。

オリエンテーションは授業開始前に実施するので、オリエンテーションの日時を確認し、必ず出席すること。演習のため出席することが前提となる。

講義形式および、内容は変更する可能性がある。

健康レベル別看護学演習Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
 教員：ー 科目ナンバー：HBHN300

○江本 リナ、千葉 京子、清田 明美、管野 心葉、池田 良輔子、鷹野 朋実、堀井 湖浪、古城門 靖子、内藤 なづな、堀川 英起、新田 真弓、林田 聖子、加藤 千穂、宮内 愛、由利 紗織、鈴木 健太、柴田 純子、山内 朋子、田代 祐子、北井 喜美恵

■授業の目的

精神保健上の問題や、それぞれの発達段階に伴う健康上の課題など、さまざまな健康問題やあらゆる発達段階にある人への看護援助を行うための具体的技術を習得する。

■到達目標

1. 精神保健看護学：他者との相互作用を通して、自分理解、他者理解を深めることができる。
2. 母性看護学：妊娠褥婦と新生児の特徴を考慮したうえで、健康診査と新生児の沐浴を実施できる。
3. 小児看護学：子どもの健康診査、バイタルサイン測定、薬物療法、点滴管理を実施できる。
4. 老年看護学：高齢者の特徴を考慮した摂食・嚥下ケア、移乗・移動動作と排泄ケアを実施できる。

■学習の進め方

AL

技術演習：授業の目的および到達目標を理解して演習に取り組む。実習状況を想定し取り組み、演習後は意見交換することで学習をさらに深める。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

原則は、対面授業とするが、場合によっては遠隔授業(同時双方向)や遠隔授業(オンデマンド型)を含む可能性がある。

No	内容	形式	教員
1	小児看護学演習① クラス A 老年看護学演習① クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
2	小児看護学演習① クラス B 老年看護学演習① クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
3	小児看護学演習② クラス A 老年看護学演習② クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
4	小児看護学演習② クラス B 老年看護学演習② クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
5	小児看護学演習③ クラス A 老年看護学演習③ クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員

No	内容	形式	教員
6	小児看護学演習③ クラス B 老年看護学演習③ クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
7	小児看護学演習④ クラス A 老年看護学演習④ クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
8	小児看護学演習④ クラス B 老年看護学演習④ クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙(小児)にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
9	母性看護学演習① クラス A 精神保健看護学演習① クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
10	母性看護学演習② クラス A 精神保健看護学演習② クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
11	母性看護学演習① クラス B 精神保健看護学演習① クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
12	母性看護学演習② クラス B 精神保健看護学演習② クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
13	母性看護学演習③ クラス A 精神保健看護学演習③ クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
14	母性看護学演習④ クラス A 精神保健看護学演習④ クラス B 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
15	母性看護学演習③ クラス B 精神保健看護学演習③ クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員

No	内容	形式	教員
16	母性看護学演習④ クラス B 精神保健看護学演習④ クラス A 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当 教員全員 精神保健看護学 担当教員全員

■ 教科書

領域毎に随時提示する

精神保健看護学：武井麻子・小宮敬子他(2021). 系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護学②精神看護の展開 第5版. 医学書院.

母性看護学：平澤美恵子・村上睦子監修(2020). 新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス. インターメディカ.

小児看護学：①筒井真優美監修(2016). 小児看護学 第8版. 日総研出版. ②筒井真優美監修(2017). パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第2版. 照林社.

老年看護学：使用しない。資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

領域毎に随時提示する。

■ フィードバックの仕方

領域毎に演習内容は随時フィードバックする。記録・レポートのフィードバックは、授業での解説あるいは解説資料、コメントを付した資料の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕と各発達看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

各領域 25 % (演習への取り組み 15 %、記録・レポート 10 %) × 4 領域 合計 100 %

■ オフィスアワー・研究室等

演習終了後の 18:00～18:30。各演習担当者の研究室。

■ 受講上の注意事項

4 領域の演習で構成しているので、オリエンテーション内容を理解して取り組むことを望む。

オリエンテーションは授業開始前に実施するので、オリエンテーションの日時を確認し、必ず出席すること。演習のため出席することが前提となる。

講義形式および、内容は変更する可能性がある。

地域看護学

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」連携 「2」実践 「3」関係 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBCH150

○石田 千絵、吉川 悦子、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地

■授業の目的

地域で生活する人びとの健康やQOLの向上をめざした地域看護における活動の場と看護職の役割を理解する。

■到達目標

1. 地域における看護職の活躍の場と役割について理解できる。
2. 看護の継続の必要性や地域連携の重要性を理解できる。
3. 国内の社会情勢に応じた看護ニーズの変化と対応を理解できる。
4. 諸外国の社会情勢と看護活動を理解し、考察することができる。

■学習の進め方

講義・演習・グループワークを通して、地域看護活動について理解を深める。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	健康とは 社会の変化と健康課題 事前学修：[15分] 教科書の該当ページ(第4.5章)を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・GW	石田
2	地域看護・公衆衛生看護の理念・概念① 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
3	公衆衛生看護の展開方法① 地域診断 事前学修：[15分] 教科書の該当ページ(第1章、第10章)を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・演習	井口
4	地域看護・公衆衛生看護の理念・概念② 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
5	地域看護活動の場と特性① 職域保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	未定
6	地域看護活動の場と特性② 行政機関 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	井口
7	地域看護活動の場と特性③ 学校保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
8	地域看護活動の場と特性④ 在宅療養 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	西田
9	在宅療養患者のニーズと暮らし 事前学修：[15分] 文字盤の使い方の資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 配布資料を読み返す	講義・GW	石田
10	公衆衛生看護の対象① 母子保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	石田
11	公衆衛生看護の対象② 成人保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	未定
12	公衆衛生看護の対象③ 高齢者保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す。授業で指定された宿題を実施する	講義・GW	井口

No	内容	形式	教員
13	公衆衛生看護の展開方法② 施策化 事前学修：[15 分] 教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・GW	井口
14	国際協力と地域看護 事前学修：[15 分] 教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
15	健康危機管理 事前学修：[15 分] 教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	石田

■ 教科書

標美奈子他、標準保健師講座.1 公衆衛生看護学概論(第 5 版)医学書院 2020 年

■ 参考書、参考資料等

適宜、紹介する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後 2 週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。具体的な日時、場所については定期試験時間割発表時に提示する。

■ 他の授業科目との関連

2 年次以降で学習するプライマリーヘルスケア、在宅看護学など地域関連科目及び保健師教育課程選択者の準備科目である。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(20 %)、定期試験(80 %)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20～12:50。

石田(432 研究室) 吉川(425 研究室)井口(452 研究室)西田(○研究室) 未定(445 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 欠席や遅刻は、授業への取り組み不足として減点の対象となる。また、歩く、関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。
3. 試験はマークシート方式とする(変更の際は、事前に伝える)。

公衆衛生看護活動論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」成長 「2」実践 「3」連携 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBCH250

○吉川 悦子、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地、石田 千絵

■ 授業の目的

あらゆるライフステージ、健康レベルにある人々とその生活をライフサイクル、健康課題別にとらえ、個人・家族・集団を対象とした公衆衛生看護活動を展開するために必要な知識と方法について具体的に理解する。

■ 到達目標

1. 母子、成人、高齢者、障害者(児)、精神、難病、感染症など地域で生活する人々を対象とした保健活動とその活動を支える法的基盤について説明できる。
2. 地域の人々と協働して地域の健康課題を改善し、健康増進能力を高める保健師の支援について考えることができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開：講義のほか、資料や動画を利用し参加型学習を中心に展開し、知識と共に実践力を高める。
2. 参考資料の提示：学びを深められるよう、適宜参考資料や情報を提示する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：日本の公衆衛生看護活動の流れ 事前学修：[20分] 1年次の地域看護学の教科書や配布資料に目を通し、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義	吉川
2	母子保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20分] 教科書の第1章を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	井口
3	母子保健活動の実際と課題 事前学修：[20分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	井口
4	成人保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20分] 教科書の第2章を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	未定
5	成人保健活動の実際と課題 事前学修：[20分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	未定
6	高齢者保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20分] 教科書の第3章を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	井口
7	高齢者保健活動の実際と課題 事前学修：[20分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	井口
8	障害者(児)保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20分] 教科書の第5章を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[20分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	吉川
9	障害者(児)保健活動の実際と課題 事前学修：[20分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	吉川

No	内容	形式	教員
10	精神保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20 分] 教科書の第 4 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[20 分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	吉川
11	精神保健活動の実際と課題 事前学修：[20 分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	吉川
12	難病保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20 分] 教科書の第 6 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[20 分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	石田
13	難病保健活動の実際と課題 事前学修：[20 分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	石田
14	感染症保健活動の歴史と理念、目的 事前学修：[20 分] 教科書の第 7 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[20 分] 授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	吉川
15	感染症保健活動の実際と課題 事前学修：[20 分] 前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	吉川

■ 教科書

中谷芳美、山口忍、奥野ひろみ他(2018). 標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動(第 4 版)医学書院.

■ 参考書、参考資料等

1. 厚生労働統計協会編(2022). 国民衛生の動向 2022/2023 年、厚生労働統計協会
2. 東京の母子保健(東京都福祉保健局)令和 2 年 1 月改訂版、URL https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/koho/tokyo_no_boshihoken.files
発達看護学で使用した資料など。その他授業時に紹介する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後の解説講座を通じて、または、試験実施後 3 週間以内に吉川研究室にて、採点後の答案用紙の閲覧と採点基準の解説を通じて行う。フィードバック実施可能な時間はポータル(または Glexa) で連絡するので希望者する場合は提示された時間に来ること。受講者人数によりいずれかの方法を選択するので、授業時間内にアナウンスする。

■ 他の授業科目との関連

この科目は保健師教育課程の選択必修科目であり、保健師教育課程の履修には、2 年次での単位修得が必要です。

■ 成績評価の仕方

1. 筆記試験 80 %
2. 授業への取り組み 20%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30~12:50

吉川(425 研究室) 井口(452 研究室) 未定(研究室)未定(445 研究室) 石田(432 研究室)

■ 受講上の注意事項

* この科目は保健師国家試験受験資格取得者の選択必修科目です。

保健福祉行政論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探究 「3」連携 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBCH400

○櫻山 豊夫

■授業の目的

公衆衛生の目的は、健康を社会全体にもたらすことであり、この授業ではそれを実践するための保健・医療・福祉行政のしくみについての理解を深めることを目的とする。

■到達目標

1. 健康の社会的決定要因について説明できる。
2. 保健医療福祉行政の理念としくみについて説明できる。
3. 公衆衛生全般について説明できる。
4. 衛生行政関連の法令や制度について説明できる。

■学習の進め方

1. 講義の展開
講義とディスカッションを通して保健福祉行政についての理解を深める。
2. 参考資料の提示
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、適宜、参考資料を提示する。
3. 教室外学習
事前学習で「自ら学ぶ」習慣を身につける。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、保健福祉行政概説 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、序章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。可能であれば参考書②を参照しておくことが望ましい。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
2	公衆衛生の歴史 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、1章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
3	保健福祉行政の歴史、新たな課題と政策の発展 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、1章、2章Aを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
4	保健、医療、福祉に係る、国の行政のしくみ 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、2章A・Bを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
5	保健、医療、福祉に係る、地方公共団体の行政のしくみ 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、2章A・Bを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
6	保健医療福祉の財政 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、2章Cを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
7	公衆衛生に関する国際的な活動 事前学修：[30分] 授業の開始前に教科書の、2章Dを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山

No	内容	形式	教員
8	社会保障制度概論 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、3 章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
9	年金保険制度、健康保険制度、その他の社会保障制度 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、3 章 C・D を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
10	地域保健の体系 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、4 章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
11	保健師活動 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、2 章 B を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
12	健康危機管理 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、3 章 B を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。可能であれば、参考書①などで、健康危機の概念についても予習しておくことが望ましい。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
13	医療提供体制と医療安全対策 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、3 章 B を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。可能であれば参考書①を参照しておくことが望ましい。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
14	医療計画 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、3 章 B、5 章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
15	保健福祉計画と評価 事前学修：[30 分] 授業の開始前に教科書の、5 章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：[30 分] 授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山

■ 教科書

藤内修二，他 (2022) 標準保健師講座別巻 1「保健医療福祉行政論」(第 5 版)，医学書院。

■ 参考書、参考資料等

- ① 櫻山豊夫；知っておきたい医療監視・指導の実際，医学書院
- ② 栗原敏，他；医療入門—よりよいコラボレーションのために，医学書院
- ③ 宮崎美砂子，他；最新公衆衛生看護学 第 3 版 2020 年版 各論 2、日本看護協会出版会

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■ 他の授業科目との関連

保健師教育課程の科目に関連します。

■ 成績評価の仕方

- 1. 授業への参加度 25 %
- 2. 筆記試験 75 %

■ オフィスアワー・研究室等

講義終了後、講義室前ラウンジにて個別の質問に対応します。

■ 受講上の注意事項

既習知識の確認をしながら進めますので、予習、復習をして主体的に授業に参加してください。

* この科目は、保健師国家試験受験資格取得者の選択必修科目です。

疫学

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBCH251

○川崎 洋平

■ 授業の目的

人間集団を対象として疾病の原因を解明し予防するための学問である疫学の考え方を学ぶ。

EBM や EBN において根拠を与える疫学の方法について学ぶ。

集団の健康状態を把握するための指標について学ぶ。

■ 到達目標

1. 疫学に関する用語とその意味を正しく説明できる。
2. 疫学研究の方法を説明できる。
3. 疫学にあらわれる様々な指標の意味を説明し、計算できる。
4. 疫学データの解析結果を解釈できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を適宜行って、理解を着実にする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	疫学の概念と歴史 事前学修：〔30分〕事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
2	疫学研究(1)：疫学研究の種類・標本抽出 事前学修：〔30分〕事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
3	疫学研究(2)：疫学研究の種類(前向き研究と後ろ向き研究) 事前学修：〔30分〕事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
4	疫学研究(3)：相対危険と寄与危険 事前学修：〔30分〕事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
5	疫学研究(4)：因果関係とバイアス 事前学修：〔30分〕事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
6	疫学研究(5)：まとめと演習問題 事前学修：〔30分〕事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕授業の配付資料を読み返す。	講義・演習	川崎 洋平
7	疾病の頻度の指標(1)：疾病指標の概念 事前学修：〔30分〕事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
8	疾病の頻度の指標(2)：死亡率・致命率 事前学修：〔30分〕事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
9	疾病の頻度の指標(3)：年齢調整(直接法と間接法) 事前学修：〔30分〕事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
10	疾病の頻度の指標(4)：まとめと演習問題 事前学修：〔30分〕事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕授業の配付資料を読み返す。	講義・演習	川崎 洋平
11	保健統計調査(1)：人口統計 事前学修：〔30分〕事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：〔30分〕授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
12	保健統計調査(2): 出生率・死亡率 事前学修: [30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修: [30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
13	保健統計調査(3): まとめと演習問題 事前学修: [30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修: [30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義・演習	川崎 洋平
14	スクリーニング(1): スクリーニングについて 事前学修: [30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修: [30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
15	スクリーニング(2): 感度と特異度 事前学修: [30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修: [30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平

■ 教科書

授業で使用する資料は Glexa にアップロードをするので、各自ダウンロード・印刷すること

■ 参考書、参考資料等

浅野嘉延(2018年). 楽しく学べる!看護学生のための疫学・保健統計. 改訂3版. 南山堂.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後2カ月以内を目途に Glexa で行う。

■ 他の授業科目との関連

疫学は統計学を応用した学問であるので、保健統計学の学習内容に基づく。

■ 成績評価の仕方

定期試験70%、授業への取り組み30%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後及び開講期間中の金曜日(2限・18時以降)に407研究室(広尾キャンパス)又はオンラインで質問を受け付ける

■ 受講上の注意事項

疫学は保健師のみならず臨床看護師を目指す学生にとっても EBN を理解するために重要な科目である。

在宅看護学

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」連携 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBCH300

○石田 千絵、西田 志穂、井口 理、佐藤 太地、吉川 悦子

■授業の目的

安心安全な在宅ケアの継続と生活の質的向上を目指し、在宅療養環境と療養者・家族のニーズに応じた具体的な看護実践の方法を学ぶ。また、ケアマネジメント演習を通して、地域包括ケアシステムにおける関連機関・職種との連携のあり方と看護の役割を理解する。

■到達目標

1. 看護の継続を可能とする在宅における看護技術を理解できる。
2. 療養者と家族の特性に応じた社会資源の活用について説明できる。
3. 療養者と家族の生活の質を高めるための看護技術を考えることができる。
4. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を考えることができる。

■学習の進め方

AL

講義、演習、GW、発表

※原則、課題提出や遠隔授業方式(Glexaでのオンデマンド型、TeamsやZoomを使用した同時双方向型またはその併用)で進めます

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、在宅における看護技術 事前学修：[30分] 教科書②の1章を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、理解を深める	講義	石田、西田
2	看護過程の展開① 在宅看護過程と家計図・エコマップ 事前学修：[15分] 家計図とエコマップについて、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、理解を深める	講義・演習	石田、西田
3	看護過程の展開② 在宅看護過程の特徴とケアマネジメント、演習のオリエンテーション 事前学修：[15分] 在宅におけるアセスメント項目について、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 自分が担当する事例の疾患や家族特性について、理解を深める。	講義・演習	石田、西田
4	在宅療養生活を支える看護技術① コミュニケーションとユマニチュード 事前学修：[15分] 教科書②の6版P26-33(7版P34-41)について、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 教科書と配布資料を読み直して、理解を深める	講義	石田
5	在宅療養生活を支える看護技術② 環境整備 事前学修：[15分] 間取りと住宅改修について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 演習事例の居宅環境や間取りと住宅改修について検討する	講義・演習	西田
6	日常生活を支える看護技術① 事前学修：[30分] 教科書②の6版P56-89(7版P70-104)を読み、A4用紙2枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義	西田
7	日常生活を支える看護技術② 事前学修：[15分] 教科書②の6版P48-53(7版P60-67)を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義	石田
8	療養を支える医療ケア① ICTを用いたコミュニケーション 事前学修：[15分] ICTを用いたコミュニケーションについて、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義・演習	全員
9	療養を支える医療ケア② COPDと在宅酸素療法 事前学修：[15分] COPDと在宅酸素療法について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義・演習	全員
10	ケアマネジメント演習① 演習の進め方の確認、実施 事前学修：[15分] 教科書①のケアマネジメントの概要について、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 事例発表の準備を進める	講義・演習	石田、西田

No	内容	形式	教員
11	マネジメント演習② 発表準備 事前学修：[15 分] グループで作成した事例で使用可能な社会保障制度を調べる 事後学修：[30 分] 配布資料や発表資料を作成する	演習・GW	石田、井口
12	マネジメント演習③ 発表 事前学修：[15 分] パワーポイントでの発表の準備をする 事後学修：[30 分] 他の事例におけるケアマネジメントの理解を深める	発表	石田、西田
13	在宅療養を支える災害対策 事前学修：[30 分] 教科書②5章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[30 分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義	石田
14	療養を支える医療ケア③ 事前学修：[30 分] 教科書②の 6 版 P92-162 (7 版 P 108-185)を読み、A4 用紙 2 枚にまとめる 事後学修：[30 分] 教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義・演習	西田
15	まとめ 事前学修：[30 分] 全ての配布資料を読み直す 事後学修：[30 分] 教科書と配布資料を読み直し、学びを深める	講義・演習	石田、西田、TA

■ 教科書

1. 臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集、ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア、第 7 版 メディカ出版、最新版(2 年次プライマリヘルスケアで使用した教科書)
2. 臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集、ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 地域療養を支える技術 第 2 版、メディカ出版(最新版)(2 年次プライマリヘルスケアで使用した教科書)

■ 参考書、参考資料等

なし。必要時、資料等を配布する。

■ フィードバックの仕方

演習はその場で講評する。

■ 他の授業科目との関連

プライマリヘルスケアの対象者を支える看護技術であるとともに、地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ－2〕の履修要件である。

■ 成績評価の仕方

演習と授業への取り組み 80%、レポート・地区踏査資料 20%

■ オフィスアワー・研究室等

石田研究室(432)西田研究室(452 研究室)佐藤研究室(445) 授業開講日の 12:30～13:00

■ 受講上の注意事項

1. 授業日程と内容に変更することがある。変更時は、事前にメールなどで連絡する。

看護管理学Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」連携 「2」成長 「3」変化 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBME350

○安部 陽子、佐藤 明子、古川 祐子

■授業の目的

- ・看護を提供するための「しくみ」である、集団、組織、制度について学習する。
- ・集団、組織、制度で、最も良質な看護を提供するための方策について考察を深める。

■到達目標

- ・日本の医療制度について説明することができる。
- ・看護管理の基本的概念について説明することができる。
- ・健康的な職場環境とは何かを説明することができる。
- ・健康的な職場環境を作るための方策を説明することができる。
- ・職場における人間関係の重要性について説明することができる。
- ・医療事故防止・院内感染防止のための理論や方法について説明することができる。
- ・看護情報学の基本的概念について説明することができる。
- ・医療の場における情報の重要性について説明できる。
- ・対象者のプライバシーや個人情報を保護するための方法について説明することができる。
- ・チームにおける看護と他職種の協働・連携について説明することができる。
- ・保健・医療・福祉の協働・連携について説明することができる。
- ・健全な病院経営の重要性について説明することができる。
- ・医療・看護の質を評価する方法について説明することができる。
- ・自己のキャリアのマネジメントにむけて自発的に行動することができる。

■学習の進め方

- ・事前課題では、該当する回のテーマの概念を理解するために、提示された資料を読みクイズ等に答える。
- ・授業中の課題では、事前課題で扱ったテーマの概念と実際を結びつけるための演習・講義、または、テーマに関連した集団、組織、制度の問題解決過程に関する演習を行う。
- ・事後課題では、テーマに関しての振り返りや自分の体験と結び付けた記述等を行い、該当する回のテーマの理解をより深める。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護をとりまく諸制度 事前学修：[90分] Glexaの「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回事前課題(クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90分] Glexaの「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回事後課題(資料の作成等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・古川・佐藤
2	看護管理の基本的概念 事前学修：[90分] Glexaの「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回事前課題(クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90分] Glexaの「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回事後課題(資料の作成等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・古川・佐藤
3	人的資源管理 事前学修：[90分] Glexaの「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回事前課題(クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90分] Glexaの「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回事後課題(資料の作成等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・古川・佐藤
4	安全管理 事前学修：[90分] Glexaの「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回事前課題(クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90分] Glexaの「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回事後課題(資料の作成等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・古川・佐藤

No	内容	形式	教員
5	情報管理 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・古川・佐藤
6	チームアプローチ 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・古川・佐藤
7	医療・看護の質と経営 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・古川・佐藤
8	キャリアの構築 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(ゲストスピーカーへの質問等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成等)を行い、事後課題を提出する。	講義・演習	安部・古川・佐藤

■教科書

なし(Glexa の授業サイトに各回の資料リスト等を掲示する。)

■参考書、参考資料等

なし(Glexa の授業サイトに各回の参考資料リスト等を掲示する。)

■フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glexa 上でコメントの返却、解説資料や動画の掲示などを行う。

■他の授業科目との関連

「看護管理学Ⅰ」で触れた制度にする内容は、看護関係法規で学びを深める。「看護管理学Ⅰ」で触れたマネジメントの理論等は「看護管理学Ⅱ」で学びを深める。

■成績評価の仕方

事前課題(24 %)、授業中の課題(24 %)、事後課題(24 %)、定期試験(28 %)により評価する。

■オフィスアワー・研究室等

開講期間中の金曜日、12:20-12:50、415 研究室

■受講上の注意事項

なし

看護管理学Ⅱ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応DP：「1」連携 「2」成長 「3」変化 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBME400

○安部 陽子、佐藤 明子、古川 祐子

■授業の目的

看護管理学の科学的かつ実践的な知識を深め、看護単位の運営に関する諸原則を学び、質の高い看護実践を可能にするための「しくみ」を構築する方策について考える。

■到達目標

- ・管理者に必要な能力について説明することができる。
- ・現在の看護管理者のあり方について自分の考えを述べることができる。
- ・経済学的視点からみた看護師の働き方の特性について説明することができる。
- ・看護学生が就職活動をする際に考慮すべき事項について自分の考えを述べることができる。
- ・チーム医療が成功するためには何が必要か自分の考えを述べることができる。
- ・リーダーシップとは何か、フォロワーシップとは何かを説明することができる。
- ・チーム医療における看護のリーダーシップとフォロワーシップについて、自分の考えを述べることができる。
- ・力および力の源泉について説明することができる。
- ・他者に対して影響を及ぼす方法とその方法の使い方について自分の考えを述べることができる。
- ・コミュニケーションとは何かを説明することができる。
- ・効果的なコミュニケーションの方法について自分の考えを述べることができる。
- ・意思決定の合理的なモデルと非合理的なモデルについて説明することができる。
- ・意思決定をする際にはどのようなことに留意すべきか自分の考えを述べることができる。
- ・対立について説明することができる。
- ・対立が起きたときの対処方法について自分の考えを述べることができる。
- ・2種類の交渉方法について、それぞれ説明することができる。
- ・2種類の交渉方法について、どちらがより効果的であるか自分の考えを述べることができる。
- ・動機づけとは何かを定義することができる。
- ・動機づけ理論の1つを用いて、自分が体験した事例を説明することができる。
- ・組織文化と組織社会化とは何かについて説明することができる。
- ・新卒看護師の組織社会化を促進する方法について自分の考えを述べることができる。
- ・日本の主な交代制勤務の方式をあげることができる。
- ・夜勤・交代制勤務に関する原則の必要性について自分の考えを述べることができる。
- ・代表的な看護ケア提供システムとその長所・短所について説明することができる。
- ・看護単位の特徴に基づき、どのような看護ケア提供システムが良いか自分の考えを述べることができる。
- ・組織分析の方法について説明することができる。
- ・組織の変革の原因、種類、モデルについて説明することができる。
- ・変革を円滑に進めるためにはどうすればよいか自分の考えを述べる。
- ・看護師が起業する方法について説明することができる。
- ・看護師の起業について自分の意見を述べることができる。
- ・日本における立法過程について説明することができる。
- ・看護政策の立案に参画するための方策について、自分の意見を述べることができる。
- ・看護職が診療報酬上の評価を得る方法について説明することができる。
- ・診療報酬上の評価を得るための方策について自分の考えを述べることができる。

■学習の進め方

AL

- ・事前課題では、該当する回のテーマに関して、資料の精読・動画の視聴を行う。
- ・授業中の課題では、事前課題で扱ったテーマの理解を深めるために、グループまたはペアによる事例検討、シミュレーション、ディスカッション等の演習を行う。
- ・事後課題では、テーマに関して、振り返りを行い、指示に従って資料の作成を行う。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護管理者の役割 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
2	看護師としての就職 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
3	チーム医療とリーダーシップ 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
4	力関係とコミュニケーション 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
5	意思決定 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
6	対立とネゴシエーション 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
7	動機づけ 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
8	組織文化と組織社会化 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
9	スケジュールリング 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
10	ケア提供モデル 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤

No	内容	形式	教員
11	組織分析と組織変革 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
12	看護師の起業 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
13	政策の立案 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
14	診療報酬上の看護の評価 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
15	まとめ 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行う。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤

■ 教科書

なし(Glexa の授業サイトに各回の資料リストを掲示する)

■ 参考書、参考資料等

なし(Glexa の授業サイトに各回の参考資料リストを掲示する)

■ フィードバックの仕方

課題の提出後 2 週間を目安として、Glexa 上でまたは直接コメントの返却を行う。

■ 他の授業科目との関連

「看護管理学Ⅰ」で触れたマネジメントの理論等について、「看護管理学Ⅱ」で学びを深める。

■ 成績評価の仕方

事前課題(30 %)、授業中の課題(30 %)、事後課題(30 %)、定期試験(10 %)により評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の金曜日、12:20-12:50、415 研究室

■ 受講上の注意事項

なし

看護教育学Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」成長 「2」変化 「3」探求 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBME351

○佐々木 幾美、西田 朋子

■授業の目的

看護学教育とは何かを明確にすることから出発し、その目的を達成するための看護教育制度の現状と課題を理解する。また看護教育方法の基礎的な考え方を学び、自らが学んでいる看護学への教育的関心を高め、成長する力について考える。

■到達目標

1. 看護学教育の定義と目的・目標について説明できる。
2. 看護教育制度の現状について説明できる。
3. 大学教育拡充の要因について説明できる。
4. 看護学教育の課題について自分の考えが説明できる。
5. 「わかること」と「できること」について、具体的事例を挙げて自分の考えを説明できる。
6. 自らの今後のキャリアを考え、必要な教育・学習の機会について考えることができる。

■学習の進め方

1. 授業の展開：講義を行うとともに、講義の途中または最後に、ワークシート等の課題に取り組む中で問題意識を持ち、あるいは自分の体験と結びつけながら具体的に理解できるようにする。
2. 課題の提出：ワークシート等の課題に取り組むことで講義の理解を深めるとともに、授業内容の振り返りができるようにする。次の授業の初めにそれらの紹介と質問に対する補足説明等によって、学習を深められるようにする。
3. 参考資料の提示：配布資料に示した参考資料から興味関心のある内容について、学生自身で学びを深められるようにする。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護学教育とは 事前学修：[15分] 大学で看護を学ぶことについて、200字程度でまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、看護学教育と看護教育の違いについて整理する。	講義	佐々木
2	看護教育制度：看護基礎教育 事前学修：[15分] 看護大学、看護短期大学、看護専門学校の違いについて、200字程度でまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、各教育機関の違いを整理する。	講義	佐々木
3	看護教育制度：看護継続教育 事前学修：[15分] 看護師の資格取得後の学習の機会について、200字程度でまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、資格取得後の学習の機会について整理する。	講義	佐々木
4	大学教育の拡充の要因 事前学修：[15分] 平成以降に設立された看護系大学の数の推移について調べて、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、大学教育が拡充した要因と現状の課題について、整理する。	講義	佐々木
5	看護教育制度の現状と課題 事前学修：[15分] 前回までの授業から、看護教育制度の課題に対する自己の考えを200字程度にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、看護教育制度の課題について整理する。	講義	佐々木
6	教えることと学ぶこと 事前学修：[15分] 自分が誰かに教えた経験について振り返り、200字程度でまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読みかえし、教えることと学ぶことについて整理する。	講義・ディスカッション	西田
7	「わかること」と「できること」 事前学修：[15分] 「わかっているができないこと」と「できているがわからないこと」の経験について振り返り、200字程度でまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、わかることとできることの関係について整理する。	講義・ディスカッション	西田

No	内容	形式	教員
8	看護学教育の展望・キャリアプランニング 事前学修：[15 分] 自分の今後のキャリアについて考え、400 字以内でまとめる。 事後学修：[30 分] 看護学教育の課題と展望について整理する。	講義	佐々木

■教科書

教科書は使用せず授業中にプリントを配布する。

■参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介する。

■フィードバックの仕方

ワークシートで受けた質問については、原則として次の授業で回答します。試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に佐々木研究室にて、回答結果の配布を通じて行います、返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りに来てください。

■他の授業科目との関連

この科目は将来、看護を教える際に必要となる基礎的な内容を取り上げます。4 年次に選択科目として開講される「看護教育方法」、「看護教育学Ⅱ」の基礎的科目です。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 30 % 2. 定期試験 70 %

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00。佐々木研究室(436 研究室)または西田研究室(435 研究室)。

■受講上の注意事項

授業中の私語は慎んで下さい。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。

看護教育学Ⅱ

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：後期 対応DP：「1」成長 「2」変化 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBME450

○西田 朋子

■授業の目的

日本の看護教育制度について、日本の学校教育制度、看護教育の歴史、諸外国の看護教育制度との比較からその特徴と課題について考察する。また、看護教育を具体化するための教育課程、看護教師論について学ぶ。

■到達目標

1. 諸外国の看護教育制度との比較から、日本の看護教育制度の特徴と課題を説明し、看護教育の発展を考察できる。
2. 看護教育の歴史的変遷を説明できる。
3. 看護教育課程の特徴とその作成過程を説明できる。
4. 看護教師の地位と役割、その教育制度について考察できる。

■学習の進め方

1. 授業の展開：講義とディスカッションおよびその発表から、現在の看護教育制度に関する理解を深め、考察する。
2. 演習を通して諸外国の看護教育制度を知る。
3. 参考資料の提示：授業内容をより理解できるように、配布資料には参考資料を提示する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス：日本の看護教育の歴史 事前学修：[15分] 教育制度について関心のあるテーマを考え、A4用紙1枚以内にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義	西田
2	日本の学校教育制度と看護教育制度 事前学修：[15分] 看護教育学Ⅰの資料を読み返し、日本の看護教育制度についてA4用紙1枚以内にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義	西田
3	看護基礎教育と看護継続教育 事前学修：[15分] 看護教育学Ⅰの資料を読み返し日本の看護継続の教育制度についてA4用紙1枚以内にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
4	諸外国の看護教育制度① 事前学修：[15分] 関心のある諸外国の学校教育制度を調べ、15分で発表するためのパワーポイント15枚以内にまとめる 事後学修：[15分] 関心のある諸外国の学校教育制度をまとめる	演習	西田
5	諸外国の看護教育制度② 事前学修：[15分] 関心のある諸外国の学校教育制度を調べ、15分で発表するためのパワーポイント15枚以内にまとめる 事後学修：[30分] 関心のある諸外国の学校教育制度をまとめる	演習	西田
6	諸外国の看護教育制度③ 事前学修：[15分] 関心のある諸外国の学校教育制度を調べ、15分で発表するためのパワーポイント15枚以内にまとめる 事後学修：[30分] 関心のある諸外国の学校教育制度をまとめる	演習	西田
7	諸外国の看護教育制度④ 事前学修：[15分] 関心のある諸外国の看護教育制度を調べ、15分で発表するためのパワーポイント15枚以内にまとめる 事後学修：[30分] 関心のある諸外国の看護教育制度をまとめる	演習	西田
8	諸外国と日本の看護教育制度の比較・考察 事前学修：[30分] 15枚以内にまとめた発表資料を口頭で発表し、質疑応答の準備をしてA4用紙1枚程度にまとめておく 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す	発表・討論	西田

No	内容	形式	教員
9	看護教育課程：カリキュラムの概念とカリキュラムを規定する要因 事前学修：[15 分] 日本の看護基礎教育課程がどのように規定されているか、配布した事前ワークシートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
10	看護教育課程：さまざまなカリキュラム 事前学修：[15 分] 他の学校・養成所のカリキュラムを調べ、気づいたことを A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
11	看護教育課程：カリキュラムの評価 事前学修：[30 分] 本学のカリキュラムを確認し、考えたことを A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15 分] これまで学習をした学校・養成所のカリキュラムのよいところや課題を考えまとめる	講義・討論	西田
12	看護教師論：看護教師に必要な資質と能力 事前学修：[15 分] これまで出会った看護教師からのかかわりを振り返り、気づいたことを A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
13	看護教師論：看護教師の養成 事前学修：[15 分] 看護教育学Ⅰの資料を読み返し、看護教師の資格要件を確認して配布したワークシートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
14	日本の看護教育制度における課題と今後の展望 事前学修：[15 分] 学習者として看護教師の課題を考え、配布したワークシートにまとめる 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
15	まとめ 事前学修：[15 分] 本科目を通しての学びを振り返り、配布したワークシートにまとめる 事後学修：[120 分] 授業の配布資料を読み返し、レポートを作成する	講義	西田

■ 教科書

特定のテキストは使用せず、授業時にプリントを配布する。

■ 参考書、参考資料等

看護行政研究会(2021)看護六法 その他の文献は適宜紹介する。

■ フィードバックの仕方

レポート課題へのコメントを研究室で行う。返却時期はポータルで通知する。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、看護教育学Ⅰの内容をさらに発展させるとともに、新たな内容を組み込んだものとなっています。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み：20 % 2. 演習の取り組み・成果発表：50 % 3. 課題レポート：30 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00。西田研究室(435 研究室)。

■ 受講上の注意事項

この科目は、看護師等養成所の専任教員となる際の要件である「大学において教育に関する科目を履修して卒業した者」の教育に関する科目に相当します。講義が主体の回でも、ディスカッションの時間を必ず設け、みなさんから寄せられた疑問を一緒に考えながら進めていきます。積極的な参加を期待します。

看護教育方法

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応 DP：「1」成長 「2」変化 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBME401

○西田 朋子

■ 授業の目的

看護学教育における各専門領域で行われている教育実践の基礎的な「指導技術・教育方法」について学ぶ。

■ 到達目標

1. 主体的な学びを支援するような教育的関わりについて説明できる。
2. 学習指導法について学びを深め、具体的な展開方法を知る。
3. 臨地実習について自らの経験を振り返り、よりよい臨地実習指導のあり方を考察できる。
4. 教育評価について説明できる。
5. 自らが受けてきた看護教育を振り返り、教える立場から看護教育の発展について考察できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義を行うとともに、具体的な事例や講義・演習・実習での体験を踏まえたディスカッションにより理解を深める。
2. ワークシート等の活用：授業開始時に配布もしくは配信し、学生自身が自らの経験を振り返って記入することで、具体的な理解をしていく。また、授業終了後には授業を受けて気づいたこと等を記載することで、学習内容を深めていく。
3. 参考資料の提示：特定の教科書は使用しないが、毎回の授業内容に関する参考資料を提示し、個々の学生が主体的に学びを深められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	1. ガイダンス 2. 看護学教育における看護教育方法 看護教育方法の概念と特徴 事前学修：[15 分] 本科目のシラバスを確認し、学習したい内容を考えまとめる。 事後学修：[15 分] 本日の授業を振り返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
2	3. 看護教育方法の視点 「技能」と「技術」 事前学修：[15 分] 看護技術を学習してきた中で、どのような教えられ方が効果的だったか振り返り、A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：[15 分] 本日の授業を振り返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
3	4. 学習に関する理論：動機づけなど 事前学修：[15 分] 学習に関する理論について、関心のある理論を 1 つ選択し A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：[15 分] 本日の授業を振り返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
4	5. 看護における教育的かかわり：主体的な学びの支援 事前学修：[15 分] 学習に関する理論について、関心のある理論を 1 つ選択し A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：[15 分] 本日の授業を振り返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
5	6. おとなの学習と教育 事前学修：[15 分] 学習するときに、おとなと子どもではどのような違いがあるか考えるか A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：[15 分] 本日の授業を振り返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
6	7. リフレクションと経験学習 事前学修：[15 分] これまでの看護学教育において体験してきたリフレクションを思い出し A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：[15 分] 本日の授業を振り返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
7	7. 学習指導法①：教材研究 事前学修：[15 分] これまで受けてきた授業の特徴を振り返りわかりやすかった教材を考え、A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：[15 分] 本日の授業を振り返り、疑問や質問を Forms に提出する。	講義・討議	西田
8	8. 学習指導法②：授業案の作り方 事前学修：[15 分] これまで受けてきた授業の特徴を振り返り A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：[15 分] 本日の授業を振り返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田

No	内容	形式	教員
9	9. 学習指導法③：授業の展開 事前学修：[15 分] これまで受けてきた授業でどのような技法が使われてきたか思い出し A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：[15 分] 演習内容で不明点がないか確認し、参考資料を読む。	演習	西田
10	9. 学習指導法④－演習：模擬授業 事前学修：[15 分] 授業の資料を読み返し、演習に活用する準備を行う。 事後学修：[15 分] 演習内容で不明点がないか確認し、参考資料を読む。	演習	西田
11	9. 学習指導法⑤－演習：模擬授業 事前学修：[15 分] これまで受けてきた授業がどのように構成されていたか、学習者の視点で考えて A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：[15 分] 本日の授業をふり返り、感想を Forms に提出する。	発表・討議	西田
12	10. 臨地実習指導： 実習の位置づけと意義、学習環境としての条件 事前学修：[15 分] これまで経験した実習を想起し、A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：[15 分] 本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
13	11. 実習指導の実際 事前学修：[15 分] これまで経験した実習を想起し、指導者と教員の連携について考えたことを A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：[15 分] 本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
14	12. 看護教育評価 事前学修：[15 分] 自分にとっての評価の意義を考え、A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：[15 分] 本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
15	13. 本科目のまとめ 事前学修：[15 分] 本科目での学びを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[120 分] レポートを作成する	講義・討議	西田

■ 教科書

特定の教科書は使用しないが、参考書籍を紹介する。

■ 参考書、参考資料等

毎回の資料に参考資料は提示する。

■ フィードバックの仕方

事前事後課題およびレポートに対するコメントを行う。

■ 他の授業科目との関連

看護教育学Ⅰの内容を発展させた内容となっています。これまでに、一般の教育学や心理学(学習心理に関する内容)を履修している方はその内容も復習しておくことさらに理解が深まります。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 50 %
2. 課題レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

Glexa および大学のメール(t-nishida@redcross.ac.jp)に連絡をしてください。

■ 受講上の注意事項

各回では討議(ディスカッション)の機会を設けますので、積極的に参加してください。

この科目は、看護師等養成所の専任教員になる際の要件である「大学において教育に関する科目を履修して卒業した者」の教育に関する科目に相当します。

応用看護学特論Ⅰ①(チーム医療)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応DP：「1」連携 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBAN400

○安部 陽子、古川 祐子、佐藤 明子、塚田 信弘

■授業の目的

患者を志向した質の高い医療を提供するために、チーム医療に関する基本的知識、技能、態度を習得する。

■到達目標

1. チーム医療の概念およびチーム医療の目的を説明できる。
2. 各職種の専門性、役割及び責任を看護に関連づけて説明できる。
3. チーム医療における看護師の役割について自分の考えを述べることができる。

■学習の進め方

AL

1. オムニバス形式
2. 講義を行うとともに、事例や実習などの体験を踏まえて学生が討議する時間をもうける。学生が意見交換をしながら具体的に理解を深められるようにする。
3. フィールドワーク

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	チーム医療とは 事前学修：[90分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	講義・討議	安部・古川・佐藤
2	看護とインタープロフェッショナル・ワーク 事前学修：[90分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	講義・討議	ゲストスピーカー(未定)
3	「多職種探検」のグループワーク 事前学修：[90分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	演習	安部・古川・佐藤
4	疾患と医療チーム 事前学修：[90分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	発表・討議	ゲストスピーカー(未定)
5	医療と福祉のチームケア 事前学修：[90分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	発表・討議	ゲストスピーカー(未定)

No	内容	形式	教員
6	チーム医療と医師 事前学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。v 事後学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	発表・討議	ゲストスピーカー (未定)
7	日本赤十字社医療センターで「多職種探検」 事前学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	フィールドワーク	安部・古川・佐藤
8	チーム医療フォーラム 事前学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	発表・討議	安部・古川・佐藤

■ 教科書

なし(Glexa の授業サイトに各回の資料リストを掲示する)

■ 参考書、参考資料等

なし(Glexa の授業サイトに各回の参考資料リストを掲示する)

■ フィードバックの仕方

課題の提出後、5 週間を目安にグレкса上または直接、コメントを返却する。

■ 他の授業科目との関連

看護関係法規で学習する医療関係資格法の実践的な理解につながる。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20 % 2. 「多職種探検」ワークブック 30 % 3. レポート評価 50%

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中金曜日、12:20-12:50、415 研究室

■ 受講上の注意事項

主体的な学習を期待する。

応用看護学特論Ⅰ②(リプロダクティブ・ヘルス)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応 DP：「1」擁護 「2」連携 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBAN400

○齋藤 英子

■授業の目的

リプロダクティブ・ヘルス/ライツに保障されている男女が共に持つ権利について理解する。さらにセクシュアルライツ、及びリプロダクティブ・ライツを確保していくために、現状から生じている問題点を明らかにする。また、女性が基本的権利と最高水準のリプロダクティブ・ヘルスケアを得られるよう、看護の立場から日常生活に応じた支援のあり方を追求する。

■到達目標

1. リプロダクティブ・ヘルス/ライツに保障されている全ての人が共に持つ尊厳と権利を倫理的な視点から考察できる。
2. 日本の周産期医療や現状から生じる課題について、国内外の動向・関連法規・政策・実情等をふまえ新たな視点を提案できる。
3. ひとりひとりの意見を尊重しながら、根拠を持って自分の意見を述べられる。
4. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ観点から多様なニーズを理解し、看護者の役割を述べられる。

■学習の進め方

「AL」

プレゼンテーションとディベート・討論を通して国内外の課題を見出す。授業参加前にテーマに関する国内外の状況を自分なりに調べ、自己の見解を頭の中にまとめておく。相対する意見について担当者がプレゼンテーションをして考察を深める。プレゼンテーションは、どれか1つを担当する。

プレゼンターは、作成したプレゼンの際の配布資料を、授業前々日までに Glexa 内の「プレゼンテーション資料提出」へ提出し、メールで担当教員へ連絡する。PowerPoint は 8 枚以内、Word は A4 で 2 枚以内にまとめる。配布資料には、写真は掲載しない。配布資料と発表資料は、完全に同じでなくとも良い。教員は、授業前日に、プレゼンターから提出のあった発表資料を確認した後に PDF 化して、受講生へ配布資料としてメールで配信する。

参加者は、事前にプレゼンテーション資料に目を通して、わからないことを調べたり、自分の意見をまとめる。

授業時間内は、以下の運びで進める。

前回の学びのまとめと本日のトピックについて教員よりコメント(10分)、プレゼンテーション(10分×2)、グループ討議(20分)・全体討議(20分)、教員よりコメント(10分)、Board へ学びを入力(10分)

Glexa Board のトピック毎のスレッドへ本日の学びをアップロードする(次の授業開始までにクラスメイトのコメントを閲覧する)。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、自己紹介、ミニディベート体験 テーマ1「日本で出産・子育てをするなら都会である」 課題の分担 事前学修：[30分] この授業で学びたいこと述べられるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	発表 討論	齋藤
2	テーマ2「日本は親の育児休暇を義務化すべきである」 事前学修：[30分] 自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	発表 討論	齋藤
3	テーマ3「日本は頸がんワクチン接種を再開すべきである」 事前学修：[30分] 自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	発表 討論	齋藤
4	テーマ4「日本は出生前診断に基づく人工妊娠中絶を認めるべきである」 事前学修：[30分] 自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	発表 討論	齋藤
5	テーマ5「日本は男性助産師を認めるべきである」 事前学修：[30分] 自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	発表 討論	齋藤
6	テーマ6「日本は代理母出産や精子バンクを認めるべきである」 事前学修：[30分] 自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	発表 討論	齋藤
7	テーマ7「日本は LGBT カップルが妊娠・出産・育児を行う体制を整備すべきである」 事前学修：[30分] 自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	発表 討論	齋藤

No	内容	形式	教員
8	テーマ 8「日本は子どもを持つ外国人労働者/移民とその家族に日本国民と同等の権利を与えるべきである」 事前学修：[30 分] 自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20 分] 本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	発表・討論	齋藤

■ 教科書

特に指定しない。

様々な媒体から国内外の動向・関連法規・政策・取り決め・実情等を調べること。

■ 参考書、参考資料等

参考資料は、プレゼンターが適切に引用をして紹介する。

■ フィードバックの仕方

教員のコメントは授業の最後と授業開始前に伝える。

学びのまとめは、Board を使って、授業後に共有する。

■ 他の授業科目との関連

リプロダクティブ・ヘルス関連科目(授業・演習・実習)、他関連科目、社会生活で学んだことに基づき、より発展的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

1. プレゼンテーション 30%、2. 討論(論旨展開、態度) 40%、3. 学びのまとめ 20 %、4. ピア評価 10%

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①水曜日、② 12：10～12：50、③ 417 研究室・メール

■ 受講上の注意事項

積極的な授業参加を期待します。

- ・ Web 環境や音声機能に使いづらさがある方は、早目にメールでご相談ください。
- ・ 受講人数等により、多少、進め方を変更する可能性があります、ご了解ください。

応用看護学特論Ⅰ③(子どもの権利と家族)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応DP：「1」成長 「2」擁護 「3」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBAN400

○江本 リナ、鈴木 健太、山内 朋子、柴田 純子、田代 祐子

■授業の目的

育児困難現象、児童虐待、キレる子ども、校内暴力などの子どもと家族をめぐる課題や、小児医療をめぐる課題が近年増加している。応用看護学特論Ⅰ③では、これらの実態を把握し、子どもの最善の利益を守るために看護師に求められている役割を探究する。

■到達目標

1. 子どもの最善の利益とは何かを理解することができる。
2. 子どもの最善の利益を守るための看護師の役割について考えることができる。

■学習の進め方

AL

1. 授業の展開

講義、演習、発表、討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配付資料に参考資料・参考DVDを記す。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／夢のある子どもの医療環境を考えよう！ 事前学修：[120分] 小児看護学領域が担当した講義や演習および実習記録を読みノートにまとめる 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・演習・GW・発表	全員
2	子どもと医療者を癒すプレパレーション 事前学修：[120分] テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・演習・GW・発表	全員
3	駆け出しパパ・ママのリアル子育て 事前学修：[120分] テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
4	幼少期から障がいのある当事者によるお話 事前学修：[120分] テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
5	児童養護施設で働く看護師によるお話 事前学修：[120分] テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
6	乳児院で働く臨床心理士によるお話 事前学修：[120分] テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
7	子どもと家族への看護～小児看護専門看護師から～ 事前学修：[120分] テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
8	世界の子ども 事前学修：[120分] テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・演習・GW・発表	全員

■教科書

授業内容に沿って随時資料を配布する。そのため、教科書は特に指定しない。

■ 参考書、参考資料等

スーザン・ファウンテン(1994). わたしの権利みんなの権利. 日本ユニセフ協会.
その他、開講時参考文献リストを配布し、随時授業で配布する。

■ フィードバックの仕方

課題へのフィードバックは、最終回までにコメントを付したレポートの返却をする。最終回の課題に関しては返却日時をポータルで連絡するので 441 研究室に取りに行くこと。

■ 他の授業科目との関連

2 年次前期に開講される「発達看護学概論」、2 年次後期に開講される「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)①」、3 年次前期に開講される「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)②」より発展的な内容を扱うが、編入生の場合はこの科目を履修していなくても選択可能である。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 40 % 2. 課題レポート 60 %

■ オフィスアワー・研究室等

各回の授業終了後、30 分間各講義担当者の研究室で受け付ける。

江本(419 研究室) 山内(443 研究室) 鈴木(453 研究室) 柴田(441 研究室) 田代(441 研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

感染拡大状況に応じて大学の方針に則り、講義形式は変更する可能性がある。

応用看護学特論Ⅱ①(看護とメンタルヘルス)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBAN401

○古城門 靖子、鷹野 朋美、堀井 湖浪、堀川 英起

■ 授業の目的

看護職の特有なメンタルヘルスの問題について探求し、それに対処するための方法について理解する。

■ 到達目標

1. 看護職のメンタルヘルスに影響を及ぼす社会的な状況について理解し、説明できる。
2. 感情労働やうつ、バーンアウトなど、メンタルヘルス上の具体的課題を見出すことができる。
3. リフレクションの概念やリエゾン精神専門看護師の役割といったメンタルヘルス上の問題に対処するための方法や制度について理解し、メンタルヘルス上の問題をもつ対象への支援に関心をもつことができる。
4. メンタルヘルスについてグループワークを通して学生同士で共に学びあい、成長し合う姿勢をもつことができる。

■ 学習の進め方

50分程度の講義を行い、残りの時間で教員と学生とでグループ形式での討論を行い、メンタルヘルス上の問題について理解を深めるとともに、グループの中で表現すること、他者を理解することを、体験を通して学ぶ。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護職のメンタルヘルス 1 事前学修：[30分] これまでの実習で精神的に疲れた体験について振り返り、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく	講義とグループワーク	鷹野
2	看護職のメンタルヘルス 2 事前学修：[30分] 前回の授業での疑問点や感想を整理しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習する	講義とグループワーク	鷹野
3	感情労働としての看護 1 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 終章」を事前に読み、要旨をA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	堀川
4	感情労働としての看護 2 事前学修：[30分] 感情労働に関する自己の体験を振り返り、A4用紙1枚に記述する。 事後学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 終章」を再読し、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	堀川
5	看護とリフレクション 1 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 終章 F2」を読み、グループワークのテーマを考える 事後学修：[30分] 配布資料を読み返す	講義とグループワーク	堀井
6	看護とリフレクション 2 事前学修：[30分] 実習で気がかりな場面や出来事をA4用紙1枚にまとめておく 事後学修：[30分] 討議で気づいたことをまとめ、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	堀井
7	リエゾン精神専門看護師の役割 1 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 14章」を読んでおく 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく	講義とグループワーク	古城門
8	リエゾン精神専門看護師の役割 2 事前学修：[30分] 前回の授業での疑問点や感想を整理しておく 事後学修：[30分] 今日の討論の内容を振り返り、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	古城門

■ 教科書

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学 [2] 精神看護の展開」、医学書院。

学部2年次(編入学部生は3年次)に購入した発行年のものを使用します。

■ 参考書、参考資料等

武井麻子(2001)、感情と看護、第1版、医学書院。

パム・スミス著／武井麻子・前田泰樹監訳(2000)、感情労働としての看護、第1版、ゆるみ出版。

他にも随時、授業中に参考文献を示します。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、対面授業の場合は後期授業開始日から 1 か月以内に、コメントを付したレポートの返却を古城門研究室(412)にて行う。返却可能な時間はポータルにて連絡する。対面授業が難しい場合は、最終授業日にアナウンスする。

■ 他の授業科目との関連

「精神保健看護学Ⅰ(理論)」(2 年次履修)、「精神保健看護学Ⅱ(技法)」(3 年次履修)を基盤として、各自のレベルⅠ～Ⅲ実習での体験やこれまでの実習・臨床での体験の振り返りを行い、さらに理解や体験を深めていく科目です。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 50 % 2. レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00、18:00～18:30

鷹野朋実研究室(428)、堀井湖浪研究室(427)、古城門靖子研究室(412)、堀川英紀(426)

■ 受講上の注意事項

講義形式および、内容は変更する可能性がある。

応用看護学特論Ⅱ②(ホーリスティック・ナーシング)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBAN401

○坂口 千鶴、千葉 京子、清田 明美

■授業の目的

ホーリスティック・ナーシングの理論的背景を理解し、環境との相互作用によって生じたストレスや生活スタイルの不調等へのアプローチについて理解できる。

■到達目標

1. ホーリスティック・ナーシングの理論的背景について説明できる。
2. 環境との相互作用によって生じたストレスや生活スタイルの不調等について説明できる。
3. 看護において活用できる具体的なホーリスティック・アプローチについて説明できる。
4. 将来的に看護の現場可能なホーリスティック・アプローチについて説明できる。

■学習の進め方

AL

1. 第1回と第3回の授業では、60分程度の講義を行い、残り30分で学生から質問や学生間での討論を行う。
2. 第4回から第8回の授業では、実際のホーリスティック・アプローチについての説明を30分程度行った後、アプローチに関するデモンストレーションを行う。学生もデモンストレーションに参加し、参加後学生間での質問や感想を共有する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション/ホーリスティック・ナーシングとは 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見をA4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する(次回授業までに提出)	講義・討論	坂口・清田
2	環境との相互作用によって生じた健康問題とホーリスティック・ナーシング 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見をA4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する(次回授業までに提出)	講義・討論	坂口
3	ホーリスティック・ナーシングの実践と研究 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見をA4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する(次回授業までに提出)	講義・討論	坂口
4	タッチングの理論的背景 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見をA4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する(次回授業までに提出)	講義・演習	千葉
5	タッチングの実践 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見をA4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する(次回授業までに提出)	講義・演習	千葉
6	音楽療法と回想法 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見をA4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 疑問や意見をもとにリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・演習	坂口
7	ストーリーシェアリング 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見をA4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する(次回授業までに提出)	講義・演習	坂口・清田
8	リラクゼーション 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問や意見をA4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の内容を復習する	講義・演習	坂口

■教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

授業中に適宜参考文献を提示する。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、前期試験週間に Glexa 上にて、コメント付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

看護学概論、基礎看護学との関連があり、アプローチによっては実習の際に参考とすることも可能な学習内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み・・・20 %
2. 研究文献のクリティーク：関心のあるアプローチに関する研究論文を 1 編以上読み、研究の対象、方法、効果について調べ、A4 用紙 2 枚以上にまとめる。提出は Glexa 上とする・・・40 %
3. リアクションペーパー：各アプローチに関する感想をまとめる、翌週の授業までに Glexa 上で提出する・・・40 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業当日の 12:10～13:00 坂口(414 研究室)・千葉(429 研究室)・清田(431 研究室)

国際看護学Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」国際貢献 「2」連携 「3」成長
実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBID300

○織方 愛、野口 眞貴子、富澤 真紀

■授業の目的

実際に海外で看護活動を行う際に、現地の異文化に沿ったケアの展開ができるための諸要件を理解する

■到達目標

1. 異文化適応と異文化環境下で提供できるケアについて考察できる
2. 世界の健康課題を知る
3. グローバルヘルスの諸概念について説明できる
4. 国際看護活動を展開するための仕組みについて理解できる
5. 実際に国際看護活動の様子を聞き、世界の健康格差は正に向けたアプローチのイメージを持つことができる

■学習の進め方

「AL」

1. 事前課題に取り組む
2. 授業の展開：講義を行うとともに、グループワークやディスカッションといった演習・討論の時間を設ける。
3. 事後課題に取り組む。
4. 授業終了後にリフレクションペーパーに記入し、学生が考えたことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
5. 4. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コースオリエンテーション、グローバルヘルス・国際看護の概念と歴史 事前学修：[15分] 教科書の「国際看護」の定義該当箇所を書き出し、その他1つの定義について共通点・相違点をA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義	野口
2	グローバルヘルス①：健康指標から読み解く健康格差(疾病負荷の構造) 事前学修：[15分] 人間の安全保障に関する書籍や資料を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
3	グローバルヘルス②：グローバルヘルスイニシアティブ 事前学修：[15分] SDGsに関する書籍や資料を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義	野口
4	グローバルヘルス③：SDGs・UHC 事前学修：[15分] UHCに関する書籍や資料を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
5	国際看護活動と国際機関・国際協力の仕組み 事前学修：[15分] 国際看護活動を行う世界の看護職1名(時代は問わない)について調べ、その活動内容をA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義	野口
6	世界の健康課題：感染症、非感染性疾病 事前学修：[15分] 世界の健康課題の内訳を調べ、疾病負荷の高い順に並べ、その理由を考えA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
7	国際看護活動の実際 事前学修：[15分] 国際支援活動について調べA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
8	国際看護活動におけるリスクマネジメント 事前学修：[15分] 多文化社会に関する書籍や資料を読みA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方

■教科書

浦田喜久子編(2019). 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学. 第4版. 医学書院

■ 参考書、参考資料等

Paul F. Basch 著(2001). バッシュ国際保健学講座. 初版. じほう.

デビットワーナー(2009). 医師のいないところで. 初版. 国際保健協力市民の会.

■ フィードバックの仕方

①リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、Glexa 内や次回の講義で行う。

②定期試験のフィードバックは、試験実施後 9 月 30 日までに Glexa 上で行う。

■ 他の授業科目との関連

国際看護学Ⅱ、国際看護学演習の学習基盤となる知識を学習する。

■ 成績評価の仕方

1. 定期試験 60 % 2. 授業への取り組み(リフレクションペーパー) 40 % 合計 100 %

※提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

毎週のリフレクションペーパーも活用ください。オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

①授業終了後に教室で直接、質問を受け付ける。

②授業開講日に随時メールで受け付ける(授業開講日ではない日の質問は、授業開講日にお答えします)。

③授業開講日に直接織方(554 研究室)、野口(403 研究室)、富澤(421 研究室)まで。

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。更に学習したい方は、3 年次後期の選択科目(国際看護学Ⅱ, 国際看護学演習)も履修ください。

国際看護学Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：後期 対応DP：「1」国際貢献 「2」連携 「3」成長 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBID350

○織方 愛、角田 敦彦

■ 授業の目的

国際看護学Ⅰの学習を踏まえ、異文化に適応するための知識・技術を学ぶ。実際に海外で看護活動をする際に、健康生活へ異文化がもたらす影響について検討する。

■ 到達目標

1. 異文化における政治・経済・宗教・疾病構造・教育等、健康生活へ異文化がもたらす影響を理解する。
2. 国際的な健康課題と看護との関連を身近な問題として捉え、国際保健学的視点からその課題と対策を理解する。
3. 国際健康課題と看護との関連から、現在の課題と将来への展望について考えを深める。
4. 保健指標・疾病構造・保健政策等から、人びとのヘルスニーズを把握する。
5. 将来国際看護に携わるために必要な健康管理・危機管理の具体的方法について学ぶ。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開：講義を行うとともに、グループワークやディスカッションといった演習・討論の時間を設ける。
2. 授業終了後にリフレクションペーパーに記入し、学生が考えたことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
- 3.2. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コースオリエンテーション:講義概要と導入 カントリープロフィール①講義 事前学修：[15分] 国際看護学Ⅰ「グローバルヘルス①」の授業資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	織方
2	国際看護活動におけるストレスケア 事前学修：[15分] 教科書 pp.223-246 に目をとおり A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	織方
3	国際看護活動の実際(事業管理・健康管理・危機管理) 事前学修：[15分] 日本国外務省海外安全虎の巻 最新版をダウンロードし海外生活の留意点について A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	富澤、織方
4	国家の安全保障と人間の安全保障 事前学修：[15分] 事前配布資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	角田
5	健康と人間の安全保障 事前学修：[20分] 事前配布資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる。講師への質問を 1 つ以上英語で考えておく 事後学修：[20分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
6	人道支援の現場におけるリスクと危機管理 事前学修：[20分] 事前配布資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	角田
7	カントリープロフィール②グループワーク 事前学修：[20分] 発表資料を作成する 事後学修：[20分] 講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	演習・討論	織方

No	内容	形式	教員
8	カントリープロフィール③成果プレゼンテーション 事前学修：[20 分] 発表資料を作成する 事後学修：[20 分] 討論をもとに資料を修正する。リフレクションペーパーを作成する	発表・討論	織方

■ 教科書

浦田喜久子編(2019). 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学. 第 4 版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

David Werner、川田いこひ原訳 シェア監訳 (2009). 医者のいないところで 村のヘルスケア手引書. 非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会.

Richard Skolnik、木原正博・木原雅子監訳 (2017). グローバルヘルス 世界の健康と対処戦略の最新動向. メディカルサイエンスインターナショナル.

日本国外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>

日本国外務省海外安全虎の巻 最新版をダウンロードすること

厚生労働省検疫所 海外で安全に過ごすために <https://www.forth.go.jp/index.html>

その他、随時授業で提示する。

■ フィードバックの仕方

- ①リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、Glexa 内や次回の講義で行う。
- ②成果プレゼンテーション(第 8 回)へのフィードバックは、授業最終回に行う。
- ③定期試験のフィードバックは、試験実施後 Glexa 上で行う。

■ 他の授業科目との関連

1. 国際看護学 I の単位取得を履修要件とする。
2. 国際看護学演習履修者は、本科目を履修すること。

■ 成績評価の仕方

1. 成果プレゼンテーション(第 8 回)への取り組み 40 %
2. 定期試験(課題レポート) 60 %

※提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

毎週のリフレクションペーパーも活用ください。オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

- ①授業終了後に教室で直接、質問を受け付ける。
- ②授業開講日に随時メールで受け付ける(授業開講日ではない日の質問は、授業開講日にお答えします)。
- ③授業開講日に直接織方(554 研究室)・角田(410 研究室)・〇〇(△△研究室)まで。

■ 受講上の注意事項

積極的に授業に参加し、どのようにグローバルヘルスに貢献していくかを学友と議論することを期待しています。

国際看護学演習

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」連携 「3」成長 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBID351

○織方 愛、野口 眞貴子、内木 美恵

■ 授業の目的

国際看護学Ⅰ・Ⅱの学習を基礎に、異文化を背景に展開される保健医療施設、看護実践について海外研修を通じて学ぶ。

■ 到達目標

1. 保健医療福祉看護システムの異なる国における保健医療ニーズや健康課題を把握し、その国、地域独自の看護の役割・機能を理解する。
2. 異文化社会を自ら体験し、国際活動に必要な知識・技術・感性を身に付ける。
3. 異文化の看護体験を他者に説明することができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開：大学の方針に基づき海外渡航はせず、全てオンライン実施とする。研修先国はルワンダ共和国である。
2. 参考資料の提示：当該国に関する資料等を提示するので熟読し、事前準備を行う。
3. 演習前オリエンテーション：事前課題・演習プログラムの概要・健康管理・危機管理等のオリエンテーションを数回実施するので必ず出席すること。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 演習前オリエンテーション：事前に2回演習プログラムの概要・事前課題・健康管理・危機管理等の説明を行う（下記演習日程を確認すること）。事前学習課題として①国際看護学Ⅱで行ったカントリープロフィールを各自の演習目標に焦点化したもので展開、②演習国における危機管理、③プロジェクト目標設定等を課す。事前課題が多くあるため、計画的に進められるようにすること。
2. 演習日程：下記の通り集中講義。ルワンダとの時差（ルワンダは7時間遅い）のため、夜間開講となる。
 - ① 1/12(木) 5限
 - ② 1/19(木) 5限
 - ③ 3/6(月) 2～6限
 - ④ 3/7(火) 2～6限
 - ⑤ 3/8(水) 4～6限
3. 演習内容：現地の保健医療制度、保健医療課題等について学ぶ。カントリープロフィールの情報と、実際の人びとから生で聞いた情報とを統合する。演習に参加予定の方がた（一例）は、ルワンダ赤十字社事業にかかわる受益者住民・保健施設職員・赤十字社職員やボランティアである。現地の課題へのアプローチ方法を学び、課題解決へ向けての考察を行う。
4. 演習費用：無し。オンライン演習にかかる通信費は全額自己負担とする。通信環境を整えること。
5. ルワンダ共和国の治安・感染症等、現地の方がたの安全が懸念されるような状況によっては、演習開講中止やスケジュール変更がありうる。

■ 教科書

その都度提示する。

■ 参考書、参考資料等

ルワンダに関する映画、情報サイト等を事前に見ておくこと

David Werner、川田いこひ原訳 シェア監訳 (2009)．医者のいないところで 村のヘルスケア手引書．非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会．

Richard Skolnik、木原正博・木原雅子監訳 (2017)．グローバルヘルス 世界の健康と対処戦略の最新動向．メディカルサイエンスインターナショナル．

日本国外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>

日本国外務省海外安全虎の巻 最新版をダウンロードすること。

厚生労働省検疫所 海外で安全に過ごすために <https://www.forth.go.jp/index.html>

その他、演習先国及び保健医療福祉看護状況に関する資料を提示する。

■ フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは、試験終了後 3 月 31 日までに Glexa 上で行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目の履修要件は、①国際看護学Ⅰの単位取得・②国際看護学Ⅱの単位取得 である。

■ 成績評価の仕方

1. 研修への取り組み 50 % 2. 定期試験（演習終了後の課題レポート） 50 % 合計 100 %
- ※提出期限に遅れた場合は 20 % の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で公開し全員の学びとする。

①授業終了後に教室(Zoom) で直接、質問を受け付ける。

②授業開講日に随時メール(a-ogata@redcross.ac.jp)で受け付ける(授業開講日ではない日の質問は、授業開講日にお答えします)。

③授業開講日に直接織方(554 研究室)まで。

研修への取り組みについては、研修中の振り返り時に適宜フィードバックを行う。

■ 受講上の注意事項

ルワンダの方がたとのやり取りは、英語で行っていただきます。英語の流暢さは問いませんが、自分の聞きたいことをわかりやすく伝える努力ができる方の履修をお待ちしています。

災害看護論Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」連携 「3」探求 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBID150

○内木 美恵、橋爪 朋子

■授業の目的

災害発生から自分や家族の身を守る防災や減災対策を習得すると同時に、災害という異常事態のなかで赤十字やその他の機関が行う救護活動の全体像から災害看護の役割を理解し、将来、災害救護活動の推進者として成長できるように基礎的能力を養う。

■到達目標

1. 国内および国外で発生する大災害の現状と今日的課題について説明できる。
2. 災害看護の歴史的発展を理解する。
3. 災害救護活動における赤十字に果たす役割について説明できる。
4. 災害の概念、災害時の健康障害について理解する。
5. 災害時における、人々の生命や健康および生活を支えるために必要な看護の基本について説明できる。
6. トリアージの基本的知識と方法について説明できる。
7. 自己防災および地域防災の重要性とその実際について説明できる。

■学習の進め方

- ・授業の展開：1学年を2クラスに分け講義形式で行う。
 - ・科目担当者の実務経験から、災害看護に関する具体的な事例を取り上げ、災害現場や被災者の状況、救護班の活動のイメージができるように写真等も交えて紹介する。
1. 授業終了後にリフレクションペーパーを記入し、学んだことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
 - 2.1. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。
 3. 出席確認は、Glexa 上の出席コードで行う。
 4. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、災害と気候変動・災害の定義 事前学修：[30分] 昨今の災害についての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
2	災害看護の歴史と定義、赤十字における災害救護活動の実際 事前学修：[30分] 教科書の「A 災害看護のあゆみ」について読み発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
3	防災対策の基本(自助・共助・公助) 事前学修：[30分] 自助について説明できるよう調べ、自分が実際に行っている自助について発言できるようノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	内木
4	災害看護と法律・制度 事前学修：[30分] 災害発生時の法律について興味のあるものについて調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	内木
5	災害とところの変化 事前学修：[30分] ストレスについての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	内木
6	災害サイクルに対応した災害看護活動 事前学修：[30分] 災害サイクルについて調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪
7	災害医療とトリアージの原則・方法 事前学修：[30分] 2種類のトリアージについて調べ概要が説明できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪

No	内容	形式	教員
8	災害と健康課題 コースサマリー 事前学修：[30 分] 災害による健康課題について調べてノートにまとめる。 事後学修：[120 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。授業を振り返り、課題レポートに取り組む。	講義・討論	橋爪

■ 教科書

浦田喜久子編(2021). 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学. 第 4 版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

1. リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、次回の講義で行う。
2. 定期試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に Glexa 上で行う。

■ 他の授業科目との関連

看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習したことを基盤に、被災者との関わり方や災害看護に欠かせない基本的な知識を学習する。

■ 成績評価の仕方

定期試験(記述式) 60 %、授業への取り組み(毎回のリフレクションペーパーの内容)を 40 %とし、総合して評価を行う。

※リフレクションペーパーの提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

1. 授業開講日の 14：40～16：10 内木(406 研究室)、橋爪(408 研究室)
2. 毎回のリフレクションペーパーでも質問を受け付ける。

※オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

■ 受講上の注意事項

★ 4 年次の総合実習で【救急(災害)看護】を希望する学生は、赤十字の「救急法」を受講しておいてください。

※赤十字の「救急法」とは、①救急法基礎講習、②救急法養成講習を受講し、救急員認定を受ける講習のことです。

★令和 4 年度の大学での講習実施は感染状況をみて検討いたします。

各都道府県では、①救急法基礎講習のみ部分的に開講しています。個人で各都道府県の赤十字支部のホームページから申し込み受講することができます。

*現在は、看護学総合実習での受講条件としては、必須要件とはしていません。

災害看護論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」連携 「2」探究 「3」成長 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBID400

○内木 美恵、橋爪 朋子、富澤 真紀

■授業の目的

災害時要配慮者の理解と共に、地域社会における防災ネットワークの重要性とその構築・活用方法について習得する。災害サイクル別における保健活動の役割、災害時における感染症の発生とその対策、更に災害に関する倫理と法律について習得する。災害時における病院の危機管理体制と対応について学習する。

■到達目標

1. 災害時要配慮者の定義とその特性に応じた支援内容について説明できる。
2. 災害ネットワークの活用において、地域社会との連携の実際について説明できる。
3. 災害時に発生しやすい疾病と、感染症対策の意義と方法について理解できる。
4. 災害時、被災者や救援者に関する倫理的配慮について理解できる。
5. 災害サイクル別における保健活動の意義と役割について説明できる。
6. 災害看護活動に関連する法律について説明できる。
7. 病院の危機管理体制・対応について理解できる。

■学習の進め方

1. 授業終了後にリフレクションペーパーを記入し、学んだことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
2. 1. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。
3. 出席確認は、Glexa 上の出席コードで行う。
4. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 被災者特性に応じた災害看護(災害時要配慮者を含む) 事前学修：[30分] 教科書を読み災害看護論Ⅰの授業内容を復習しておく。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
2	災害とところのケア 事前学修：[30分] ところのケアについての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
3	急性期における支援と看護の役割、災害医療 事前学修：[30分] 災害医療と平時の医療の違いについて調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
4	亜急性期における支援と看護の役割(避難所等) 事前学修：[30分] 実家(自宅)の避難所に関する情報を調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
5	慢性期・復興期における支援と看護の役割(仮設住宅等) 事前学修：[30分] 東日本大震災での応急仮設住宅に関する情報を調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
6	静穏期における支援と看護の役割(病院防災含む) 事前学修：[30分] 実家(自宅)がある地域の防災に関する情報を調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
7	災害看護学における倫理 事前学修：[30分] 看護者の倫理綱領を調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	内木
8	災害対応にかかわる職種間・組織間連携 コースサマリー 事前学修：[30分] 災害にかかわる団体を1つ取り上げ、その活動内容を調べノートにまとめる。 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成し提出する。授業を振り返り、課題レポートに取り組む。	講義・討論	橋爪

■教科書

浦田喜久子他(2019). 系統看護学講座 災害看護学・国際看護学. 第4版. 医学書院.
その他各プログラムに必要な資料を作成し授業で配布する。

■参考書、参考資料等

小原真理子(2012). 災害看護一心得ておきたい基本知識. 改訂2版. 南山堂.

■フィードバックの仕方

1. リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、次回の講義で行う。
2. 定期試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に Glexa 上で行う。

■他の授業科目との関連

災害看護論Ⅰで学んだ概論から具体的な看護の役割へ発展させる。災害看護活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容を一部含むが、選択科目の内容であるため、復習として学修する。

■成績評価の仕方

定期試験(記述式) 60 %、授業への取り組み(毎回のリフレクションペーパーの内容)を 40 %とし、総合して評価を行う。

※リフレクションペーパーの提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

■オフィスアワー・研究室等

1. 授業開講日の 13:00~14:30 内木(406 研究室)、橋爪(408 研究室)
2. 毎回のリフレクションペーパーでも質問を受け付ける。

※オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

■受講上の注意事項

5/18、5/25 のみ水曜日 5 限となるため注意すること。

*この科目は看護師国家試験受験資格のみ取得者の選択必修科目であること。

災害看護活動論Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」連携 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBID200

○橋爪 朋子、内木 美恵、富澤 真紀、織方 愛

■授業の目的

1. 災害発生時における現場救護所の設営や運営に必要な組織的な運営、各役割について理解する。
2. シミュレーションや演習を通して、災害急性期の看護活動に必要とされる基本的な判断力、救護技術、心構えと態度、行動力を習得する。

■到達目標

1. 赤十字救護班の派遣体制の基本について理解する。
2. 災害現場を想定したシミュレーションを通じ、状況の情報収集から必要な救護活動をアセスメントできる。
3. 災害発生時における現場救護所の設営や運営に必要な知識・技術を習得することができる。
4. 広尾地区を知り災害ハザードに気づくことができる。
5. 災害サイクル急性期に果たす役割を理解することができる。

■学習の進め方

「AL」

プログラムは講義、図上訓練、救護技術演習、総合演習と段階的に参加型で進める。

1. 授業終了後にリフレクションペーパーを記入し、学んだことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
2. 1. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。
3. 出席確認は、Glexa 上の出席コードで行う。
4. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、目標設定のグループワーク 事前学修：[30分] 災害看護論Ⅰ授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・GW	橋爪
2	災害図上訓練(DIG)Ⅰ 講義 事前学修：[15分] 災害看護論Ⅰ授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪
3	災害図上訓練(DIG)Ⅱ－① 地域探索 事前学修：[30分] DIGに関する参考書を読み、A4用紙1枚程度にまとめる。 事後学修：[120分] 地区探索を行い、発表資料を制作する。	GW	橋爪・富澤
4	災害図上訓練(DIG)Ⅱ－② 地域探索 事前学修：[30分] DIGに関する参考書を読み、A4用紙1枚程度にまとめる。 事後学修：[120分] 地区探索を行い、発表資料を制作する。	フィールドワーク	橋爪・富澤
5	災害図上訓練(DIG)Ⅲ－① まとめ 事前学修：[60分] 発表資料の作成準備を行う。 事後学修：[60分] 発表資料を修正し、グループごとに提出。	GW	橋爪・富澤
6	災害図上訓練(DIG)Ⅲ－② 発表 事前学修：[60分] 発表資料の作成準備を行う。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	発表	橋爪・富澤
7	救護技術演習Ⅰ－① 日赤の活動と基礎行動について 事前学修：[15分] オリエンテーション資料を読み演習の内容をイメージしておく。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	日本赤十字社東京支部・橋爪・富澤
8	救護技術演習Ⅰ－② 無線・衛星電話について 事前学修：[15分] オリエンテーション資料を読み演習の内容をイメージしておく。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	日本赤十字社東京支部・橋爪・富澤
9	救護技術演習Ⅱ－① 救護資機材について 事前学修：[15分] 救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	日本赤十字社東京支部・橋爪・内木・織方

No	内容	形式	教員
10	救護技術演習Ⅱ－② 救護資機材について、その他実技 事前学修：[15 分] 救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東 京都支部・橋爪・ 冨澤
11	救護技術演習Ⅲ－① 救護所設営(エアートント設置) 事前学修：[15 分] 救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東 京都支部・橋爪・ 冨澤
12	救護技術演習Ⅲ－② 救護所レイアウト演習 事前学修：[15 分] 救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東 京都支部・橋爪・ 冨澤
13	救護技術演習Ⅳ 総合演習 事前学修：[30 分] 救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：[15 分] 救護技術演習を振り返り、リフレクションペーパーを作成・提出する。	GW・演習	日本赤十字社東 京都支部・橋爪・ 冨澤
14	救護技術演習Ⅳ 総合演習・まとめ 事前学修：[30 分] 救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：[15 分] 救護技術演習を振り返り、リフレクションペーパーを作成・提出する。	発表	日本赤十字社東 京都支部・橋爪・ 冨澤
15	コースサマリー 事前学修：[15 分] これまでの授業内容を振り返っておく。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪・冨澤

■教科書

各プログラムに必要な資料を作成し授業中に配付する。

■参考書、参考資料等

浦田喜久子他(2019). 系統看護学講座 災害看護学・国際看護学. 第 4 版. 医学書院.

■フィードバックの仕方

1. 発表のフィードバックは、授業の中で行う。
2. リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、次回の講義で行う。
3. 課題レポートのフィードバックは、Glexa にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■他の授業科目との関連

1 年次の災害看護論Ⅰで学んだ「災害サイクルに対応した災害看護活動」、4 年次で学ぶ災害看護論Ⅱの「急性期における支援と看護の役割、災害医療」、2 年次後期で学ぶ災害看護活動論Ⅱによる「避難所シミュレーション」が、演習を通して災害サイクル急性期の傷病者の援助を学ぶ上で本活動論に関連している。

■成績評価の仕方

定期試験(レポート) 60 %、授業への取り組み(課題発表、毎回のリフレクションペーパーの内容)を 40 %とし、総合して評価を行う。
※提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

■オフィスアワー・研究室等

1. 授業終了後に教室で直接、質問を受け付ける。
 2. 授業開講日の 13:00～14:30 橋爪(408 研究室)
 3. 毎回のリフレクションペーパーでも質問を受け付ける。
- ※オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

■受講上の注意事項

最終日は 7/27 水曜日 5 限となるため注意すること。

※大学広報のための写真撮影にご協力ください。大学広報媒体に掲載される可能性があります。不都合のある学生は教員までご一報ください。

※本学ホームページや公式 YouTube に掲載された画像、動画は日本赤十字社東京都支部など、授業に協力いただいている一部の学外団体が本学の掲載内容を引用して 2 次使用(本学ホームページへのリンクなど)をする可能性があります。また画像などを本人と分からないように学内で加工して、データ提供する可能性があります。

災害看護活動論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBID250

○橋爪 朋子、内木 美恵

■ 授業の目的

防災・被災対応の意味や基盤となる知識について学ぶ。その一環として、避難所・仮設住宅における生活の視点、起きやすい健康課題とその予防について、具体的に学ぶ。

■ 到達目標

1. 防災・被害対応の意味、危機管理対応について理解する。
2. 避難所の目的や立ち上げに関連する行政の役割やシステムについて説明できる。
3. 避難所及び仮設住宅の特徴や避難所及び仮設住宅生活が被災者の心身に及ぼす影響について説明できる。
4. 被災者の生活の視点から捉えた避難所・仮設住宅における生活支援の必要性について説明できる。
5. 演習を通して、避難所の設営に必要な人材や資機材、被災者同士の協働のあり方について考察できる。

■ 学習の進め方

「AL」

プログラムは講義、グループワーク、赤十字健康生活支援講習、シミュレーションと段階的に参加型で進める。

1. 授業終了後にリフレクションペーパーを記入し、学んだことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
- 2.1. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。
3. 出席確認は、Glexa 上の出席コードで行う。
4. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30 分] 昨年度の災害を一つ選び被災地域について調べ、発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
2	被災地域特性と看護の役割・避難所と仮設住宅の生活について 事前学修：[30 分] 昨年度の災害を一つ選び被災地域について調べ、発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・GW	橋爪
3	高齢の被災者に起きやすい健康課題 事前学修：[30 分] 高齢の被災者に起こりうる問題について発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪
4	避難所における看護の実践 事前学修：[30 分] 高齢の被災者に起こりうる問題について発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	GW・発表	橋爪
5	赤十字健康生活支援講習① 高齢者の健康と安全 事前学修：[30 分] 講習教本の(高齢者の健康と安全)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする。	講義	日本赤十字社東京支部・橋爪・富澤
6	赤十字健康生活支援講習② 高齢者の健康と安全 事前学修：[30 分] 講習教本の(高齢者の健康と安全)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東京支部・橋爪・富澤
7	赤十字健康生活支援講習③ 日常生活における介護 事前学修：[30 分] 講習教本の(日常生活における介護)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする。	講義	日本赤十字社東京支部・橋爪・富澤

No	内容	形式	教員
8	赤十字健康生活支援講習④ 日常生活における介護 事前学修：[30 分] 講習教本の(日常生活における介護)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東 京都支部・橋爪・ 冨澤
9	赤十字健康生活支援講習⑤ 移動・食事・排泄・着替え 事前学修：[30 分] 講習教本の(移動・食事・排泄・着替え)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする。	講義	日本赤十字社東 京都支部・橋爪・ 冨澤
10	赤十字健康生活支援講習⑥ 移動・食事・排泄・着替え 事前学修：[30 分] 講習教本の(移動・食事・排泄・着替え)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東 京都支部・橋爪・ 冨澤
11	赤十字健康生活支援講習⑦ 清潔・認知症高齢者の介護 事前学修：[30 分] 講習教本の(清潔・認知症高齢者の介護)の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：[15 分] 演習を行った知識・技術の復習をする。	講義	日本赤十字社東 京都支部・橋爪・ 冨澤
12	赤十字健康生活支援講習⑦ 学科検定 事前学修：[30 分] 講習教本に目を通し学科検定試験に合格できるよう準備をする。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	その他	日本赤十字社東 京都支部・橋爪・ 冨澤
13	避難所シミュレーション 事前学修：[30 分] 避難所で生活中的被災者について具体的なできごとを調べ発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・GW	橋爪・冨澤
14	避難所シミュレーション 事前学修：[30 分] 避難所で生活中的被災者について具体的なできごとを調べ発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	発表・討論	橋爪・冨澤
15	コースサマリー 事前学修：[15 分] これまでの授業内容を振り返っておく。 事後学修：[120 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪

■ 教科書

必要な資料を作成し授業で配布する。

■ 参考書、参考資料等

小原真理子 (2010). 演習で学ぶ災害看護. 第 1 版. 南山堂.

■ フィードバックの仕方

1. 発表のフィードバックは、授業の中で行う。
2. リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、次回の講義で行う。
3. 課題レポートのフィードバックは、Glexa にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

災害看護論Ⅰ、災害看護活動論Ⅰの学習内容の理解に基づき、災害中長期に焦点を当てた内容を発展させる。赤十字健康生活支援講習は、看護技術論Ⅲで学習したことを基盤に、避難所における被災者への看護技術を学習する。

■ 成績評価の仕方

定期試験(レポート) 60 %、授業への取り組み(課題発表、毎回のリフレクションペーパーの内容)を 40 %とし、総合して評価を行う。
※提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

1. 授業終了後に教室で直接、質問を受け付ける。
 2. 授業開講日の 13:00~14:30 橋爪(408 研究室)
 3. 毎回のリフレクションペーパーでも質問を受け付ける。
- ※オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

■ 受講上の注意事項

赤十字健康生活支援講習 (受講料別途 1,000 円程度・第 2 回で徴収)の全日程出席者には「健康生活支援員」の受験資格が与えられる。

最終日に行う認定試験に合格すると、日本赤十字社より「健康生活支援員」の資格が認定され、認定証が授与される。
※東京都支部の指定する、健康管理チェック表の提出が求められます。

災害看護活動論Ⅲ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」連携 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBID301

○橋爪 朋子、内木 美恵、富澤 真紀

■授業の目的

災害中長期において起きやすい健康および生活に関する問題、対応について学ぶ。被災者および救護者に対する「こころのケア」の必要性と共に、時期的変化をふまえた「こころの状態」について理解し、基本的なコミュニケーションの方法について具体的に学ぶ。

■到達目標

1. 被災者の危機的状況と心の反応を時期的変化と共に説明できる。
2. こころのケアとは何か、こころのケアの効果と実施上の基本原則について説明できる。
3. こころのトリアージの必要性およびこころのトリアージの分類について説明できる。
4. 災害中長期における被災者の生活の場の特性と被災者のニーズについて理解する。
5. こころのケアを展開する生活の場についての具体的な方法を演習で展開できる。
6. 救護者のこころのケアについて、その必要性と具体的な方法について説明できる。
7. 遺族及び救護者のこころのケアについて討論を展開し、考察展開できる。

■学習の進め方

「AL」

プログラムは講義、グループワーク、ゲストスピーカーによるシンポジウム、ロールプレイと段階的に参加型で進める。

1. 授業終了後にリフレクションペーパーを記入し、学んだことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
- 2.1. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。
3. 出席確認は、Glexa 上の出席コードで行う。
4. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 災害看護論Ⅰ授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
2	被災者の生活とこころの変化 事前学修：[30分] 災害看護論Ⅰ授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・GW	橋爪
3	被災者のこころのケア① 事前学修：[30分] 被災者のこころのケアについての文献を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪
4	被災者のこころのケア② 事前学修：[30分] 被災者のこころのケアについての文献を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	GW	橋爪
5	災害時要配慮者のこころのケア 事前学修：[30分] 災害時要配慮者の特徴を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪
6	災害時要配慮者のこころのケア 事前学修：[30分] 災害時要配慮者の特徴を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	GW	橋爪
7	救護者のこころのケア 事前学修：[30分] 第3、4回目授業資料を読み、被災者のこころのケアについて復習する。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪
8	救護者のこころのケア 事前学修：[30分] 第3、4回目授業資料を読み、被災者のこころのケアについて復習する。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	GW	橋爪

No	内容	形式	教員
9	遺族のこころのケア 事前学修：[30 分] 映画「遺体 明日への十日間」のあらすじを読み、遺族の心情について A4 用紙にまとめてくる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪
10	遺族のこころのケア 事前学修：[30 分] 映画「遺体 明日への十日間」のあらすじを読み、遺族の心情について A4 用紙にまとめてくる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	GW	橋爪
11	日本赤十字社救護班の活動：全体 事前学修：[30 分] 第 9 回、10 回の授業内容を振り返り、遺族のこころのケアについて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪・ゲストスピーカー
12	日本赤十字社救護班の活動：全体 事前学修：[30 分] 第 9 回、10 回の授業内容を振り返り、遺族のこころのケアについて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	討論	橋爪・ゲストスピーカー
13	日本赤十字社救護班の活動：全体 事前学修：[30 分] 第 11 回、12 回の授業内容を振り返り、全体について発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪・ゲストスピーカー
14	日本赤十字社救護班の活動：全体 事前学修：[30 分] 第 11 回、12 回の授業内容を振り返り、全体について発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	橋爪・ゲストスピーカー
15	コースサマリー 事前学修：[30 分] これまでの授業内容を振り返っておく。 事後学修：[120 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪

■ 教科書

必要な資料を作成し授業で配布する。

■ 参考書、参考資料等

浦田喜久子編(2019)．系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学．第 4 版．医学書院．

齊藤仁(2008)．看護師金田和子と救護班．インターメディカ．

飯塚訓(1998)．墜落遺体．講談社．

君塚良一(2013)．遺体 明日への十日間．ポニーキャニオン(DVD)．

■ フィードバックの仕方

1. 発表のフィードバックは、授業の中で行う。
2. リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、次回の講義で行う。
3. 課題レポートのフィードバックは、Glexa にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

1. 災害看護論Ⅰの単位取得を履修要件とする。
2. 災害看護論Ⅰ、災害看護活動論Ⅰ・Ⅱの学習内容の理解に基づき、より発展的なこころのケアの実践を中心とした内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

定期試験(レポート) 60 %、授業への取り組み(課題発表、毎回のリフレクションペーパーの内容)を 40 %とし、総合して評価を行う。

※提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

1. 授業終了後に教室で直接、質問を受け付ける。
2. 授業開講日の 13:00~14:30 橋爪(408 研究室)
3. 毎回のリフレクションペーパーでも質問を受け付ける。

※オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

看護援助論実習〔レベルⅡ〕

単位：5単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：HBNP200

○三浦英恵、○吉田みづ子、○本庄恵子、○安部陽子、○佐々木幾美、○川原由佳里、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、河田照絵、桑原雄三、守谷千明、田代幸子、西田朋子、織方愛、橋爪朋子、佐藤明子、内藤なづな、池田良輔子、田代祐子、山中源治

■ 授業の目的

健康障害をもつ人を対象とし、援助的人間関係を発展させる。

看護過程を用いて対象となる人を全体論的に捉え、対象者の健康にかかわる能力が発揮されるよう、看護援助を行うことができる。

■ 到達目標

1. 対象者との援助的人間関係を発展させる。
2. 対象者を尊重し、権利と尊厳を守るための課題に気づくことができる。
3. 看護アセスメントを行い、全体像を捉える。
4. 看護援助を計画することができる。
5. 援助を対象者の状況に合わせて実施し、考察することができる。
6. 対象者をとりまく人々と連携し、より良い方策を考えることができる。
7. 学生として責任のある行動をとり、主体的に学びを深める。

■ 学習の進め方

1. 事前学習・学内学習

オリエンテーション時に実習の概要および事前学習課題について説明するため、実習開始前に事前学習を行う。

実習の開始前や期間中に学内学習日を設ける。実習に必要な事前知識や技術を学び、実習に生かすようにする。看護過程の展開に関する個別指導やグループ指導を受けることができるため学習状況に合わせて主体的に活用する。

2. 臨地実習および学内実習(対面/遠隔)

臨地実習とオンデマンド型・同時双方向型のオンライン環境および対面による学内実習を組み合わせ実習を進める。

受け持ち患者を担当し、看護過程を用いて看護援助の検討を行う。

視覚的教材を活用して、できるだけ場面を想像しながら対象者の理解と看護援助を思考していくことができるようにする。

実習は記録物、視覚教材、ロールプレイ、カンファレンスを通して対象を理解し、援助的人間関係を発展させながら、患者一人ひとりに合わせた看護を実施し振り返りを行う中で学びを深める。

毎日開催されるカンファレンスでは、グループダイナミクスを生かし、学びを共有し深める。

事例の中で、医療安全や多職種連携など実習目標に合わせた取り組みなども学習できるようにする。

3. ケース発表・レポート

ケース発表では、実習での学びを振り返り考察する。

レポートでは、ケース発表を発展させる形で学びを深める。

4. 評価面接

学生が記載した自己評価表をもとに、学生と教員とで評価面接を行う。

実習での学びと課題について振り返る機会とする。

5. 事後学習

カンファレンス・ケース発表・評価面接を通して得た学びや自己の課題を整理し、今後の学習につなげる。

*詳細は、オリエンテーションなどで提示する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：2022年8月29日(月)～9月30日(金)の5週間

実習形態：状況に応じて臨地実習および学内実習(遠隔あるいは対面)を組み合わせ実習を行う。

担当教員：教員1名につき1グループ6～7名を担当し、直接、実習指導を行う。

実習場所(予定)：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院

臨床指導者：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院の看護部の皆様、指導者の皆様から情報提供、助言を得る機会を設ける。

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

1. 全体評価のフィードバックは、最終面接にて自己評価表を確認しながら行う。
2. 実習記録やレポートのフィードバックは、コメントを付した実習記録の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

レベルⅡ実習履修に必要な科目の修了試験受験資格を有していること(「履修の手引き／シラバス」の実習について：履修要件を参照のこと)。看護援助論Ⅰ(看護過程)で用いた書式にて、受け持ち患者の看護過程を展開する。

■ 成績評価の仕方

1. 全体像検討・ケース発表 20 % 2. ケースレポート 20 % 3. 自己評価による実習達成度 35 % 4. 実習への取り組み(出席状況含む) 25 %

■ オフィスアワー・研究室等

5 週間の中で、各週に自己学習日を設けており、その日はオフィスアワーとする。具体的な時間と方法は、実習開始後に担当教員より提示する。尚、実習全般に関する相談は、三浦(444 研究室：h-miura@edcross.ac.jp)、吉田(448 研究室：yoshida@redcross.ac.jp) まで、連絡してください。

■ 受講上の注意事項

原則として、実習オリエンテーションを遅刻・欠席した者は、実習の履修ができなくなるので注意すること。

COVID-19 感染症等の状況により、スケジュールや実習方法が変更される可能性があります。変更がある場合には、ポータル、Glexa メール等で連絡がありますので、よく確認してください。

精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBNP300

○鷹野朋美、堀井湖浪、古城門靖子、堀川英起、内藤なづな

■ 授業の目的

精神保健上の問題を抱えている個人を対象に、その人となりを生生活上の文脈において理解することを主限として、自らをケアの道具として最大限に生かし、対象とかわることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 対象の理解：対象の性格・人柄・価値観・認知のパターンなどを、その人の生活史や家族背景とのつながりから、理解できる。
2. 「生きにくさ」と「レジリエンス」の理解：その人が日常生活を送る上で、どのような問題を抱えているのか、それがどのような「生きにくさ」として体験されているのかを理解できる。
3. かかわりと参加：自分のかかわりの意味を考えながら、その人の日常生活に参加することができる。
4. 振り返りと言語化：かかわりの中で生じる自分の感情や考えを振り返り、ことばにして記録し、吟味できる。
5. 治療的環境の理解：自分の治療的環境の一部として存在していることを意識して行動することができる。

■ 学習の進め方

1. 病棟実習：入院中の患者を、原則として 1 人受持ち、患者の日常生活に参加しながらかかわり、患者理解、自己理解を深める。
2. ケース発表・レポート：ケース発表では、患者とのかかわりのプロセスを振り返って報告し、ディスカッションによって深める。レポートでは、ケース発表をさらに発展させる形で、文献を用いて考察し、体験を深める。

【事前学修】下記の課題 1 と 2 について記述し、実習初日に教員に提出すること。

課題 1. ①精神保健福祉法に定める入院形態、②統合失調症と気分障害の主要症状、③抗精神病薬の種類と作用・有害反応、について A4 用紙 2～3 枚程度にまとめる。

課題 2. 実習において患者とどのようにかかわってみたいかを A4 用紙 1 枚にまとめる。

【事後学修】実習を振り返り「学生とのかかわりを通して見えてきた患者の生きにくさとレジリエンス」をテーマとしてクリニカルレポートを作成し、提出する。

なお、事前学修、事後学修については、実習オリエンテーション時に詳しく説明する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：3 年次 7 月から 2 月にかけて、2 週間行う。実習場所：井之頭病院(三鷹市)、青木病院(調布市)、成増厚生病院(板橋区)、根岸病院(府中市)、三恵病院(東村山市)、多摩中央病院(多摩市)。詳細は実習要項を参照のこと。

■ 教科書

武井麻子他著、系統看護学講座 精神看護学 [1] [2]、医学書院。(2 年次に購入した版、発行年のものを使用する)

■ 参考書、参考資料等

治療や薬物療法に関する図書については、実習前オリエンテーションにて提示する。

■ フィードバックの仕方

クリニカルレポートは、実習終了後 2～3 ヶ月以内に、コメントをつけて各担当教員から返却する。返却の連絡は、学生宛にポータルとメールにて行うので、担当教員の指示に従って指定の場所に取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

レベルⅡ実習に合格していること、授業科目として、精神保健看護学Ⅰ、精神保健看護学Ⅱ、疾病の成立と回復の促進Ⅳ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ、健康レベル別看護学演習Ⅱの全ての科目の修了試験受験資格を有していることが精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕実習の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

実習への取り組み 45 %、実習記録 20 %、ケース発表 10 %、レポート 25 %。ただし欠席は 2 日以内であること。遅刻・早退は 3 回で 1 日欠席とみなす。

■ オフィスアワー・研究室等

実習前でもそれぞれの教員の研究室で相談に応じる。鷹野研究室(428)、堀井研究室(427)、古城門研究室(412)、堀川研究室(426)、内藤研究室(423)。実習中は必要とき、遠慮せず声をかけてもらいたい。実習時間後に実習場の教員控え室で話を聞くこともできる。

■ 受講上の注意事項

実習の成果ではなく、どれだけ自分が対象にコミットできたか、その結果どれだけ自己理解・対象理解が進んだかのプロセスが重要である。そのためのサポート資源として教員を活用してほしい。

発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」擁護 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBNP301

○新田真弓、斎藤英子、東園子、加藤千穂、稲田千晴、谷本美保子、林田聖子、由利紗織、宮内愛、北井喜美恵

■ 授業の目的

妊娠・分娩・産褥期にある母親・子ども・父親/パートナーとその家族の健康問題を、ライフサイクルの視点と社会生活を営む人としての視点から理解し、対象の価値観を尊重し、かつ安全なケアを保証するとともに、セルフケア能力を高める援助を学ぶ。

■ 到達目標

1. ライフサイクルの視点から周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)を位置づけ、対象者を捉えることができる。
2. 周産期における対象者の健康レベルを生理的、心理・社会的な特性を踏まえて明確にし、健康の保持・増進を促すよう関わることができる。
3. 対象者の価値観を尊重し、安全で納得のいく出産体験の保証や、対象が新しい生命を家族の一員として迎え、慈しみ育てられるような関わりを学ぶことができる。
4. 社会生活を営む対象者の援助を通して、保健・医療・福祉・その他関連領域の専門家と連携し、協働による援助のあり方を考えることができる。
5. 対象者と密接に関連する社会状況の変化を捉え、well-being の視点から周産期における看護の役割を考えることができる。

■ 学習の進め方

1. 病産院での実習：産科外来、分娩室、産科棟、NICU/GCU をめぐり、周産期における女性と新生児・父親/パートナーへの看護を学ぶ。産科棟では産褥早期の母親と新生児を 1 組受け持ち、看護過程を用いて看護援助を行なう。
2. 学内学習：実習期間中に学内学習日を設ける。実習に必要な知識や技術を学び、実習に活かせるよう、学生は実習室や図書館等を活用し、自己学習を行なう。また、看護過程の展開にあたっての個別指導やグループ指導を受けることができるので、自己の学習状況に合わせて主体的に活用し学習を進めること。
3. カンファレンス：日々のテーマカンファレンスでは、周産期の看護に関連するトピックスについてグループで話し合い、実習での学習体験を深める。
4. ケース発表・レポート：ケース発表では、産科棟での看護過程に焦点を当てて発表し、学びを共有する。レポートでは、各実習場での学習を通して学生個々にテーマを設定して考察する。
5. 評価面接：学生が記載した実習自己評価表をもとに、学生と教員とで評価面接を行なう。実習での学びと課題について振り返る機会とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：2 週間

実習施設：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、東京かつしか赤十字母子医療センター、横浜市立みなと赤十字病院

実習場所：産科外来、分娩室、産科棟、NICU/GCU

実習時間：原則として 8:00～16:00 (又は 8:30～16:30)であるが、実習施設、実習場所にて異なる。

※詳細については、実習要項を参照のこと。

■ 教科書

平澤美恵子・村上睦子監修(2020). 新装版写真でわかる母性看護技術アドバンス. インターメディカ.

■ 参考書、参考資料等

発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①②)の講義資料、演習資料、および教科書を活用する。

教科書は森恵美他(2021)系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論第 14 版 母性看護学 2. 医学書院. である。

■ フィードバックの仕方

- ①最終面接で自己評価内容を確認しながら全体評価についてのフィードバックを行う
- ②実習記録自己評価表の教員コメント欄にフィードバックを行う

■ 他の授業科目との関連

1. 看護援助論実習(レベルⅡ)に合格していること
2. 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ、発達看護学概論、発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)、発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)、看護援助論Ⅵ、健康レベル別看護学演習Ⅱの修了試験受験資格を有していること

■ 成績評価の仕方

実践内容 30 %、実習記録 30 %、ケース発表 10 %、最終レポート 10%、発達看護学実習Ⅰ個人評価表 20 %とする。詳細は、実習要項を参照のこと。

■ オフィスアワー・研究室等

実習期間中の①学内学習日、② 12：10-13：00、③新田(451 研究室)、加藤(434 研究室)、由利(433 研究室)、林田(422 研究室)、宮内(434 研究室)各実習担当教員が主に対応する。

■ 受講上の注意事項

1. 欠席 2 日以上の場合は再履修、遅刻・早退は 3 回で 1 日欠席とする。
2. 新生児やハイリスク児と関わるため、健康管理には十分留意する。
3. 自己の感性や生命に対する畏敬の念を高め、看護者としての倫理的な視点を養うことを期待する。
4. 実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況に応じて変更する可能性がある。

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」関係 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBNP302

○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代祐子

■ 授業の目的

乳児・幼児・学童・思春期にある子どもとその家族の健康レベルを理解し、変化する社会の中で、子どもと家族が人間として尊重され、その人らしく生き生きと生活できるように、それぞれの健康レベルに応じた援助を考える。

■ 到達目標

1. 子どもとその家族(成長発達、生活状況、健康状態)を理解するとともに、子どもと家族を取り巻く環境を認識し、その影響を考察することができる。
2. 子どもと家族の健康の保持、増進、回復のために、適切な情報を収集、分析し、既存の知識・技術を発展させ援助することができる。
3. 子どもと家族のニーズに応じて、子どもと家族の尊厳と権利を擁護した援助を実践することができる。
4. 他領域の専門家と協力する重要性を認識し、調整的な機能を理解し、説明することができる。
5. 変化する社会に応じた小児看護の役割を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. オリエンテーション：広尾キャンパス内にて、各フィールドのオリエンテーションを行う。
2. 学内演習：実習の開始前、学内において小児看護技術演習を行い、実習に必要な事前知識や技術を復習する。
3. 病棟実習：小児病棟、混合病棟のいずれかにおいて患者を受け持ち、看護援助を行う。また、院内学級の様子を見学する。カンファレンスでは、子どもと家族とかかわってみて感じたこと、考えたことをグループ内で共有し、看護援助や子どもと家族の理解につなげる。
4. 小児地域実習：小児保健、乳児院、小児科外来、クリニックのいずれかのフィールドにおいて実習を行う。カンファレンスでは、各フィールドの役割や意義について学びを共有し、子どもと家族を取り巻く環境について理解を深める。
5. ケース発表：病棟実習中の学びを振り返り、子どもと家族の特性と対象の個性について学びを共有する。
6. 実務経験のある教員による指導：各実習フィールドに配置された実習指導者が、実習生へ実践における直接的な指導を担う。実習指導者は実習フィールドに勤務している看護師とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習期間：2 週間
2. 実習場所：日本赤十字社医療センター／日本赤十字社医療センター附属乳児院／武蔵野赤十字病院／武蔵野赤十字病院内いとうぎ学級／東小金井駅前こどもクリニック／武蔵小金井駅前こどもクリニック／心身障害児総合医療療育センター ※詳細は、実習要項を参照のこと。

■ 教科書

- ①筒井真優美監修(2016). 小児看護学 第 8 版. 日総研.
- ②筒井真優美監修(2017). パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第 2 版. 照林社.

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて文献を提示する。

■ フィードバックの仕方

レポート・実習記録のフィードバックは、コメントを付したレポート・実習記録の返却を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■ 他の授業科目との関連

履修については、履修の手引きに記載されている履修要件を確認すること。

この科目の履修には、レベルⅡ実習の単位を修得していること。発達看護学概論(小児期)、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)、健康レベル別看護学演習Ⅱの修了試験受験資格を有すること。

この科目を合格していなければ、看護学総合実習を履修することはできない。

■ 成績評価の仕方

1. 自己評価 30% 2. 実習の記録&レポート 50% 3. 実習への取り組み 20%

※詳細は、実習要項を参照のこと。

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワーは実習終了後 30 分とする。具体的な時間は、実習開始後に担当教員より提示する。

江本(419 研究室) 山内(443 研究室) 鈴木(453 研究室) 柴田(441 研究室) 田代(441 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 子どもの発達段階、行動傾向、病状などを考慮して、安全で安楽な環境を整え、事故防止に努める。
2. 自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に臨む。

3. 実習形式および記録提出、面接方法は変更する可能性がある。
※詳細は、実習要項を参照のこと。

発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」擁護 「3」関係 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBNP303

○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、菅野心葉

■ 授業の目的

さまざまな健康レベルの老年期にある個人とその家族を対象とし、対象の顕在的・潜在的能力が最大限に発揮されるよう、看護援助を実践できる。

■ 到達目標

1. 老年期にある人を、環境との相互作用によって変化する個別的で複雑な発達の過程であると捉えることができる。
2. 老年期にある人の加齢および疾患などにより生じた健康障害について説明できる。
3. 老年期にある人が、それぞれの価値・信念に基づいた生き方を選択でき、充実した生活が出来るよう、看護援助を実践することができる。
4. 老年期にある人とその家族を、常に相互作用し合いながら変化する一つのシステムとして捉えることができる。
5. 老年期にある人がおかれている我が国の保健医療福祉システムについて説明できる。

■ 学習の進め方

1. 施設実習：入所中の高齢者を原則として 1 名受け持ち、看護過程を用いて看護援助を行う。看護師として高齢者への看護実践能力を身につけるため、施設の現場において、実習指導者と実習担当教員の指導の下、受け持った高齢者の健康や生活に関する情報をもとにアセスメントを行い、健康問題を明らかにし、高齢者の意思、価値観、日常生活を尊重した看護援助を実施する。
 2. ケース発表・レポート：ケース発表では実習での自らの看護について振り返り考察する。レポートでは、発表での他者からの質問、意見をもとにさらに内容を深め発展させる。
 3. 評価面接：学生の自己評価表をもとに学生と教員との個別面接を行い、実習での学びと課題について振り返る。
- ※詳細は、実習要項を参照のこと。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：3 年次 7 月～翌年 2 月までの間で 2 週間行う。

実習場所：日本赤十字社総合福祉センター、介護老人保健施設ばらの園、介護老人福祉施設青葉台 さくら苑、介護老人福祉施設ケアなかめぐろ、介護老人福祉施設グリーンポート

*詳細は実習要項を参照のこと

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

川島みどり監修 (2015). 老年看護学 改訂版. 看護の科学社.

その他、老年看護学で配布された資料等

■ フィードバックの仕方

最終の実習記録やレポートのフィードバックについては、実習担当教員がコメントを付した実習記録やレポートの返却を通じて行う。実習担当教員が3月までにポータルで返却可能な時間と場所を連絡するので、取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

疾病の成り立ちと回復の促進、発達看護学概論(老年期)、発達看護学Ⅲ①、②、健康レベル別看護学演習Ⅱ(老年看護学)の全科目の終了試験受験資格を有することで実習が可能となり、その後 4 年次で行われる看護学総合実習(老年看護学)につながる。

■ 成績評価の仕方

1. 実習への参加と態度 20 %
2. 発表 10 %
3. ケースレポート 20 %
4. 自己評価表 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

自己学習日の木曜日 12:30-13:00 坂口(414 研究室)、千葉(429 研究室)、清田(431 研究室)、池田・菅野(450 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 実習オリエンテーションを連絡なしに欠席した場合、原則として実習をすることはできない。
2. 自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に取り組むこと。
3. 学外実習での基本的マナー(実習開始時刻、服装、挨拶等)を遵守し、節度を持って主体的に実習すること。
4. 実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況によって変更する可能性がある。

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕

単位：3単位 必修/選択：必修 履修年次：4年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 「3」成長 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：HBNP400

○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、西田朋子、河田照絵、樋口佳栄、織方愛、富澤真紀、橋爪朋子、細野知子、佐藤明子、桑原雄三、
守谷千明、吉良理絵、田代幸子、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈、山中源治

■ 授業の目的

成人期にある人々の健康にかかわる能力が発揮されるように、対象者の健康レベル(発症前期、急性期、慢性期、リハビリ期、エンドオブライフ期)に応じた看護援助を行うことができる。

■ 到達目標

1. 対象者をライフサイクルの中に位置づけ、常に発達する存在として捉えることができる。
2. 成人期にある個人の健康レベルを踏まえて、身体的、心理的、社会的に捉えることができる。
3. 計画した看護援助を、対象者の状況に合わせて実施し、評価することができる。
4. 成人期にある個人の意思を尊重し、専門職者としての行動をとることができる。
5. 対象者をとりまく人々と連携し、看護の場で生じる様々な葛藤を建設的に解決するよう努力する。
6. 学生として責任のある行動をとり、主体的に学びを深めることができる。

■ 学習の進め方

1. 学内演習・学習：実習の開始前および実習期間中に、学内演習・学習日を設定する。ここでは、病棟実習での目標を達成するための実習計画を立案し、実習に必要な事前知識や技術を学び、実習に生かせるようにする。また、実習での学びをまとめるための学習に活用する。
2. 病棟実習：入院中の患者を原則として1～2名担当し、看護過程を用いて、対象者の健康レベル(発症前期、急性期、慢性期、リハビリ期、エンドオブライフ期)に応じた看護援助を行う。対象者のケアを通して、チーム医療の一員として、看護ケアに取り組むことをめざす。
3. ケース発表・レポート：ケース発表では、実習での学びを振り返り考察する。レポートでは、ケース発表をさらに発展させる形で学びを深める。
4. 評価面接：学生が記載した実習自己評価表をもとに、学生と教員とで評価面接を行う。実習での学びと課題について振り返る機会とする。

看護師に必要な能力を身につけるため、実習施設病院の臨床現場において、実務経験のある教員と実習指導者による指導の下、担当患者のアセスメントをし、看護計画を立案する。

*実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況によって変更する可能性がある。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：3週間

実習場所：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院
(詳細は実習要項を参照のこと)

■ 教科書

指定なし

■ 参考書、参考資料等

吉田みつ子・本庄恵子編著(2017)．写真でわかる実習で使える看護技術 アドバンス [DVD 付] 学生・指導者が、一体となってケアを展開するために!．初版 インターメディカ．

川島みどり監修(2007)．学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術．初版 医学書院．

守田美奈子監修(2016)．写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス．初版 インターメディカ．

■ フィードバックの仕方

教員は評価面接において、実習目標の達成度を判定し、評価のフィードバックを行う。実習記録、ケースレポートのフィードバックは、実習評価がすべて終了した後、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。具体的な時期は、担当教員から別途連絡する。

■ 他の授業科目との関連

4年次前期の応用看護学特論Ⅰ①(チーム医療)を履修することが望ましい。

レベルⅢ実習履修に必要な科目の修了試験受験資格を有していること(「履修の手引き／シラバス」の実習について：履修要件を参照のこと)。

■ 成績評価の仕方

1. 全体像ケアプラン検討・ケース発表 20% 2. ケースレポート 20% 3. カンファレンス参加度等の実習の取り組み 30% 4. 実習目標達成度 30%

■ オフィスアワー・研究室等

実習中に設けてある学内演習・学習もしくは自己学習日はオフィスアワーとする。具体的な時間と場所は、実習開始後に担当教員より

提示する。尚、実習全般に関する相談は、本庄(442 研究室)、三浦(444 研究室)まで、連絡してください。

■ 受講上の注意事項

原則として、実習オリエンテーションを遅刻・欠席した者は、実習の履修ができなくなるので注意すること。

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（精神保健看護学）

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」探究 「3」連携 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBNP304

○鷹野朋美、堀井湖浪、古城門靖子、堀川英起、内藤なづな

■ 授業の目的

1. 障害者の回復と地域生活を支えるさまざまな施設の活動と目的、および法制度上の位置づけ(根拠)について理解する。
2. 精神障害者地域リハビリテーション施設に関与する人々の活動に参加しながら、そこでの相互交流の様子を観察するとともに、みずから体験し、その意味について考える。
3. 精神科病院での実習と地域リハビリテーション施設での実習の体験を統合し、精神障害者の回復のプロセスにとって、それぞれにどのような意味があるのか、何が重要なのかについて考察する。

■ 到達目標

1. 障害者の回復と地域生活を支えるさまざまな施設の活動と目的、および法制度上の位置づけ(根拠)について理解できる。
2. 精神障害者地域リハビリテーション施設に関与する人々の活動に参加しながら、そこでの相互交流の様子を観察するとともに、みずから体験し、その意味について考える。
3. 精神科病院での実習と地域リハビリテーション施設での実習の体験を統合し、精神障害者の回復のプロセスにとって、それぞれにどのような意味があるのか、何が重要なのかについて考察できる。

■ 学習の進め方

看護師に必要な能力を身につけるため、精神障害者地域リハビリテーションの実務家である精神保健福祉士、保健師の指導の下、精神障害者のリハビリテーションのための援助活動に参加する。

1. 事前学修
 - ・障害者総合支援法の中に、障害者の地域生活を支援するサービスにはどのようなものがあるのかを調べて、A4 用紙 2 枚にまとめる。
 - ・自分が実習する施設は、障害者総合支援法の中でどのように位置づけられているのか、その施設の目的や特徴は何かを調べ、A4 用紙 2 枚にまとめる。
2. 施設での実習
 - ・ひとつの施設につき学生 2～4 人のグループに分かれ、3 日間、実習する。
 - ・施設で実施されるプログラムに参加しながら、メンバーやスタッフとの交流を図る。
3. カンファレンス
 - ・それぞれの施設での体験について報告し、体験の共有と深化を図る。文献を用いてそれをさらに深める。
4. 事後学修
 - ・学んだことを文献を用いてさらに深めレポートにまとめる。(詳しくは実習要項を参照すること)

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：1 週間

実習場所：あおば福祉会(障害者総合支援法、就労継続支援 B 型)、あとりえふぁんとむ(同法、就労継続支援 B 型)、Navio けやき(同法、就労継続支援 B 型)、せせらぎ(同法、地域活動支援センター)・青桐茶房(同法、地域活動支援センター)、ストライドクラブ(同法、就労移行・継続支援 B 型、クラブハウスモデル)、巣立ち会(同法、就労継続支援 B 型)のいずれかの施設にて実習する。各施設の詳細は実習要項を参照のこと。

■ 教科書

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学〔1〕精神看護の基礎」第 5 版、医学書院、2021。

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学〔2〕精神看護の展開」第 5 版、医学書院、2021。

※ 2 年次に購入したものを使用する予定である。

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、実習終了から 4 週間後に、実習担当教員の研究室にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■ 他の授業科目との関連

レベルⅡ実習に合格していること、地域看護学の修了試験受験資格を有していることが履修条件である。精神保健看護学実習(レベルⅢ)を発展させた内容を扱います。

■ 成績評価の仕方

1. 実習への取り組み 30 %
2. カンファレンスへの取り組み 20 %
3. 事前学習 10 %
4. 実習記録 20 %
5. レポート 20 %

■ オフィスアワー・研究室等

学内実習日の 12：30～13：00、18：00～18：30。鷹野研究室(428)、堀井研究室(427)、古城門研究室(412)、堀川研究室(426)、内藤研究室(423)。

■ 受講上の注意事項

病棟実習を踏まえて、障害者が地域生活を送るために、どのような工夫をしているのか、またどんな支援を受けているのかを、実際の体験を通して、理解を深めてください。

形式および、内容は変更する可能性がある。

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（母性看護学）

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 「3」擁護 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBNP304

○新田真弓、齋藤英子、東園子、加藤千穂、稲田千晴、谷本美保子、林田聖子、由利紗織、宮内愛、北井喜美恵

■ 授業の目的

- ・生活の場を病院や施設を含む地域全体を単位として捉え、健康課題をもつ個人、家族、集団について、それぞれの特徴を理解する。
- ・多様な社会資源やそのネットワーク状況を理解し、地域におけるケアシステムおよび施設と自宅との継続支援のあり方を考える。

■ 到達目標

1. 地域で生活する母親と子ども、父親/パートナーとその家族を対象とし、その健康をライフサイクルの視点と生活者の視点から理解する。
2. 様々な社会的背景や健康状態にある母親と子ども、父親/パートナーとその家族を理解し、健康増進のための援助を考案することができる。
3. 母親と子ども、父親/パートナーとその家族への支援に際し、活用できる社会資源やそのネットワークの状況を理解し、施設と自宅との継続支援のあり方を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. 事前学習：全体オリエンテーションにて、事前課題資料を配布し、子育て経験のある女性の気持ちや、周産期、育児期に関連した法律や制度、実習施設のある地域の育児支援等について整理し理解を深める。事前課題は実習 3 週間前に提出し、実習前週の金曜日に担当教員から返却される。
2. 産科外来・母乳外来：発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)での学習を踏まえ、母親と子ども、父親/パートナーとその家族との関わりを通じて対象特性を理解し、地域でより健康的に生活するための支援について理解する。
3. 医療連携・患者支援推進室：入院中あるいは外来通院中の母親と子ども、父親/パートナーとその家族への退院に向けた支援の実際を見学実習する。病院における医療連携・患者支援推進室の位置づけ、機能を理解する。
4. 産後ケアハウス：入所中の母親と子どものケア、施設で実施されるプログラム、施設の環境整備(掃除・洗濯・炊事など)を実習する。病院と自宅をつなぐケアハウスの位置づけ、地域で期待される施設の役割や関連施設(保育園等)の実際や機能を理解する。地域で生活を営む人としての母親と子ども、父親/パートナーとその家族が、既習の母子保健に関連する制度や法律、政策などをどのように活用しながら妊娠期・育児期を送っているのかについて、実習を通じて学び考察する。
5. 実習の振り返り・カンファレンス：施設毎に日々の実習の振り返りおよびカンファレンスを行う。『各自の実習目標に沿って体験を振り返り、地域で生活する母親と子ども、父親/パートナーとその家族への健康促進を促す援助』について考え、意見交換を通じて実習体験を共有し学びを深める。
6. 実習報告会：全施設で実習した学生の学びを共有する。実習目標に則して『実習体験を振り返り、地域社会において母親と子ども、父親/パートナーとその家族が抱える課題と看護のあり方』について地域特性や施設特性を踏まえて体験を共有し意見交換を通じて学びを深める。
7. 課題レポート：実習体験より捉えた現代社会における母親と子ども、父親/パートナーとその家族に関連した課題を 1 つ取り上げて説明し、看護者として期待される支援のあり方について文献を用いて考察する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習施設：日本赤十字社医療センター(周産期外来、患者支援室)、武蔵野赤十字病院(産科外来、母子保健相談室)、豊倉助産院、ウバウバハウス岡本助産院
2. 学生は、上記実習施設のうち、1～2 施設で実習する。1 施設につき、学生 1～2 名のグループに分かれて実習する。
3. 実習期間：1 週間 *詳細は実習要項参照のこと

■ 教科書

森恵美他(2021). 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論第 14 版 母性看護学 2. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)、発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)の授業資料や健康レベル別演習Ⅱの資料を活用する。

■ フィードバックの仕方

全体評価のフィードバックは、最終の実習記録返却時に、コメントを付した実習記録自己評価表の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)、発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)、健康レベル別看護学演習Ⅱ、発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)等での学習内容を発展させた内容を扱います。

レベルⅡ実習に合格していること、地域看護学の受験資格を有していることが履修の要件となります。

■ 成績評価の仕方

実習内容(実習への取り組み、カンファレンスの参加度など) 30 %、事前学習課題 10 %、実習記録 20 %、課題レポート 20 %、個人評

価表 20 % 計 100 %

■ オフィスアワー・研究室等

実習期間中の①学内学習日、② 12 : 10-13 : 00、③新田(451 研究室)、加藤(433 研究室)、由利(433 研究室)、林田(422 研究室)、宮内(433 研究室)実習担当教員の研究室にて対応する。

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（小児看護学）

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 「3」探求 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBNP304

○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代祐子

■ 授業の目的

子どもの身体的・精神的・社会的な成長発達の状態を捉えた上で、社会で生活する子どもと家族の育児状況を理解し、健康増進のための適切な援助を考える。

■ 到達目標

1. 社会で生活する子どもとその家族の生活状況、健康状態を理解し、健康増進のための援助を考案することができる。
2. 子どもと家族を取り巻く社会や小児保健医療制度を理解し、説明することができる。
3. 小児保健医療福祉チームにおける看護の役割を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. オリエンテーション：広尾キャンパス内にて、各フィールドのオリエンテーションを行う。また、各フィールドに関連のある法律・制度の事前学習内容を確認、共有する。
2. 実習：小児保健・小児科外来・乳児院・クリニックのいずれか 1 か所で実習を行う。各フィールドで出会う子どもと家族と触れ合い、スタッフと共に行動し、スタッフからのアドバイスを得る。
3. カンファレンス：各フィールドでカンファレンスを行い、事前学習を踏まえた学びを共有する。
4. 実務経験のある教員による指導：各実習フィールドに配置された実習指導者が、実習生へ実践における直接的な指導を担う。実習指導者は実習フィールドに勤務している看護師とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習期間：1 週間
2. 実習施設：日本赤十字社医療センター 小児保健／日本赤十字社医療センター 小児科外来／日本赤十字社医療センター附属 乳児院／東小金井駅前こどもクリニック／武蔵小金井駅前こどもクリニック

■ 教科書

- ①筒井真優美監修(2016)．小児看護学 第 8 版．日総研．
- ②筒井真優美監修(2017)．パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第 2 版．照林社．

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて文献を提示する。

■ フィードバックの仕方

レポート・実習記録のフィードバックは、コメントを付したレポート・実習記録の返却を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■ 他の授業科目との関連

履修には、レベルⅡ実習の単位を修得していること、地域看護学の修了試験受験資格を有していることが必須である。この科目を合格していなければ、看護学総合実習を履修することはできない。

この科目は、発達看護学概論(小児期)、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)、健康レベル別看護学演習Ⅱ、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習〔レベルⅢ〕の内容をもとに、地域で生活する子どもと家族に焦点を当てた実習である。

■ 成績評価の仕方

1. 自己評価 45 %
 2. 事前課題レポート 10 %
 3. 実習の記録&レポート 25 %
 4. 実習への取り組み 20 %
- ※詳細は、実習要項を参照のこと。

■ オフィスアワー・研究室等

実習期間中に自己学習日・学内学習日を設けており、その日をオフィスアワーとする。具体的な時間は、実習開始後に担当教員より提示する。

江本(419 研究室) 山内(443 研究室) 鈴木(453 研究室) 柴田(441 研究室) 田代(441 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 子どもの発達段階、行動傾向、病状などを考慮して、安全で安楽な環境を整え、事故防止に努める。
 2. 自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に臨む。
 3. 実習形式および記録の提出方法、面接方法は変更する可能性がある。
- ※詳細は、実習要項を参照のこと。

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（老年看護学）

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」擁護 「3」連携 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBNP304

○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、菅野心葉

■ 授業の目的

地域で生活する高齢者個人、その家族、それらの集団を対象とし、人々の健康を生活者の視点から捉え、看護活動を展開するために必要な知識・態度・技術を学ぶ。

■ 到達目標

1. 通所施設における高齢者とスタッフ・高齢者同士の関わりについて説明できる。
2. 高齢者が地域で生活を継続するための通所施設と自宅の連携のあり方について説明できる。
3. 高齢者にとっての通所施設への参加の意味について説明できる。
4. 高齢者の家族にとっての通所施設の役割について説明できる。
5. 高齢者と家族を取り巻く社会環境や介護保険制度等について説明できる。

■ 学習の進め方

1. 初日の学内演習：老年看護学領域を希望した学生を対象に実習のオリエンテーションを行い、その後、学生は実習に関連した重要事項のレポート作成に取り組む。
2. 看護師に必要な在宅で暮らす高齢者への看護実践に関する能力を身につけるために、施設の現場において、実習指導者と実習担当教員の指導の下、実習に関する重要事項に基づきながら、通所施設のプログラムに参加する。
3. 実習の学びをもとに、地域で暮らす高齢者への支援について検討し、発表資料を作成する。作成した資料をもとにグループで発表し、ディスカッションを行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：1 週間

実習時間：原則として 8:10～16:00

実習施設：日本赤十字社 総合福祉センター 通所施設（デイケアとデイサービスの 2 施設のうちの 1 施設）（千葉・清田・池田・菅野・坂口）

*詳細は実習要項を参照して下さい。

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

川島みどり監修(2015). 老年看護学. 看護の科学社.

その他、老年看護学の授業で配布した資料等

■ フィードバックの仕方

最終の実習記録とレポートのフィードバックについて、実習担当教員がコメントを付した実習記録やレポートの返却を通じて行う。実習担当教員が3月までにポータルで返却可能な時間と場所を連絡するので、取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

発達看護学概論(老年期)、発達看護学Ⅲ①、②、健康レベル別看護学演習、発達看護学Ⅲ実習(老年期の看護)(レベルⅢ)の内容をもとに、地域で生活する高齢者に焦点を当てた実習内容となる。なお、地域看護学、在宅看護学の終了試験受験資格を有することが必要である。

■ 成績評価の仕方

1. 実習の参加態度 20 %
2. 学内学習記録(重要項目レポート) 10 %
3. 臨地実習記録(行動計画、参加したプログラム、カンファレンス) 40 %
4. 発表資料 10 %
5. レポート 20 %

■ オフィスアワー・研究室等

学内演習日木曜日、金曜日の 12:30～13:00 坂口(414 研究室)、千葉(429 研究室)、清田(429 研究室)、池田・菅野(450 研究室)

■ 受講上の注意事項

実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況によって変更する可能性がある。

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－2

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講期：前期/後期 対応 DP：「1」実践 「2」変化 「3」連携 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBNP401

○石田千絵、井口理、吉川悦子、西田 志穂、佐藤 太地

■ 授業の目的

個々の健康を生活者の視点からとらえ、地域で生活する個人、家族、集団、それらを取り巻く地域を対象とした看護活動を展開するために必要な知識・技術・態度を学ぶとともに、基礎的な実践能力を習得する。

■ 到達目標

1. 疾病や障害を持つ人とその家族を地域の生活者としてとらえ、療養者とその家族に必要な看護を考えることができる。
2. 地域における、保健・医療・福祉サービスとそれらの連携について理解し、看護の役割を認識することができる。
3. 地区踏査と既存の資料から地域の強みと弱みを抽出し、療養者の暮らしと看護の役割を考察する。

■ 学習の進め方

臨地の実習施設は、訪問看護ステーションであり、訪問場面の見学、看護過程の展開を行う。

また、実習地域の地区踏査を行い、事前学習の資料と統合し、地域の特性(強み・弱み)をまとめ、学内の報告会で発表する。

そのため、事前学習として、地域の概要を調べる、実習目標を明確にして臨むなどに関わる事前学習課題を設けている(オリエンテーションで説明する)。また、事後学習では、実習での学びと地域の特性(強み・弱み)を統合し、報告会に向けた準備を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習は、4 年次の 6 月～10 月までの期間に行う。オリエンテーションは別途行う。詳細は、実習要項・オリエンテーション等にて通知する。

パンデミック等の影響で実習方法等を変更する可能性がある。変更時には、随時周知する。

■ 教科書

適宜、掲示する。

■ 参考書、参考資料等

厚生労働統計協会編、国民衛生の動向 2021/2022 年、厚生労働統計協会、2021、東京

■ フィードバックの仕方

実習記録は、4 年次末に返却する。

■ 他の授業科目との関連

履修要件：地域看護学および在宅看護学の修了試験受験資格を有する。

■ 成績評価の仕方

1. 事前課題レポート 10 点
 2. 実習への取り組み 30 点
 3. 実習記録 30 点
 4. 実習後レポート 20 点
 5. 地区診断の課題の取り組み状況と学内報告会発表 10 点
- なお、欠席、遅刻・早退、実習態度は、その都度、減点する。

■ オフィスアワー・研究室等

各オリエンテーションおよび報告会の実施日の 12：30～13：00。

実習期間中は、教員が実習先の訪問看護ステーションにいくため、連絡・相談はメールや電話で行う。

■ 受講上の注意事項

1. 実習オリエンテーションの参加、事前課題の提出は、実習の前提条件となるので留意する。
2. 担当教員および学務課に最新の連絡先を届けて、実習に臨む。
3. 交通事故に留意し、緊急時は実習指導者、教員、事務、警察に適宜連絡する。

看護学総合実習

単位：3単位 必修/選択：必修 履修年次：4年・編入4年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」連携 「3」成長 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBNP450

○川原由佳里、○吉田みづ子、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈、○鷹野朋実、堀井湖浪、古城門靖子、堀川英起、内藤なづな、○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、河田照絵、田代幸子、桑原雄三、守谷千明、山中源治、○新田真弓、斎藤英子、東園子、加藤千穂、稲田千晴、谷本美保子、林田聖子、由利紗織、宮内愛、北井喜美恵、○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代祐子、○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、菅野心葉、○石田千絵、吉川悦子、井口理、西田志穂、佐藤太一、○佐々木幾美、西田朋子、○安部陽子、○野口眞貴子、内木美恵、織方愛、富澤真紀、橋爪朋子

■ 授業の目的

- (1) 地域社会で生活する対象を全体論的に把握し、より望ましい健康や問題解決に向けて総合的な看護実践を行う。
- (2) 看護実践場面における現象を倫理的視点から考察する。
- (3) 保健・医療・福祉その他の関連職種とのチームアプローチや多職種連携などを通して、良質で総合的な看護実践を展開する。
- (4) エビデンスに基づいた看護実践を通して、看護の専門的な役割・機能を探究し、看護の概念や自己の看護観をより深く吟味する。

■ 到達目標

- (1) 対象にとってのウェルネス(Wellness)を目指し、対象を全体論的に捉え、看護援助を実践することができる。
- (2) 看護実践場面における倫理的課題に着目し、対応策を検討することができる。
- (3) 保健・医療・福祉その他の関連職種とのチームアプローチや多職種連携に参加し、看護の調整的な機能や連携機能に携わることができる。
- (4) 看護におけるマネジメント、医療安全などの視点から、看護の質保証に向けた取り組みを学ぶことができる。
- (5) 看護実践を通して看護の専門性を探究することができる。
- (6) これまでの実習経験を応用し、自立した実践や主体的な学習に取り組むことができる。
- (7) 既習の理論・概念および文献を応用し、看護の概念や自己の看護観を吟味することができる。

■ 学習の進め方

AL

4年次実習要項をよく確認する他、実習担当教員の指導を受けながら学修を進める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：2021年10月18日(月)～11月5日(金)

実習施設：基礎・成人看護学、精神保健看護学、母性看護学、小児看護学、老年看護学、地域看護学、国際・災害看護学の領域のいずれかの領域で総合実習を行う。各領域で指定された実習施設でそれぞれ実習を行う。

実習時間：8時30分～16時30分を原則とする。但し、実習場所によって変更することができる。

実習方法：総合実習オリエンテーション等で、各領域の総合実習の目的、特徴などについて説明を行う。その説明内容をもとにした学生の希望によって、各領域に分かれて実習を行う。

詳細は4年次実習要項を参照。

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

4年次実習要項。その他、必要な場合は実習担当教員から指示する。

■ 他の授業科目との関連

看護学総合実習はこれまでの実習を踏まえた4年間の総仕上げの実習となる。レベルⅠ～Ⅳまでの全ての実習、履修の手引きに記載された各実習の履修要件となる全ての講義・演習科目に関連する。

■ 成績評価の仕方

出席日数、実習への取り組み、実習記録、ケース発表(学習体験発表)、レポート、評価表等を参考にして教員が総合的に評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

実習を行う領域が決定後、担当教員に確認する。

■ 受講上の注意事項

- * 実習領域及び実習施設は希望通りにいかない場合もあること。
- * 詳細は、総合実習オリエンテーションや実習要項で確認すること。
- * COVID-19感染症等の状況により、スケジュールや実習方法が変更される可能性があります。
変更がある場合には、担当教員からポータル、Glexaメール等で連絡がありますので、よく確認してください。

研究方法論Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」変化 「2」成長 「3」擁護 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBRE300

○江本 リナ、渋谷 真樹、坂口 千鶴、古城門 靖子、清田 明美、山内 朋子、川崎 修一、川崎 洋平、稲田 千晴、橋爪 朋子、角田 敦彦

■授業の目的

- ・看護現象を客観的に捉え、その中に存在する疑問あるいは問題を科学的に探求する能力を養う。
- ・看護現象を探求し、看護の質を向上させるための看護研究方法論の基礎を学習する。
- ・研究課題に関して、社会の動向を踏まえた文献検討のスキルを身につける。

■到達目標

1. 看護における研究の定義や意義、研究テーマの絞り込みのプロセス、主な方法論的アプローチについて説明できる。
2. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
3. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
4. 文献を検索、整理・分析し、文献検討としてまとめることができる。

■学習の進め方

AL

1. 看護研究を取り組むにあたって関心のあるテーマを決める。
2. テーマに沿って関連のある既存の研究を調べる(文献検索)。
3. 入手した研究をもとにテーマに沿ってまとめ、研究課題を考察する(文献検討)。
4. 教員のオフィスアワーを利用して、文献検索・文献検討のアドバイスを受ける。
5. 文献検索・文献検討ステップ6の後、文献検討レポートを授業概要に記載されている日時までに提出する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／看護研究とは－研究の概念と基本的ステップの理解 事前学修：[30分] 研究テーマとして関心のあることをノートにまとめる 事後学修：[30分] 基本ステップをノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
2	量的研究①：量的研究とは1 事前学修：[30分] 量的研究とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の復習(量的研究に関して)	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	川崎(洋)
3	量的研究②：量的研究とは2 事前学修：[30分] 量的研究の進め方を調べてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の復習(量的研究に関して)	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	川崎(洋)
4	質的研究①：質的研究とは 事前学修：[30分] 質的研究とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：[30分] 関心のあるテーマに関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
5	質的研究②：質的研究の進め方 事前学修：[30分] 質的研究のテーマをノートにまとめる 事後学修：[30分] 質的研究に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
6	質的研究③：分析方法 事前学修：[30分] 質的研究の進め方をノートにまとめる 事後学修：[30分] インタビュー結果から逐語録を作成する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

No	内容	形式	教員
7	質的研究④：分析の実際 事前学修：[30 分] インタビュー結果から逐語録を作成する 事後学修：[30 分] 逐語録を読み込んで分析したことを書き込む	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
8	文献を用いるということ／研究テーマの絞り込み／研究方法を考える 事前学修：[30 分] 関心のある文献を1つ選び、概要をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究テーマの絞り込みポイントをノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
9	文献検討とは／文献検討レポートの書き方 事前学修：[30 分] 文献検討とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：[30 分] 文献検討に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
10	文献検索・文献検討：ステップ1 事前学修：[30 分] 自己の検索キーワードを検討してノートにまとめる 事後学修：[30 分] 文献検索を行う	演習	全員
11	文献検索・文献検討：ステップ2 事前学修：[30 分] 文献検索を行う 事後学修：[30 分] 検索した文献を読んで概要をノートにまとめる	演習	全員
12	文献検索・文献検討：ステップ3 事前学修：[30 分] 文献検索を行う 事後学修：[30 分] 検索した文献を読んで文献検討の柱をノートにまとめる	演習	全員
13	文献検索・文献検討：ステップ4 事前学修：[30 分] 文献検討を行いレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究課題を考察してレポートにまとめる	演習	全員
14	文献検索・文献検討：ステップ5 事前学修：[30 分] 文献検討を行いレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究課題を考察してレポートにまとめる	演習	全員
15	文献検索・文献検討：ステップ6 事前学修：[30 分] 研究課題を考察してレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 文献検討レポートを作成して提出する	演習	全員

■ 教科書

授業内容に沿って随時資料を配付する。そのため、教科書は特に指定しない。

■ 参考書、参考資料等

授業内容に沿って参考資料を随時提示する。

■ フィードバックの仕方

- ・提出された事後課題のフィードバックは、次回授業時に解説、または授業の最終回までに解説資料ないしコメント付き資料の配布・返却を通じて行う。
- ・文献検討レポートのフィードバックは、後期科目研究方法論Ⅱの第1回目授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

- ・本科目の学習内容の理解に基づき、後期科目研究方法論Ⅱではより発展的な内容を行う。
- ・本科目の単位修得が、4年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。
- ・本科目を基に、4年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、文献検討レポート 80%

■ オフィスアワー・研究室等

文献検索・文献検討の演習時間、および授業日の 12:30-12:50 をオフィスアワーとする。

江本(419 研究室)、渋谷(404 研究室)、坂口(414 研究室)、古城門(412 研究室)、清田(431 研究室)、山内(443 研究室)、川崎(修)(402 研究室)、川崎(洋)(407 研究室)、稲田(416 研究室)、橋爪(408 研究室)、角田(410 研究室)

■ 受講上の注意事項

この科目は講義形式が変更になる可能性がある。

研究方法論Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」変化 「2」成長 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBRE300

○江本 リナ、渋谷 真樹、坂口 千鶴、古城門 靖子、清田 明美、山内 朋子、川崎 修一、川崎 洋平、稲田 千晴、橋爪 朋子、角田 敦彦

■授業の目的

- ・看護現象を客観的に捉え、その中に存在する疑問あるいは問題を科学的に探求する能力を養う。
- ・看護現象を探求し、看護の質を向上させるための看護研究方法論の基礎を学習する。
- ・研究課題に関して、社会の動向を踏まえた文献検討のスキルを身につける。

■到達目標

1. 看護における研究の定義や意義、研究テーマの絞り込みのプロセス、主な方法論的アプローチについて説明できる。
2. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
3. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
4. 文献を検索、整理・分析し、文献検討としてまとめることができる。

■学習の進め方

AL

1. 看護研究を取り組むにあたって関心のあるテーマを決める。
2. テーマに沿って関連のある既存の研究を調べる(文献検索)。
3. 入手した研究をもとにテーマに沿ってまとめ、研究課題を考察する(文献検討)。
4. 教員のオフィスアワーを利用して、文献検索・文献検討のアドバイスを受ける。
5. 文献検索・文献検討ステップ6の後、文献検討レポートを授業概要に記載されている日時までに提出する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／看護研究とは－研究の概念と基本的ステップの理解 事前学修：[30分] 研究テーマとして関心のあることをノートにまとめる 事後学修：[30分] 基本ステップをノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
2	量的研究①：量的研究とは1 事前学修：[30分] 量的研究とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の復習(量的研究に関して)	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	川崎(洋)
3	量的研究②：量的研究とは2 事前学修：[30分] 量的研究の進め方を調べてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の復習(量的研究に関して)	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	川崎(洋)
4	質的研究①：質的研究とは 事前学修：[30分] 質的研究とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：[30分] 関心のあるテーマに関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
5	質的研究②：質的研究の進め方 事前学修：[30分] 質的研究のテーマをノートにまとめる 事後学修：[30分] 質的研究に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
6	質的研究③：分析方法 事前学修：[30分] 質的研究の進め方をノートにまとめる 事後学修：[30分] インタビュー結果から逐語録を作成する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本

No	内容	形式	教員
7	質的研究④：分析の実際 事前学修：[30 分] インタビュー結果から逐語録を作成する 事後学修：[30 分] 逐語録を読み込んで分析したことを書き込む	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
8	文献を用いるということ／研究テーマの絞り込み／研究方法を考える 事前学修：[30 分] 関心のある文献を1つ選び、概要をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究テーマの絞り込みポイントをノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	江本
9	文献検討とは／文献検討レポートの書き方 事前学修：[30 分] 文献検討とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：[30 分] 文献検討に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	山内
10	文献検索・文献検討：ステップ1 事前学修：[30 分] 自己の検索キーワードを検討してノートにまとめる 事後学修：[30 分] 文献検索を行う	演習	全員
11	文献検索・文献検討：ステップ2 事前学修：[30 分] 文献検索を行う 事後学修：[30 分] 検索した文献を読んで概要をノートにまとめる	演習	全員
12	文献検索・文献検討：ステップ3 事前学修：[30 分] 文献検索を行う 事後学修：[30 分] 検索した文献を読んで文献検討の柱をノートにまとめる	演習	全員
13	文献検索・文献検討：ステップ4 事前学修：[30 分] 文献検討を行いレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究課題を考察してレポートにまとめる	演習	全員
14	文献検索・文献検討：ステップ5 事前学修：[30 分] 文献検討を行いレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 研究課題を考察してレポートにまとめる	演習	全員
15	文献検索・文献検討：ステップ6 事前学修：[30 分] 研究課題を考察してレポートにまとめる 事後学修：[30 分] 文献検討レポートを作成して提出する	演習	全員

■ 教科書

授業内容に沿って随時資料を配付する。そのため、教科書は特に指定しない。

■ 参考書、参考資料等

授業内容に沿って参考資料を随時提示する。

■ フィードバックの仕方

- ・提出された事後課題のフィードバックは、次回授業時に解説、または授業の最終回までに解説資料ないしコメント付き資料の配布・返却を通じて行う。
- ・文献検討レポートのフィードバックは、後期科目研究方法論Ⅱの第1回目授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

- ・本科目の学習内容の理解に基づき、後期科目研究方法論Ⅱではより発展的な内容を行う。
- ・本科目の単位修得が、4年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。
- ・本科目を基に、4年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、文献検討レポート 80%

■ オフィスアワー・研究室等

文献検索・文献検討の演習時間、および授業日の 12:30-12:50 をオフィスアワーとする。

江本(419 研究室)、渋谷(404 研究室)、坂口(414 研究室)、古城門(412 研究室)、清田(431 研究室)、山内(443 研究室)、川崎(修)(402 研究室)、川崎(洋)(407 研究室)、稲田(416 研究室)、橋爪(408 研究室)、角田(410 研究室)

■ 受講上の注意事項

この科目は講義形式が変更になる可能性がある。

研究方法論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」擁護 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBRE350

○江本 リナ、渋谷 真樹、遠藤 花子、堀井 湖浪、千葉 京子、山内 朋子、稲田 千晴、堀川 英起、角田 敦彦、橋爪 朋子、池田 良輔子

■ 授業の目的

- ・看護現象を探究し、看護の質を向上させるための看護研究方法論の基礎を学習する。
- ・研究疑問を明確化し、研究計画書を作成するスキルを身につける。

■ 到達目標

1. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
2. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
3. 研究全体の流れを説明することができる。
4. 看護研究における倫理的配慮について説明できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 研究計画書作成の演習を行う。
2. 演習時間やオフィスアワーを利用して、研究計画書作成にあたってのアドバイスを受ける。
3. 担当教員に演習時間やオフィスアワー以外で相談に行く際には、事前に教員の予定を確認する。
4. 第1回目の研究計画書を授業概要に記載されている日時までに提出する。
5. 研究計画書作成ステップ11の後、最終版の研究計画書を授業概要に記載されている日時までに提出する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	授業オリエンテーション／研究計画書とは 事前学修：[30分] 研究方法論Ⅰの授業資料を復習し、研究の基本ステップをノートにまとめる 事後学修：[30分] 研究方法論Ⅰのレポートに対する教員のコメントを参考に、研究の動機、背景、研究目的、研究の意義を練る	講義	江本
2	研究計画書作成について 事前学修：[30分] 研究方法論Ⅰの授業資料を復習し、研究の基本ステップをノートにまとめる 事後学修：[30分] 研究方法論Ⅰのレポートに対する教員のコメントを参考に、研究の動機、背景、研究目的、研究の意義を練る	講義	江本
3	研究者の倫理 事前学修：[30分] 第1回・第2回の授業資料を復習し、研究計画書を書く際のポイントをノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を復習し、研究者の姿勢について考えたことをノートにまとめる	講義	江本
4	看護研究における倫理的配慮 事前学修：[30分] 研究者の倫理について振り返り、研究における倫理についてポイントをノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を復習し、各自の研究テーマ・研究目的に沿った倫理的配慮を練る	講義	江本
5	研究計画書作成：ステップ1（演習） 事前学修：[30分] 文献検索・文献検討を行う 事後学修：[30分] 研究テーマを討議してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	全員
6	研究計画書作成：ステップ2（演習） 事前学修：[30分] 文献検索・文献検討を行う 事後学修：[30分] 研究テーマ・研究目的・研究の意義を検討してレポートにまとめて提出する（第1回目の研究計画書の提出）	演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	全員

No	内容	形式	教員
7	研究計画書作成：ステップ3（演習）／第1回の研究計画書返却 事前学修：[30分] 文献検索・文献検討を行う 事後学修：[30分] 研究テーマ・研究目的・研究の意義を再検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
8	研究計画書作成：ステップ4（演習） 事前学修：[30分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30分] 検索した文献を読んで文献検討の柱を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
9	研究計画書作成：ステップ5（演習） 事前学修：[30分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
10	研究計画書作成：ステップ6（演習） 事前学修：[30分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
11	研究計画書作成：ステップ7（演習） 事前学修：[30分] 研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
12	研究計画書作成：ステップ8（演習） 事前学修：[30分] 研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
13	研究計画書作成：ステップ9（演習） 事前学修：[30分] 研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
14	研究計画書作成：ステップ10（演習） 事前学修：[30分] 倫理的配慮を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
15	研究計画書作成：ステップ11（演習） 事前学修：[30分] 倫理的配慮を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成して提出する(最終版の研究計画書提出)	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員

■ 教科書

授業内容に沿って随時資料を配付する。そのため、教科書は特に指定しない。

■ 参考書、参考資料等

授業内容に沿って参考資料を随時提示する。

■ フィードバックの仕方

- ・提出された事後課題のフィードバックは、次回授業時に解説、または授業の最終回までに解説資料ないしコメント付き資料の配布・返却を通じて行う。
- ・提出された第1回目の研究計画書のフィードバックは、研究計画書作成ステップ3の授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。
- ・提出された最終版の研究計画書のフィードバックは、4年次の4月に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

- ・本科目は、前期科目研究方法論Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を取り扱う。
- ・本科目の単位取得が、4年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。
- ・本科目を基に、4年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20%

2. 研究計画書最終版 80%

■ オフィスアワー・研究室等

研究計画書作成の演習時間、および授業日の 12:30-12:50 をオフィスアワーとする。

江本(419 研究室)、渋谷(404 研究室)、遠藤(花)(401 研究室)、堀井(427 研究室)、千葉(京)(429 研究室)、山内(443 研究室)、稲田(416 研究室)、橋爪(408 研究室)、堀川(426 研究室)、池田(良)(450 研究室)、角田(410 研究室)

■ 受講上の注意事項

この科目は講義形式が変更になる可能性がある。

研究方法論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」擁護 「3」成長 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBRE350

○江本 リナ、渋谷 真樹、遠藤 花子、堀井 湖浪、千葉 京子、山内 朋子、稲田 千晴、堀川 英起、角田 敦彦、橋爪 朋子、池田 良輔子

■ 授業の目的

- ・看護現象を探究し、看護の質を向上させるための看護研究方法論の基礎を学習する。
- ・研究疑問を明確化し、研究計画書を作成するスキルを身につける。

■ 到達目標

1. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
2. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
3. 研究全体の流れを説明することができる。
4. 看護研究における倫理的配慮について説明できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 研究計画書作成の演習を行う。
2. 演習時間やオフィスアワーを利用して、研究計画書作成にあたってのアドバイスを受ける。
3. 担当教員に演習時間やオフィスアワー以外で相談に行く際には、事前に教員の予定を確認する。
4. 第1回目の研究計画書を授業概要に記載されている日時までに提出する。
5. 研究計画書作成ステップ11の後、最終版の研究計画書を授業概要に記載されている日時までに提出する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	授業オリエンテーション／研究計画書とは 事前学修：[30分] 研究方法論Ⅰの授業資料を復習し、研究の基本ステップをノートにまとめる 事後学修：[30分] 研究方法論Ⅰのレポートに対する教員のコメントを参考に、研究の動機、背景、研究目的、研究の意義を練る	講義	江本
2	研究計画書作成について 事前学修：[30分] 研究方法論Ⅰの授業資料を復習し、研究の基本ステップをノートにまとめる 事後学修：[30分] 研究方法論Ⅰのレポートに対する教員のコメントを参考に、研究の動機、背景、研究目的、研究の意義を練る	講義	江本
3	研究者の倫理 事前学修：[30分] 第1回・第2回の授業資料を復習し、研究計画書を書く際のポイントをノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を復習し、研究者の姿勢について考えたことをノートにまとめる	講義	江本
4	看護研究における倫理的配慮 事前学修：[30分] 研究者の倫理について振り返り、研究における倫理についてポイントをノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を復習し、各自の研究テーマ・研究目的に沿った倫理的配慮を練る	講義	江本
5	研究計画書作成：ステップ1（演習） 事前学修：[30分] 文献検索・文献検討を行う 事後学修：[30分] 研究テーマを討議してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	全員
6	研究計画書作成：ステップ2（演習） 事前学修：[30分] 文献検索・文献検討を行う 事後学修：[30分] 研究テーマ・研究目的・研究の意義を検討してレポートにまとめて提出する（第1回目の研究計画書の提出）	演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	全員

No	内容	形式	教員
7	研究計画書作成：ステップ3（演習）／第1回の研究計画書返却 事前学修：[30分] 文献検索・文献検討を行う 事後学修：[30分] 研究テーマ・研究目的・研究の意義を再検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
8	研究計画書作成：ステップ4（演習） 事前学修：[30分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30分] 検索した文献を読んで文献検討の柱を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
9	研究計画書作成：ステップ5（演習） 事前学修：[30分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
10	研究計画書作成：ステップ6（演習） 事前学修：[30分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
11	研究計画書作成：ステップ7（演習） 事前学修：[30分] 研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
12	研究計画書作成：ステップ8（演習） 事前学修：[30分] 研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
13	研究計画書作成：ステップ9（演習） 事前学修：[30分] 研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
14	研究計画書作成：ステップ10（演習） 事前学修：[30分] 倫理的配慮を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
15	研究計画書作成：ステップ11（演習） 事前学修：[30分] 倫理的配慮を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成して提出する（最終版の研究計画書提出）	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員

■ 教科書

授業内容に沿って随時資料を配付する。そのため、教科書は特に指定しない。

■ 参考書、参考資料等

授業内容に沿って参考資料を随時提示する。

■ フィードバックの仕方

- ・提出された事後課題のフィードバックは、次回授業時に解説、または授業の最終回までに解説資料ないしコメント付き資料の配布・返却を通じて行う。
- ・提出された第1回目の研究計画書のフィードバックは、研究計画書作成ステップ3の授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。
- ・提出された最終版の研究計画書のフィードバックは、4年次の4月に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

- ・本科目は、前期科目研究方法論Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を取り扱う。
- ・本科目の単位取得が、4年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。
- ・本科目を基に、4年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20%

2. 研究計画書最終版 80%

■ オフィスアワー・研究室等

研究計画書作成の演習時間、および授業日の 12:30-12:50 をオフィスアワーとする。

江本(419 研究室)、渋谷(404 研究室)、遠藤(花)(401 研究室)、堀井(427 研究室)、千葉(京)(429 研究室)、山内(443 研究室)、稲田(416 研究室)、橋爪(408 研究室)、堀川(426 研究室)、池田(良)(450 研究室)、角田(410 研究室)

■ 受講上の注意事項

この科目は講義形式が変更になる可能性がある。

研究方法論Ⅲ(量的研究方法論)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：集中 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBRE401

○川崎 洋平

■ 授業の目的

看護研究に必要な統計手法に関して、実際のデータを用いて解析方法について学ぶ。

統計ソフト SPSS の使用法を学ぶ。

■ 到達目標

1. 統計ソフトを用いて、グラフを描いたり、データを要約して、データの特性を説明できる。
2. 研究目的とデータの性質に適する統計手法を選択して、母数に関する推定および検定を行える。
3. 統計ソフトの出力から分析結果を読みとり、解釈できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：統計手法の講義と統計ソフト SPSS を利用した実データの解析演習を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	量的研究についての復習 事前学修：[30分] 量的研究のテーマを考え、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
2	データの型から適切な統計処理を学ぶ・基礎統計量と区間推定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
3	2つの母平均の差の検定、ウィルコクソンの順位検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
4	対応のある2つの母平均の差の検定、ウィルコクソンの符号付順位検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
5	1元配置の分散分析と多重比較、クラスカル・ウォリスの検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
6	共分散分析、2元配置の分散分析 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
7	独立性の検定、2つの母比率の差の検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平
8	レポート課題の発表 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認)と次回の統計手法の予習	講義・演習	川崎 洋平

■ 教科書

授業で使用する資料は Glaxa にアップロードをするので、各自ダウンロード・印刷すること

■ 参考書、参考資料等

石村 貞夫・石村 光資郎(2018). SPSS による統計処理の手順. 第8版. 東京図書株式会社

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、レポート提出後2カ月以内を目途に Glaxa で行う。

■ 他の授業科目との関連

研究方法論Ⅲ(量的研究方法論)は保健統計学の学習内容の理解に基づき、実際に解析を実行できるようになるための内容を扱う。
2年次開講科目「情報科学」を事前に履修しておくことが望ましいが、未履修でも構わない。

■ 成績評価の仕方

レポート70%、課題への取り組み30%

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の金曜日(2限・18時以降)に407研究室又はオンラインで質問を受け付ける

研究Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」変化 「2」成長 「3」擁護 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBRE400

○全教員

■授業の目的

学生個々が関心のある研究テーマを探究するための研究計画書を作成する。

■到達目標

- 1) 自己の関心のある看護や人間に関する現象を明らかにすることができる。
- 2) 関連する文献を検討し、自己の研究テーマを明確化することができる。
- 3) 研究テーマを科学的に探究するための方法を検討できる。
- 4) 研究を実施するにあたって必要な倫理的配慮を検討できる。
- 5) 規定の執筆要領に従い、計画書を作成することができる。

■学習の進め方

- 1) 「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」の単位修得見込者は、3年次の1・2月中に希望する研究テーマと領域等を学務課に提出する(指導教員・領域は3月下旬に発表される)。
- 2) 学生は毎回、自己の研究テーマに関する発表資料を準備する。学生による発表、学生間での討論、教員の指導により授業を展開する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 研究方法論Ⅰ・Ⅱの授業内容を復習し要点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 自己の研究テーマを検討する	発表・討論	全教員
2	研究疑問や関心のある現象の明確化 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
3	研究テーマの検討と絞込み 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
4	研究テーマに関連した文献検討 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
5	研究テーマに関連した文献検討 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
6	研究テーマに関連した文献検討 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
7	文献検討のまとめ・研究の方向性の検討 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
8	研究方法の検討：デザインの選択 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
9	研究方法の検討：研究場所・参加者・参加者の募り方 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
10	研究方法の検討：データ収集・分析方法 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
11	研究方法の検討：倫理的配慮 事前学修：[30分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員

No	内容	形式	教員
12	研究計画書の作成 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
13	研究計画書の作成 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
14	研究計画書の作成 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
15	研究計画書の作成 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 研究計画書の提出に向けて準備をする	発表・討論	全教員

■ 教科書

各担当教員の指示による

■ 参考書、参考資料等

「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」の項参照(配布資料含む)

■ フィードバックの仕方

後期に、指導教員よりコメントを付した研究計画書の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」(いずれも 1 単位・必修)の単位を修得していることが条件である。「研究Ⅰ」に続いて「研究Ⅱ」を履修する場合、教員の指導のもとに夏季休業(前期)にデータ収集を実施する計画を立案し、実施することができる。

■ 成績評価の仕方

評価は作成された研究計画書にて行う。研究計画書は所定の期日までに学務課(レポートボックス)に提出する。提出が遅れた場合は原則として単位認定の対象とならない(9 月卒業者は別途、提出期限を設ける)。評価は指導教員が以下の観点で行う。①研究の着眼点、意義、必要性 ②研究課題に対する研究方法の適切性 ③研究の独自性・独創性 ④研究計画書の形式と論理性・明瞭性・簡潔性 ⑤研究に取り組む積極性・主体性 など

■ オフィスアワー・研究室等

指導教員の決定後に確認する。

■ 受講上の注意事項

「研究Ⅰ」に要する費用はすべて学生の個人負担である。

研究Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」成長 「3」擁護 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBRE450

○全教員

■授業の目的

「研究Ⅰ」で作成した研究計画書に基づいて、教員の指導のもと、学生個々が関心のある研究テーマを探索し、研究論文を作成することを目的とする。

■到達目標

- 1) 研究計画書に基づき、研究フィールドを開拓し、研究参加者を募ることができる。
- 2) 研究テーマに沿って必要なデータを収集することができる。
- 3) 研究テーマに沿って収集したデータを分析し、解釈することができる。
- 4) 明らかになった研究結果を既存の知識と関連づけることができる。
- 5) 規定の執筆要領に従い、研究論文を作成することができる。

■学習の進め方

- 1) 3年次の2月中に学務課に希望する研究テーマ・領域等を提出する際、「研究Ⅰ」に継続して「研究Ⅱ」を履修するかどうかを届け出る。「研究Ⅰ」と「研究Ⅱ」の指導教員は原則として同じ教員が担当する。
- 2) 4年次の4月の履修登録期間中に正式な「研究Ⅱ」の履修届を学務課に提出する。ただし4年次前期の「研究Ⅰ」を履修してみて「研究Ⅱ」の履修を取りやめる場合、また4月の時点で「研究Ⅱ」の履修届を出していないくて追加履修を希望する場合、後期の履修登録期間中に履修の取り消しあるいは履修届の手続きをすることができる(※いずれの場合も必ず事前に指導教員と相談の上で決定すること)。
- 3) 学生は毎回、自己の研究テーマに関する発表資料を準備する。学生による発表、学生間での討論、教員の指導により授業を展開する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 研究Ⅰのコメントを参考に研究計画書を修正する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
2	研究フィールド・参加者の募集 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
3	データ収集：観察法・面接法・質問紙等の検討 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
4	データ収集：実施 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
5	データ収集：実施 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
6	データ収集：実施 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
7	データ分析：データの整理・分析方法の検討 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
8	データ分析：実施 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
9	データ分析：実施 事前学修：[30分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員

No	内容	形式	教員
10	データ分析：実施 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
11	研究結果の考察 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
12	研究論文の作成：結果の記述 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
13	研究論文の作成：考察他 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
14	研究論文の作成：抄録の作成 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
15	研究論文の作成：論文を整える 事前学修：[30 分] 研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に論文提出の準備をする	発表・討論	全教員

■ 教科書

各担当の指示による

■ 参考書、参考資料等

「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」の項参照(配布資料含む)

■ フィードバックの仕方

「研究Ⅱ」の評価後にコメントを付した研究論文の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

「研究Ⅰ」を履修していることが条件である。

■ 成績評価の仕方

評価は作成された研究論文にて行う。研究論文は所定の期日までに学務課に提出する。なお、提出が遅れた場合は、原則として単位認定の対象とならない(9月卒業者は別途、提出期限を設ける)。評価は指導教員が以下の観点で行う。①データ収集の適切性 ②データ分析の適切性 ③論文の形式および論理性・明瞭性・簡潔性④研究に取り組む積極性・主体性 など

■ オフィスアワー・研究室等

各指導教員に確認する。

■ 受講上の注意事項

「研究Ⅱ」に要する費用はすべて学生の個人負担とする。

公衆衛生看護活動展開論

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年・編入 3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」変化 「2」連携 「3」探求 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBPN350

○吉川 悦子、井口 理、佐藤 太地

■ 授業の目的

学校保健、産業保健について、歴史、理念と目的、制度とシステム、活動の実際と課題を学ぶ
地域で生活する住民を取り巻く生活環境の特徴と健康・生活との関係、課題と対策を学ぶ

■ 到達目標

1. 学校・産業保健活動の歴史、理念と目的、法規や制度を説明できる
2. 公衆衛生看護活動の展開ツールとしての保健指導、家庭訪問、健康教育の意義とプロセス、保健師の役割を説明できる

■ 学習の進め方

AL

授業の展開：講義・演習を通して意見交換を行い、学校保健、産業保健の保健師活動について学習する
保健指導、家庭訪問は事例を用いた演習を行う
健康教育は企画書の作成や健康教育企画の実際の進め方について学習する

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	学校保健活動(理念と歴史、制度とシステム、活動の実際) 事前学修：[20 分] 教科書の該当ページを読み、A 4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義	吉川
2	産業保健活動 1 (歴史と理念、目的、制度とシステム) 事前学修：[20 分] 教科書の該当ページを読み、A 4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料を読み返す	講義	吉川
3	産業保健活動 2 (活動の実際と課題) 事前学修：[20 分] 教科書の該当ページを読み、A 4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[40 分] 提示された課題についてのミニレポートをまとめ、提出する	講義	吉川
4	公衆衛生保健活動のツール①事例に基づく保健指導演習 事前学修：[40 分] 提示された事例について事前に保健指導計画を立案する 事後学修：[40 分] 提示された課題についてのミニレポートをまとめ、提出する	演習	全員
5	公衆衛生保健活動のツール②家庭訪問の目的・対象・技術 事前学修：[20 分] 教科書の該当ページを、A 4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[40 分] 提示された事例について事前に家庭訪問計画を立案する	講義	吉川
6	公衆衛生保健活動のツール③家庭訪問演習 事前学修：[20 分] 提示された動画を見ながら家庭訪問計画に基づく技術項目について、 A 4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[40 分] 家庭訪問記録を作成する	演習	全員
7	公衆衛生保健活動のツール④家庭訪問演習 事前学修：[20 分] 家庭訪問計画に基づく技術項目について、A 4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[40 分] 家庭訪問記録を作成する	演習	全員
8	健康教育の基本(企画書の作成、実際の進め方) 事前学修：[20 分] 提示された課題に沿った資料について自分の意見をまとめておく 事後学修：[40 分] 提示された課題に沿った資料を作成し、提出する	講義	吉川

■ 教科書

松田 正己ら著 (2018). 標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動. 第 4 版. 医学書院
中村 裕美子ら著 (2020). 標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術. 第 4 版. 医学書院
厚生労働統計協会編(2022). 国民衛生の動向 vol.69 No.9 2022/2023. 一般社団法人厚生労働統計協会

■ 参考書、参考資料等

標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論. 医学書院(1 年次に購入した教科書を使用)
必要時追加資料を配布。文部科学省、厚生労働省、日本学校保健会、日本看護協会等 HP も参考にすること。

■ フィードバックの仕方

授業内に課したレポートのフィードバックは次回以降の授業時にコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に吉川研究室にて採点後の答案用紙の閲覧と採点基準の解説を通じて行う。フィードバック実施可能な時間はグレクサまたはポータルで示す。希望する場合は提示された時間に事前アポイントを取ったうえで来ること。

■ 他の授業科目との関連

保健師教育課程の必修科目

■ 成績評価の仕方

定期試験(70 %)、授業・演習への取り組み(30 %)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20～12:50

吉川(425 研究室) 未定(445 研究室) 井口(424 研究室)

■ 受講上の注意事項

* この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可(保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

公衆衛生看護管理論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」連携 「2」成長 「3」変化 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBPN400

○井口 理、石田 千絵、吉川 悦子

■ 授業の目的

保健師活動における公衆衛生看護管理の目的と展開方法についてとりあげる。地域住民の健康向上、地域の健康課題解決のための施策化のプロセスについて基本的な枠組みを理解し、公衆衛生看護管理における保健師の役割を考える。

■ 到達目標

- ・地域住民の健康向上を実現するための公衆衛生看護管理の目的と展開方法、健康危機管理、地域ケアシステムにおける保健活動について説明ができる。
- ・保健師が有する管理機能について理解し、説明できるとともに、公衆衛生看護管理における保健師に必要とされる態度や姿勢について考察できる。
- ・地域の健康課題を解決するために必要なPDCAサイクルを説明でき、地域の諸資源を活用しながらネットワークを構築し、住民や地域の諸資源と共同する能力について考察できる。

■ 学習の進め方

学生が自ら考え、学びを深めることができるように、事例検討や課題に対する意見交換を取り入れる。保健師活動は法律に則って実施されることが多いため、日頃より新聞やニュースを見て、社会情勢の変化や国の動きに関心を持つとよい。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	公衆衛生看護管理の基本：目的と視点 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[20分] 授業の配布資料を読み返しワークブックを適宜修正する	[講義]	井口
2	新任期から担う公衆衛生看護管理の実践① 地区管理 コミュニティ・アセスメントに必要な保健統計の知識 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[20分] 授業の配布資料を読み返しワークブックを適宜修正する	[講義]	井口
3	新任期から担う公衆衛生看護管理の実践② 事例管理 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	[講義]	井口
4	新任期から担う公衆衛生看護管理の実践③ 事業管理と施策化 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	[講義]	井口
5	新任期から担う公衆衛生看護管理の実践④ 組織のしくみ 予算と人事 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	[講義]	井口
6	新任期から担う公衆衛生看護管理の実践：情報管理 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	[講義]	吉川
7	健康危機管理と保健師活動① 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	[講義・演習]	石田・井口
8	健康危機管理と保健師活動② 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	[講義・演習]	石田・井口

■ 教科書

標準保健師講座 公衆衛生看護学概論 医学書院(1年次・編入3年次に購入した教科書)

■ 参考書、参考資料等

井伊久美子他(最新刊). 新版保健師業務要覧. 日本看護協会出版会
エリザベスTアンダーソン編、金川克子、早川和夫監訳、コミュニティアズパートナー地域看護学の理論と実践第2版、医学書院
金川克子・田高悦子編(2000). 地域看護診断〔第2版〕. 東京大学出版会
その他、必要時授業で紹介する

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に井口研究室にて採点後の答案用紙の閲覧と採点基準の解説を通じて行う。フィードバック実施可能な時間はグレクサまたはポータルで連絡する。希望する場合は提示された時間に事前アポイントを取ったうえで来ること。

■ 他の授業科目との関連

保健師教育課程の選択必修科目です。
公衆衛生看護学実習につながる学習です。

■ 成績評価の仕方

定期試験 60%、演習と授業への取り組み 40%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50 井口(424 研究室) 吉川(425 研究室) 石田(432 研究室)

■ 受講上の注意事項

* 本科目は保健師教育課程選択者のみ履修可(保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

公衆衛生看護方法論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」成長 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBPN351

○吉川 悦子、石田 千絵、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地

■授業の目的

公衆衛生看護技術のうち、健康教育の展開の上で必要な知識・技術を習得する

■到達目標

- ①健康教育の目的と意義について理解できる
- ②健康教育に活用できる理論および必要な技術について理解できる
- ③これまで学んだ知識、技術を用いて、集団を対象とした健康教育を学内で実施できる

■学習の進め方

AL

講義、演習で授業を進める。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	講義およびオリエンテーション ・健康教育の目的と意義、健康教育に活用できる理論、必要な技術(評価含む)を理解する ・演習オリエンテーション 事前学修：[30分] 教科書等で、関心のある健康教育テーマについて考える 事後学修：[60分] 授業の配布資料や健康教育テーマに関する情報を集め、個人で企画案を作成する	講義・GW	吉川・井口
2	企画書の作成1 演習オリエンテーション テーマに基づき、目的・目標・対象・主な内容等・評価計画について企画書を作成する 事前学修：[60分] 健康教育の目的、目標、評価について、自分なりの企画書を作成する 事後学修：[60分] 討議しグループで統合した健康教育企画書に関する追加情報を調べ、企画書を加筆修正する	GW	吉川・井口
3	企画書の作成2 ・テーマに基づき、目的・目標・対象・主な内容等・評価計画について企画書を完成する ・指導案・媒体案の作成を開始する 事前学修：[60分] 討議しグループで統合した健康教育企画書に関する追加情報を調べ、企画書を加筆修正する 事後学修：[60分] グループ内で討議した企画書を完成し、指導案・媒体に関する資料等を調べまとめる	GW	吉川・井口
4	指導案・媒体案の作成① 指導案の作成、媒体案の下書きを行う 事前学修：[90分] 計画した企画書に基づき、必要な情報を調べる 事後学修：[90分] 指導案・媒体案の作成を進める	GW	吉川・井口
5	指導案・媒体案の作成② ・指導案の作成・媒体案を完成させ、担当教員に確認してもらう ・予演会に向けて、健康教育実施のメンバーの動きなどの運営方法の確認を行う 事前学修：[90分] 指導案・媒体案の作成を進める 事後学修：[90分] 指導案・媒体案の修正と健康教育の練習	GW	吉川・井口
6	予演会および修正 ・予演会での指摘を踏まえた指導案・媒体案の修正を行う ・発表会に向けた練習を行う 事前学修：[90分] 効果的なプレゼンテーションについて確認する 事後学修：[90分] 予演会の振り返りと発表準備	GW	吉川・井口
7	発表会 事前学修：[60分] 発表練習を行う 事後学修：[60分] 発表会の振り返りと評価の実施を行う	発表	全員

No	内容	形式	教員
8	発表会および評価、まとめ 発表会を受けて、健康教育全体の評価を行い、健康教育実施報告書を作成する。 事前学修：[60 分] 発表会での講評、企画書および教科書を参考に、評価方法を確認しまとめる 事後学修：[90 分] グループで、健康教育の評価および報告書作成を完成させる。	GW	全員

■教科書

中村 裕美子ら著(2020). 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術、医学書院、最新版

■参考書、参考資料等

標 美奈子ら著(2019). 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論. 第4版. 医学書院. (1年次に購入)

■フィードバックの仕方

個人で作成したレポート(企画案)は、グループによる企画書検討が始まる前までにグレクサ通じてコメントを付した返却を行う。グループでの評価は、演習中、予演会および発表会後の教員講評を通じて口頭にて行う。

■他の授業科目との関連

保健師選抜学生は必須科目である。

■成績評価の仕方

1. 個人レポートとグループレポート(50%) 2. GW への参加状況・発表会評価(50%)に加えて授業態度をふまえて評価する。

■オフィスアワー・研究室等

開講日の 12:20 - 12:50 吉川(425 研究室) 井口(452 研究室) 未定(445 研究室) 未定(〇〇研究室) 石田(432 研究室)その他、随時電子メールで質問を受け付ける

■受講上の注意事項

タイトなスケジュールの中で、健康教育を作成・学内発表しますので、計画的かつ主体的に受講することが望ましいです。

* 本科目は保健師教育課程選択者のみ履修可(保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

公衆衛生看護活動論演習Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探究 「3」成長 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBPN401

○井口 理、吉川 悦子、西田 志穂、佐藤 太地、石田 千絵

■授業の目的

公衆衛生看護の対象である地域に顕在・潜在化している健康課題について、既存の資料を用いてアセスメント、計画立案を行う一連の過程を通じて、地域看護診断の実際を体験する。公衆衛生看護実習での実習地区に対する地域看護診断の実施につながる基盤を構築するとともに、地域住民の生活に密着し、地域を支援する保健師の機能と役割について学ぶ。

■到達目標

1. 地域看護診断の目的を理解し、地域診断に用いる理論について説明できる。
2. 既存の統計資料、地区踏査などから収集した情報をアセスメントし、地域の健康課題を抽出することができる。
3. 既存の資料を用いて地域の社会資源や保健事業についてまとめ、地域の健康課題に対して保健師として今後必要な対策について考えることができる。
4. 地域保健活動の手法としての健康診査の意義とプロセス、保健師の役割を説明できる。

■学習の進め方

AL

実習に行く地域の情報を行政資料、ホームページ、地区踏査等により収集・整理し、地域診断を行い、地区診断ワークブックを作成する。グループワークを通じて、マッピングや地域のアセスメントを行い、地域の特徴、健康課題についてパワーポイントスライドにまとめ、発表する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	地域診断演習オリエンテーション 自己学習したデータとアセスメントの共有 事前学修：[120分] 実習地域について事前に調べ、ワークブックを作成する 事後学修：[20分] ワークブックを見直し、今後の演習計画を立てる	講義、GW	井口
2	実習先の地域に関する基本的な情報収集とアセスメント① 図表化とマッピングによる可視化 事前学修：[30分] グループで課題について話し合う 事後学修：[30分] ワークブックを用いて情報収集とアセスメントをすすめる	GW	井口・吉川
3	実習先の地域に関する基本的な情報収集とアセスメント② 地区踏査の計画 事前学修：[20分] 各自、地区踏査計画を立案する 事後学修：[20分] グループとして合意した地区踏査計画をワークブックに反映する	GW	井口・吉川
4	演習(実習先地区踏査と現地での情報収集)① 事前学修：[20分] 地区踏査計画に基づき具体的な道順を決める 事後学修：[20分] 地区踏査で得た情報をワークブックに追記する	GW	井口・吉川
5	演習(実習先地区踏査と現地での情報収集)② 事前学修：[30分] 地区踏査計画に基づき具体的な道順を決める 事後学修：[20分] 地区踏査で得た情報をワークブックに追記する	演習	井口・吉川
6	情報の統合と健康課題の抽出① 根拠となるデータの追加収集・整理 事前学修：[30分] 情報を統合して健康課題について自分の意見をまとめておく 事後学修：[30分] グループで課題について話し合う	演習	井口・吉川
7	情報の統合と健康課題の抽出② 根拠となるデータの視覚化(図表化、マッピング) 事前学修：[30分] グループで課題について話し合う 事後学修：[30分] 情報を統合し、健康課題を抽出しワークブックに記入する	GW	井口・吉川
8	情報の統合と健康課題の抽出③ 根拠となるデータの視覚化(図表化、マッピング) 事前学修：[30分] グループで課題について話し合う 事後学修：[30分] 情報を統合し、健康課題を抽出しワークブックに記入する	GW	井口・吉川

No	内容	形式	教員
9	コミュニティ・アセスメント報告会の資料作成 事前学修：[30 分] 報告会で報告する要点を整理する 事後学修：[60 分] 報告内容や資料を整え、発表の要点をまとめる	GW	井口・吉川
10	コミュニティ・アセスメント報告会① 地域特性と現時点で考える健康課題、フォーカスアセスメントの方向性 事前学修：[30 分] 円滑に発表できるよう準備する 事後学修：[20 分] 質疑応答や助言を受けた箇所について振り返り、修正の要点をまとめる	発表・討議	全員
11	コミュニティ・アセスメント報告会② 地域特性と現時点で考える健康課題、フォーカスアセスメントの方向性 事前学修：[30 分] 円滑に発表できるよう準備する 事後学修：[20 分] 質疑応答や助言を受けた箇所について振り返り、修正の要点をまとめる	発表・討議	全員
12	コミュニティ・アセスメントの修正 フォーカスアセスメントの方向性の検討 事前学修：[60 分] 修正点に関する追加の情報収集・アセスメントを行う 事後学修：[60 分] 修正した内容にしたがって資料を作成し、提出する	GW	全員
13	地域保健活動の手法：乳幼児健康診査予診演習① 事前学修：[60 分] 提示された事前課題に取り組み提出する 事後学修：[30 分] 自身の演習を振り返り自己の課題を明確化する	デモンストレーション 演習	井口・吉川
14	地域保健活動の手法：乳幼児健康診査予診演習② 事前学修：[60 分] 提示された事前課題に取り組み提出する 事後学修：[30 分] 自身の演習を振り返り、明確化した自己の課題や学びについて記録にまとめる	演習	井口・吉川
15	地域保健活動の手法：乳幼児健康診査予診演習③ 事前学修：[60 分] 提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30 分] 演習を通して学修が不足していた箇所について復習を行う	演習	井口・吉川

■ 教科書

標美奈子 標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論 医学書院 (1 年次または編入 3 年次に購入した教科書)
中村裕美子 標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術 - 医学書院 (3 年次または編入 3 年次に購入した教科書)
国民衛生の動向 (3 年次または編入 3 年次に購入した教科書)

■ 参考書、参考資料等

公衆衛生看護学実習地域の行政資料各種 (統計資料、報告書、地図、広報等)
厚生労働統計協会 国民の福祉と介護の動向、保険と年金の動向 統計局や東京都福祉保健局HPの各種統計データなど

■ フィードバックの仕方

地区診断に関するフィードバックは地域診断報告会の際、教員からコメントを返す。
乳幼児健診の演習に関するフィードバックは公衆衛生看護学実習オリエンテーション期間中にコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

保健師教育課程の選択必修科目出る。
公衆衛生看護学実習につながる学習です。

■ 成績評価の仕方

授業・演習・発表への取り組み (40 %)、レポート・発表成果 (60 %)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～12:50
井口 (424 研究室) 吉川 (425 研究室) 石田 (432 研究室)

■ 受講上の注意事項

* この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可 (保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

公衆衛生看護活動論演習Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探究 「3」成長 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBPN402

○吉川 悦子、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地、石田 千絵

■授業の目的

さまざまなライフステージ、健康レベルにある個人・家族・集団を対象とした健康教育を展開するために必要な知識と方法について理解するとともに、具体的な実践の技術を習得する。

■到達目標

1. 地域特性や公衆衛生上の課題に気づき、論理的に説明できる。
2. 対象となる人々の特性に合わせた健康教育を考案できる。
3. 集団を対象とした健康教育の企画から評価までのプロセスを実践できる。
4. 住民の立場から健康上の課題と保健行動を考え、健康教育のあり方を検討できる。

■学習の進め方

1. 授業の展開：演習を通して、集団を対象とした健康教育方法について学習する。
2. 演習を通して、保健師としての健康教育を企画、実施・評価の在り方について学ぶ。また、発表会では参加住民として健康教育を受けることで、保健師・住民双方の立場から効果的な健康教育のあり方について学ぶ。
3. 各演習の作業目標を参照に、進捗に応じて、教員に確認してもらいながら進める。教員からの指導は、原則として演習時間内で行い、グループメンバーにて教員と指導時間の調整を行う。
5. 予演会や教員に確認してほしい場合は、事前に教員に了解を得た上で企画書・シナリオ・媒体草案を電子メール等で送付する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、 企画書の作成①対象者や地域特性の分析 事前学修：[30分] 実習地域の特性や住民特性について調べ、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 健康養育の対象者特性についてアセスメントする。	演習	吉川・井口
2	企画書の作成②対象者や地域特性の分析 事前学修：[30分] 健康養育の対象者特性と地域特性についてアセスメントする。 事後学修：[30分] 健康教育テーマに関する情報についてインターネットや書籍にて調べる。	演習	吉川・井口
3	企画書の作成③企画案の作成 事前学修：[30分] 収集した健康教育テーマに関連した資料をファイルにまとめ目をとめておく。 事後学修：[30分] 健康教育の目的、目標、評価、主な内容について追加の情報を調べ企画書を加筆修正する。	演習	吉川・井口
4	企画の作成④企画案の完成 担当教員の確認後、指導案・媒体案の作成を開始する 事前学修：[30分] 計画した企画案に基づき必要な情報を調べて、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 指導案・媒体案の作成を進める	演習	吉川・井口
5	指導案・媒体案の作成① 事前学修：[30分] 作成に必要な情報収集を行う 事後学修：[30分] 指導案・媒体案の作成を進める	演習	吉川・井口
6	指導案・媒体案の作成② 事前学修：[30分] 作成に必要な情報収集を行う 事後学修：[30分] 指導案・媒体案の作成を進める	演習	吉川・井口
7	指導案・媒体案の作成③ 事前学修：[30分] 指導案・媒体案の作成を進める 事後学修：[30分] 指導案および媒体案の作成の作成を進める	演習	吉川・井口
8	指導案・媒体案の作成④ 担当教員に指導案・媒体案を確認してもらった上で、さらなる改善を進める 事前学修：[60分] 指導案・媒体案の作成を進める 事後学修：[60分] 教員の指摘事項について確認・修正を行う	演習	吉川・井口

No	内容	形式	教員
9	指導案・媒体案の作成⑤ 事前学修：[60 分] 指導案・媒体案の修正を行う 事後学修：[60 分] 健康教育発表にあたり、役割分担などを確認する	演習	吉川・井口
10	指導案・媒体案の作成⑥ 事前学修：[60 分] 指導案および媒体案を完成に向けて作成する 事後学修：[60 分] 指導案および媒体案を完成に向けて作成する	演習	吉川・井口
11	指導案・媒体案の作成⑦ 事前学修：[60 分] 指導案および媒体案を完成に向けて作成する 事後学修：[60 分] 指導教員の指摘事項を受けて修正を行う	演習	吉川・井口
12	予指導案・媒体案の作成⑧ 事前学修：[60 分] 指導案および媒体案を完成に向けて作成する 事後学修：[60 分] 指導教員の指摘事項を受けて修正する	演習	吉川・井口
13	予指導案・媒体案の作成と練習 事前学修：[60 分] 発表会に向けて練習する 事後学修：[60 分] 指導教員の指摘事項を修正する	演習	吉川・井口
14	健康教育 発表会 事前学修：[60 分] 発表会に向けて練習する 事後学修：[60 分] 指導教員の指摘事項を修正する	演習	全員
15	健康教育の発表会・評価・報告書作成 事前学修：[60 分] 健康教育の企画書にそって評価を行い A4 用紙 1 枚以内に自分の意見をまとめておく。 事後学修：[60 分] 実施報告書を作成し、実習での健康教育本番に向けてさらなるブラッシュアップを行う。	演習	吉川・井口

■ 教科書

- ・標 美奈子ら著. (2019). 標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論. 第 5 版. 医学書院. (1 年次または編入 3 年次に購入したものを使用)
- ・中村 裕美子ら著. (2020). 標準保健師講座 2 公衆衛生看護学技術. 第 4 版. 医学書院. (3 年次に購入したもの)
- ・中谷 芳美ら著. (2018). 標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動. 第 4 版. 医学書院. (2 年次または編入 3 年次に購入したもの)

■ 参考書、参考資料等

- ・厚生労働統計協会:国民衛生の動向 最新版(3 年次に購入したもの)

そのほか、授業にて資料を配布する。

■ フィードバックの仕方

演習中および演習後、作成した企画書・指導案・媒体についての講評を随時行う。

フィードバックは、上記のタイミングで、担当教員より口頭にて、またはコメントを付けたレポートをメールまたはグレクサを用いて返却する。

■ 他の授業科目との関連

公衆衛生看護学実習において実施する地域住民を対象とした健康教育について演習を行う。

*この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可(保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

■ 成績評価の仕方

1. 授業・演習への取り組み 60 %
2. レポート・演習成果資料 40 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～12:50

吉川(425 研究室) 井口(424 研究室) 未定(445 研究室) 未定(〇〇研究室) 石田(432 研究室)

公衆衛生看護学実習

単位：5単位 必修/選択：選択 履修年次：4年・編入4年次 開講期：前期 対応DP：「1」成長 「2」連携 「3」変化 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBPN403

○石田 千絵、吉川 悦子、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地

■ 授業の目的

地域で生活する個人・家族や集団、地域社会を対象とした健康の保持・増進のための公衆衛生看護実践について学びを深める。

地域で生活する人々の生活と健康を支える地域の保健医療福祉システムにおける特別区保健所等の特性および機能を理解し、多職種・多機関による連携について理解を深める。さらに、行政機関における保健師の役割と機能について学習する。

■ 到達目標

1. 地域で生活する個人および家族、集団、組織を対象とした看護実践を支える地域の保健医療福祉に関する制度やしきみ、諸資源を理解する。
2. 地域診断のプロセスを通じて、地域で生活する個人・家族、集団、地域社会のニーズや健康課題を明らかにし、対象の健康を支えるための公衆衛生看護活動を計画・実施・評価する。
3. 地域で生活する個人・家族、集団の健康課題の解決のために用いられる手法(家庭訪問、健康教育、健康相談、地区組織活動等)の実際を経験し、特別区保健所等の保健師の役割と機能を理解する。

■ 学習の進め方

1. 事前学習：実習開始前に各種オリエンテーション(全体・施設別等)を受ける。実習地域の地域診断・実習中の参加事業についての事前学習などをすすめて、各自の実習目標をたてる。実習施設への事前訪問を行い、実習スケジュールの確認と健康教育実施のための事前見学・相談をする。
2. 臨地実習：実習先保健所・保健センター等の管轄内における各種事業への参加、家庭訪問・相談対応、健康教育等の体験等を重ね、地域における保健活動について学びを深める。
3. カンファレンス・報告会：実習中及び終了後にカンファレンスや報告会を行い、学びの共有や定着をはかる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：5週間

実習場所：東京都特別区内の保健所、保健センター等

■ 教科書

適宜、掲示する。

■ 参考書、参考資料等

実習先行政の保健所事業概要、各種統計資料、広報、報告書等(HP、実習先より借用など)

東京の母子保健、母子健康手帳、発達・精神保健看護学各教科書

■ フィードバックの仕方

実習報告会の直後にフィードバックするとともに、実習記録にもコメントを記して返却する。

■ 他の授業科目との関連

保健師教育課程の科目に関連する。

■ 成績評価の仕方

1. 実習の取り組み：実習施設事前訪問、地区踏査、健康教育展開、実習態度、カンファレンス、報告会など(80点)
2. 実習記録：健康教育、家庭訪問、地域診断に関連する記録、事業概要記録、実習記録(10点)
3. レポート(10点)

■ オフィスアワー・研究室等

実習期間中の12:30～12:50、担当教員の研究室

■ 受講上の注意事項

原則として、オリエンテーションを遅刻・欠席したものは履修することができない。

*この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可(保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

科目一覧

★赤十字概論★（○角田 敦彦）	1
★赤十字国際活動論★（○角田 敦彦）	3
★赤十字国際活動論演習★（○角田 敦彦）	5
★哲学と倫理★（○榊原 哲也）	6
★生命倫理★（○榊原 哲也）	8
★生命倫理★（○榊原 哲也）	10
★心理学Ⅱ★（○遠藤 公久）	12
★心理学Ⅱ★（○遠藤 公久）	14
★生活環境論★（○石田 千絵、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地、吉川 悦子）	16
★障がい論★（○坂口 千鶴、山内 朋子、鈴木 健太、堀井 湖浪、鷹野 朋実、西田 志穂、佐藤 太地、池田 良輔子）	18
★社会学Ⅱ★（○鷹田 佳典）	20
★社会保障論★（○奥貫 妃文）	22
★家族社会学★（○宮下 阿子）	24
★世界の文化と宗教★（○佐藤 眞）	26
★医療と文化★（○鈴木 勝己）	28
★情報科学★（○川崎 洋平）	30
★情報科学★（○川崎 洋平）	32
★保健統計学★（○川崎 洋平）	34
★保健統計学★（○川崎 洋平）	36
★英語 R2-1 ★（○皆川 健次郎）	38
★英語 R2-1 ★（○武久 智一）	40
★英語 R2-1 ★（○皆川 健次郎）	42
★英語 R2-1 ★（○武久 智一）	44
★英語 R2-2 ★（○武久 智一）	46
★英語 R2-2 ★（○皆川 健次郎）	48
★英語 R2-2 ★（○武久 智一）	50
★英語 R2-2 ★（○皆川 健次郎）	52
★英語 W2-1 ★（○遠藤 花子）	54
★英語 W2-1 ★（○遠藤 花子）	56
★英語 W2-1 ★（○川崎 修一）	58
★英語 W2-2 ★（○遠藤 花子）	60
★英語 W2-2 ★（○遠藤 花子）	62
★英語 LS2-1 ★（○川崎 修一）	64
★英語 LS2-2 ★（○川崎 修一）	66
★英語文献を読むⅠ★（○遠藤 花子）	68
★英語文献を読むⅡ★（○遠藤 花子）	70
★基礎ゼミⅠ★（○渋谷 真樹）	72
★基礎ゼミⅡ★（○川崎 修一）	74
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ（内科学、外科学、検査学）★（○井上 明宏、石田 禎夫、石川 晃、高屋 和彦、石橋 由孝、山田 学、増田 亮、永岡 栄、尾花 和子、今井 庸子、壹岐 聖子、山田 哲久）	76
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ（内科学、外科学）★（○井上 明宏、石田 禎夫、鈴木 毅、壹岐 聖子、石川 晃、小林 城太郎、永岡 栄、安藤 常浩、國頭 英夫）	78
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ（精神医学）★（○梅野 充）	80
★薬理学★（○吉見 猛）	82
★リハビリテーション医学★（○田中 清和、長 晶子、安藤 慧二、樋口 晶）	84
★遺伝と遺伝カウンセリング★（○守田 美奈子、笠井 靖代、納富 理絵）	86
★ラボラトリー・プラクティス★（○壹岐 聖子、裴 有安、石橋 雪乃、青木 由美子、積田 雅央、網野 彩、富田 健一郎、松尾 梢恵、用具 恭子、昆 雅士、今井 一仁、菅野 恵子、桑原 麻樹、平石 直己、藤井 幸太郎）	88
★看護学概論Ⅱ（看護倫理含）★（○吉田 みつ子、樋口 佳栄、細野 知子、川原 由佳里、吉良 理恵、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉田 里奈）	90
★看護関係法規★（○安部 陽子、佐藤 明子）	92
★看護の歴史★（○川原 由佳里）	94
★看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）★（○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理恵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈）	96

★看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)★(○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理恵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈)	98
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)★(○吉田 みつ子、細野 知子、樋口 佳栄、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈)	100
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)★(○吉田 みつ子、細野 知子、樋口 佳栄、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈)	102
★看護援助論Ⅰ(看護過程)★(○細野 知子、樋口 佳栄、西田 朋子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、富澤 真紀、田代 幸子、佐藤 明子、河田 照絵、吉田 里奈、山中 源治)	104
★看護援助論Ⅰ(看護過程)★(○細野 知子、樋口 佳栄、西田 朋子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、富澤 真紀、田代 幸子、佐藤 明子、河田 照絵、吉田 里奈、山中 源治)	108
★看護援助論Ⅱ(生命の維持)★(○千葉 京子)	112
★看護援助論Ⅱ(生命の維持)★(○千葉 京子)	114
★看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)★(○清田 明美)	116
★看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)★(○清田 明美)	118
★看護援助論Ⅴ(活動と休息)★(○江本 リナ)	120
★看護援助論Ⅴ(活動と休息)★(○江本 リナ)	122
★看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)★(○新田 真弓)	124
★看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)★(○新田 真弓)	126
★看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)★(○堀川 英起)	128
★看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)★(○古城門 靖子)	130
★精神保健看護学Ⅰ(理論)★(○鷹野 朋実、堀井 湖浪、堀川 英起、古城門 靖子)	132
★精神保健看護学Ⅰ(理論)★(○鷹野 朋実、堀井 湖浪、堀川 英起、古城門 靖子)	135
★精神保健看護学Ⅱ(技法)★(○堀井 湖浪、古城門 靖子、堀川 英起、内藤 なづな)	138
★精神保健看護学Ⅱ(技法)★(○堀井 湖浪、古城門 靖子、堀川 英起、内藤 なづな)	140
★発達看護学概論★(○江本 リナ、千葉 京子)	142
★発達看護学概論★(○江本 リナ、千葉 京子)	144
★発達看護学(成人期の看護)★(○本庄 恵子、三浦 英恵)	146
★発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)★(○新田 真弓、加藤 千穂、林田 聖子、由利 紗織、北井 喜美恵)	148
★発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)★(○加藤 千穂、新田 真弓、林田 聖子、由利 紗織、北井 喜美恵)	151
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)★(○江本 リナ、鈴木 健太、山内 朋子、柴田 純子、田代 祐子)	154
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)★(○江本 リナ、鈴木 健太、山内 朋子、柴田 純子、田代 祐子)	156
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)★(○江本 リナ、鈴木 健太、山内 朋子、柴田 純子、田代 祐子)	158
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)★(○江本 リナ、鈴木 健太、山内 朋子、柴田 純子、田代 祐子)	161
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)★(○坂口 千鶴、清田 明美、菅野 心葉、池田 良輔子)	164
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)★(○千葉 京子、坂口 千鶴、清田 明美、池田 良輔子、菅野 心葉)	167
★プライマリーヘルスケア★(○西田 志穂、石田 千絵)	169
★慢性期ケア★(○田中 孝美、守谷 千明、本庄 恵子、桑原 雄三、田代 幸子、河田 照絵)	171
★急性期ケア★(○三浦 英恵、河田 照絵、林 宗博、守谷 千明、田代 幸子、桑原 雄三、山中 源治)	174
★緩和・終末期ケア★(○吉田 みつ子、田中 孝美、遠山 義人)	177
★健康レベル別看護学演習Ⅰ★(○河田 照絵、三浦 英恵、田中 孝美、守谷 千明、桑原 雄三、吉田 里奈、田代 幸子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、佐藤 明子、山中 源治)	179
★健康レベル別看護学演習Ⅰ★(○河田 照絵、三浦 英恵、田中 孝美、守谷 千明、桑原 雄三、吉田 里奈、田代 幸子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、佐藤 明子、山中 源治)	182
★健康レベル別看護学演習Ⅱ★(○江本 リナ、千葉 京子、清田 明美、菅野 心葉、池田 良輔子、鷹野 朋実、堀井 湖浪、古城門 靖子、内藤 なづな、堀川 英起、新田 真弓、林田 聖子、加藤 千穂、宮内 愛、由利 紗織、鈴木 健太、柴田 純子、山内 朋子、田代 祐子、北井 喜美恵)	185
★健康レベル別看護学演習Ⅱ★(○江本 リナ、千葉 京子、清田 明美、菅野 心葉、池田 良輔子、鷹野 朋実、堀井 湖浪、古城門 靖子、内藤 なづな、堀川 英起、新田 真弓、林田 聖子、加藤 千穂、宮内 愛、由利 紗織、鈴木 健太、柴田 純子、山内 朋子、田代 祐子、北井 喜美恵)	188
★地域看護学★(○石田 千絵、吉川 悦子、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地)	191
★公衆衛生看護活動論★(○吉川 悦子、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地、石田 千絵)	193
★保健福祉行政論★(○櫻山 豊夫)	195
★疫学★(○川崎 洋平)	197
★在宅看護学★(○石田 千絵、西田 志穂、井口 理、佐藤 太地、吉川 悦子)	199
★看護管理学Ⅰ★(○安部 陽子、佐藤 明子、古川 祐子)	201
★看護管理学Ⅱ★(○安部 陽子、佐藤 明子、古川 祐子)	203
★看護教育学Ⅰ★(○佐々木 幾美、西田 朋子)	206
★看護教育学Ⅱ★(○西田 朋子)	208

★看護教育方法★（○西田 朋子）	210
★応用看護学特論Ⅰ①（チーム医療）★（○安部 陽子、古川 祐子、佐藤 明子、塚田 信弘）	212
★応用看護学特論Ⅰ②（リプロダクティブ・ヘルス）★（○齋藤 英子）	214
★応用看護学特論Ⅰ③（子どもの権利と家族）★（○江本 リナ、鈴木 健太、山内 朋子、柴田 純子、田代 祐子）	216
★応用看護学特論Ⅱ①（看護とメンタルヘルス）★（○古城門 靖子、鷹野 朋実、堀井 湖浪、堀川 英起）	218
★応用看護学特論Ⅱ②（ホーリスティック・ナーシング）★（○坂口 千鶴、千葉 京子、清田 明美）	220
★国際看護学Ⅰ★（○織方 愛、野口 眞貴子、富澤 真紀）	222
★国際看護学Ⅱ★（○織方 愛、角田 敦彦）	224
★国際看護学演習★（○織方 愛、野口 眞貴子、内木 美恵）	226
★災害看護論Ⅰ★（○内木 美恵、橋爪 朋子）	228
★災害看護論Ⅱ★（○内木 美恵、橋爪 朋子、富澤 真紀）	230
★災害看護活動論Ⅰ★（○橋爪 朋子、内木 美恵、富澤 真紀、織方 愛）	232
★災害看護活動論Ⅱ★（○橋爪 朋子、内木 美恵）	234
★災害看護活動論Ⅲ★（○橋爪 朋子、内木 美恵、富澤 真紀）	237
★看護援助論実習〔レベルⅡ〕★（○三浦英恵、○吉田みつ子、○本庄恵子、○安部陽子、○佐々木幾美、○川原由佳里、樋口佳米、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、河田照絵、桑原雄三、守谷千明、田代幸子、西田朋子、織方愛、橋爪朋子、佐藤明子、内藤なづな、池田良輔子、田代祐子、山中源治）	239
★精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕★（○鷹野朋実、堀井湖浪、古城門靖子、堀川英起、内藤なづな）	241
★発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護）実習〔レベルⅢ〕★（○新田真弓、斎藤英子、東園子、加藤千穂、稲田千晴、谷本美保子、林田聖子、由利紗織、宮内愛、北井喜美恵）	242
★発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）実習〔レベルⅢ〕★（○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代祐子）	244
★発達看護学Ⅲ（老年期の看護）実習〔レベルⅢ〕★（○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、菅野心葉）	246
★健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕★（○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、西田朋子、河田照絵、樋口佳米、織方愛、富澤真紀、橋爪朋子、細野知子、佐藤明子、桑原雄三、守谷千明、吉良理絵、田代幸子、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈、山中源治）	247
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－Ⅰ（精神保健看護学）★（○鷹野朋実、堀井湖浪、古城門靖子、堀川英起、内藤なづな）	249
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－Ⅰ（母性看護学）★（○新田真弓、齋藤英子、東園子、加藤千穂、稲田千晴、谷本美保子、林田聖子、由利紗織、宮内愛、北井喜美恵）	251
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－Ⅰ（小児看護学）★（○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代祐子）	253
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－Ⅰ（老年看護学）★（○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、菅野心葉）	254
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－Ⅱ★（○石田千絵、井口理、吉川悦子、西田 志穂、佐藤 太地）	255
★看護学総合実習★（○川原由佳里、○吉田みつ子、樋口佳米、細野知子、吉良理絵、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈、○鷹野朋実、堀井湖浪、古城門靖子、堀川英起、内藤なづな、○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、河田照絵、田代幸子、桑原雄三、守谷千明、山中源治、○新田真弓、斎藤英子、東園子、加藤千穂、稲田千晴、谷本美保子、林田聖子、由利紗織、宮内愛、北井喜美恵、○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代祐子、○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、菅野心葉、○石田千絵、吉川悦子、井口理、西田志穂、佐藤太一、○佐々木幾美、西田朋子、○安部陽子、○野口眞貴子、内木美恵、織方愛、富澤真紀、橋爪朋子）	256
★研究方法論Ⅰ★（○江本 リナ、渋谷 真樹、坂口 千鶴、古城門 靖子、清田 明美、山内 朋子、川崎 修一、川崎 洋平、稲田 千晴、橋爪 朋子、角田 敦彦）	257
★研究方法論Ⅰ★（○江本 リナ、渋谷 真樹、坂口 千鶴、古城門 靖子、清田 明美、山内 朋子、川崎 修一、川崎 洋平、稲田 千晴、橋爪 朋子、角田 敦彦）	260
★研究方法論Ⅱ★（○江本 リナ、渋谷 真樹、遠藤 花子、堀井 湖浪、千葉 京子、山内 朋子、稲田 千晴、堀川 英起、角田 敦彦、橋爪 朋子、池田 良輔子）	263
★研究方法論Ⅱ★（○江本 リナ、渋谷 真樹、遠藤 花子、堀井 湖浪、千葉 京子、山内 朋子、稲田 千晴、堀川 英起、角田 敦彦、橋爪 朋子、池田 良輔子）	266
★研究方法論Ⅲ（量的研究方法論）★（○川崎 洋平）	269
★研究Ⅰ★（○全教員）	271
★研究Ⅱ★（○全教員）	273
★公衆衛生看護活動展開論★（○吉川 悦子、井口 理、佐藤 太地）	275
★公衆衛生看護管理論★（○井口 理、石田 千絵、吉川 悦子）	277
★公衆衛生看護方法論★（○吉川 悦子、石田 千絵、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地）	279
★公衆衛生看護活動論演習Ⅰ★（○井口 理、吉川 悦子、西田 志穂、佐藤 太地、石田 千絵）	281
★公衆衛生看護活動論演習Ⅱ★（○吉川 悦子、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地、石田 千絵）	283
★公衆衛生看護学実習★（○石田 千絵、吉川 悦子、井口 理、西田 志穂、佐藤 太地）	285